▲三菱重工

エクシードハイパーシリーズ ハイパーインバータリーズ ビル空調システム ガスヒートポンプエアコン (中温パッケージエアコン)

室内ユニット

技術資料

天井埋込形4方向吹出し(FDT) 天井埋込形4方向吹出し小容量(FDTC)

本資料は2020年パネルの変更に関する事項を記載しております。 その他については、2018・2019年冷熱ハンドブックをご覧ください。

> 4-553-1-D '20-7 発 行

目次

1. 変更点一覧	2
2. 横展開	3
3. 天井埋込形4方向吹出し(FDTシリーズ)	4
3.1 外形図	5
3.2 電気配線図	13
3.3 エアコン本体据付説明書	17
3.4 パネル据付説明書	25
3.5 電気配線工事説明書	53
3.6 ワイヤレスキット	75
4. 天井埋込形4方向吹出し小容量(FDTCシリーズ)	85
4.1 外形図	86
4.2 電気配線図	88
4.3 エアコン本体据付説明書	90
4.4 パネル据付説明書	98
4.5 電気配線工事説明書	00
4.6 ワイヤレスキット	20
5. 中温パッケージエアコン(FDT)1	30
5.1 外形図1	31
5.2 電気配線図	32
5.3 エアコン本体据付説明書	33
5.4 パネル据付説明書	41
5.5 電気配線工事説明書	43

1. 変更点一覧

里玉物料		夕弥	20	2020年新機種			現行機		※ 国 中 ※
ነጆባ里		14 TJ	形式	パネル色※	グリル形状	形式	パネル色※	グリル形状	冬天四日
			T-PSA-5BW	ファインスノー	格子	T-PSA-5AW	プラスターホワイト	格子	パネル色変更
		標準パネル	T-PSA-5ASB	シャドウブラック	格子	T-PSA-5ASB	シャドウブラック	格子	変更なし
			T-PSA-5AC	ウッドベージュ	格子	T-PSA-5AC	ウッドベージュ	格子	変更なし
		ニャットケニニア・	T-PSAE-5BW	ファインスノー	格子	T-PSAE-5AW	プラスターホワイト	格子	パネル色変更
ナゾン暦洋辮空内コニット	H	イントンン・ハイン・ト	T-PSAE-5ASB	シャドウブラック	格子	T-PSAE-5ASB	シャドウブラック	格子	変更なし
センン寒冷地室内ユニット	2	14%+-114	T-PSCL-5BW	ファインスノー	格子	T-PSCL-5AW	プラスターホワイト	格子	パネル色変更
ビル空調システム室内ユニット			T-PSCL-5ASB	シャドウブラック	格子	T-PSCL-5ASB	シャドウブラック	格子	変更なし
カスにートボンン類内ユニット		お掃除ラクリーナパネル T-PSCLS-5BW	T-PSCLS-5BW	ファインスノー	格子	T-PSCLS-5AW	プラスターホワイト	格子	機能変更(※1)・パネル色変更
		年 一方、「十二・一大/ 口	LA-T-5BW1	ファインスノー	ı	LA-T-5W	プラスターホワイト	ı	基板変更(※3)・パネル色変更
		ノファントコノダー語	LA-T-5SB1	シャドウブラック	ı	LA-T-5SB	シャドウブラック	ı	基板変更(※3)
ı	CTCL	エアフレックスパネル TC-PSAE-5BW	TC-PSAE-5BW	ファインスノー	格子	TC-PSAE-5AW	ファインスノー	ハニカム	グリル形状変更(※2)
	2	ワイヤレスリモコン受信部 LA-TC-5W1	LA-TC-5W1	ファインスノー	1	LA-TC-5W	ファインスノー	1	基板変更(※3)
中温パッケージエアコン	Ţ	標準パネル	T-PSAM-36WA	ファインスノー	格子	T-PSAM-36W	プラスターホワイト	格子	パネル色変更
室内ユニット	-	ラクリーナパネル	T-PSCLM-36WA	ファインスノー	格子	T-PSCLM-36W	プラスターホワイト	格子	パネル色変更

※1: 据付説明書、取扱説明書を33ページに示します。 ※2: FDTCインレットグリルの変更

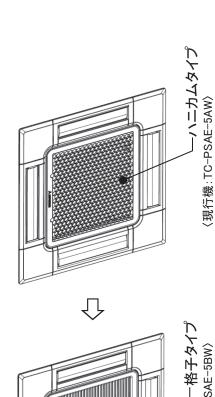
7.2BG2.9/0.6近似

6.8Y7.9/3.9近似

8.0Y9.3/0.1近似 6.8Y8.9/0.2近似

> プラスターホワイト シャドウブラック ウッドベージュ

※ トンセル値: ファインスノー



〈新機種:TC-PSAE-5BW〉

※3: 基板(ソフト)変更

現行機は,ワイヤレスリモコンからエアフレックスを動作するためには,ワイヤードリモコンを一旦接続し,エアフレックス作動中(ON)にする必要がありますが, 新モデルはワイヤードリモコンを接続しなくてもエアフレックス動作が可能です。

2. 横展開

機種		名称	形式	セゾンエアコン 5SA形	セゾン寒冷地 K-5SA形	ビル空調システム 5LXA形	ガスヒートポンプ 5M1A形	中温パッケージ エアコン 3M形
		標準パネル	T-PSA-5BW T-PSA-5ASB T-PSA-5AC	0	0	0	0	_
セゾン標準機 セゾン寒浄地 ビル空調システム ガスヒートポンプ 各室内ユニット	FDT	エアフレックス パネル	T-PSAE-5BW T-PSAE-5ASB	0	0	0	0	_
		ラクリーナ パネル	T-PSCL-5BW T-PSCL-5ASB	0	0	0	0	_
		お掃除 ラクリーナパネル	T-PSCLS-5BW	0	0	0	0	_
		ワイヤレス リモコン受信部	LA-T-5BW1 LA-T-5SB1	0	0	0	0	_
	FDTC	エアフレックス パネル	TC-PSAE-5BW	0	0	0	_	_
		ワイヤレス リモコン受信部	LA-TC-5W1	0	0	0	_	_
中温		標準パネル	T-PSAM-36WA	_	_	_	_	0
パッケージエアコン 室内ユニット	FDT	ラクリーナ パネル	T-PSCLM-36WA	_	-	_	_	0

3. 天井埋込形 4 方向吹出し(FDT シリーズ)

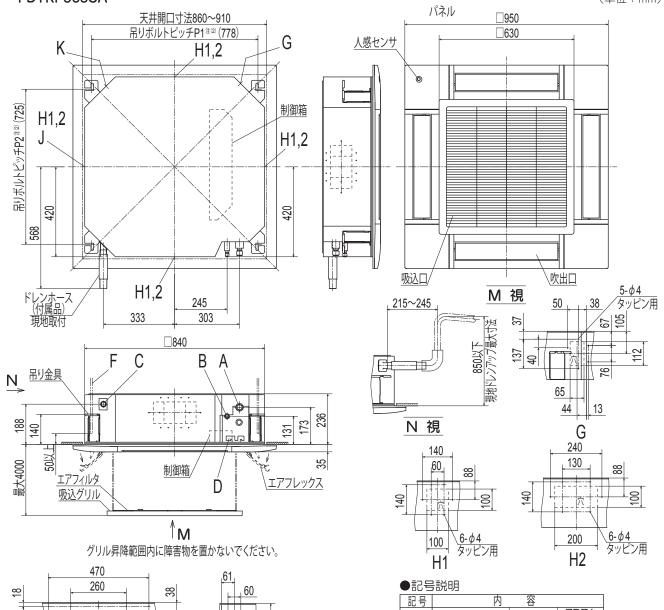
3.1 外形図
(1) セゾン標準機・寒冷地仕様機
(2) ビル空調システム・ガスヒートポンプ 9
3.2 電気配線図13
(1) セゾン標準機・寒冷地仕様機
(2) ビル空調システム・ガスヒートポンプ
3.3 エアコン本体据付説明書
3.4 パネル据付説明書25
(1) 標準パネル・エアフレックスパネル・ラクリーナパネル 25
(2) お掃除ラクリーナパネル
3.5 電気配線工事説明書53
(1) セゾン標準機・寒冷地仕様機
(2) ビル空調システム・ガスヒートポンプ
(3) スーパーリンク配線工事 71
3.6 ワイヤレスキット 75
(1) 仕様
(2) 据付説明書 77

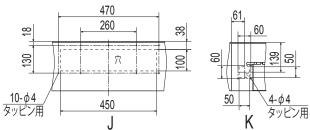
3.1 外 形 図

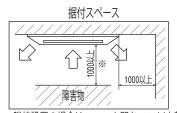
- (1) セゾン標準機・寒冷地仕様機
 - (a) 標準パネル・エアフレックスパネル・ラクリーナパネル仕様

FDTZP635SA, 715SA









隣接設置の場合は、ユニット間を4000以上離してください。 ラクリーナパネル仕様の場合、※寸法は1400です。

	っしいつつ		
記号	内	容	
	機種	ZP63	ZP71 KP56
Α	冷媒ガス側配管	φ12.7(フレア)	
В	冷媒液側配管	φ6.35(フレア)	
С	ドレン配管接続口	VP25 (I,D,2	25,0,D,32)
D	電源取入口		
F	吊りボルト	M10ま	たはM8
G	OA取入口		
H1	吹出分岐ダクト接続口	φ.	125
H2		φ2	200
J	加湿器接続口		
K	加湿器余剰水接続口		

注(1)装置銘板は制御箱の蓋に付いてます。

(2)吊りボルトピッチP1,P2は下表のパターンで調整可能です。

りボルトピッ	チ範囲表
P1	P2
770	725~770
770~800	725
	りボルトピッ P1 770 770~800

PJF000Z676

PJF000Z678

PJF000Z680

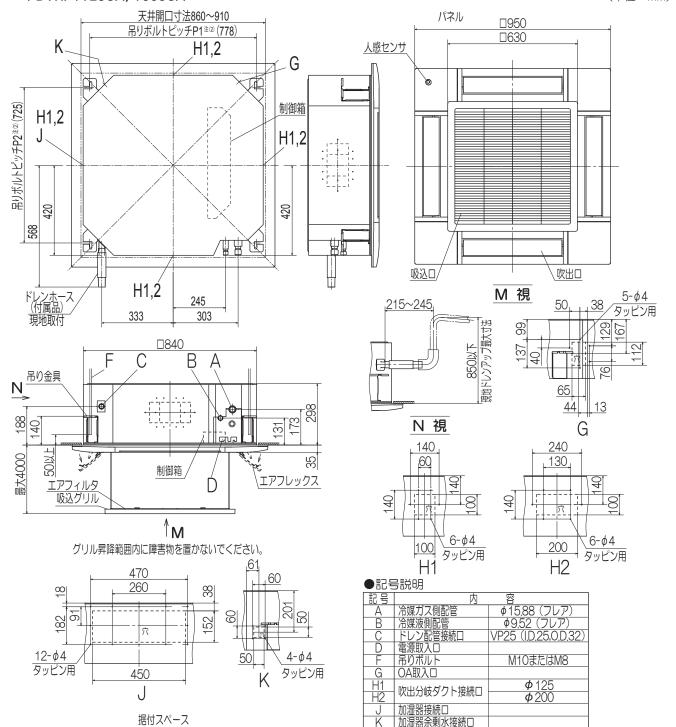
PJF000Z664

PJF000Z666

PJF000Z668

FDTZP805SA, 1605SA FDTKP1125SA, 1605SA

(単位:mm)



注(1)装置銘板は制御箱の蓋に付いてます。 (2)吊りボルトピッチP1,P2は下表のパターンで調整可能です。

吊りボル	ノトピッチ範囲	表
パターン記号	P1	P2
1	770	725~770
2	770~800	725

PJF000Z677

PJF000Z679

PJF000Z681

PJF000Z665

PJF000Z667

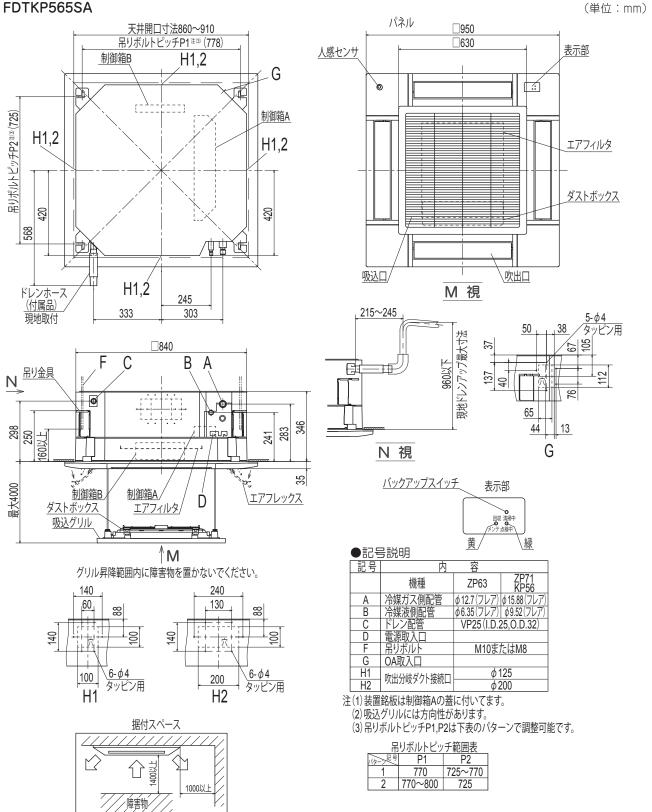
PJF000Z669

隣接設置の場合は、ユニット間を5000以上離してください。 ラクリーナパネル仕様の場合、※寸法は1400です。

1000以上

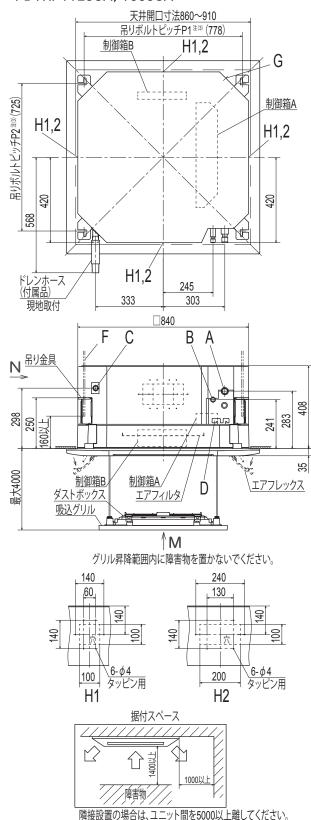
1000UL **

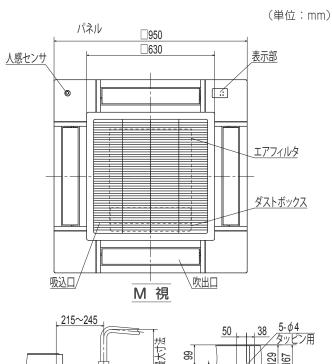
(b) お掃除ラクリーナパネル仕様 FDTZP635SA, 715SA FDTKP565SA

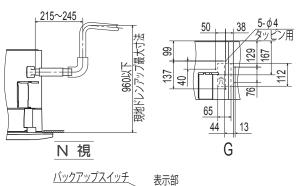


PJF000Z645 PJF000Z670

FDTZP805SA, 1605SA FDTKP1125SA, 1605SA









- 注(1)装置銘板は制御箱Aの蓋に付いてます。
 - (2) 吸込グリルには方向性があります。
 - (3) 吊りボルトピッチP1,P2は下表のパターンで調整可能です。

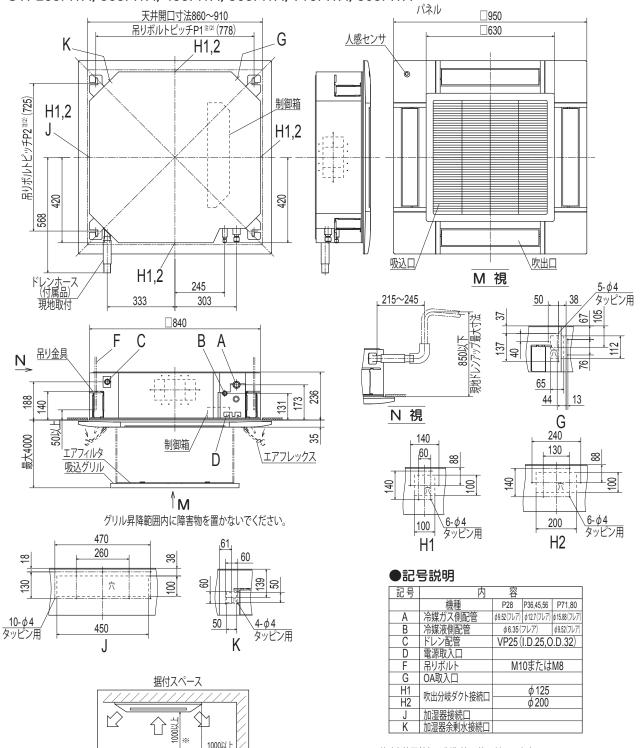
吊	りボルトピッ	チ範囲表
パターン記号	P1	P2
1	770	725~770
2	770~800	725

PJF000Z646

PJF000Z671

(2) ビル空調システム・ガスヒートポンプ

(a) 標準パネル・エアフレックスパネル・ラクリーナパネル仕様 FDTP285LXA, 365LXA, 455LXA, 565LXA, 715LXA, 805LXA GTP285M1A, 365M1A, 455M1A, 565M1A, 715M1A, 805M1A



注(1)装置銘板は制御箱の蓋に付いてます。

(2) 吊りボルトピッチP1,P2は下表のパターンで調整可能です。

吊	りボルトピッ	チ範囲表
パターン記号	P1	P2
1	770	725~770
2	770~800	725

PJF000Z697

PJF000Z701

PJF000Z705

PJF000Z712

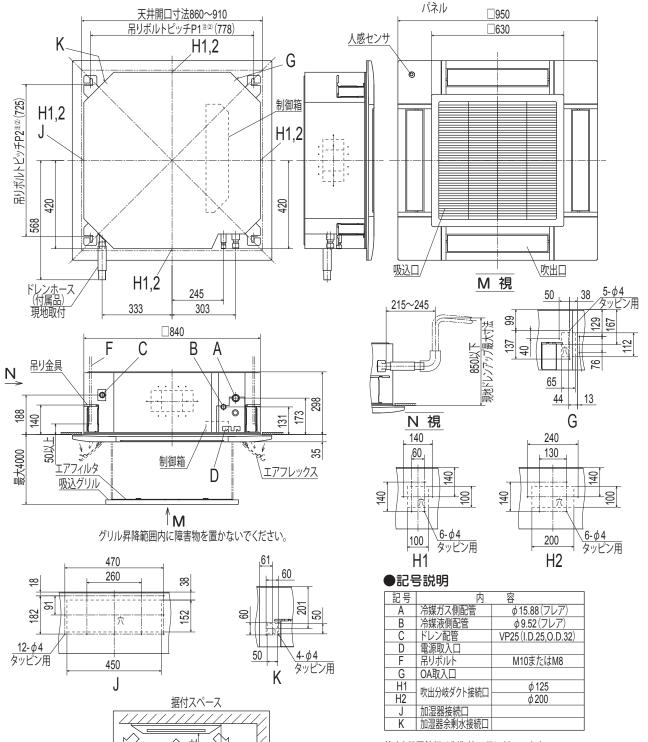
PJF000Z716

PJF000Z720

障害物

隣接設置の場合は、ユニット間を4000以上離してください。 ラクリーナパネル仕様の場合、※寸法は1400です。

FDTP905LXA, 1125LXA, 1405LXA, 1605LXA GTP905M1A, 1125M1A, 1405M1A, 1605M1A



注(1)装置銘板は制御箱の蓋に付いてます。

(2) 吊りボルトピッチP1,P2は下表のパターンで調整可能です。

吊	りボルトピッ	チ範囲表
パターン記号	P1	P2
1	770	725~770
2	770~800	725

PJF000Z698

PJF000Z702

PJF000Z706

PJF000Z713

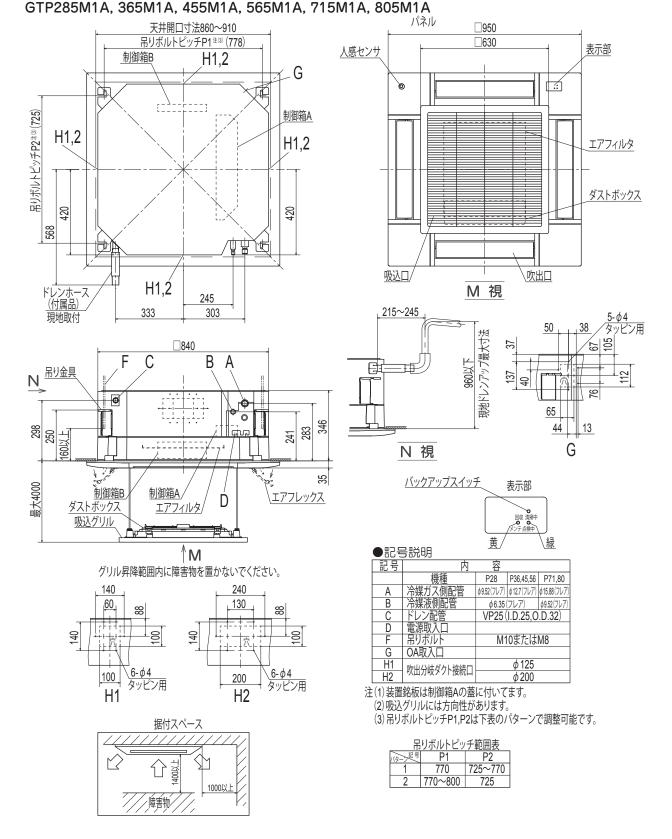
PJF000Z717

PJF000Z721

1000以上

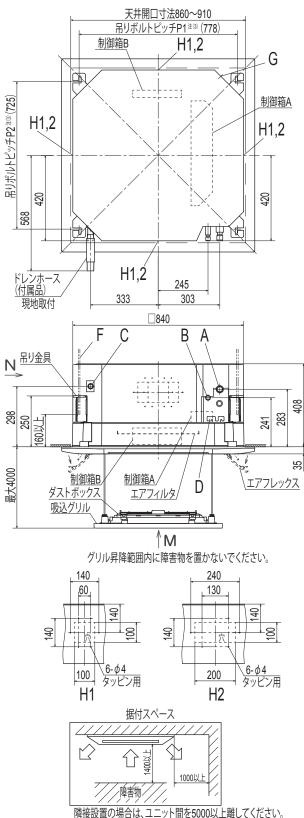
隣接設置の場合は、ユニット間を5000以上離してください。 ラクリーナパネル仕様の場合、※寸法は1400です。

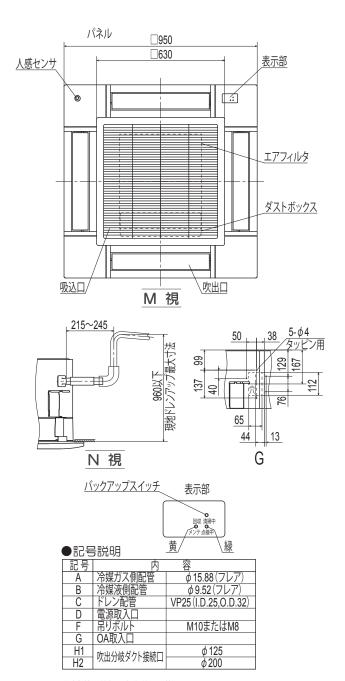
(b) お掃除ラクリーナパネル仕様 FDTP285LXA, 365LXA, 455LXA, 565LXA, 715LXA, 805LXA



PJF000Z647 PJF000Z649

FDTP905LXA, 1125LXA, 1405LXA, 1605LXA GTP905M1A, 1125M1A, 1405M1A, 1605M1A





注(1)装置銘板は制御箱Aの蓋に付いてます。

- (2) 吸込グリルには方向性があります。
- (3) 吊りボルトピッチP1,P2は下表のパターンで調整可能です。

吊	りボルトピッ	チ範囲表
パターン記号	P1	P2
1	770	725~770
2	770~800	725

PJF000Z648 PJF000Z650

3.2 電気配線図

セゾン標準機・寒冷地仕様機

4 3 2 1 CNV2

SNR^{±2}

2.0A)

SW3

NW6

<u>~</u>

3 -

CNW05 3

ш SNM CNM

≧(≥1)

₩

SW E

恕 電源回路

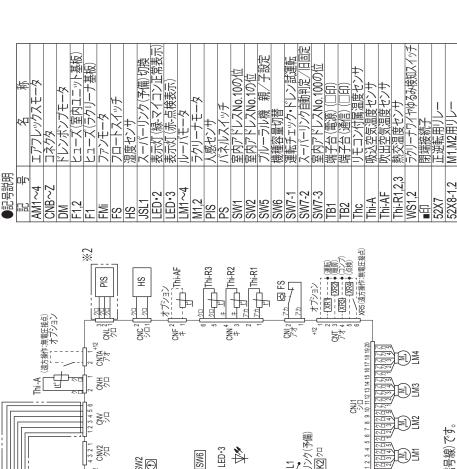
注(1) 本図はエアコン本体側部分について示しています。お掃除パネル部については,次ページをご覧ください。

715SA, 805SA, 1605SA

FDTZP635SA,

FDTKP565SA,

1125SA, 1605SA



.ED·2 LED·3

SW7 SW6

SW5

CN/3

2 CNY2 1 CNY1 2 万为

M R

M2(L) WS1 ws2\ 2

2.TB1は強電用端子台(室内外接続線)、TB2は弱電用端子台(リモコン線、ネットワーク信号線)です。 3.室内外接続線は、室外ユニット配線図をご覧ください。 4.リモコンを別の場所に設置する場合、またはリモコンを複数(親・子)使用する場合。 ①リモコン配線は0.3mm* ×20)を使用してください。延長距離が100mを超える場合の仕様についてはリモコン<納入仕様書>をご覧ください。 ②リモコン配線は0.3mm* ×20)を使用してください。延長距離が100mを超える場合の仕様についてはリモコン<納入仕様書>をご覧ください。 記事 1. ---- は現地配線を示します

(a) [≥(a)

(F)

CN12

室内ユニット基板

ネットワーク信号線 スーパーリンク)

JSL1 スーパーリンク(予備)

쭖

惥

 \times

5.スーパーリング集中制御から最も遠い室内ユニットまでの信号線長さは、1000m以内。 6.スーパーリンク信号線はシールド線を使用して両端アース接続してください。

・シールド線太さ0.75mm²を使用する場合は1500m以内・シールド線太さ1.25mm²を使用する場合は1000m以内7.リモコン配線、ネットワーク信号線は内外接続線や他の動力線と並行配列しないでください。8.標準パネルまたはエアフレックスパネルの場合は、※1のラクリーナ基板および配線等はありません。9.標準パネルの場合は、※2の配線等はありません。 スーパーリンクネットワーク全体の信号線の長さは

PJF000Z682 PJF000Z683

PJF000Z684

PJF000Z672

PJF000Z673

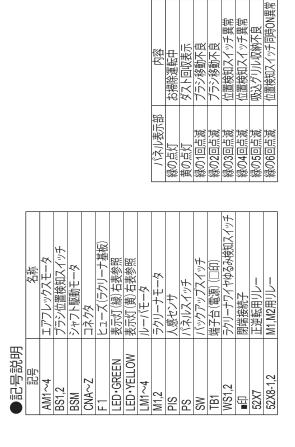
PJF000Z674

FDTZP635SA, 715SA, 805SA, 1605SA FDTKP565SA, 1125SA, 1605SA

注(1) 本図はお掃除パネル部分について示しています。エアコン本体側部分については,前ページをご覧ください。

CNJ1 >= 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 NS/ CNL3 3 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 2 3 4 CNY3 SS □ |ラクリーナ基板| お掃除基板 | CNW3 CNV |3 シロ シロ |123456 室内ユニット基板 CNV3 3 CNW0 52X8-2 CNV4 CNW5 52X8-1 π<u>ξ</u> 3 1 CNY 3 部 2 cNY2 CNL1 CNY5 M (R) S 電源線 112 信号線 3 WS1 7 WS2 1 室内外接続線

PIS



PJF000Z651

PJF000Z675

表示基板

805, 905, 1125, 1405, 1605LXA

365, 455, 565, 715,

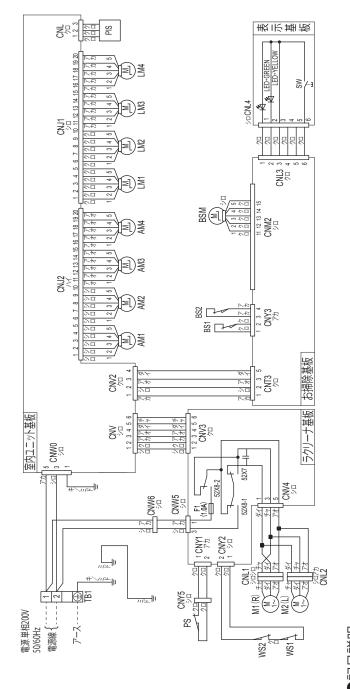
FDTP285,

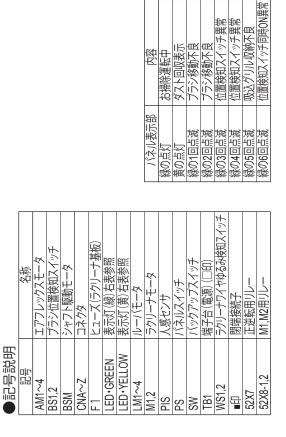
ドレン試運転 示灯(緑-マイコン正常表 示灯(赤-点検表示) 室内アドレスNo 1000/ 機種容量切替 運転子ェック・ドレブ試 端子台(電源)(川印) 端子台(通信)(川印) リモコン付属温度センサ 吸込空気温度センサ 吹出空気温度センサ 軟出空気温度センサ FLXN0.100 57XN0.10 Ī 記号説明 Thi-R1,2,3 WS1,2 LED·3 LED·3 LM1~4 SW4 SW5-1 SW5-2 SW6 XR5 (遠方操作:無電圧接点) Thi-AF 3 Thi-R2 Thi-R1 | 冷暖フリーマルチ用 Thi-R3 오 PIS S D 1/2 オプション (遠方操作:無電圧接点) 「 」 オプション Z Z Z SN4 농# * +12 CNT2 3 滤 CNTA +12 CNJ1 2011 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 P)\{ 몽 PE 욼무 [1] [1] JSL1 スーパーリンク(予備) CNK2 2ロ 4 3 2 1 CNV2 SW7 SW6 (注) 本図はエアコン本体部分について示しています。お掃除パネル部分については、次ページをご覧ください。 LED-2 LED-3 SW1 SW2 SW3 SW4 1605M1A **≧**(≥1) CNJ2 //7 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11121314151617181920 [P] SW5 NS. ₹(F) 電源回路 (2.0A) 905, 1125, 1405, 0WN (#1:6) 200 4 1 <u>\$</u>" 室内ユニット基板 % SK2 805, 182 A Y 23 B 73 B 73 ラクリーナ基板 PS (201) 2 CNY2 715, 電源 室内ユニット間接続線 一 14 July 1 ネットワーク信号線 スーパーリング) 565, 電源 コネクタ 単相200V 電源線 50/60Hz 365, 455, PJF000Z699 PJF000Z703 GTP285, PJF000Z707 PJF000Z714 PJF000Z718

- 15 -

PJF000Z722

注(1) 本図はお掃除パネル部分について示しています。エアコン本体側部分については,前ページをご覧ください。 FDTP285, 365, 455, 565, 715, 805, 905, 1125, 1405, 1605LXA GTP285, 365, 455, 565, 715, 805, 905, 1125, 1405, 1605M1A





PJF000Z652 PJF000Z653

3.3 エアコン本体据付説明書

本説明書は、室内ユニットの据付方法を記載してあります。 PJF012D050

電気配線(室内ユニット)は、電気配線工事説明書をご覧ください。リモコンの取付方法は、リモコン付属の説明書をご覧ください。 ワイヤレスキットの取付方法は、ワイヤレスキット付属の説明書をご覧ください。

室外ユニットの据付方法、電気配線(室外ユニット)および冷媒配管工事方法は、室外ユニットに付属の説明書をご覧ください。また、故障診断は、室内ユニットの結線銘板をご覧ください。

本室内ユニットは必ずパネルを取付けてご使用ください。

この室内ユニットは、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。また、海外においてはアフターサービスもできません。

安全上のご注意

- ●据付工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
- ●ここに示した注意事項は、<u>△書告、△注意</u>、に区分していますが、誤った据付をした時に、死亡や重傷等の重大な結果に結びつく可能性が大きいものを特に<u>△書告</u>の欄にまとめて記載しています。しかし、<u>△注意</u>の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- ●ここで使われる"図記号"の意味は右のとおりです。 絶対に行わない 必ず指示に従い行う
- ●据付工事完了後、試運転を行い、異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそって、「安全上のご注意」や正しい使用 方法・お手入れの仕方(エアフィルタの清掃、運転操作の仕方、温度調節の方法など)をお客様に説明してください。 この据付説明書は取扱説明書と共にお客様で保管いただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新 しくお使いになる方に取扱説明書などをお渡しいただくよう依頼してください。

しくお使いになる方に取扱説明書などをお渡しいただくよう依頼してください。 	
⚠警告	
●据付は、お買い上げの販売店または専門業者に依頼する。 ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災、室内ユニット落下によるケガの原因になります。	
●据付工事は、この据付説明書に従って確実に行う。 据付に不備があると破裂・ケガの原因となり、また水漏れや感電・火災などの原因になります。)
●小部屋に据付ける場合は万一冷媒が漏れても、限界濃度を超えない対策をする。(JRA GL-13) 限界濃度を超えない対策については、販売店と相談して据付ける。万一、冷媒が漏洩して限界濃度を超えると酸欠事故の原因になります。)
●設置工事部品は必ず付属品および指定の部品を使用する。 当社指定の部品を使用しないと、室内ユニット落下、水漏れ、火災、感電などの原因になります。	
●作業中に冷媒が漏れた場合は換気をする。 冷媒が火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。)
●据付は、重量に十分耐える所に確実に行う。 強度が不足している場合は、室内ユニットの落下などにより、ケガの原因になります。)
●台風などの強風、地震に備え、所定の据付工事を行う。 据付工事に不備があると、転倒などによる事故の原因になります。)
●室内ユニットの設置や移設の場合、冷凍サイクル内に指定冷媒以外の空気などを入れない。 空気などが混入すると冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂、ケガなどの原因になります。)
●電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。)
電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災などの原因になります。 ●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。 接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災などの原因になります。	
接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災などの原因になります。 ●室内外ユニット間の配線は、端子カバーが浮き上がらないように整形し、カバーを確実に取付ける。 カバーの取付が不完全な場合は、端子接続部の発熱、火災、感電などの原因になります。	
●据付工事完了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認する。 冷媒が室内に漏れ、ファンヒータ、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。	,
●配管、フレアナット、工具は R32 用または R410A 用を使用する。 既存 (R22) の部材を使用すると、機器の故障と同時に冷凍サイクルの破裂などの重大な事故の原因になります。	,
●フレアナットは、トルクレンチで指定の方法で締付ける。 フレアナットの締付過ぎがあると、長期経過後フレアナットが割れ冷媒漏れの原因になります。	,
●ドレン配管はイオウ系ガス等有毒ガスの発生する排水溝に直接入れない。 室内に有毒ガスが侵入し、中毒や酸素欠乏になる恐れがあります。また、室内ユニットを腐食させ、故障や冷媒漏れの原因になります。)
●据付作業では圧縮機を運転する前に確実に冷媒配管を取付ける。 冷媒配管を取付けておらず、サービスバルブ開放状態で圧縮機を運転すると、空気などを吸引し、冷凍サイクル内が異常高圧に なり、破裂、ケガなどの原因になります。	,
●ポンプダウン作業では、サービスバルブを閉じた後配管を外す前に圧縮機を停止する。 圧縮機を運転したままサービスバルブ開放状態で冷媒配管を外すと空気などを吸引し、冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂、 ケガなどの原因になります。	,
●オプション部品は、必ず当社指定の部品を使用する。また取付は専門業者に依頼する。 ご自分で取付をされ、不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。	
●改修は絶対にしない。また、修理はお買い上げの販売店に相談する。 修理に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。)
●エアコンを移動再設置する場合は、販売店または専門業者に相談する。 据付に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。	
●エアコンの修理・点検作業に際して「電源ブレーカ」を必ず OFF する。 点検・修理にあたって、電源ブレーカが O N のままだと、感電およびファン回転によるケガの原因になります。)
●パネルやガードを外した状態で運転しない。 機器の回転物、高温部、高電圧部に触れると、巻き込まれたり、やけどや感電によるケガの原因になります。)
●元電源を切った後に電気工事を行う。 感電、故障や動作不良の原因になります。	IJ

<u></u>	
●アース (接地) を確実に行う。 アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アース (接地) が不完全な場合は、故障や漏電のとき感電や火災の原因になることがあります。	•
●漏電しや断器は必ず取付ける。 漏電しゃ断器が取付けられていないと感電や火災の原因になることがあります。	0
●正しい容量の全極しゃ断するブレーカ(漏電しゃ断器・手元開閉器(開閉器+B種ヒューズ)・配線しゃ断器)を使用する。 不適切な容量のブレーカを使用すると故障や火災の原因になることがあります。	0
●正しい容量のヒューズ以外は使用しない。 針金や銅線を使用すると故障や火災の原因になることがあります。 ●可燃性ガスの漏れる恐れのある場所への設置は行わない。	\bigcirc
● 「カスの場合である。」	0
所での据付、使用は行わない。 熱交の腐食、プラスチック部品の破損などの原因になることがあります。また可燃性ガスは発火の原因になることがあります。	0
●工事、点検、メンテナンス作業のための規定のスペースを確保してください。 スペースが不足する場合は、設置場所からの転落によるケガの原因になることがあります。	0
●洗濯室など、水の掛かる所では使用しない。 室内ユニットは水の浸入に対する保護はしておりません。水が掛かると感電、火災などの原因になることがあります。 ●食品・動植物・精密機器・美術品の保存など特殊用途には使用しない。	\bigcirc
保存物の品質低下などの原因になることがあります。 ●病院、通信事業所などの電磁波を発生する機器、高周波の発生する機器の近くでは据付、使用しない。	\bigcirc
インバータ機器、自家発電機、高周波医療機器、無線通信機器の影響によるエアコンの誤作動や故障の原因になったり、エアコン側から 医療機器あるいは通信機器へ影響を与え人体の医療行為を妨げたり、映像放送の乱れや雑音など弊害の原因になることがあります。	0
●直射日光の当たる所にリモコンを設置しない。 リモコンの故障や変形の原因になることがあります。	0
●次の場所への据付は避ける。 ・可燃性ガスの漏れる恐れがある所 ・硫黄系ガス・塩素系ガス・酸・アルカリ・アンモニアなど、・カーボン繊維や金属粉、パウダーなどが浮遊する所	
機器に影響する物質の発生する所 ・車両・船舶等移動するものへの設置 ・油の飛沫や蒸気が多い所(調理場、機械工場など) ・化粧品、特殊なスプレーを頻繁に使用する所 ・ 高周波を発生する機械を使用する所 ・ 積雪の多い所	\Diamond
・ 海浜地区等塩分の多い所 ・ 接高1000m以上の所 性能を著しく低下させたり、部品が腐食、破損したりする原因になることがあります。	
●次の場所への室内ユニットの据付は避ける。(機種により異なる制限があるので、その指示に従うこと)。 ・吸込口、吹出口に風の障害物がある所	
・・強度が不十分で振動が発生する所 ・ワイヤレス機の場合、受光部に直接太陽光や強い光が当たる所 ・・高周波に影響される機器のある所(TV およびラジオ等の近傍)	\Diamond
・ドレンの排水がとれない所 性能や機能等に影響をおよぼす原因になります。	
●室内ユニットの下部には、濡れて困るものは置かない。 湿度が 80% 以上の時や、ドレン排水が詰まった場合に、室内ユニットから露が滴下し損害が生じることがあります。	\bigcirc
●長期使用で傷んだままの据付け台を使用しない。 傷んだ状態で放置すると室内ユニットの落下につながり、ケガなどの原因になることがあります。	\bigcirc
●室内ユニット近くで溶接作業を行う場合は十分注意し、室内ユニット内へのスパッタの侵入を防止する。 溶接作業時などに発生するスパッタが室内ユニットにあたった場合、ドレンパンなどに損傷(ピンホール)をあたえ、水漏れなどの原因になることがあります。室内ユニット内へのスパッタの侵入を防ぐため梱包状態のままとしておくか、覆いなどにより必ずカバーをしてください。	0
●ドレン工事は、据付説明書に従って確実に排水するように配管する。 不確実な場合、屋内に浸水し、家財などを濡らす原因になることがあります。	0
●GHP〔ガスヒートポンプ〕の場合、室外ユニットの排気ドレン管と室内ユニットの排水ドレン管は共用しない。 室内に有毒ガスが流入し、中毒や酸素欠乏になることがあります。	<u>Q</u>
●冷媒配管工事終了後は窒素ガスによる気密試験を行い、漏れのないことを確認してください。 万一、狭い部屋に冷媒ガスが漏洩して限界濃度を超えると酸欠事故の原因となることがあります。 ●ドレン配管は下り勾配(1/100以上)とし、途中山越えやトラップを作らない。また、ドレン配管にエア抜きは、絶対に設け	0
ない。 試運転時にドレン排水が確実に行われていることを確認する。また、点検・メンテナンス作業のためのスペースを確保する。	\bigcirc
●冷媒配管の断熱は結露しないように確実に行う。 不完全な断熱施工を行うと配管など表面が結露して、露たれなどを発生し、天井・床その他、大切なものを濡らす原因になることがあります。	0
●室外ユニットは、小動物のすみかになるような場所に設置しない。 小動物が侵入して、内部の電気部品に触れると、故障や発煙・発火の原因になることがあります。 また、お客様に周辺をきれいに保つことをお願いしてください。	\Diamond
●製品の運搬は十分注意して行う。 20kg 以上の製品は原則として 2 人以上で行ってください。PP バンドなど所定の位置以外をもって製品を動かさないで下さい。 素手でフィンなどに触れるとケガをする場合がありますので保護具をご使用ください。	0
※子でフィンなどに触れるとりがをする場合がありますので休護具をこ使用ください。 ●梱包材の処理は確実に行う。 梱包材にクギなどの金属あるいは、木片などを使用していますので放置状態にしますとケガをすることがあります。	0
●フィルタをはずしたまま運転しない。 内部に油・ゴミなどが詰まり、故障の原因になることがあります。	O
●濡れた手でスイッチを操作しない。 感電の原因になることがあります。	\bigcirc
●運転中の冷媒配管を素手で触れない。 運転中の冷媒配管は流れる冷媒の状態により低温と高温になります。素手で触れると凍傷や、やけどになることがあります。	0
●エアコンを水洗いしない。	
●建和序址は、すべに电泳と切りない。 必ず5分以上待ってください。水漏れや故障の原因になることがあります。 ●電源ブレーカによるエアコンの運転や停止をしない。	
火災や水漏れの原因になることがあります。ファンが突然回り、ケガの原因になることがあります。	

①据付前に

- ●据付はこの据付説明書に従って正しく行ってください。
- ●次の項目を確認してください。
 - ○機種・電源仕様 ○配管・配線・小物部品 ○付属品

付属品

室内ユニッ	室内ユニット吊り込み用 冷媒配管用			ドレン配管用					
平座金 (M10)	レベルゲージ および 平座金仮固定	パイプ カバー(大)	パイプ カバー(小)	バンド	パイプ カバー(大)	パイプ カバー(小)	ドレン ホース	ホース クランプ	抗菌材
0	######################################								
8個	1個	1個	1個	4本	1個	1個	1個	1個	1個
吊りボルト用	室内ユニットの 位置調整および吊り 込み時の補助用	ガス管 断熱用	液管 断熱用	パイプ カバー 固定用	ドレン ソケット 断熱用	ドレン ソケット 断熱用	ドレン配管 接続用	ドレン ホース 取付用	ドレンパン 防汚用

②室内ユニットの据付場所の選定

- ①据付場所は、下記条件に合う場所をお客様の承認を得て選んでください。
 - ・冷風または温風が十分に行きわたる所。
 - 据付高さが3mを超えると暖気が天井にこもりますので、サーキュレータの併設をご指導ください。 人感センサを使用する場合、据付け高さは 4m 以内としてください。センサ感度が鈍くなり、検知しにくくなります。
 - ・据付・サービス時の作業スペースが確保できる所。
 - ・ドレン排水が確実にできる所。ドレン勾配のとれる所。
 - ・吸込口、吹出口に風の障害のない所。火災報知器の誤作動しない所。ショートサーキットしない所。
 - ・侵入外気の影響のない所。
 - ・直射日光の当たらない所。
 - ・周囲の露点温度が28℃以下、相対湿度80%以下の所。

「本室内ユニットは JIS 露付条件(室内:27℃ /78% RH)にて試験を行い、不具合のないことを確認しておりますが、室内ユニット周囲 が上記条件以上の高湿度雰囲気の状態で運転すると水滴が落下する恐れがあります。そのような条件下で使用する可能性がある場合は、 「室内ユニットの全ておよび配管、ドレン配管にさらに10~20mmの断熱材を取付けてください。

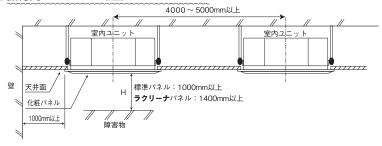
- ・テレビ、ラジオより1m以上離れた所。(映像の乱れや雑音が生じることがあります。)
- ・室内ユニット真下に食品・食器やパソコン・サーバー、医療機器など濡れて困るものを置かない所。
- ・調理器具が発する熱の影響を受けない所。
- ・フライヤーの真上など油・粉・蒸気などを直接吸込まない所。
- ・蛍光灯、白熱灯よりできるだけ離れた所。

ワイヤレス機種の場合、ワイヤレスリモコンでの正常な操作ができなくなることがあります。

- ②据付けようとする場所が室内ユニット重量に耐えられるかどうか検討し、危険と思われましたら板、桁等で補強して据付作業を行ってください。強度不足の場合は、室内ユニット落下によるケガの原因になります。
- ③ワイヤレス機種を2台以上据付ける場合は、混信による誤動作を防止するため室内ユニット間を6 m以上離してください。
- ④室内ユニットを隣接して設置する場合は、室内ユニット間距離を4~5m以上離して設置してください。

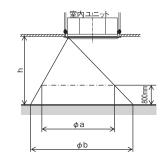
室内ユニット据付スペース

- ●室内ユニットー壁、室内ユニットー室内ユニット間など、間隔がとれない場合は、 そちら側の吹出口をしゃ風しショートサーキットしないことを確認してください。
- ●据付高さは2.5m以上としてください。



埋設配管途中に配管継手がある場合は、接続か所の 点検が可能なように点検口などを設けてください。

|人感センサ検知範囲の目安



天井高さ	h [m]	2.7	3.5	4.0
検知範囲①	φa [m]	約 4.5	約 6.4	約 7.6
検知範囲②	φb [m]	約 6.4	約 8.3	約 9.5

吹出パターンの設定

- ●部屋の形や据付位置に最適な吹出方向を4方向・3方向・2方向から選定してください。(1方向はできません。)
- ●吹出口数を変更する場合は、別売のしゃ風材を手配してください。
- ●2方向・3方向吹出の場合は風量「弱」での使用は避けてください。
- ●高温・多湿環境での2方向吹出は行わないでください。(結露・水漏れの原因になります。)
- ●吹出ルーバの上下位置の設定などによりさまざまな吹出パターンが設定できます。設定方法は取扱説明書をご覧ください。

③据付準備

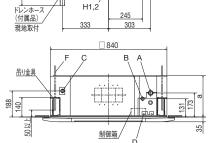
- ●吊りボルト長さが長くなる場合は耐震補強を実施してください。
- システム天井(グリッド天井・ライン天井)の場合

TE

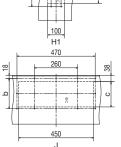
- 吊り長さ(吊りボルト長さ)500mm以上または天井ふところ高さ700mm以上の場合に耐震ブレースを設置してください。
- ○強度が十分にある天井面に設置され直接スラブから吊り下げる場合 吊り長さ(吊りボルト長さ)1000mm以上の場合に耐震ブレー
- スを設置してください。 ●吊りボルト・ナット・バネ座金(M10 or M8)を4組現地にて手配してください。

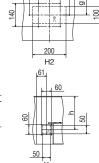
(mm)

シリーズ f h 天井開口穴・吊りボルトピッチ・各配管の位置 а b С d g 236 130 100 37 105 88 139 63.71 形 天井開口寸法 860~910 店舗シリーズ 吊りボルトピッチ P1 (770) 80.160 形 298 182 152 99 167 140 201 H1,2 129 ビル空調シリーズ ガスヒートポンプ 28~80形 236 130 100 37 105 88 139 .G 南 40 |90~160形|298 182 152 99 167 140 201 シリーズ 制御箱 H1,2 65 P2 H1.2 44 13 G 140 240 420 450 60, L 130 吊り



H1,2





記号	内容
Α	冷媒ガス側配管
В	冷媒液側配管
С	ドレン配管
D	電源取入口
F	吊りボルト
G	OA取入口
H1	吹出分岐ダクト接続口
H2	吹山の収タクト接続口
J	加湿器接続口
K	加湿器余剰水接続口

※吊りボルトピッチ P1、P2 は下表の パターンで調整可能です。

	322 3130 4 7	
記号 パターン	P1	P2
1	770	$725 \sim 770$
2	$770 \sim 800$	725

吊りボルト

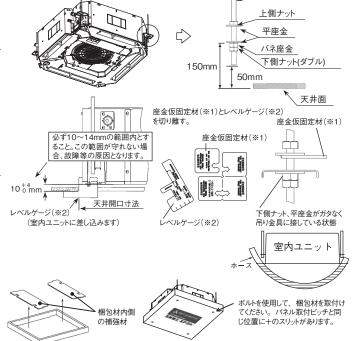
④室内ユニットの据付

作業手順

- 吊りボルト長さは、天井面より 50mm 程度としてください。
- 2. 吊りボルトの下側ナット(4か所)は、天井面から150mm 程度に 仮止めしてください。
- 3. 吊りボルトの上側ナット(4か所)は、室内ユニット吊り込みおよび 高さ調整時に支障のないよう、下側ナットから十分距離を取っ た位置に仮止めしてください。
- 4. 吊りボルトの上側ナットと上側座金(各4か所)を下側ナットから十 分な距離をとった状態で、座金仮固定材(※1)を吊りボルトに挿 しこんでください。上側座金が落下してきません。
- 5. 室内ユニットを吊り込んでください。
- 6. 室内ユニット吊り込み後、付属のレベルゲージ(※2)を室内ユニッ トの吹出口に取付け、室内ユニットの吊り込み高さを調整してく ださい。高さ調整は上側ナット(4か所)を緩めた状態で、下側ナッ ト(4か所)で調整してください。室内ユニット吊り金具(4か所)が 下側ナット,平座金にガタなく接していることを確認してください。
- 7. 座金仮固定材(4か所全て)を取外してください。
- 8. 室内ユニットの水平度を確認してください。水平度は水準器また は透明ホースに水を入れたものを使用して確認してください。 (室内ユニットの両端での高さ許容差は 3mm 以内)
- 9. 吊りボルトの上側ナット(4か所)を締付けてください。

室内ユニットの養生

●パネルをしばらくの間取付けられない場合、または室内ユニットを据付け後に天井材を貼る場合は、梱包材(天面ダ ンボール)を使用して、室内ユニットを養生してください。



室内ユニット据付時のお願い

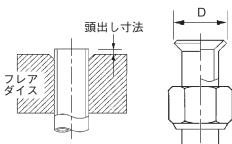
- ●上側ナットで高さ調整を行わないでください。室内ユニットに無理な力がかかり変形し、パネルが組付けできなかったり、ファン 干渉音が発生することがあります。
- ▶室内ユニットは必ず水平に据付け、室内ユニット下面と天井面の高さを正しく設置してください。据付に不備があると風漏れ、結 露・水漏れ、騒音の原因になります。
- ▶パネルを据付後、室内ユニット高さの微調整ができます。詳細はパネルの据付説明書をご覧ください。
- ●パネルと天井面、およびパネルと室内ユニットとの接触部は確実に密着させてください。隙間があると風漏れ、結露・水漏れの原 因になります。

⑤冷媒配管

冷媒配管時の注意事項

- ●冷媒配管は、新規配管をご使用ください。フレアナットは、製品付属のものまたは JIS B 8607 2種適合品をご使用ください。 他のフレアナット(1種)を使用すると冷媒漏れの原因となります。
 - 既設配管再利用の可否および洗浄方法については、室外ユニットの据付説明書またはカタログ・技術資料で確認してください。 1) 再利用する場合、フレアナットは流用せず室内ユニットに付属のものまたはJIS B 8607 2種適合品を使用してください。

 - 2) 再利用する場合、部分的に交換した新しい配管に、R32 用または R410A 用のフレア加工をしてください。



		フレア加工 頭	出し寸法 mm					
配管径 d	配管の 最小肉厚	リジッド(クラッチ式)		フレア外径	フレアナット 締付トルク			
mm	mm mm	R32 用 R410A 用	従来ツール	mm	N·m			
6.35	0.8	0 ~ 0.5					8.9 ~ 9.1	14 ~ 18
9.52	0.8				12.8 ~ 13.2	34 ~ 42		
12.7	0.8		0.7 ~ 1.3	16.2 ~ 16.6	49 ~ 61			
15.88	1				19.3 ~ 19.7	68 ~ 82		
19.05	1.2			23.6 ~ 24.0	100 ~ 120			

●冷媒配管は、リン脱酸銅合金継目無銅管(C1220T、JIS H 3300)をご使用ください。 <断熱材厚さ10mmを使用する場合> また管の内外面は美麗であり、使用上有害な硫黄、酸化物、ゴミ、切粉等(コンタミ)の 付着がないことを確認してください。

冷媒配管の内部にコンタミの付着があると冷凍機油劣化などの原因になります。

●指定冷媒以外は使用しないでください。

指定冷媒以外を使用すると、冷凍機油劣化などの原因になります。また空気などが混入 すると、異常高圧になり、破裂などの原因になります。指定冷媒は室外ユニットの形式ラ ベルをご覧ください。

- ●据付に使用する配管は屋内に保管し、両端ともろう付する直前までシールしてください。 冷媒回路内に埃、ゴミ、水分が混入すると、油の劣化・圧縮機の故障の原因になります。
- ●工具はR32用またはR410A用の工具を使用してください。

作業手順

- 1. 室内ユニットのフレアナットおよびキャップを取外してください。 ※室内ユニットの配管端部のフレアナットは、必ずスパナで2丁掛けして外してください。 (このときガスが出ることがありますが、異常ではありません。)
- ●フレアナット飛びに注意してください。(内部に圧力がかかっている場合があります。)
- 2. 液管・ガス管をフレア加工し、右図に示すように冷媒配管を接続してください。 ※配管の曲げは4D以上の大きな半径で行い、曲げなおしを行わないでください。 また配管をねじったり、2/3D以下につぶしたりしないでください。
 - ※フレア接続は、以下のように行ってください。
 - ・フレアナット接続時は、フレア中心を合わせ、最初手回しで3~4回転ねじ込み、 2丁スパナ掛けで表の締付力で締めてください。
- 3. 室内ユニットのフレア部は、ガス漏れチェック後、右図に示すように断熱材をかぶせ、 バンドでしっかりと締付けてください。
 - ●ガス側配管、液側配管とも断熱は完全に行ってください。 ※配管は断熱しないと結露し水漏れします。
 - ●ガス側配管の断熱材は耐熱 120℃以上のものを使用してください。
 - ●高湿度雰囲気で使用する場合は設置環境に合わせて、冷媒配 管の断熱を強化してください。強化しない場合は断熱材表面 に結露することがあります。
- 4. 冷媒は室外ユニットに充填されています。 室内ユニットおよび接続配管分の冷媒追加量については室外 ユニットに付属の据付説明書をご覧ください。

同一締付トルクでも、ユニオンのねじ部に冷凍機油を塗布した場 合は、ねじ部摺動摩擦力が下がることにより、軸方向分力が増加 してフレアの応力腐食割れの原因となることがあるため、ユニオ ンねじ部、またはフレア外面への冷凍機油塗布は推奨しません。 冷凍機油を塗布する場合は、フレア内面へのみとしてください。

室内ユニット スパナ フレアナット ユニオン トルクレンチ

現地配管断熱材

パイプカバー(付属品)

ド(付属品)

バンド(付属品)

バンド(現地手配)

現地配管断熱材厚さ(10mm)

<断熱材を強化する場合>パイプカバー(現地手配)

/ 室内 ユニ<u>ット</u>

室内 ユニット

⑥ドレン配管

ドレン配管時の注意事項

- ●ドレン工事は、据付説明書に従って確実に排水するように配管してください。 不確実な場合、屋内に浸水し、家財等を濡らす原因になることがあります。
- ●ドレン配管はイオウ系ガスなど有害ガスおよび可燃性ガスが発生する排水溝には、入れないでください。 室内に有害ガスおよび可燃性ガスが流入し、中毒や酸素欠乏になることがあります。また熱交換器の腐食、異臭の原因になります。
- ●接続部から水漏れのないように確実に施工してください。
- ●水漏れが起こらないように、断熱工事を確実に行ってください。
- ●施工後、ドレンが排水されていることを、室内ユニットのドレン口およびドレン配管最終出口部で確認してください。
- ●ドレン配管は下り勾配(1/100 以上)とし、途中山越えやトラップを作らないでください。また、ドレン配管にエア抜きは、絶対に 設けないでください。

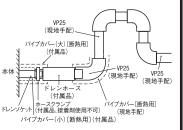
試運転時にドレン排水が確実に行われていることを確認してください。また、点検・メンテナンス作業のためのスペースを確保してください。

⑥ドレン配管

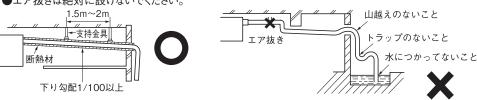
作業手順

- 1. 付属のドレンホースの軟質側にホースクランプを诵し、ソケットの段差部まで確実に挿入してください。 その際、ホースクランプのねじが室内ユニットの外側になる位置にし、ボルトが鉛直方向になるようにしてください。
 - ●接着剤使用不可
- 2. ホースクランプはドレンホースの断熱材に接触する位置で、ねじを締付けてください。
- 3. ねじを数回回転させて締付けが固くなる位置まで締付け、それ以上に締付けないでください。





- 4. VP25用継手やエルボ、配管(いずれも現地手配)を接続してください。 ※ドレン管は、市販の硬質塩ビパイプー般管VP25を使用してください。
 - ●接着剤は付属のドレンホース内部に流れ込まないようにしてください。
 - 乾燥後、フレキ部に力が加わった場合、フレキ部が破損することがあります。 ●ドレンホースは、室内ユニットあるいはドレン配管の据付け時の微小なズレを吸収するためのものです。故意
- に曲げたり、引っ張って使用された場合は、破損し、水漏れに至ることがあります。 5. ドレン配管は下り勾配(1/100以上)としてください。不可能な場合はドレンアップしてください。 途中山越えやトラップを作らないように施工してください。
 - ●ドレン配管を接続する場合に室内ユニット側の配管に力が加えないように注意して行い、できる限り室内ユニッ ト近傍で配管を固定してください。
 - ●エア抜きは絶対に設けないでください。

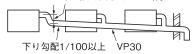


エア溜ができると 音が発生します

3 /20mm以上

●複数台のドレン配管の場合、室内ユニットドレン出口より約100mm下に 集合配管がくるようにしてください。 また集合配管はVP30以上を使用してください。

できる限り大きくとる(約100mm)

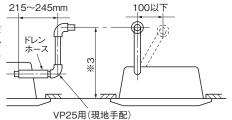


- 6. ドレン配管の断熱施工を行ってください。
 - ●結露が発生し、水漏れをおこすおそれがありますので、ドレンソケット部および室内にある硬質塩ビパイプは確実に断熱してください。 ※ドレンソケット部は、排水テスト実施後、付属のパイプカバー(小)をドレンソケット部に装着した後、付属のパイプカバー(大)にてパイプ カバー(小)、クランプおよびドレンホースの一部を覆い、テープにより隙間のないように巻いてください。

ドレンアップする場合

●ドレン配管の出口高さは、天井面より850mmまたは960mm(※3)まで高くすることができま す。天井内に障害物などがある場合、エルボなどを用いて施工してください。この場合、ドレ ン配管を立ち上げるまでの距離が長いと、運転停止時におけるドレン逆流量が多くなり、オ バーフローすることがありますので、右図寸法内で処理願います。

※3: お掃除ラクリーナパネルの場合: 960 mm以下、かつ天井に接触しない高さ以上 お掃除ラクリーナパネル以外の場合:850mm以下、かつ天井に接触しない高さ以上



ドレン排水テスト

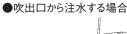
- ●ドレン配管工事の完了後に、排水が確実に行われていることを、接続部および室内ユニットのドレンパン部から水漏れのないこ とを確認してください。このとき、ドレンポンプのモータ音に異常がないことも確認してください。
- ●暖房期の据付の際にも必ず実施してください。
- ●新築の場合には天井を張る前に実施してください。
- 1. 室内ユニットドレンパンの中へ水を約1000cc 注水してください。注水時は、ドレンポンプなどの電機部品に水をかけないようにしてください。 注水は、吹出口から給水ポンプなどを使用するか、冷媒配管取出し部の注水口から行ってください。
- 2. ドレン排水が確実に行われること、ドレン配管接続部か ら水漏れのないことを確認してください。

ドレンポンプの回転音を確認しながら排水するかどうかを テストしてください。ドレン排水の確認は、ドレンソケッ ト部(透明)より確認できます。

3. 排水テスト後は、ドレンプラグを外して水抜きを行ってく ださい。

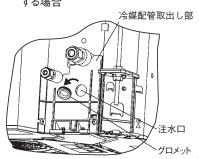
水抜き確認後は、ドレンプラグを元通りにはめ込んでく ださい。ドレン配管の断熱を室内ユニット部まで完全に 行ってください。

リッドを外して注水した場合は、リッドを装着しなおしてく ださい。





●冷媒配管取出し部の注水口から注水 する場合



⑥ドレン配管のつづき

ドレンポンプ運転方法

○電気配線工事が完了している場合

ドレンポンプの運転がリモコン(ワイヤード)操作により可能です。運転操作方法は、電気配線工事説明書の「ドレンポンプ運転操作」をご覧ください。

○電源が供給されている場合

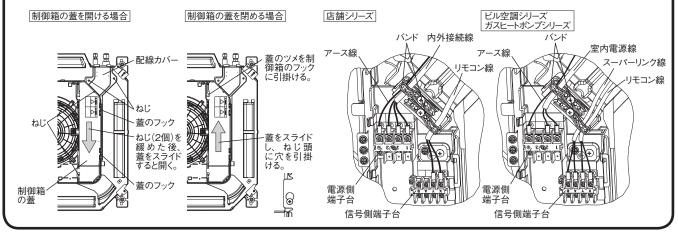
室内ユニット基板上のSW7-1をONにし、かつ、基板上のコネクタCnBを抜いた後、電源ON(端子台①、②へAC200V)すると、ドレンポンプのみ連続運転します。ドレン排水確認後は、必ずSW7-1を元の状態(OFF)に戻し、かつ、基板上のコネクタCnBを差込んでください。

○電源が供給されていない場合

ドレンポンプ試運転用チェッカ(別売)でドレンポンプを運転することが可能です。操作方法はドレンポンプ試運転チェッカに付属の取扱説明書を ご覧ください。

⑦電気配線取出位置および電気配線接続

- ●電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」「内線規程」および電気配線工事説明書に従って施工し、必 ず専用回路を使用してください。
- ●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定してください。
- ●電源線と信号線は同一経路を通さないようにしてください。誤動作や故障の原因になることがあります。
- ●D種接地工事を必ず行ってください。
- ●電気配線工事の詳細は、付属の電気配線工事説明書をご覧ください。
- 1. 制御箱の蓋のねじ(2個)を緩め、蓋を図の矢印の方向にスライドして ください。蓋を開くことができます。
- 2. 蓋のフックを制御箱の穴から外して、蓋を取外してください。3. 配線カバーのねじ(2個)を取外して、配線カバーを取外してください。
- 4. 各配線を制御箱内に入れ、端子台に確実に接続してください。
 - 5. 各配線をバンドで固定してください。
 - 6. 配線カバー,制御箱の蓋を取付けてください。

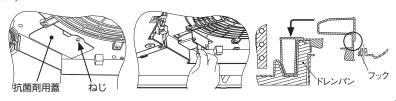


⑧抗菌剤の取付

- ●付属の抗菌剤ケースをドレンパン内に取付けてください。抗菌剤ケースの中に抗菌剤が入っています。
- ●抗菌剤ケースの取付は室内ユニットを吊った後に実施してください。室内ユニットが天地逆では取付けられません。

作業手順 (付属抗菌剤の交換目安:冷房1シーズン)

- 1. 抗菌剤用蓋のねじ(1個)を取外し、抗菌剤用 蓋を取外してください。
- 取出口から抗菌剤を取付けてください。 抗菌剤ケースのフックの奥まで、ドレンパン が達するように取付けてください。
- 抗菌剤用蓋を取付けてください。風漏れや異 常音の原因となります。



9パネルの取付

- ●パネルは、電気配線工事完了後に、室内ユニットに取付けてください。
- ●パネルの取付方法は、パネル付属の据付説明書をご覧ください。

⑩室内ユニット据付工事完了後のチェック項目

●室内ユニット・パネル据付工事、電気配線工事完了後、下記項目についてチェック願います。

チェック項目	不良の場合	チェック欄
室内外ユニットの取付はしっかりしていますか。	落下、振動、騒音	
ガス漏れ検査は行いましたか。	冷えない	
断熱は完全に行いましたか。	水漏れ	
ドレン排水はスムーズに流れていますか。	水漏れ	
電源電圧は室内ユニットの銘板と同じですか。	運転不能・焼損	

⑩室内ユニット据付工事完了後のチェック項目のつづき

チェック項目	不良の場合	チェック欄
誤配線・誤配管はありませんか。	運転不能・焼損	
アース工事はされていますか。	漏電時危険	
配線の太さは仕様通りですか。	運転不能・焼損	
室内外ユニットの吸込・吹出口が障害物でふさがれていませんか。	冷えない	

①ドレンパン汚れ確認、ドレンポンプ吸込口清掃(メンテナンス)

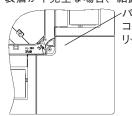
ドレンパン汚れ確認方法

- ●パネルを取外さずに、ドレンパンの汚れやドレンポンプ吸込口の状況を確認できます。 (高性能フィルタなどのオプションスペーサやお掃除パネルの取付時は確認できません。)

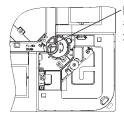
 1. パネル吸込グリルを開け、ドレンポンプ側のパネルコーナリッドを取外してください。

 2. パネルコーナにあるドレンキャップカバー(ねじ1個)を取外してください。

- ドレンキャップからドレンパンの汚れやドレンポンプ吸込口を確認してください。汚れが多い場合はドレンパンを取外し、清 --掃してください。
- 取外したドレンキャップカバーは確実に装着してください。 装着が不完全な場合、結露・水漏れの原因となります。



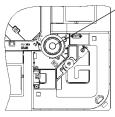




キャップ カバー



ドレン キャップ

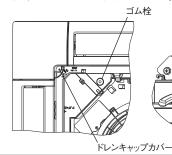


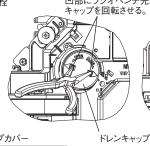
ドレン ポンプ 吸込口

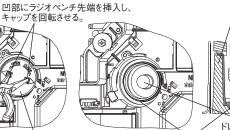
ドレンポンプ吸込口の清掃

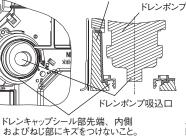
- ●パネルやドレンパンを取外さず、ドレンキャップを取外すことでドレンポンプ吸込口およびその付近の清掃ができます。 (高性能フィルタなどのオプションスペーサやお掃除パネルの取付時は確認できません。)

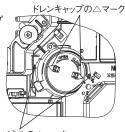
- ●ドレンキャップを取外す前に、ゴム栓を取外してドレンパン内のドレンを排水してください。
 1. 前述のようにドレンキャップカバーを取外してください。
 2. ドレンキャップの凹部(2か所)にラジオペンチの先を挿入し、反時計回りに約1回転するとドレンキャップを取外せます。
 - ドレンポンプ吸込口を清掃する場合はプラスチック製の道具を使用してください。金属製の道具を使用するとドレンキャップ取付部をキズつけ、水漏れの原因になります。
- ドレンキャップを取付ける前に、流水で水洗いし、**ドレンキャップ内側の異物を取除いてください**。異物が付着したままドレ ンキャップを取付けると水漏れの原因になります。
- ドレンキャップの取付は、ラジオペンチでドレンキャップの凹部を使用して取付けてください。時計回りに約1回転させ、 **キャップが回転しなくなるまで締付けてください。**キャップが1回転以上回転しない場合は正しく取付けられていません。 一度、ドレンキャップを取外し、改めて取付け直してください。 ドレンキャップが一般、ドレンキャップの△マークがパネルの△マーク付近にあることを確認してください。ドレンキャップ
- の△マークがパネルの△マーク付近にない場合は、増し締めしてください。
- 7. 取外したドレンキャップカバー,ゴム栓は確実に装着してください。装着が不完全な場合、結露・水漏れの原因となります。







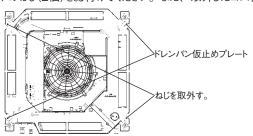


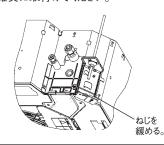


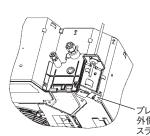
パネルの ヘマー ドレンキャップの△がパネルの△ 付近になるまで締付けること。

ドレンパン取外し時の注意事項

- ●ドレンパンを取外す前に、ドレンパン内のドレンを排水してください。ゴム栓を取外して排水してください。
- ●ドレンパンは仮止めプレートで仮止めされています。ドレンパン取付ねじ(2個)を取外し、仮止めプレートのねじ(2個)を緩めてください。 仮止めプレートをドレンパンの外側にスライドしてください。ドレンパンを取外せます。
- ●ドレンパン取付時は、仮止めプレートを内側にスライドし、ドレンパンを仮止めしてください。 その後、ドレンパン取付ねじ(2個)と仮止めプレー トのねじ(2個)を締付けてください。また、取外したゴム栓は確実に取付けてください。







3.4 パネル据付説明書

(1) 標準パネル,エアフレックスパネル,ラクリーナパネル

パネル形式:標準パネル;T-PSA-5BW, T-PSA-5ASB, T-PSA-5AC エアフレックスパネル;T-PSAE-5BW, T-PSAE-5ASB ラクリーナパネル;T-PSCL-5BW. T-PSCL-5ASB

室内ユニットの据付説明書と共にお読みください。

PJF012D032

♪ 警告

●配線は、確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。 接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。



●元電源を切った後に電気工事をする。 感電、故障や動作不良の原因になります。



機能名称について

機能の名称の意味は下記のとおりです。

エアフレックス : ドラフト防止機能

ラクリーナ : エアフィルタ自動昇降機能

お願い <ラクリーナパネルの場合>

- ・吸込グリルの動作範囲の周辺および下方30cm以内に障害物を置かないでください。
- ・電源投入前にパネルを取付けた場合は吸込グリルの昇降動作はできません。
- ・電源投入前に吸込グリルを収納する場合は、付属のクランプで仮固定する事ができます。
- ・電源投入後は付属のクランプを外してあることを確認してから昇降動作を行ってください。
- ・吸込グリル取付後の初回はリモコンで「上げる」の操作を行い、吸込グリルを正規位置に収納してください。(マイコンが収納位置を記憶します。)
- ・ワイヤは、折曲げ、ねじり、噛込み等により傷つけたり、たばこ等の火が触れないようにしてください。

① 据付の前に

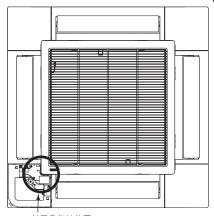
- ・据付けはこの説明書に従って正しく行ってください。
- ・次の項目を確認してください。
- ○パネル・リモコンのタイプ
- ○付属品

付属品

1 7 11-21 111			
ボルト		4本	パネル取付用
ストラップ		4本	コーナリッド落下防止用
クランプ	(S)	4本	吸込グリル仮止用 (ラクリーナパネル)
ねじ	٩	4本	コーナリッド固定用*1

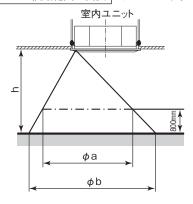
注1:*1 ラクリーナパネルの場合、吸込グリル仮止クランプ固定用にも使用します。

注2:付属品はコーナリッドを外した位置にあります。



付属品収納位置

| 人感センサ検知範囲の目安 | <エアフレックスパネル、ラクリーナパネル>



天井高さ	h [m]	2.7	3.5	4.0
検知範囲①	φa [m]	約4.5	約6.4	約7.6
検知範囲②	φb [m]	約6.4	約8.3	約9.5

② 室内ユニットの取付レベルの確認 〉

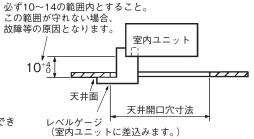
- ・室内ユニットの据付説明書と共にお読みください。
- ・室内ユニットに付属されているレベルゲージで室内ユニット高さおよび天井開口寸法が正しいことを確認してください。
- ・室内ユニットと天井材との取付レベルを確認してください。
- ・室内ユニット付属のレベルゲージを吹出口にセットし、 室内ユニットの吊り込み高さを調整してください。
- ・レベルゲージはパネル取付前に取外してください。

ご注意~

室内ユニットと天井材との高さは、パネル取付の際、パネルに無理な荷重がかからない高さにしてください。 パネルが変形し破損の恐れがあります。

・ 室内ユニットの取付高さはパネル取付後、コーナ開口部より微調整ができます。

(詳細は ⑥パネルの取付 をご参照ください。)



③ 吸込グリルの取外し

<標準パネル、エアフレックスパネルの場合>

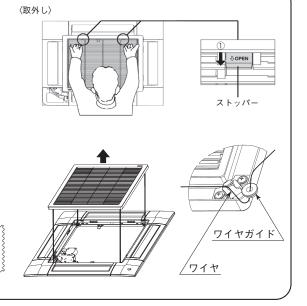
- 吸込グリルのストッパー(2か所)に指をかけて 「OPEN」の方向(矢印①)に押したまま吸込グリルを下方へ引くと吸込グリルが開きます。
- 2. 吸込グリルが開いた状態で吸込グリルのヒンジ 部をパネルから外します。

<ラクリーナパネルの場合>

- 1. 吸込グリルを少し持上げて、吸込グリルを開けます。
- 2. 吸込グリルの4コーナに取付けてあるワイヤガイドを 外側にスライドさせて外してください。

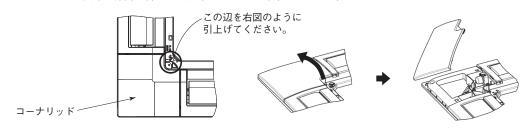
ご注意~

吸込グリルはゆっくり持上げてください。 ワイヤおよびワイヤガイドが破損する恐れがあります。



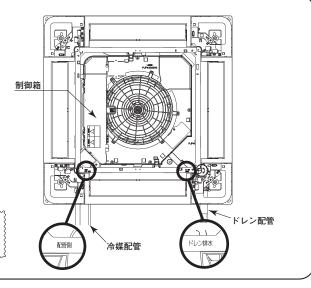
🌘 コーナリッドの取外し

・コーナリッドを矢印の方向へ引上げて取外してください。(4コーナとも)



⑤ パネルの取付方向

- ・パネルの取付方向は室内ユニットに対し方向性があり ます。
- ・パネルは、右図に示す方向で取付けてください。
- ・パネル吸込部の「ドレン排水」と室内ユニットのドレン配管の位置を合わせてください。
- ・パネル吸込部の「配管側」と室内ユニットの冷媒配管 の位置を合わせてください。

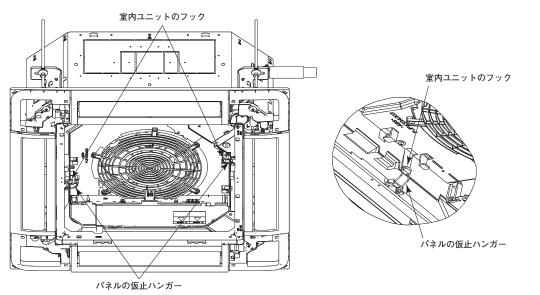


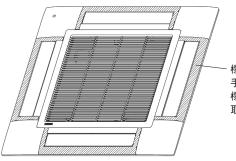
ご注意

・右図以外の方向で取付けると、風漏れの原因と なり、また電気配線の接続ができません。

⑤ パネルの取付

- 1. パネルの仮止
 - ・パネルの仮止用ハンガーを起こします。 (2か所)
 - ・パネルの仮止用ハンガーを室内ユニットのフックにかけて、パネルを室内ユニットに吊るします。





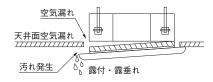
標準パネル以外の場合、斜線部(4か所)は可動します。 手で無理に動かすと破損します。 標準パネルの場合もパネル本体とは別部品ですが、 取外すことはできません。

ご注意

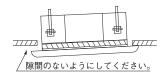
- ・パネルの吹出口周囲のエアフレックス(斜線部)は別部品です。パネルを持つ際は取扱いに注意してください。 特に、エアフレックスパネル、ラクリーナパネルの斜線部は可動します。手で無理に動かすと破損します。
- 2. パネルの室内ユニットへの固定
 - ・付属のパネル取付用ボルト4本を用いて、室内ユニットに締付けてください。

ご注意

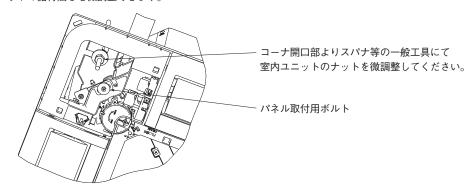
・吊りボルトの締込みが不十分な場合、下図のような不具合発生の原因となりますので確実に締込んでください。



・吊りボルトを締込んでも天井面とパネルとの間 に隙間ができる場合は、室内ユニットの高さを 再調整してください。



・室内ユニットの水平度、ドレン配管などに影響がでない程度であればパネルを取付けたまま、室内ユニットの据付高さを微調整できます。

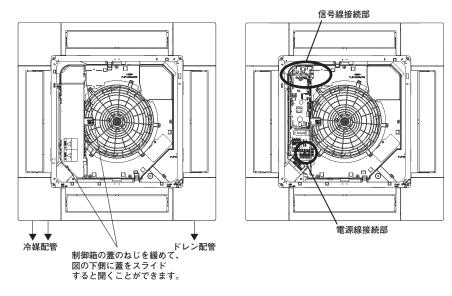


ご注意~

パネル取付の際、パネルに無理な荷重がかからないよう、室内ユニット据付高さを調整してください。 パネルが変形し、吸込グリル、エアフレックス部品が収まらないおそれがあります。

② 電気配線

パネルの種類により、配線処理が異なります。パネルの種類にあわせて配線処理を行ってください。 室内ユニットの接続位置はパネルの種類によらず下図のとおり同じです。



<標準パネルの場合>

- 1. 室内ユニットの制御箱の蓋のねじ(2本)を緩め、蓋をスライドして取外してください。
- 2. ルーバモータ線 (20線) を制御箱のフックに通し、コネクタCnJ1 (20P,白) を接続してください。
- 3. 室内ユニットの制御箱の蓋を取付け、ねじ(2本)を締付けてください。

信号線接続 <u>_</u> \0° ♦ 制御箱のフック、

標準パネルの場合

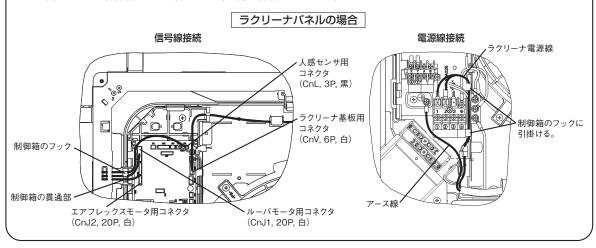
・ルーバモータ用コネクタ (CnJ1, 20P, 白)

<エアフレックスパネルの場合>

- 1. 室内ユニットの制御箱の蓋のねじ(2本)を緩め、蓋をスライドして取外してください。
- 2. ルーバモータ線(20線)を制御箱のフックに通し、コネクタCnJ1(20P,白)を接続してください。
- 3. エアフレックスモータ線 (20線) を制御箱のフックに通し、コネクタCnJ2(20P,白) を接続してください。 4. 人感センサ線 (3線) を制御箱の貫通部に通し、コネクタCnL(3P,黒) を接続してください。
- 5. 室内ユニットの制御箱の蓋を取付け、ねじ(2本)を締付けてください。

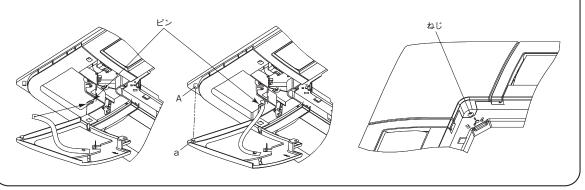
<ラクリーナパネルの場合>

- 1. 室内ユニットの制御箱の蓋のねじ(2本)を緩め、蓋をスライドして取外してください。
- 2. ルーバモータ線(20線)を制御箱のフックに通し、コネクタCnJ1(20P.白)を接続してください。
- 3. エアフレックスモータ線(20線)を制御箱のフックに通し、コネクタCnJ2(20P,白)を接続してください。
- 4. 人感センサ線(3線)を制御箱の貫通部に通し、コネクタCnL(3P.黒)を接続してください。
- 5. 電源線のファストン端子を室内ユニットの電源端子台の1番,2番に挿入してください。 電源線の赤を端子台の1番に、白を2番に挿入してください。
- 6. アース線[緑]を室内ユニット制御箱の④に接続してください。
- 7. ラクリーナ基板用信号線(6線)を室内ユニット制御箱内の基板のコネクタCnV(6P,白)に接続してください。 コネクタCnVにショートコネクタが接続されている場合は取外しの上、信号線を接続してください。
- 8. 室内ユニットの制御箱の蓋を取付け、ねじ(2本)を締付けてください。



⑧ コーナリッドの取付

- 1. 付属のコーナリッド落下防止用ストラップをコーナリッドのピンに折返して引掛けてください。
- 2. コーナリッドに取付けたストラップの反対側をパネルのピンに引掛けてください。
- 3. コーナリッドのa部をパネルのA部に挿入してから、コーナリッドのつめ2か所をはめてください。
- 4. 付属のねじで固定してください。



⑨ 吸込グリルの取付

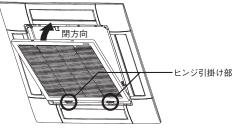
パネルと吸込グリルには方向性がありません。

<標準パネル、エアフレックスパネルの場合>

吸込グリルの取付方法は ③ 吸込グリルの取外し の手順を逆に作業してください。

- 1. 吸込グリルのヒンジをパネルのヒンジ挿入穴に取付けてください。(吸込グリルのヒンジは 4 辺どこでも取付可能です。)
- 2. 吸込グリルのヒンジを取付後、ストッパー(2か所)を「OPEN」の方向へ押したまま、閉じてください。 両方のストッパーから「カチッ」と音がしたことを確認してください。

〈取付け〉



ご注意

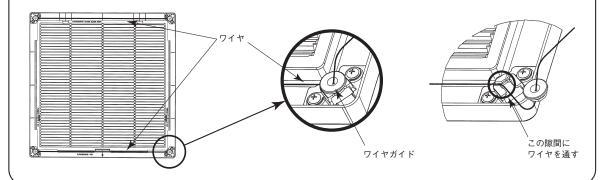
- ・吸込グリルの取付は、必ずヒンジ側から行ってください。
- ・吸込グリルは確実に取付けてください。取付が不十分で すと落下する恐れがあります。
- ・ストッパーが変形・破損した場合は、速やかに修理依頼し、交換してください。吸込グリルが落下する恐れがあります。

<ラクリーナパネルの場合>

- 1. 吸込グリルの方向を決定してください。
- 2. ワイヤを通してあるワイヤガイドを吸込グリルの4コーナの取付部に固定して装着します。
- 3. ワイヤガイドを吸込グリルに外側から内側にスライドさせながら装着してください。 装着の際、取付部の隙間をワイヤが通過するようにワイヤの向きに注意して確実に取付けてください。
- 4. ワイヤガイド装着後、ワイヤの曲がり、ねじり、噛込みがないことを確認してください。

ご注意

ワイヤガイドは確実に装着してください。確実に装着されていないと、吸込グリルを昇降できなくなったり、吸込グリルが落下する恐れがあります。



⑩ パネルの設定

<ルーバの動作範囲設定(フリーフロー設定)>

ワイヤードリモコンを使用することで、吹出口のルーバの動作範囲を変更することができます。本モードで上限位置と下限位 置を設定すると、ルーバは設定された上限位置と下限位置の間で動作します。各ルーバ毎に個別の動作範囲の設定が可能です。

<エアフレックスの設定(ドラフト防止設定)>

エアフレックスパネル、ラクリーナパネルを取付け、配線接続をするだけではエアフレックスは作動しません。 エアフレックスを作動させるために、ワイヤードリモコンまたはワイヤレスリモコンを使用して、ドラフト防止設定を有効にしてください。(ワイヤードリモコンRC-DX2、RC-D4G以前、ワイヤレスリモコンRCN-D3G以前のリモコンでは設定できません。) 本モードで有効に設定すると運転開始時にエアフレックスが作動し、運転中は常時エアフレックスが開いています。また、停止時にエアフレックスは閉じます。各吹出口毎に有効/無効の設定が可能です。 設定方法はリモコンの取扱説明書を参照してください。

<人感センサの設定(赤外線センサー設定)>

エアフレックスパネル、ラクリーナパネルを取付け、配線接続をするだけでは人感センサは機能しません。 人感センサを機能させるために、ワイヤードリモコンまたはワイヤレスリモコンを使用して、赤外線センサー設定を有効にしてください。(ワイヤードリモコンRC-DX2、RC-D4G以前、ワイヤレスリモコンRCN-D3G以前のリモコンでは設定できません。) 設定方法はリモコンの取扱説明書を参照してください。

<吸込グリル昇降の設定(グリル昇降操作)>

ラクリーナパネルを取付け、配線接続をするだけでは吸込グリルの昇降はできません。

吸込グリルの昇降を可能にするために、ワイヤードリモコンまたはワイヤレスリモコンを使用して、吸込グリル昇降を有効にしてください。

設定方法はリモコンの取扱説明書を参照してください。

<吸込グリル下降長さの設定(降下長設定)>

吸込グリルの下降長さをお好みの下降長さに設定することができます。工場出荷時は2mに設定されています。 お好みの下降長さにしたい場合は、ワイヤードリモコンまたはワイヤレスリモコンを使用して、吸込グリルの下降長さを設定してください。

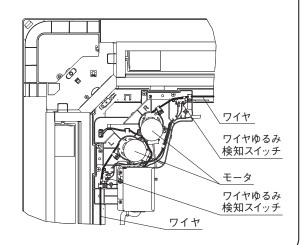
設定方法はリモコンの取扱説明書を参照してください。

ご注意~

<ワイヤゆるみ検知機構について>

ラクリーナパネルには、ワイヤの絡まり防止のため、「ワイヤゆるみ検知機構」を装備しています。 吸込グリルを吊ったワイヤがゆるんだ場合、ワイヤゆるみ検知スイッチが働き、自動昇降用モータが自動停止します。

パネル据付後、グリルが動かない場合、「ワイヤ ゆるみ検知機構」が作動している可能性がありますので、据付時にワイヤの噛込み、絡まり等が無いか、ワイヤ経路をご確認ください。



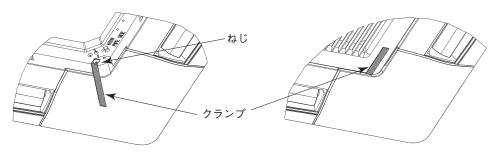
⑪ 電源投入前の吸込グリルの仮固定 <ラクリーナパネル>

電源投入前は吸込グリルの自動昇降はできません。

- 1. 電源投入前に吸込グリルを収納したい場合は、付属のクランプで吸込グリルを仮止めすることができます。
- 2. パネルの4コーナに付属のクランプを図のようにねじ止めしてください。(4コーナとも)
- 3. ワイヤを折曲げたり、かみ込んだりしないように注意しながら、持ち上げパネルに収納してください。
- 4. 取付けたクランプを図のように吸込グリル側に折曲げ、吸込グリルを固定してください。

ご注意

クランプを装着したまま昇降動作を行った場合、吸込グリルの昇降装置が故障する恐れがあります。



5. 仮固定が終わったら、クランプを取外した上で、コーナリッドをねじ止めしてください。

(2) お掃除ラクリーナパネル パネル形式: T-PSCLS-5BW

(a) 据付説明書

本説明書は、お掃除ラクリーナパネルの据付方法を記載してあります。

室内ユニットの据付説明書と共にお読みください。

この製品は、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。また、海外においてはアフターサービスもできません。

PJF012D052

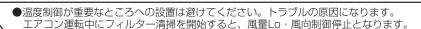
告

- ●配線は、確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。 接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。
- ●元電源を切った後に電気工事をする。また、ぬれた手で操作などしない。 感電、故障や動作不良の原因になります。



Ŵ 注 意

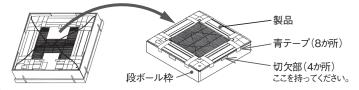
- ●次の場所への設置は避けてください。故障の原因になります。
- ・油煙が発生する作業場や水蒸気の発生、湿気の多いところ・粉が浮遊する作業場や細かなホコリが大量に発生するところ タバコの煙が多いところ ・化粧品・特殊なスプレーを使用するところ

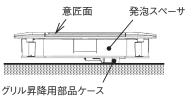




注

製品を梱包から取出す際は、段ボール枠と共に取出して、平らな場所に置いてください。 段ボール枠は製品に青テープで固定されています。段ボール枠の切欠部を持って取出してください。 グリル昇降用部品ケースが製品の面より突出しているため、段ボール枠なしに意匠面を上にして製品を置くと、 クリル昇降用部品やそれを固定している発泡スペーサが破損します。



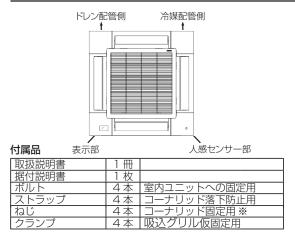


<ラクリーナ(グリル昇降)について>

- 吸込グリルの動作範囲の周辺および下方30cm以内に障害物を置かないでください。
- ・電源投入前にお掃除ラクリーナパネルを取付けた場合、リモコンによる吸込グリルの昇降動作はできません。

- ・電源投入前に吸込グリルを収納する場合は、付属のクランプで仮固定する事ができます。 ・電源投入後は付属のクランプを外してあることを確認してから昇降動作を行ってください。 ・吸込グリル取付け後の初回はリモコンで「上げる」の操作を行い、吸込グリルを正規位置に収納してください。 (マイコンが収納位置を記憶します。)
- ワイヤは、折り曲げ、ねじり、噛み込み等により傷つけたり、たばこ等の火が触れないようにしてください。

● 据付の前に

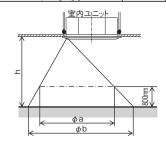


※:電源投入前に吸込グリルを仮固定する際に使用する クランプを固定するためにも流用します。

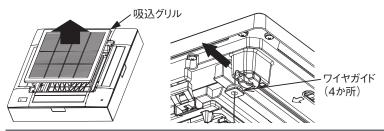
- ・据付はこの説明書に従って正しく行ってください。
- ・付属品を確認してください。
- ・人感センサーの検知範囲の目安は以下のとおりです。

人感センサー検知範囲の目安

-					
	天井高さ	h [m]	2.7	3.5	4.0
7	検知範囲①	φa [m]	約4.5	約6.4	約7.6
7	検知節囲②	<i>φ</i> b [m]	約6.4	約8.3	約9.5

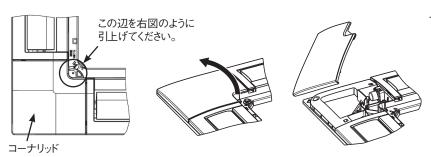


2 吸込グリルの取外し



- 1. 吸込グリルを持ち上げて、吸込グリルを開けます。
- 2. 吸込グリルのコーナに取付けてあるワイヤーガイドを 外側にスライドして外してください。(4か所)
- 3. 吸込グリル内側のダストボックスの固定に使用している段ボールと青テープを取外してください。

3 コーナリッドの取外し



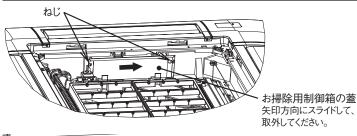
・コーナリッドを矢印の方向へ引上げて取外 してください。(4 コーナとも)

ご注意

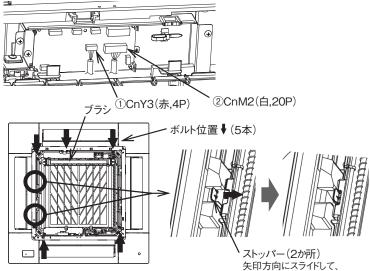
表示部および人感センサー部は、コーナリッド内で配線が接続されています。

4 お掃除ユニットの取外し

把手



1. お掃除用制御箱の蓋を取外してください。 ねじ(2本)を緩め、蓋を図の矢印の方向にスライドして取外してください。



- 2. お掃除用制御箱内のコネクタを外してください。①CnY3 (赤, 4P):ブラシ位置検知スイッチ線②CnM2 (白, 20P):ブラシモータ線
- 3. ボルト(5本)を取外してください。
- 4. 仮固定ストッパー(2か所)を図の矢印の方向に スライドして、固定を解除してください。
- 5. 把手を持って、ストッパー側から引上げてください。 反対側はお掃除ユニットのツメがパネル本体の 板金に引掛かっています。
- 6. ツメを板金から外し、お掃除ユニットをパネル本体から取外してください。

ご注意

シャフトやブラシを持たないでください。 フィルター清掃が正常に動かなくなります。

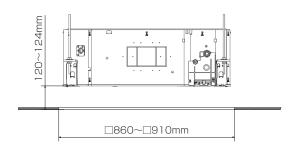
7. お掃除ユニットは、フィルター側を上にして平らな場所に置いてください。 平らな場所には置くことができます。

固定を解除してください。

把手

板金

5 室内ユニットの取付レベルの確認



室内ユニット取付高さは、パネル取付後にコーナ開口部より 微調整ができます。

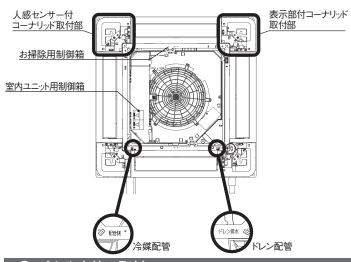
標準パネルよりも+110mm高く

- ・お掃除ラクリーナパネルの場合、標準パネルの据付に対し、天井裏高さが110mm増します。 天井下面と室内ユニット下面の差は120~124mmの範囲内としてください。
- ・天井開口は標準パネルと同一の□860~□910mmの 範囲にしてください。

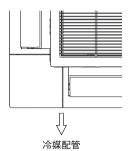
ご注意

パネル本体取付の際、室内ユニットの天井からの高さはパネル本体に無理な荷重がかからない高さにしてください。フィルター清掃が正しくできなかったり、吸込グリルが正しく閉じないことがあります。

6 パネル本体の取付方向

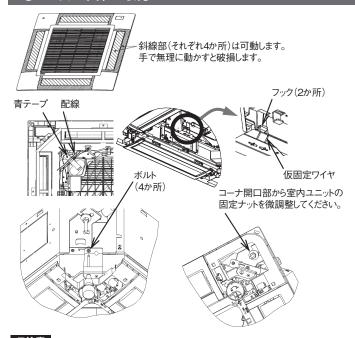


- ・パネル本体の取付方向は室内ユニットに対し方向性があります。
- ・パネル本体は、図に示す方向で取付けてください。
- ・パネル本体の「ドレン排水」と室内ユニットドレン配管の位置 を合わせてください。
- ・パネル本体の「配管側」と室内ユニット冷媒配管の位置を合わせてください。



吸込グリルに方向性があります。 一方向にしか取付けられません。

7 パネル本体の取付



ご注意

手で無理に動かすと破損します。 パネル本体を持つ際は 取扱に注意してください。

- 1. パネル本体の裏側で配線が青テープで固定されています。 青テープを剥がしてください。
- 2. パネル本体の仮固定ワイヤーを室内ユニットのフック(2か所) に引掛けて、パネル本体を室内ユニットに吊るします。
- 3. 付属のボルト(4本)で、パネル本体と室内ユニットを固定 してください。

室内ユニットの水平度、ドレン配管などに影響がなければ、パネル本体を取付けたまま室内ユニットの据付高さを微調整できます。

ご注意

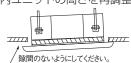
パネル本体取付の際、室内ユニットの天井からの高さはパネル本体に無理な荷重がかからない高さにしてください。フィルター清掃が正しくできなかったり、吸込グリルやエアフレックスを閉じることができない恐れがあります。

ご注意

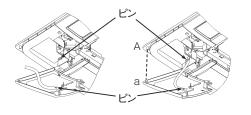
・吊りボルトの締込が不十分な場合、下図のような不具 合発生の原因となりますので確実に締込んでください。

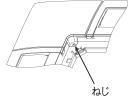


・吊りボルトを締込んでも天井面とパネルとの間に隙間ができる場合は、室内ユニットの高さを再調整してください。



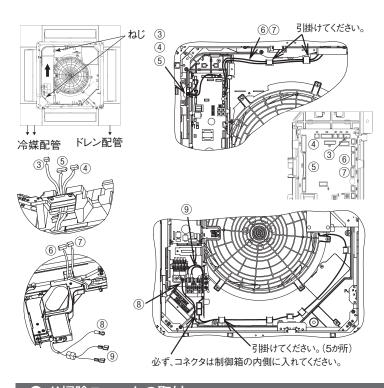
8 コーナリッドの取付





- 1. 付属のストラップをコーナリッドのピンに折り返して 引掛けてください。
- 2. コーナリッドに取付けたストラップの反対側をパネル本体のピンに引掛けてください。
- 3. コーナリッドのa部をパネル本体のA部に挿入して、 コーナリッドのツメ (2か所) をはめてください。
- 4. 付属のねじで固定してください。

9 電気配線工事(パネルと室内ユニットとの接続)



- 1. 室内ユニットの制御箱の蓋のねじ(2本)を緩め、蓋を 図の矢印の方向にスライドして取外してください。
- 2. パネル本体の配線を室内ユニットに接続してください。 <信号線>

③CnL(黒, 3P): 人感センサー線

④CnJ1(白, 20P):ルーバモータ線

⑤CnJ2(白, 20P):エアフレックスモータ線

⑥CnV(白, 6P): ラクリーナ基板線⑦CnV2(黒, 4P): お掃除基板線

<電源線>

⑧ファストン端子(2個):ラクリーナ電源線

⑨丸端子(1個):アース線

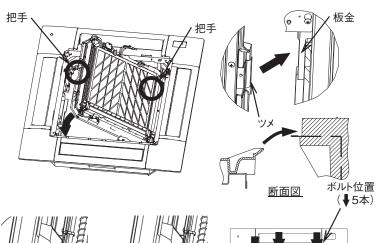
ご注意

アース線は、所定の箇所に接続してください。

- 3. 室内ユニットの制御箱の蓋を取付け、ねじ(2本)を締付けてください。
- 4. 室内ユニットの形式、製造号機を取扱説明書裏ページ等へ控えてください。

(お掃除ユニットを取付けると室内ユニットの装置銘 飯が見え難くなります。)

● お掃除ユニットの取付



1. お掃除ユニットの把手(2か所)を持って、取付てください。

ご注意

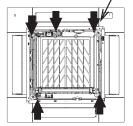
シャフトやブラシを持たないでください。 フィルター清掃が正常に動かなくなります。

- 2. お掃除ユニットのツメをパネル本体の板金部に乗るように、お掃除ユニットをパネル本体に収めてください。
- 3. お掃除ユニットのシャフト側をパネル本体に収めてください。

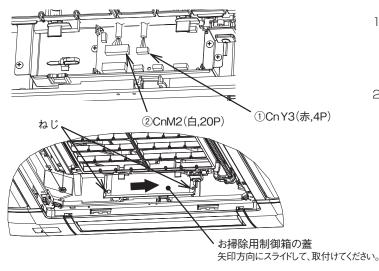
ご注意

お掃除ユニットをパネル本体に収める際、ワイヤを噛込まないよう注意してください。

- 4. 仮固定ストッパ(2か所)を矢印の方向にスライドして、仮固定してください。
- 5. ボルト(5本)で固定してください。

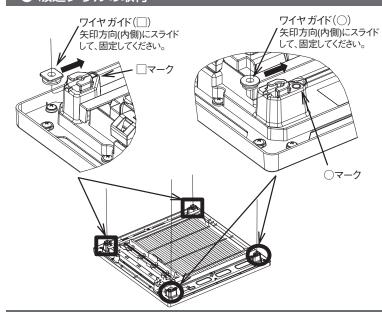


● 電気配線工事(パネルとお掃除ユニットとの接続)



- お掃除用制御箱内の配線を接続してください。
 ①CnY3(赤,4P):ブラシ位置検知スイッチ線
 ②CnM2(白,20P):ブラシモータ線
- 2. お掃除用制御箱の蓋を取付けてください。 蓋を図の矢印の方向にスライドし、ねじ(2本)を締付けてください。

12 吸込グリルの取付



形状が異なる組合せでは取付けることができません。

ご注意

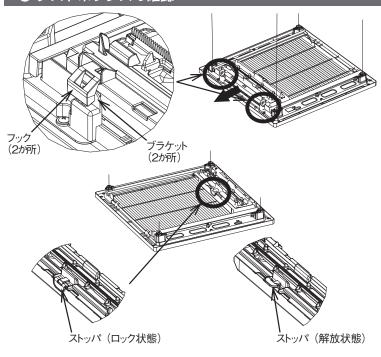
吸込グリルの取付には方向性があります。

正しい方向に取付けないと、フィルター清掃ができません。

ご注意

ワイヤガイドは確実に取付けてください。また、ワイヤが他の部品に絡まっていないか確認してください。吸込グリルの昇降ができなくなったり、吸込グリルが脱落する恐れがあります。

■ ダストボックスの確認



1. ダストボックス蓋のフック(2か所)が吸込グリルのブラケットに引掛かっていることを確認してください。 引掛かっていない場合は、ダストボックスを矢印の方向に移動し、フックを引掛けてください。

ご注意

ダストボックス蓋のフックが引掛かっていない状態で 吸込グリルを閉じると、正しくフィルター清掃できません。 最悪の場合、お掃除ユニットが破損します。

2. ダストボックス蓋のストッパ(1か所)がロックされ、 ダストボックス (透明) が出てこないことを確認してくだ さい。

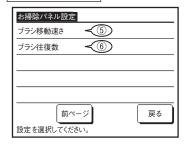
W ecoタッチリモコンによる各種設定

フィルター清掃などお掃除ラクリーナパネルの機能や吸込グリルの昇降、人感センサーを使用した制御を使用するには、ecoタッチリモコでの設定が必要です。必ず、本項の設定をしてください。

<お掃除機能の設定> 詳細はecoタッチリモコンの取扱説明書をご覧ください。

TOP画面 |メニュー|⇒|お手入れ|⇒|お掃除パネル設定|⇒ 管理者パスワード入力





ご注意

必ず、①お掃除自動を有効に設定してください。 フィルター清掃しません。

①お掃除自動

お掃除機能の有効/休止を設定します。

休止を選択した場合、お掃除に関する全ての機能が使用できませんので、ご注意ください。

制御有効:お掃除に関する全ての制御が有効になります。自動フィルター清掃などお掃除の機能を有効にします。

制御休止: お掃除に関する全ての制御が休止になります。

フィルター清掃しなくなり、お掃除の機能が全て使えなくなります。ecoタッチリモコンやバックアップスイッチでの操作も全てできなくなります。

②清掃時間帯設定

自動でフィルター清掃を開始する時間帯を設定します。

設定した時間帯のエアコンが停止しているときにフィルター清掃を開始します。

A: $0:00 \sim 6:00$

B: 6:00 ~ 12:00

C: 12:00 ~ 18:00

D: 18:00 ~ 24:00

E: 時刻指定 … フィルター清掃を開始する時刻を5分単位で設定できます。設定した時刻にフィルター清掃を開始します。

③清掃間隔設定

フィルター清掃する間隔を設定します。

設定した期間中に1回もエアコンを運転していない場合、設定した間隔でフィルター清掃しません。

ただし、エアコンを運転していない期間が連続7日経過すると、自動でフィルター清掃します。

A:毎日……1日1回、フィルター清掃します。

B:2日毎…2日1回、フィルター清掃します。

C:3日毎…3日1回、フィルター清掃します。

④ダスト回収設定

ダスト回収(ダストボックス内に溜まったホコリを廃棄)をお知らせする時期を設定します。

パネル表示部の表示灯(黄)が点灯し、ecoタッチリモコンにダスト回収の時期であることを表示します。

A:半年毎

B:1年毎

C:2年毎

D:日付指定…設定した日にちにダスト回収時期をお知らせします。

参考

〈 一般事務所 1 年分のホコリを想定しています。 〈 ホコリの多少により設定してください。

⑤ブラシ移動速さ設定

フィルター清掃するブラシの移動速さを設定します。(工場出荷時の設定はB:ふつう)

カッコ内の時間は、ブラシが1往復する時間です。

A: ゆっくり (約45分)

B:ふつう (約30分)

C:少し はやい (約17分)

D:はやい (約8分)

参考

ホコリがフィルターに残る場合、A:ゆっくりに 設定すると改善される場合があります。

⑥ブラシ往復数設定

フィルター清掃1回にブラシが往復する回数を設定します。(工場出荷時の設定は1回)

1~3回で設定できます。

1回のフィルター清掃に要する時間は設定した⑤ブラシ移動速さの時間と⑥ブラシ往復数の積になります。

例) ブラシ移動速さ:ふつう(約30分)、ブラシ往復数:2回に設定した場合。

約30分 × 2往復 = 約60分 … フィルター清掃開始して完了するまでに要する時間 (1回のフィルター清掃の時間)

<吸込グリル昇降の設定>

TOP画面 メニュー ⇒ サービス設定 ⇒ 据付設定 ⇒ サービスパスワード入力 ⇒ グリル昇降操作



据付場所の電源周波数をタッチしてください。

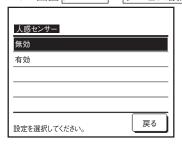
ご注意 ~~~~~

必ず、設定してください。 吸込グリルを昇降できません。

吸込グリル下降長さを設定する場合はecoタッチリモコンの取扱説明書をご覧ください。 (工場出荷時の設定は2m)

<人感センサーの設定>

TOP画面 ヌニュー ⇒ サービス設定 |⇒ 据付設定 |⇒ サービスパスワード入力 ⇒ 人感センサー設定|



|有効|をタッチしてください。

ご注意

人感センサーを使用した制御の設定はecoタッチリモコンの取扱説明書をご覧ください。

<エアフレックス(風よけ)について>

エアフレックス(風よけ)の設定は特に必要ありません。

ecoタッチリモコンのF1スイッチで、エアフレックス(風よけ)をON/OFFできます。

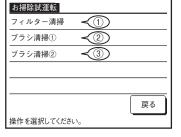
ただし、吹出口ごとや運転モードによりエアフレックス(風よけ)のON/OFFを変更する場合はecoタッチリモコンでの設定が必要です。ecoタッチリモコンの取扱説明書をご覧ください。

⑮ ecoタッチリモコンによる動作確認など

ecoタッチリモコンを使用して、フィルター清掃の実施や各動作の確認をすることができます。

1. 試運転

TOP画面 メニュー⇒サービス設定⇒据付設定⇒サービスパスワード入力⇒試運転⇒お掃除試運転





①フィルター清掃

フィルター清掃します。フィルター清掃中は吸込グリルの昇降ができません。

フィルター清掃を実施中、パネル表示部の表示灯は下記のように作動します。完了すると全て消灯します。 表示灯(緑): 点灯 / 表示灯(黄): 消灯

②ブラシ清掃①

ブラシやクシに残っているホコリを除去したり、フィルターに残っているホコリを除去するため、

ブラシが移動速さC:少し はやいでランダムに往復を繰り返します。(約12分)

ブラシ清掃①を実施中、パネル表示部の表示灯は下記のように作動します。完了すると全て消灯します。 表示灯(緑):点灯 / 表示灯(黄):連続点滅

③ブラシ清掃②

ブラシやクシに残っているホコリを除去したり、フィルターに残っているホコリを除去するため、

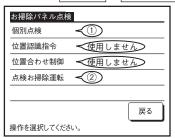
ブラシが設定した移動速さでランダムにブラシ清掃①より少ない往復数で往復を繰り返します。

(所要時間はブラシ移動速さによる)

ブラシ清掃②を実施中、パネル表示部の表示灯は下記のように作動します。完了すると全て消灯します。 表示灯(緑): 点灯 / 表示灯(黄): 連続点滅

2. 点検

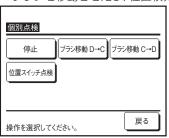
TOP画面「メニュー」⇒「サービス設定」⇒「サービス・メンテナンス」⇒ サービスパスワード入力 ⇒「お掃除パネル点検



※位置認識指令と位置合わせ制御は本製品では使用しません。 旧型のお掃除ラクリーナパネルで使用します。

①個別点検

ブラシを移動させたり、位置検知スイッチの点検をすることができます。



ブラシ移動 D→C: ブラシがD側→C側に移動します。

ブラシがC側端に到達すると停止します。

また、「停止」をタッチするとタッチした時点の位置で停止します。

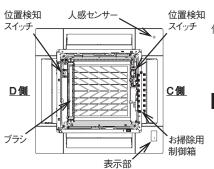
表示灯(緑):1回点滅 / 表示灯(黄):連続点滅

ブラシ移動 C→D: ブラシがC側→D側に移動します。

ブラシがD側端に到達すると停止します。

また、「停止」をタッチするとタッチした時点の位置で停止します。

表示灯(緑):2回点滅 / 表示灯(黄):連続点滅



位置スイッチ点検:表示灯(緑)と表示灯(黄)が3秒間点滅します。その後、

位置検知スイッチ(D側)をON中は表示灯(緑)が点灯します。 位置検知スイッチ(C側)をON中は表示灯(黄)が点灯します。

停止をタッチするか、5分経過すると終了します。

ご注意

吸込グリルを開いた状態でブラシ移動した場合、移動の途中など、ブラシがD側端にない状態(表示灯(黄):連続点滅)で吸込グリルを閉じないでください。正しくフィルター清掃できません。 最悪の場合、お掃除ユニットが破損します。

②点検お掃除運転

フィルター清掃を開始します。フィルター清掃中に吸込グリルの昇降ができます。 また、お掃除ユニットの動作を点検する場合など、吸込グリルを開いた状態でフィルター清掃ができます。



表示灯(緑):点灯 / 表示灯(黄):連続点滅

ご注意~

吸込グリルを開いた状態で点検お掃除運転した場合、フィルター清掃の途中など、ブラシがD側端にない状態(表示灯(黄):連続点滅)で吸込グリルを閉じないでください。正しくフィルター清掃できません。最悪の場合、お掃除ユニットが破損します。

③バックアップスイッチでの点検

バックアップスイッチで下記の点検動作ができます。動作内容はecoタッチリモコンを使用した場合と同じです。

バックアップスイッチ のON時間	点検内容	表示灯 (緑)	表示灯(黄)	
3秒未満	点検お掃除運転	点灯	連続点滅	
3~6秒	ブラシ移動D→C	1回点滅	連続点滅	
6~10秒	ブラシ移動C→D	移動C→D 2回点滅 連続 戸		
10秒以上	位置スイッチ点検	*		

※:表示灯(緑)と表示灯(黄)が3秒間点滅します。その後、 位置検知スイッチ(D側)をON中は表示灯(緑)が点灯します。 位置検知スイッチ(C側)をON中は表示灯(黄)が点灯します。 再び、バックアップスイッチを押すか、5分経過すると終了します。

ご注意

点検動作中は、ブラシがD側端部にない(表示灯(黄):連続点滅)状態でグリルを昇降できます。 (通常はできない) 表示灯(黄)が連続点滅しているときは吸込グリルを閉じないでください。

正しくフィルター清掃できません。最悪の場合、お掃除ユニットが破損します。

必ず、表示灯(黄)が消灯しているのを確認してから、吸込グリルを閉じてください。表示灯(黄)が連続点滅してる場合は、

消灯してから吸込グリルを閉じてください。 (個別点検の)ブラシ移動 C→D をタッチしてください)

ダスト回収時期に到達した場合は表示灯(黄)は点灯します。

ダスト回収し、フィルターサインをリセットした後、表示灯(黄)が連続点滅するか確認してください。

(b) 取扱説明書 PJF012A026

ます。

安全上のご注意

- ■ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正し くお使いください。お掃除ラクリーナパネル関連事項を抜粋して います。必ずエアコンの取扱説明書「安全上のご注意」もお読み ください。
- ■ここに示した注意事項は、「△警告」、「△注意」に区分していますが、誤った取扱をしたときに、死亡や重傷等の重大な結果に結び付く可能性が大きいものを特に「△警告」の欄にまとめて記載しています。しかし、「△注意」の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

■絵表示の例



△記号は、危険・警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。



○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。



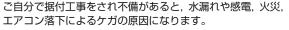
●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げる ものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合はアー スを行なってください)が描かれています。

■お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。また、お使いになる方が代わる場合は、必ず本書をお渡しください。

■据付上の注意事項

⚠ 警告

据付は、販売店または専門業者に依頼する。



⚠注意

次の場所への設置は避けてください。故障の原因になります。



- 油煙が発生する作業場
- 粉が浮遊する作業場
- タバコの煙が多いところ
- 水蒸気の発生、湿気の多いところ
- 化粧品・特殊なスプレーを使用するところ
- 細かいホコリが多いところ

温度制御が重要なところへの設置は避けてください。トラブルの原因になります。



エアコン運転中にフィルター清掃を開始すると、風量 Lo・風向制御停止となります。24 時間運転等のところでは、フィルター清掃中運転状態(能力低下)が変わります。尚、フィルター清掃中は表示部に緑が点灯します。

■使用上の注意事項

⚠ 警告

エアコンおよびリモコンを水洗いしない。 エアコンおよびリモコン内部に水が浸入して絶縁不良になり



可燃性のもの(ヘアスプレーや殺虫剤など)はエアコンの近くで使用しない。ベンジン・シンナーで室内ユニット, パネルをふかない。



引火・感電・ひび割れの原因になります。

⚠ 注意

濡れた手でスイッチを操作しない。 感電の原因になることがあります。



濡れたフィルターを使用しない。

フィルターを洗った時は乾かしてから装着してください。



eco タッチリモコンの日付・時刻設定をする。 日付・時刻設定をしないと制御タイマが正しく動作しません。

ダストボックスを外して使用しない。 ダスト回収後の装着忘れにご注意ください。



特殊用途には使用しない。

動植物の飼育や栽培などの用途に使用すると,微生物繁殖の 原因になることがあります。



定期点検を行う。

1年1回以上、フィルターのホコリ取残し、ダストボックスが 満杯でないか点検をしてください。

■移設・修理時の注意事項

⚠ 警告

改修は絶対にしない。また,修理はお買い上げの販売店に相談 する.



部品の交換は,お買い上げの販売店に相談してください。 修理に不備があると水漏れや感電,火災などの原因になります。

エアコンを移動再設置する場合は,販売店または専門業者に相 談する。



据付に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。

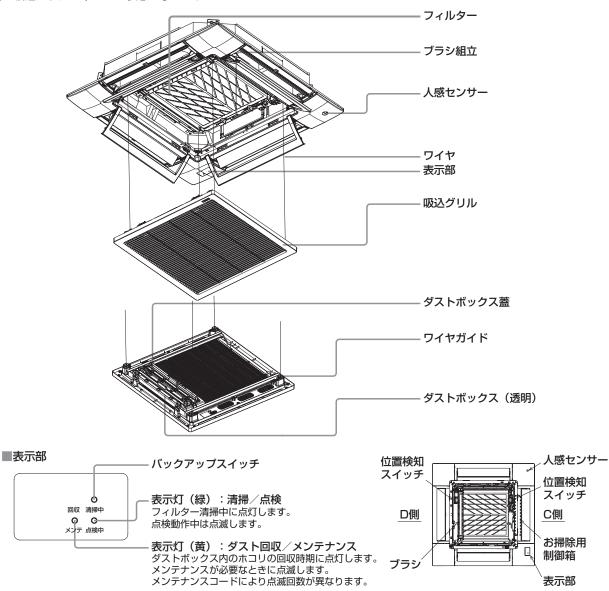
室内ユニットの修理・点検作業に際して「室内ユニット電源ブレーカ」を必ず落とす。



点検・修理にあたって、室内ユニットの電源ブレーカがONのままだと、 感電および室内ユニットのファン回転による受傷の原因になります。

■各部のなまえ

• 下図は吸込グリルが下がった状態を示します。



ブラシ

表示部

表示内容

衣小小	文 亦內谷							
No.	表示灯(緑)	表示灯(黄)	eco タッチリモコンの表示	内 容				
1	点灯	消灯	フィルター清掃中 〇〇% 現在、グリル昇降できません	フィルター清掃(お掃除運転)中で、〇〇%完了しています。 吸込グリルの昇降ができません。				
2	成り行き	点灯	ダスト回収 ここをタッチしてくださ い	ダスト回収時期になりました。 ダスト回収をしてください。				
3	点灯	連続点滅	フィルター清掃中 ○○%	点検お掃除運転を実施中で、○○%完了しています。 吸込グリルの昇降ができます。				
4	点灯	連続点滅		ブラシ清掃①を実施中です。 吸込グリルの昇降ができます。				
5	点灯	連続点滅		ブラシ清掃②を実施中です。 吸込グリルの昇降ができます。				
6	1回点滅	消灯	MO1	D側→C側へのブラシの移動が正しく終了しませんでした。				
7	2回点滅	消灯	M02	C側→D側へのブラシの移動が正しく終了しませんでした。				
8	3回点滅	消灯	M03	C側→D側へブラシが移動中にC側の位置検知スイッチが ON しました。				
9	4回点滅	消灯	M04	D側→C側へブラシが移動中にD側の位置検知スイッチが ON しました。				
10	5回点滅	成り行き	M21	吸込グリルが正しくパネル本体に収納されていません。				
11	6回点滅	消灯	M06	2つ位置検知スイッチが同時に ON になっています。				

[・]空欄は成り行きの表示をします。

[·]No.6~11の処置方法はメンテナンスコードをご覧ください。 (詳細は技術資料参照)

■フィルター清掃運転の設定

eco タッチリモコンは液晶部をタッチすると画面が明るくなります。日付・時刻の両方を正しくセットしてください。 セットされていないと制御タイマが正しく作動しません。

日付・時刻の設定は,eco タッチリモコンの取扱説明書をご覧ください。「メニュー ⇒ 初期設定 ⇒ 時刻設定 」 フィルター清掃運転に関する設定は,eco タッチリモコンから設定ができます。なお,本取扱説明書の eco タッチリモコンの表示 は RC-DX3C の場合です。リモコンの形式が異なる場合はリモコンの取扱説明書をご覧ください。



■ TOP画面上のメニューをタッチしてください。



2 メニュー画面でお手入れをタッチします。



3 お手入れ画面で お掃除パネル設定 をタッチします。



4 管理者パスワード入力画面を表示します。

管理者パスワード(数字4桁)入力後、 セット をタッチしてください。 パスワードがわからない場合、異なった場合は、設定変更ができません。

お知らせ

・工場出荷時に設定されている管理者パスワードは、据付工事説明書を参照ください。 また管理者パスワードを忘れた場合も、据付工事説明書を参照し、管理者パスワードの初期化を 行ってください。



5 お掃除パネル設定メニュー画面を表示します。

設定する項目をタッチしてください。 ①お掃除自動…… お掃除機能の有効/休止を設定します。

②清掃時間帯設定……… フィルター清掃を開始する時間帯を設定します。 ③清掃間隔設定……… フィルター清掃する間隔を設定します。

④ダスト回収設定…… ダスト回収をお知らせする時期を設定します。

⑤ブラシ清掃回数……… 本製品では使用しません。旧型のお掃除ラクリーナ

パネルで使用します。 ⑥ブラシ移動速さ設定… フィルター清掃するブラシの移動速さを設定します。 ⑦ブラシ往復数設定…… フィルター清掃 1 回にブラシが往復する回数を設定 します。

▮ お掃除自動制御の有効/休止を設定します。

制御有効: お掃除に関する全ての制御が有効になります。フィルター清掃な

どお掃除の機能を有効にします。 制御休止: お掃除に関する全ての制御が休止になります。

フィルター清掃しなくなり、お掃除の機能が全て使えなくなりま

す。ecoタッチリモコンやバックアップスイッチでの操作が全て できなくなります。

休止を選択した場合、お掃除に関する全ての機能が使用できませんの で、ご注意ください。

■お掃除自動設定のしかた



■清掃時間帯設定のしかた





自動でフィルター清掃を開始する時間帯を設定します。

設定された時間帯内の任意の時刻に自動清掃を開始します。

エアコンの停止している時間を見計らって開始します。

エアコンが運転している場合は、風量を弱まで下げ、ルーバ停止し、フィルター 清掃を行います。

フィルター清掃中はモータ音が発生します。

フィルター清掃が気にならない時間帯(通常不在の)を選択してください。

「E:時刻指定」を選択することにより、お掃除自動運転を開始する時刻を指定することができます。(☞2へ)

2 清掃時間帯設定において、時刻指定を選択すると、時刻設定画面を表示します。

▲ ▼ で、ご希望の時刻(5分単位)に合わせてください。 ご希望の時刻に設定後、セットをタッチしてください。

■清掃間隔設定のしかた



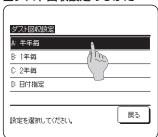
フィルター清掃する間隔を設定します。

A:毎日 …1日1回、フィルター清掃します。 B:2日毎 …2日1回、フィルター清掃します。 C:3日毎 …3日1回、フィルター清掃します。

設定した期間中に 1 回もエアコンを運転していない場合、設定した間隔でフィルター清掃しません。

ただし、エアコンを運転していない期間が連続7日経過すると、自動でフィルター清掃します。

■ダスト回収設定のしかた

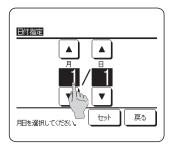


ずスト回収をお知らせする時期を設定します。

設定された日になると、ecoタッチリモコンに「ダスト回収 ここをタッチしてください。」を表示し、表示部の表示灯(黄)が点灯します。

一般事務所1年分のホコリを想定しています。ホコリの多少により設定してくだったい。

「D:日付指定」を選択することにより、ダスト回収時期を日付指定することができます。(☞2へ)



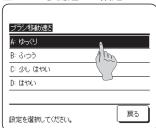
2 ダスト回収設定において、日付指定を選択すると、日付設定画面を表示します。

▲ ▼ で、ご希望の日付に合わせてください。

ご希望の日付に設定後、**セット**をタッチしてください。

設定した日付になると、「ダスト回収 ここをタッチしてください。」を表示します。

■ブラシ移動速さの設定のしかた



■ フィルター清掃するブラシの移動速さを設定します。

カッコ内の時間は、ブラシが1往復する時間です。

A: ゆっくり (約45分) B: ふつう (約30分) C: 少し はやい (約17分)

D:はやい (約8分)

ホコリがフィルターに残る場合、『A:ゆっくり』に設定すると改善される場合があります。

■ブラシ往復数の設定のしかた



▋ フィルター清掃1回にブラシが往復する回数を設定します。

1~3回で設定できます。

フィルター清掃する時間は設定した⑥ブラシ移動速さの時間と⑦ブラシ往復数 の積になります。

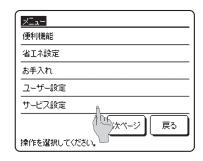
例) ブラシ移動速さ:ふつう(約30分)、ブラシ往復数:2回に設定した 場合。

約30分 × 2往復 = 約60分 …フィルター清掃開始して完了するまで の時間(1回のフィルター清掃時間)

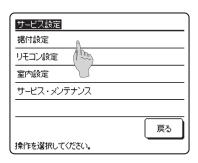
■お掃除ラクリーナパネルの試運転



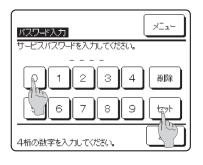
メニューをタッチ する メニュー設定画面に 換わります。



サービス設定をタ ッチする サービス設定画面に 換わります。

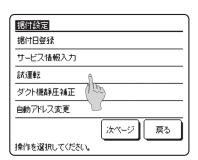


据付設定をタッチ する パスワード入力画面に ハハッ・, 換わります。

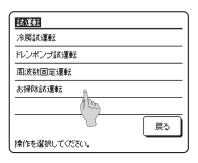


サービスパスワード を入力する

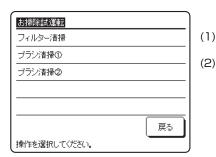




6 試運転を タッチする 試運転画面に 換わります。



お掃除試運転を タッチする お掃除試運転画面に 換わります。

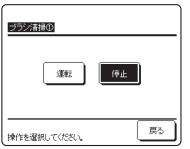


(1)フィルター清掃



フィルター清掃を おこないます。

(2)ブラシ清掃①またはブラシ清掃②



ブラシ清掃①または ブラシ清掃②を おこないます。 フィルター清掃:設定したブラシ移動速さでフィルター清掃します。フィ

ルター清掃中は吸込グリルの昇降ができません。フィル ター清掃中、表示部の表示灯は下記のように作動します。

完了すると全て消灯します。

表示灯(緑):点灯/表示灯(黄):消灯

ブラシ清掃① : ブラシやクシに残っているホコリを除去したり、フィルター

に残っているホコリを除去するため、ブラシが移動速さC: 少し はやいでランダムに往復を繰り返します。(約12分) 表示灯(緑):点灯 / 表示灯(黄):連続点滅

ブラシ清掃② : ブラシやクシに残っているホコリを除去したり、フィルターに残っているホコリを除去するため、ブラシが設定

ターに残っているホコリを除去するため、ブラシが設定 した移動速さでランダムにブラシ清掃①より少ない往復

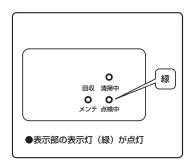
数で往復を繰り返します。

表示灯(緑):点灯/表示灯(黄):連続点滅

お知らせ

フィルター清掃の時間は設定したブラシ移動速さとブラシ往復数により異なります。

■フィルター清掃中

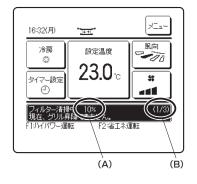


フィルター清掃中は、表示部の表示灯(緑)が点灯します。

フィルター清掃中もエアコン運転は可能ですが、風量はLoでの運転になります。

フィルター清掃中は、ルーバ制御が実行されません。 (設定内容は記憶され、フィルター清掃終了後に実行されます)

フィルター清掃中は、モーターやブラシの作動音が発生します。



ecoタッチリモコンに、「フィルター清掃中 〇〇%」と表示します。 フィルター清掃が完了するまでグリル昇降はできません。

A: フィルター清掃全工程の進捗率を表示します。 100%になると完了し、グリル昇降ができるようになります。

B: 実施中のブラシ往復数/設定したブラシ往復数を表示します。 "1"は1往復目、"3"は設定した往復数を表しています。

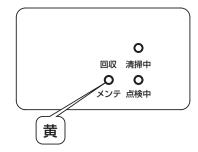
■ダスト回収のしかた

ダスト回収時期をお知らせするため、設定時間に達すると表示がでます。

■ecoタッチリモコン



■表示部の表示灯(黄)が点灯



ダスト回収のしかた

吸込グリルを下げてからダスト回収してください。室内ユニットの下方に障害物がないことを確認してから、吸込グリルを下げてください。

ecoタッチリモコンに複数台の室内ユニットを接続している場合,室内機選択画面を表示します。ダスト回収する室内ユニットを選択してください。グリル昇降画面に切換わります。

1) ダスト回収時期のお知らせが表示されたときに吸込グリルを下げる場合



1 吸込グリルを下げる

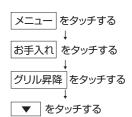
"ここをタッチしてください。" を タッチする ↓ ▼ をタッチする

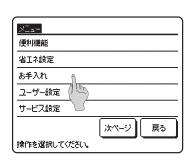


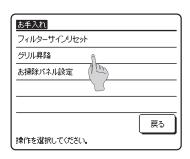
2) メニュー画面から吸込グリルを下げる場合

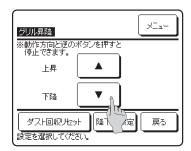


▋ 吸込グリルを下げる









ご注意

グリル昇降 をタッチしてもグリル昇降画面に移行しない(「操作無効です。」が表示される)場合、グリル昇降操作が"無効"になっています。

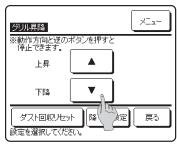
据付説明書に従い、吸込グリル昇降の設定をしてください。

3) F1またはF2スイッチにグリル昇降を割り当てたときに吸込グリルを下げる場合

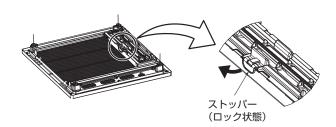


▋吸込グリルを下げる

F1:スイッチを押す。 ↓ ▼ をタッチする

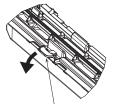


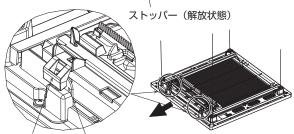
※F1スイッチにグリル昇降を割り当てた場合









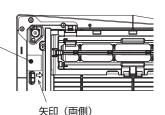


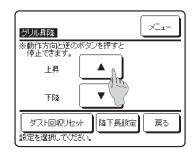
フック ブラケット (2か所) (2か所)

⚠注意

ダストボックスの端が <□の位置にあり、 ストッパ(2ヶ所)で 固定されていることを 確認してください。 グリルが閉まらず、 故障の原因となります。 PJF011H005







2 ダストボックス蓋のストッパのロックを外す

ダストボックス蓋のストッパー (1か所)のロックを外してください。

3 ダストボックスを取外す

ダストボックス (透明) を図の矢印の方向に引出して、吸 込グリルから取外してください。

4 ホコリを回収する

ダストボックス(透明)内のホコリを回収してください。

5 ダストボックスをセットする

ダストボックス(透明)を吸込グリルの上に置き、図の矢印の方向に押して、ダストボックス蓋にセットしてください。 ダストボックス(透明)は、吸込グリルにセットする方向性 はありません。

6 ダストボックス蓋のストッパをロックする

ダストボックス蓋のストッパー(1か所)をロックしてください。

ダストボックス (透明) が出てこないことを確認してください。

7 ダストボックス蓋の位置と固定を確認する

ダストボックス蓋の端部が吸込グリルの矢印の位置になって いることを確認してください。

また、ダストボックス蓋のフック(2か所)が吸込グリルのブラケットに引掛かっていることを確認してください。 引掛かっていない場合は、ダストボックス蓋を図の矢印の方向に移動し、端部が吸込グリルの矢印位置にして、フックを引掛けてください。

ご注意

ダストボックス蓋のフックが引掛かっていない状態 でグリルを閉じると、正しくフィルター清掃できませ ん。最悪の場合、お掃除ユニットが破損します。

8 吸込グリルを上げる

▲ をタッチして、吸込グリルを閉じてください。

ご注意

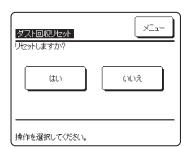
吸込グリルを閉じる前に、表示部の表示灯(黄)が点滅していないことを確認してください。

通常は表示灯(黄)が点滅することはありません。表示灯(黄)が点滅している場合、ブラシは所定の位置にありません。

そのまま吸込グリルを閉じると正しくフィルター清掃できません。

最悪の場合、お掃除ユニットが破損します。

ダスト回収時期に到達した場合は表示灯(黄)は点灯します。 ダスト回収し、フィルターサインをリセットした後、表示灯 (黄)が連続点滅するか確認してください。



9 ダスト回収リセット

ダスト回収が終了したら、**ダスト回収リセット**をタッチしてください。

はいをタッチしてください。

△ 注意 ダスト回収を行わずにエアコンの運転を続けると、エアコンが停止する場合があります。 またホコリが落ちてきたり故障の原因になりますので必ずダスト回収を行ってください。

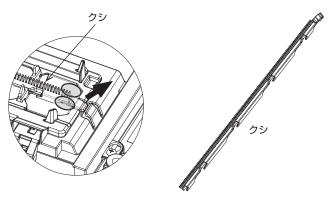
■クシ,フィルター,ブラシの取外し方・取付方

クシ、フィルター、ブラシを取外す際は、吸込グリルを下げて行ってください。 吸込グリルの昇降方法は eco タッチリモコンの取扱説明書をご覧ください。

1) クシ

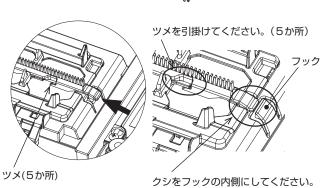
クシにホコリが堆積しているとブラシのホコリを除去できず、そのホコリをフィルターに再付着させることがあります。 また、eco タッチリモコンに「M O1」または「M O2」が表示されたとき、クシとブラシ、ブラシとフィルターの抵抗により正常にフィルター清掃できない場合があります。

そのようなときは、クシに付着しているホコリを除去してください。クシは水洗いもできます。



取外し方

図の ○ 部分を持って、矢印の方向(斜め上方向)にブラシだけを引上げるとダストボックス蓋からクシが外れます。



2 取付方

クシを図のようにダストボックス蓋の上に乗せ、矢印の方向 にカチッと音がするまでスライドしてください。

クシのツメ(5か所)全てがダストボックス蓋に引掛かっていることを確認してください。

また、クシがフックよりも内側にあるようにしてください。 なお、クシを水洗いした場合は水分を十分に取除いてくだ さい。

ご注意

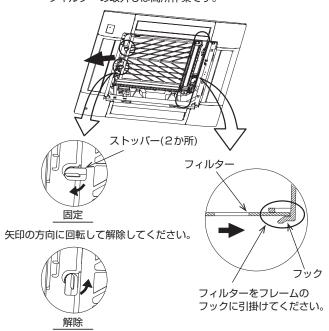
クシを濡れたまま取付けるとホコリが固着し、フィルター清掃に悪影響を与える可能性があります。

2) フィルター

自動のフィルター清掃で取りきれないホコリもあります。そのようなホコリが堆積すると、フィルターが室内ユニットに吸込空気を通さなくなり、エアコンがエラー停止する場合があります。

また、eco タッチリモコンに「M O1」または「M O2」が表示されたとき、ブラシとフィルターの抵抗により正常にフィルター清掃できない場合があります。

そのようなときは、フィルターに付着しているホコリを除去してください。フィルターは水洗いもできます。 フィルターの取外しは高所作業です。



矢印の方向に回転して固定してください.

1 取外し方

ストッパーを90度以上回転して、フィルターを図の矢印の方向に引き出してください。

(ストッパーの回転方向はどちらでも可)。

2 取付方

フィルターを図の矢印の方向に差し込んでください。 (フィルターに方向性はありません)

フィルターがフックに引掛かっていることを確認してくだい。

ストッパーを図の位置まで回転して、フィルターが確実に 引っ掛かるようにしてください。

なお、フィルターを水洗いした場合は水分を十分に取除い さてください。

ご注意

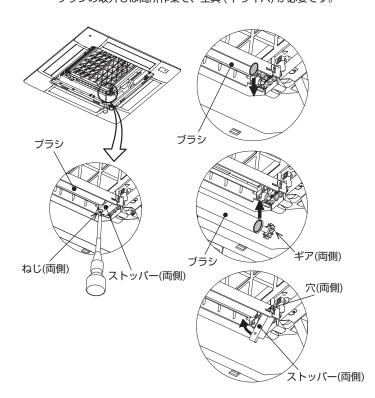
フィルターを濡れたまま取付けるとホコリが固着し、フィルター清掃に悪影響を与える可能性があります。

3) ブラシ

ブラシにホコリが堆積していると、そのホコリをフィルターに再付着させることがあります。

また、eco タッチリモコンに「M O1」または「M O2」が表示されたとき、ブラシとフィルターの抵抗により正常にフィルター清掃できない場合があります。

そのようなときは、ブラシに付着しているホコリを除去してください。ブラシは水洗いもできます。 ブラシの取外しは高所作業で、工具 (ドライバ) が必要です。



1 取外し方

ストッパー(2個)を取外します。

ストッパーはねじ(1個)で固定されています。

ブラシの図の (軸の根本)辺りを持って下方向に引張って 取外してください。

2 取付方

ブラシの図の (軸の根本)辺りとギアを上方向に押し込んで、ギアの軸部をはめてください。

カクッという感触があります。ブラシは落下しません。

ストッパー(2個)を取付けてください。

ストッパーの凸部を穴に差込んでから、図の矢印の方向に 倒してください。

ねじ(2個)で固定してください。

なお、ブラシを水洗いした場合は水分を十分に取除いてく ださい。

ご注意

ブラシを濡れたまま取付けるとホコリが固着し、フィルター清掃に悪影響を与える可能性があります。

動作確認など

本項の操作で動作確認などが可能です。

TOP画面 ヌニュー ⇒ サービス設定 ⇒ サービス・メンテナンス ⇒ サービスパスワード入力 ⇒ お掃除パネル点検

お掃除パネル点検 個別点検 位置認識指令 使用しません 位置合わせ制御 ―― 使用しません 点検お掃除運転 🔷 ② 戻る 操作を選択してください。

※位置認識指令と位置合わせ制御は本製品では使用しません。

旧型のお掃除ラクリーナパネルで使用します。

①個別点検

ブラシを移動させたり、位置検知スイッチの点検をすることができます。



ブラシ移動 D→C:ブラシがD側→C側に移動します。

ブラシがC側端に到達すると停止します。

また、| 停止 |をタッチするとタッチした時点の位置で停止します。

表示灯(緑): 1回点滅 / 表示灯(黄):連続点滅

ブラシ移動 C→D:ブラシがC側→D側に移動します。

ブラシがD側端に到達すると停止します。

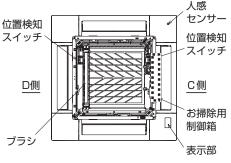
また、「停止」をタッチするとタッチした時点の位置で停止します。

表示灯(緑):2回点滅/表示灯(黄):連続点滅

位置スイッチ点検:表示灯(緑)と表示灯(黄)が3秒間点滅します。その後、位置

検知スイッチ(D側)をON中は表示灯(緑)が点灯します。 位置検知スイッチ(C側)をON中は表示灯(黄)が点灯します。

停止 をタッチするか、5分経過すると終了します。



ご注意

吸込グリルを開いた状態でブラシ移動した場合、移動の途中など、ブラシがD 側端にない状態(表示灯(黄):連続点滅)で吸込グリルを閉じないでください。 正しくフィルター清掃できません。最悪の場合、お掃除ユニットが破損します。

②点検お掃除運転

フィルター清掃を開始します。フィルター清掃中に吸込グリルの昇降ができます。 また、お掃除ユニットの動作を点検する場合など、吸込グリルを開いた状態でフィルター清掃ができます。



ご注意

吸込グリルを開いた状態で点検お掃除運転した場合、フィルター清掃の途中な ど、ブラシがD側端にない状態 (表示灯(黄):連続点滅)で吸込グリルを閉 じないでください。正しくフィルター清掃できません。最悪の場合、お掃除ユ ニットが破損します。

③バックアップスイッチでの点検

バックアップスイッチで下記の点検動作ができます。動作内容はエコタッチリモコンを使用した場合と同じです。

バックアップスイッチ のON時間	点検内容	表示灯(緑)	表示灯(黄)	
3秒未満	点検お掃除運転	点灯	連続点滅	
3~6秒	ブラシ移動D→C	1回点滅	連続点滅	
6~10秒	ブラシ移動C→D	2回点滅 連続点滅		
10秒以上	位置スイッチ点検	*		

※表示灯(緑)と表示灯(黄)が3秒間点滅します。 その後、位置検知スイッチ(D側)をON中は 表示灯(緑)が占灯します。 位置検知スイッチ (C側) をON中は表示灯(黄)

が点灯します。再度、バックアップスイッチを 押すか5分経過すると終了します。

ご注意

点検動作中は、ブラシがD側端部にない(表示灯(黄):連続点滅)状態でグリルを昇降できます。(通常はできない) 表示灯(黄)が連続点滅しているときは吸込グリルを閉じないでください。

正しくフィルター清掃できません。最悪の場合、お掃除ユニットが破損します

必ず、表示灯(黄)が消灯しているのを確認してから、吸込グリルを閉じてください。表示灯(黄)が連続点滅してる場合は、消灯 してから吸込グリルを閉じてください。(個別点検のブラシ移動 C→D をタッチしてください)

ダスト回収時期に到達した場合は表示灯(黄)は点灯します。

ダスト回収し、フィルターサインをリセットした後、表示灯(黄)が連続点滅するか確認してください。

■保守点検について

本機は自動でエアフィルター清掃を行うため、普段のフィルターのお手入れは不要です。ただし、環境条件や使用 条件によっては、想定している交換周期よりも早く消耗が進みフィルターの目詰まり等の影響がでる場合がありま すので、下記の点検周期での保守点検を行ってください。

■点検と保全周期の目安について

保全周期は保証期間を示しているものではありませんので注意ください。

頻繁な発停のない通常の使用において、10時間/日、2,500時間/年と仮定した場合です。運転状況により異なりますので保守契約時にご確認ください。

主要部品	点検周期	保全周期 交換または修理	部品番号
ルーバ用モータ			SSA512T096
エアフレックス用モータ	1年	20.000 時間	SSA512T049
吸込グリル昇降用モータ	'#	20,000 時间	SSA511T029C
ブラシ移動シャフト用モータ			SSA512T067
ブラシ移動シャフト			PJF271A012
ブラシ移動ナット			PJF914C001
ブラシ移動シャフト用軸受			PJF935D001
ブラシ移動シャフト用ギア			PJF273A004 PJF273A009
ブラシ用ギア	1年	5年	PJF273J001
ブラシストッパ	1		PJF129A103
クシ			PJF129A105
ダストボックス蓋			PJF112A004
ダストボックス (透明)			PJF142A035
表示基板			PJA505A272
お掃除基板	1年	25,000 時間	PJA505A271H
吸込グリル昇降基板			PJZ505A033Z

	主要部品	点検周期	交換周期	部品番号		
ĺ	フィルター	1年	3年	PJF437A010A		
	ブラシ	1年	3年	PJF271A015		

注意: 部品番号は2020年4月現在のものです。予告なく変更することがあります。 最新の部品番号は販売店にお問い合わせください。

この表は一般的な使用条件下における定期点検の周期(点検周期)および部品交換などの目安を示しています。適切な保全設計(保守点検費用の予算化など)のためにお役立てください。建築物衛生法(ビル管法)の対象設備に該当する場合は、法規に従った保守点検も実施してください。「保全周期」および「交換周期」は、使用条件(運転時間が長い)や使用環境(高温・多湿・ホコリの量・油雰囲気など)がきびしくなると短縮する必要があります。

3.5 電気配線工事説明書

(1) セゾン標準機・寒冷地仕様機

電気配線工事は電気設備技術基準および内線規程に従い、電力会社の認定工事店で行ってください。

PSC012D148

0

0

0

٩

安全上のご注意

- ●作業前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しく作業してください。 安全のため必ずお守りください。
- ●誤った作業、行為をしたときに生じる危害や損害を「**△警告**」と「**△注意**」に区分し、お守りいただく内容を「図記号」を使用し説明 していますので、必ずお守りください。
- ●「**△警告**」「**△注意**」の意味

- ●ここで使われる"図記号"の意味は右のとおりです。 ◯ 絶対に行わない 🗨 🗣 必ず指示に従い行う
- ●下記のことを必ず守ってください。守らないときは、感電による火災、感電または過熱、ショートによる火災のおそれがあります。

⚠警告

- ●電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および電気配線工事説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。 電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災の原因になります。
- ●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災などの原因になります。

点検・修理にあたって、電源ブレーカがONのままだと、感電およびファン回転によるケガの原因になります。

- ●室内外ユニット間の配線は、端子カバーが浮き上がらないように整形し、カバーを確実に取付ける。 カバーの取付が不完全な場合は、端子接続部の発熱、火災や感電の原因になります。
- ●別売品は、必ず当社指定の部品を使用する。また、取付は専門業者に依頼する。 ご自分で取付をされ、不備があると、水漏れや感電、火災などの原因になります。
- ●改修は絶対にしない。また、修理はお買い上げの販売店に相談する。 修理に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。
- ●室内外ユニットを移動再設置する場合は、販売店または専門業者に相談する。
- 据付に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。

 ●室内外ユニットの修理・点検作業に際して「電源ブレーカ」を必ず OFF する。
- ●元電源を切った後に電気工事をする。 感電、故障や動作不良の原因になります。

⚠注意

●アース(接地)を確実に行う。

アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アース(接地)が不完全な場合は、故障や漏電のとき感電や火災の原因になることがあります。

- ●電源には必ず漏電しゃ断器(高調波対応品)を取付ける。
- 漏電しゃ断器が取付けられていないと感電や火災の原因になることがあります。
- ●正しい容量の全極しゃ断するブレーカ(漏電しゃ断器・手元開閉器(開閉器+B種ヒューズ)・配線しゃ断器)を使用する。 不適切な容量のブレーカを使用すると故障や火災の原因になることがあります。
- ●正しい容量のヒューズ以外は使用しない。

針金や銅線を使用すると故障や火災の原因になることがあります。

- ●電源配線は、電流容量に合った規格品の配線を使用する。 漏電や発熱・火災などの原因になることがあります。
- ●室内外接続用端子台および電源用端子台に単線とより線を併用しない。 また、異なったサイズの単線またはより線を併用しない。 端子台のねじゆるみや接触不良が生じ、発煙・発火の原因になることがあります。
- ●運転停止後、すぐに電源を切らない。 必ず5分以上待ってください。水漏れや故障の原因になることがあります。
- ●電源ブレーカによるエアコンの運転や停止をしない。 ルパッな場合の原用になることがなります。ファンが内が同じ、たちの原用にな

火災や水漏れの原因になることがあります。ファンが突然回り、ケガの原因になることがあります。

制御の切換

●室内ユニットの制御内容を下記方法にて切換可能です。(は工場出荷時の設定)

スイッチNo.	制御内容				
SW1	室内フ	パレス(10位)			
SW2	室内フ	ドレス(1位)			
SW5-1	#8 /フ la 体 / プリーニリ / フ lを示点\				
SW5-2	親/子切換(プルーラル/子機設定)				
SW6-1~4	機種容量				
SW7-1	ON	運転チェック・ドレンポンプ試運転			
3W7-1	OFF	通常運転			
SW7-2 (注1)	ON	旧SL通信仕様固定			
3007-2 (注1)	OFF	FF 新SL/旧SL通信仕様自動判別			
SW7-3	ON	室内アドレス(100の位) ON:1			
3447 3	OFF	室内アドレス(100の付) OFF:0			

※注1:集中制御機器接続時の場合

通信方式であるスーパーリンクの仕様が選択できます。

旧 SL: ビル空調 2LX シリーズ、ガスヒートポンプ M7 シリーズ以前 新 SL: ビル空調 3LX シリーズ、ガスヒートポンプ M8 シリーズ以降 SW7-2 が OFF (工場出荷設定) の場合は、通信仕様 (新 SL/ 旧 SL) を自動 判別します。

旧 SL 通信仕様固定で使用する場合は、SW7-2 を ON にしてください。 各通信仕様の特徴、制限は室内ユニット付属の説明書をご覧ください。

機種容量の設定

●本室内ユニットは、マルチV接続の場合のみ、それぞれの室内ユニット毎に機種容量設定が必要です。 機種容量設定は室内ユニットの制御箱内の基板上のスイッチ SW6 で設定してください。

シングル・ツイン・トリプル・Wツイン接続の場合

- [i]同機種/同容量の室内ユニットを接続する場合
 - ①室外ユニットから電源投入すると自動で機種容量を認識しますので、スイッチ設定は不要です。
 - ②エコタッチリモコンから、機種容量を確認できます。 詳細は ③室内ユニットのアドレス機種容量確認方法 を参照してください。

マルチ V 接続の場合

- [i] 異機種/異容量、同機種/異容量の室内ユニットを接続する場合
- ①電源投入前に室内ユニットの制御箱内の基板上のスイッチ SW6 で機種容量を設定してください。 形式により設定できる機種容量は下表の通り です。これ以外に設定しないでください。正常に運転できません。また破損の原因となります。
- [ii] 異機種 / 同容量の室内ユニットを接続する場合
 - ①自動で機種容量を認識するため、設定不要です。

形式	FDT		ZP635S		ZP715S	ZP805S	ZP16	605S
カグエし	FDR ZP565S		ZP635S	ZP805S		ZP1125S	ZP1605S	
容	2量	P50	P56	P63	P71	P80	P112	P140
SW	/6-1	ON	OFF	ON	OFF	ON	ON	OFF
SW	/6-2	OFF	ON	ON	OFF	OFF	ON	OFF
SW	/6-3	ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF	ON
SW	/6-4	OFF	OFF	OFF	ON	ON	ON	ON



注1: 工場出荷時の設定は自動認識(全て OFF)になっています。

注2: シングル・ツイン・トリプル・Wツイン接 続の場合でもスイッチを自動認識以 外の状態にすると、設定した機種容 量として認識してしまいます。

②エコタッチリモコンから、機種容量を確認できます。 詳細は ③室内ユニットのアドレス機種容量確認方法 を参照してください。

①電源・室内外配線の接続

- ●電気工事は電力会社の認定工事店で行ってください。本配線仕様は、下記に基づいて決定しています。
 - ①配線は銅線以外のものを使用しないでください。
 - ②電源は、室外ユニットへ接続してください。
 - ③電気ヒータ(別売品)はなしにて記載してあります。注:電気ヒータの組込みは不可です。別置ヒータを連動させる場合は、ヒータ専用電源を設けること。
- ●アース線は室内外接続線および室内ユニット間配線の接続前に接続してください。また、アース線は室内外接続線より長くし、アース線に力がかか らないようにしてください。 電線

丸型圧着端子

- ●電源は工事が完了するまで入れないでください。
- ●D種接地工事を必ず行ってください。
- ●端子台への接続は、丸型圧着端子を使用してください。
- ●専用の分岐回路を用い、他の機器と併用しないでください。併用した場合、電源ブレーカ落ちによる二次災害が生じる恐れがあります。
- ●室内外接続線は必ず3心ケーブルを使用してください。 詳細は室外ユニットに付属の据付説明書を参照ください。
- ●室内外接続線は途中接続しないでください。途中接続した場所に水が浸入すると、対地間絶縁不良や途中接続部の接触不良をまねき、通信異常 の原因となります。(万一、途中接続する場合には、絶対に水が浸入しないような処置を行ってください。)
- ●天井裏内の配線(電源・リモコン・室内外接続線など)はネズミ等により、かじられ切断することもありますので、なるべく鉄管等の保護管内に通してください。
- ●室内外ユニットの外部では、リモコン線と電源線が直接接触しないように施工してください。
- ●信号側端子台には、200V電源を絶対に接続しないでください。故障の原因となります。
- ●室内外接続線・室内ユニット間配線・アース線およびリモコン線の接続
 - ①室内外接続線・室内ユニット間配線・アース線およびリモコン線の接続は、制御箱内の電源側端子台、信号側端子台に接続してください。室 内外接続線の①②③は極性がありますので、必ず番号を合わせて接続してください。また、アース線は、電源側端子台アース端子に接続してください。
 - ②電源には必ず漏電しゃ断器を取付けてください。漏電しゃ断器は、インバータ回路用しゃ断器(三菱電機製NV-Cシリーズまたは、その同等 品)を選定してください。
 - ③漏電しゃ断器が地絡保護専用の場合には、漏電しゃ断器と直列に手元開閉器(開閉器+B種ヒューズ)または、配線用しゃ断器が必要となります。 ④手元開閉器は室外ユニットの近傍に設置してください。

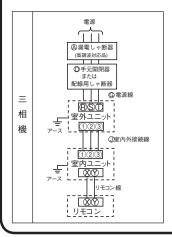
 \Box

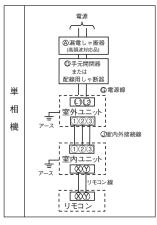
④漏電しゃ断器 (高調波対応品)①手元開閉器

- ●配線の接続はねじの緩みのないように確実に行ってください。また、制御箱内のコネクタの抜けや端子外れがないことを確認してください。
- ●補助電気ヒータ組込の場合は、電気ヒータ組込時の説明書・または技術資料で確認してください。

シングル接続の結線

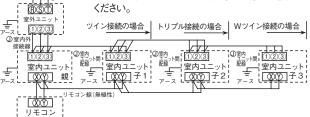
①室内電源取りおよび室内外別電源取りは原則できません。 ※例外的な接続方法の場合は技術資料を参照の上 所轄の電力会社にご相談の上、指示に従ってください。





ツイン・トリプル・Wツイン接続の結線

- ①親・子室内ユニット間は端子台①②③および※※ の同一番号間を接続してください。
- ②室内基板上のスイッチ SW7-3 (100 の位)、SW 1 (10 の位)、SW2 (1 の位) により、「000」~ 「015」 に設定してください。同一冷媒系統すべての室内ユ ニットは同一アドレスに設定してください。 ③子室内ユニットは、室内基板上のアドレススイッチ
- または配線用しゃ断器 SW5-1、SW5-2により、子1~子3に設定して ください。



|室内ユニットの親・子設定方法| (工場出荷時「親|設定)

				1 -		
	室内二	1ニット	親	子1	子2	子3
ı	室内基板	SW5-1	OFF	OFF	ON	ON
	SW	SW5-2	OFF	ON	OFF	ON

②リモコンの取付(別売部品)

- ●取付の詳細はリモコンの据付説明書を参照ください。
- ●次の位置へ取付けないでください。
 - ○直射日光の当たる所
- ○湿気の多い所、水が飛散する所
- ○油の飛沫や蒸気が直接触れる所

- ○発熱器具に近い所
- ○取付け面が発熱・結露する所
- ○取付け面の凹凸がある所

リモコン取付・配線

- ①リモコンの取付は、リモコン付属の説明書に従ってください。
- ②リモコン線は、0.3mm²×2心の電線またはケーブルを使用してください。配線の被覆は1mm以上のものを使用してください。(現地手配)
- ③リモコン線の総延長は600mです。

延長距離が100mを超える場合は、下記サイズに変更してください。 ただし、リモコンケース内を通る配線は最大0.5mm 以下とし、リモコン外部の 近傍で配線接続により、サイズを変更してください。

100~200m以内・・・・0.5mm²×2心 300m以内・・・・0.75mm²×2心 400m以内・・・・1.25mm²×2心 600m以内・・・・2.0mm²×2心

- ④誤動作する場合がありますので、多心ケーブルの使用は避けてください。
- ⑤リモコン線はアース(建物の鉄骨部分または金属など)からできるだけ離してください。
- ⑥リモコン線は確実にリモコンと室内ユニットの端子台に接続してください。(極性はありません)

1リモコンによる複数台室内ユニット制御

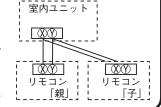
- ①1つのリモコンで複数台の室内ユニット(最大16台)をグループ制御できます。 同一モード、同一室温設定で運転します。
- ②グループ制御用に各室内ユニット間を2心のリモコン線にて渡り配線してください。
- ③室内ユニットの基板上のスイッチ SW7-3 (100 の位)、SW1 (10 の位)、SW2 (1 の位) により、室内アドレスを重複しないよう「000」~「127」から設定してください。



複数リモコン使用時の親子設定

室内ユニット1台(または1グループ)に対して、最大2個までリモコンを接続できます。後操作優先で運転します。 ワイヤードリモコン2台、あるいはワイヤードリモコン + ワイヤレスキット、あるいはワイヤレスキット2台のいずれかの組合せができます。

- 1個を「親」に、残りを「子」に設定してください。
 - 注意 リモコンセンサ有効設定は親リモコンのみ可能です。親リモコンを室温検知させる位置に取付けてください。



③室内ユニットのアドレス機種容量確認方法

●電源投入後、接続されている室内ユニットの機種容量とアドレスがリモコンに表示されることを必ず確認してください。 (アドレス確認はシングル接続を除く)

eco タッチリモコン (RC-DX シリーズ) の場合



1 メニューをタッ チする。 メニュー画面に 切換わります。



4 サービスパスワードを入力する。 5 セットをタッチ

する。 サービス・メンテ ナンスの画面に 切換わります。



8 接続されている 室内ユニットのア ドレスNo. (室内 機No.)と機種容 量(容量)が表示 されます。



2 サービス設定を タッチする。 サービス設定画 面に切換わり ます。



6 次ページをタッ チする。



3 サービス・メン テナンスをタッ チする。 パスワード入力 画面に切換わ ります。



7 室内機容量表 示をタッチする。

③室内ユニットのアドレス機種容量確認方法(つづき)

標準リモコン (RC-D シリーズ) の場合 機種容量は確認できません。



- 1 エアコンNo.ボタンを押す。 室内ユニットアドレスが表示されます。
- 2 ▲▼ボタンを押す。

接続されている室内ユニットのアドレスが表示されます。

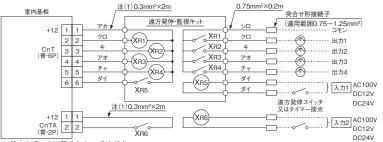
カバーを開けた状態です。また、液晶表示部は全表示してあります。

④リモコンからの操作・確認方法

			,
No.	項目	eco タッチリモコンから操作(RC-DX シリーズ)	標準リモコンから操作(RC-D シリーズ)
	リモコン系統内の 接続室内ユニット の接続確認方法	[メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [サービス・ メンテナンス] ⇒ [サービスパスワード] ⇒ [エアコン No. 表示] ⇒ [個別送風運転]	①エアコン No. を押してください。 ②▲▼ボタンで室内ユニットのアドレスを選択してください。 ③ [運転切換] を押してください。送風運転します。
2	親子リモコン 設定	[メニュー]⇒[サービス設定]⇒ [リモコン設定]⇒[サービスパスワード]⇒ [リモコン親子設定]	子リモコン切換スイッチ(SW1)を「子」に設定してください。
	運転データの 確認方法	[メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [サービス・メンテナンス] ⇒ [サービスパスワード] ⇒ [運転データ表示]	[点検] ⇒運転データ表示▼⇒ [セット] ⇒データ確認中⇒ 室内機選択⇒▲▼ボタンで接続されている室内アドレスを 1 台選択⇒ [セット] ⇒データ確認中⇒▲▼データ選択
	点検表示の 確認方法	[メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [サービス・メンテナンス] ⇒ [サービスパスワード] ⇒ [点検表示]	[点検] ⇒運転データ表示▼⇒ [▼] ⇒ エラーデータ表示▲⇒ [セット] ⇒データ確認中⇒ データ表示
	リモコンからの 冷房試運転方法	[メニュー]⇒[サービス設定]⇒ [据付設定]⇒[サービスパスワード]⇒ [試運転]⇒[冷房試運転]⇒[開始]	① [運転 / 停止] を押し、運転させてください。 ② [運転切換] により、「冷房」を選択します。 ③ [試運転] を3秒以上押します。表示が、「冷房試運転▼」 となります。 ④ 「冷房試運転▼」の表示で、[セット] ボタンを押すと、 冷房試運転を開始します。表示は「冷房試運転」となり ます。
6	リモコンから ドレンポンプ 試運転方法	[メニュー]⇒[サービス設定]⇒ [据付設定]⇒[サービスパスワード]⇒ [試運転]⇒[ドレンポンプ試運転]⇒[運転]	① [運転 / 停止] を押し、運転させてください。表示が「冷房試運転▼」となります。 ② [▼] を一度押し、「ドレンポンプ運転」を表示させます。 ③ [セット] を押すと、ドレンポンプ運転を開始します。 表示:「セットで停止」

リモコン形式の違いにより、メニュー構成が異なる場合があります。リモコン形式が異なる場合は、リモコン付属の据付説明書 をご覧ください。

⑤室内基板CnTコネクタの機能



- 注(1) 2mより長くしないでください。
- ●X_{R1~4}はDC12Vリレー(オムロン製LY2F相当品)
- Xnsは、DC12、24Vまたは100Vリレー(オムロン製MY2F相当品)
 Xnsは、DC12、24Vまたは100Vリレー(オムロン製MY2F相当品)
 CnTコネクタ (現地側) メーカ、形式
 コネクタ: モレックス製 5264-06
 端 子: モレックス製 5263T
 別売品 (PCZ006A043) を準備しておりますのでご利用ください。

- が売品 (PC2006A043) を準備しておりますのでご利用ください。
 遠方発停・監視キットを別売品にて準備しておりますのでご利用ください。
 C n T A コネクタは、F D T 他に搭載く仕様書で確認願います>(現地側)メーカ、形式コネクタ: 日本圧着端子JST製 X A P O 2 V − 1 − E 端 子: 日本圧着端子JST製 S X A − O 1 T − P O.6 別売品 (PCZ006A053) を準備しておりますのでご利用ください。

- ●出力1~4,入力1・2を下記の項目より自由に選択・設 定することができます。
 - 工場出荷時は下記のように設定されています。

44

ш//			
1	運転出力	8	ファン運転出力3
2	暖房出力	9	デフロスト,油戻し出力
3	圧縮機 ON 出力	10	換気出力
4	点検(異常)出力	11)	ヒータ出力
(5)	冷房出力	12	フリークーリング出力
6	ファン運転出力1	13	室内過負荷異常出力
7	ファン運転出力2		

入力

/ / / /				
1	運転 / 停止		(5)	設定温度シフト
2	運転許可禁止	$\ $	6	強制サーモ OFF
3	緊急停止	$\ $	7	一時停止
(4)	冷房 / 暖房	П	(8)	静音干-ド

工場出荷時の設定

CnT-2	出力 1	運転出力	CnT-5	出力 4	点検(異常)出力
CnT-3	出力2	暖房出力	CnT-6	入力 1	運転 / 停止
CnT-4	出力3	コンプ ON 出力	CnTA	入力2	運転 / 停止

●設定の方法は技術資料をご覧ください。

⑥リモコンからの操作・設定

- Ŏ
- ※ 1: RC-DX2 以前のリモコンには、この機能はありません。※ 2: RC-DX3 以前のリモコンには、この機能はありません。

A:eco タッチリモコン付属の取扱説明書を参照ください。 B:eco タッチリモコン付属の据付工事説明書を参照ください。 C:インターネットよりユーティリティーソフトを配信中です。 ○:eco タッチリモコンと、ほぼ同等の機能設定・操作が可能です。 △:eco タッチリモコンと、類似の機能設定・操作が可能です。	※ 1: RC-DX2 以前のリモコンには、この機能はありません。 ※ 2: RC-DX3 以前のリモコンには、この機能はありません。 ※ 3: RC-DX3A 以前のリモコンには、この機能はありません。 ※ 4: RC-DX3B 以前のリモコンには、この機能はありません。

	設定および	·表示項目	詳細内容	eco タッチ	標準 リモコ
را.	ノモコンネットワーク				
			リモコン 1 台(リモコンネットワーク内)に最大 16 台室内ユニットを接続制御できます。室内ユニット側にアドレスを設定します。		0
2 親子リモコン設定			リモコンネットワーク内に 2 個のリモコン (含むワイヤレスリモコン) を接続できます。 片側を「親」とし、片側を「子」として設定します。	В	0
2.T	OP 画面・SW 操作	F			
1	メニュー		制御・設定・詳細設定等の項目を追加します。	Α	
	運転モード		冷房・暖房・送風・自動・除湿を設定します。	Α	С
	設定温度		室温を 0.5℃単位で設定します。	Α	C
	風向		風向を設定します。 おまかせ気流の有効 / 無効を設定します(FDK の場合)。 ※2	Α	
	風量		風量を設定します。	Α	C
6	タイマー設定		タイマー運転を設定します。	Α	C
7	運転/停止 SW		運転を開始します。/停止します。	Α	
8	F1 スイッチ	* 1	F1 スイッチの割付られた機能で運転、操作を行います。	Α	
9	F2スイッチ	* 1	F2 スイッチの割付られた機能で運転、操作を行います。	Α	
	言語切換	* 3	リモコンに表示する言語を選択します。 選択できる言語は下記です。 英語 / 日本語 ドイツ語 / フランス語 / スペイン語 / イタリア語 / オランダ語 / トルコ語 / ポルトガル語 / ロシア語 / ポーランド語 / 中国語	А	
	フリーフロー設定		各ルーバの可動範囲(上限位置―下限位置)を設定します。	Α	
2	エアフレックス (風、 エアフレックスパネ、		FDK の場合は左限位置 - 右限位置も設定します。 ※2 ・詳細設定:各運転モード、各吹出口のエアフレックス(風よけ)機構動作の有効・無効を設定します。 ・ON/OFF 切換:詳細設定で、有効にされている各吹出口のエアフレッ	A	
3タイマー設定 時間入		時間入タイマー	※3 クス ON/OFF(作動中 / 停止中)を切換えます。 停止後、運転させたい時間を設定します。 ・1 ~ 12 時間の範囲を 1 時間単位で設定可能です。 ・運転開始時の運転モード・設定温度・風量を設定できます。	A	
		時間切タイマー	運転後、停止させたい時間を設定します。 ・1 ~ 12 時間の範囲を 1 時間単位で設定可能です。	Α	
		時刻入タイマー	運転開始時刻を設定します。 ・設定時刻は5分単位で設定可能です。 ・1回のみ/毎日の切換が可能です。 ・運転開始時の運転モード・設定温度・風量を設定できます。	А	
		時刻切タイマー	運転停止時刻を設定します。 ・設定時刻は5分単位で設定可能です。 ・1回のみ/毎日の切換が可能です。	Α	
		タイマー設定内容確認	各タイマーの設定内容を一覧できます。	Α	
4	おこのみ設定 管理者パスワード	* 1	おこのみ設定運転で使用する運転モード、設定温度、風量、風向を設定します。おこのみ設定 1、おこのみ設定2のそれぞれに設定が可能です。	Α	
5 ウィークリータイマー			1 週間の入タイマーまたは切タイマーを設定します。 ・1 日最大 8 パターンまで設定可能です。 ・設定時刻は 5 分単位で設定可能です。 ・祭日および臨時休業など、休日設定が可能です。 ・運転開始時の運転モード・設定温度・風量を設定できます。		۷
6 るす番運転 管理者パスワード 7 換気 換気機器組合せの場合			お部屋を留守にするとき、お部屋は著しく高温/低温にならないように温度を保ちます。 ・外温と制御温度により冷房/暖房を行います。 ・設定温度、風量の設定が可能です。	А	
)場合	換気の ON/OFF 操作を行います。 [メニュー]⇒[サービス設定]⇒[リモコン設定]⇒[換気設定]の設定が必要です。 ・換気設定を「単独操作」に設定した場合、換気機器の運転 / 停止ができます。	А	С
			リモコンに表示する言語を選択します。選択できる言語は下記です。 英語 / 日本語 ドイツ語 / フランス語 / スペイン語 / イタリア語 / オランダ語 / ※2 トルコ語 / ポルトガル語 / ロシア語 / ポーランド語 / 中国語	А	

	び表示項目 	詳細内容	eco タッチ	標準リモコ
9 室外静音設計	* 3	室外ユニットの静音性を優先して運転します。 ・室外静音運転の開始・停止を設定します。	Α	
10 見てみて		室内温度、室外温度、運転時間、消費電力量を表示します。 ・室内ユニット一室外ユニットの組合せによっては表示できない場合があります。	Α	
11 消費電力量表示		今日、今週、今年の消費電力量をグラフで表示します。 昨日、先週、昨年と比較することができます。 ・室内ユニット一室外ユニットの組合せによっては表示できない場合があります。	Α	
4. 省エネ設定		管理者パスワード		
1 切忘れ防止タイマ	7_	運転を開始してから停止するまでの時間を設定します。 ・設定時間は30~240分(10分単位)まで選択可能です。 ・設定「有効」の場合、毎回、タイマーが作動します。	А	\triangle
2ピークカットタイマ	_	能力を制限する運転の開始時刻と停止時刻、能力制限率を設定します。 ・1 日最大 4 パターンまで設定可能です。 ・設定時刻は 5 分単位で設定可能です。 ・能力制限率は 0,40 ~ 80% (20%単位) から選択可能です。 ・祭日および臨時休業など、休日設定が可能です。	Α	
3 設定温度自動復	市	設定時刻後に設定した温度に戻ります。 ・暖房モード / 冷房モード他、各々設定可能です。 ・設定時間は 20 ~ 120 分(10 分単位)まで設定可能です。 ・設定時刻は 10 分単位で設定可能です。	А	Δ
4 人感センサー制御 人感センサーがあ	る場合	人感センサーを使用の場合、パワーコントロールとオートオフの有効/無効を設定します。	А	
	* 4	パワーコントロールの冷房時 / 暖房時設定温度を設定します。	Α	
5. お手入れ				
1 フィルターサイン		フィルターサインの解除を行います。	Α	
リセット	次回清掃日の設定	次回清掃日の設定を行います。	Α	
2 グリル昇降	ラクリーナパネル制御 ラクリーナパネル 組合せの場合	ラクリーナパネル グリルの昇降操作をします。 [メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [据付設定] ⇒ [グリル昇降操作]の 設定が必要です。	А	0
	降下長設定 管理者パスワード	グリル昇降長さを設定します。 ・0.1 ~ 4.0 mの範囲で設定できます。 ・設定長さは 0.1 m単位で設定可能です。 ・接続室内ユニット毎に設定できます。	Α	0
	ダスト回収リセット お掃除パネル組合せの場合	ダスト回収後にダスト回収タイマーをリセットします。	Α	
3 お掃除パネル設定	お掃除自動設定	自動清掃の有効 / 休止を設定します。	Α	
	清掃時間帯設定	自動清掃を開始する時間帯を設定します。	Α	
管理者パスワード	清掃間隔設定	自動清掃する最小の間隔を設定します。	Α	
	ダスト回収設定	ダストの回収時期を設定します。	Α	
	ブラシ清掃回数設定	ブラシの清掃回数を設定します。	Α	
	ブラシ移動速さ ※4	ブラシ移動速さを設定します。	Α	
	ブラシ往復数 ※4	ブラシ往復数を設定します。	Α	
. ユーザ設定				
1 初期設定	時刻設定	現在の日付・時刻を設定および修正を行います。 ・80 時間以内の停電の場合、内蔵バックアップ電源の働きにより時計は動き続けます。	Α	
	時刻表示設定	時刻表示のあり/なし、12 H/ 24 H、AM/PM 位置、を設定します。	Α	
	サマータイム補正	現在時刻に対し、+1時間の補正を行います。	Α	
	コントラスト調整	液晶の濃度の調整を行います。	Α	
	バックライト	バックライトの有効/無効、点灯時間を設定します。	Α	
	ブザー音	タッチパネル操作時のブザー音のあり/なしを設定します。	Α	
		運転ランプの輝度の調整を行います。	Α	
2 管理者設定 管理者パスワード	操作制限設定	・操作の許可 / 禁止を設定します。 [運転 / 停止][設定温度切換][運転モード切換][風向切換] [風量切換][ハイパワー運転][省エネ運転][見てみて][タイマー設定] [消費電力量表示] ※ 1 ・操作時の管理者パスワード要求を設定します。 [フリーフロー設定][グリル降下長設定][ウィークリータイマー設定]	Α	

設定および 	·表示項目 	詳細内容	eco タッチ	標リモ
性理者設定 管理者パスワード	室外静音タイマー	室外ユニットの静音性を優先して運転する時間帯を設定します。 ・静音運転開始時刻と終了時刻を設定可能です。 ・設定時刻は5分単位で設定可能です。	А	2
	設定温度範囲	設定温度範囲を制限します。 ・運転モードによる温度範囲の制限が可能です。	Α	4
	温度設定刻み切換	設定温度の刻み (0.5℃ /1.0℃) を設定します。	Α	
	設定温度表示切換	設定温度の表示の仕方を切換えます。	Α	
	リモコン表示設定	リモコン名称、室内ユニット名称を登録します。 室温表示のあり / なしを設定します。 点検コード、暖房準備、除霜運転中、自動冷暖の表示、リモコン・室温・ 外温表示のあり / なしを設定します。	Α	4
	管理者パスワード変更	管理者パスワードの変更を行います。	Α	
		管理者パスワードのリセットを行います。	В	
	スイッチ機能変更※ 1	F1、F2 スイッチの機能を設定します。 設定できる機能 [エアフレックス ON/OFF] ※ 3 [ハイパワー運転][省エネ運転][室外静音制御][るす番運転] [おこのみ設定運転1][おこのみ設定運転 2][フィルタサインリセット] [グリル昇降][消費電力量表示]	Α	
サービス設定				
据付設定	据付日登録	据付日を登録した場合、点検表示を行います。	В	
サービスパスワード	サービス情報入力	リモコンに連絡先を登録することができます。 ・連絡先を半角 26 文字相当以内で登録できます。 ・連絡先 TEL 番号を 13 文字以内で登録できます。	В	
	試運転	試運転の開始/停止を制御できます。		
	冷房試	設定 5℃ 30 分間運転します。	В	4
	ドレンポンプ試運転	ドレンポンプのみを運転します。		
	お掃除試運転	フィルター清掃 ブラシ清掃運転します。 お掃除パネル組合せの場合	В	
	ダクト機静圧補正	機外静圧補正機能付ダクト形室内ユニット組合せの場合に操作できます。 ・接続室内ユニット毎に個別に設定できます。	В	
	自動アドレス変更	個別発停マルチシリーズ自動アドレス番号を変更することができます。	В	_
	親室内機アドレス設定	個別発停マルチシリーズ 設定された親ユニットのみ運転モード変更を許可し、親を設定したユニットは親ユニットから送られた運転モードに従って 運転します。	В	4
	バックアップ制御	1 台のリモコンに室内ユニット 2 台(2 グループ) は接続されている時にローテーション運転、キャパシティバックアップ運転、フォルトバックアップ運転の有効/無効が設定できます。	В	
		リモコンに接続された室内ユニットの人感センサー検知の有効/無効を設定します。 無効の場合は、省エネ設定の人感センサー制御を行うことができません。	В	
	グリル昇降操作	ラクリーナパネル操作を有効に設定します。 ラクリーナパネル組合せの場合	В	(
リモコン設定	リモコン親子設定	リモコン親子設定の変更ができます。	В	(
サービスパスワード	吸込センサー制御	1 台のリモコンに複数室内ユニットが接続されている場合、サーモ判定に 用いる吸込センサーを選択できます。 ・個別/親機/平均の選択が可能です。	В	
	リモコンセンサー	リモコンセンサーに切替えるモードを設定できます。 冷房/暖房で切替可能です。	В	
	リモコンセンサー補正	リモコンセンサー検知温度を補正できます。 冷房/暖房 別々に補正可能です。	В	
		各運転モード毎に有効/無効を設定できます。	В	_
	設定温度単位	設定温度の単位を設定します。 ・℃/ ℉の選択が可能です。	В	
	 ファン速度	ファン速度の選択が可能です。	В	(
	外部入力設定	1 つのリモコンに複数室内ユニットが接続された場合、CnT 入力の適用 範囲が設定されます。	В	(
1	 上下ルーバ制御	上下ルーバの [4 位置停止] / [フリー停止]の切換ができます。	В	(

設定および		詳細内容	eco タッチ	標準 リモコン
2 リモコン設定	左右ルーバ制御 ※2	左右ルーバの [固定位置停止] / [フリー停止] の切換ができます。	В	
		換気ユニット組合せ制御が設定できます。	В	0
サービスパスワード	停電補償	停電復帰した場合の制御内容を設定できます。	В	0
	設定温度自動設定	設定温度自動の有効/無効を選択できます。	В	
	風量自動設定	風量自動の有効/無効を選択できます。	В	
3 室内設定	風速設定	室内ユニットの風量タップを設定します。	В	
	フィルターサイン	フィルターサイン点灯タイマーの設定が換えられます。	 B	0
サービスパスワード	外部入力 1 設定	外部入力1の制御内容を換えられます。	_	0
	外部入力 1 方式初換	外部入力1の信号方式を換えられます。	 B	0
		外部入力1の制御内容を換えられます。	В	
	7 1 AP7 175 - A71-C	外部入力2の信号方式を換えられます。	В	
		THE TOTAL CONTROL OF THE TOTAL		
	暖房室温補正	暖房サーモ判定値を0~+3℃の範囲で補正できます。	<u>B</u>	<u>^</u>
	吸込温度補正	吸込センサー検知温度を±2℃の範囲で補正できます。	<u>B</u>	
	冷房ファン制御	冷房サーモ OFF 時のファン制御を変更できます。	В	0
	暖房ファン制御	暖房サーモ OFF 時のファン制御を変更できます。	В	0
	フロスト防止温度	冷房中室内ユニットの凍結防止制御の判定温度を変更できます。	В	0
	フロスト防止制御	冷房中室内ユニットの凍結防止制御作動後のファンタップアップを変更で きます。	В	0
	ドレンポンプ運転	冷房・除湿以外の運転モードでのドレンポンプ運転範囲を設定できます。	В	0
		冷房停止・冷房サーモ OFF 後のファン残留運転を設定できます。	В	0
		暖房停止・暖房サーモ OFF 後のファン残留運転を設定できます。	В	0
	暖房ファン間欠	暖房停止・暖房サーモOFFファン残留運転後のファン運転を設定できます。	 B	0
	送風サーモ運転	送風時のサーキュレータ運転を設定できます。	 B	
	外調機設定	マルチユニット外調機単独運転時の圧力制御を変更できます。	В	
		運転モード自動判定方法を3種類から選択できます。	В	
	サーモ判定切換	サーモ判定を室外温度で補正することができます。	В	
	風量自動切換	風量自動運転における自動切換範囲を設定できます。	В	
	室内過負荷アラーム	運転開始 30 分後、設定温度と吸込温度の差が過負荷アラームで設定した温度差以上ある場合、外部出力(CnT-5) から過負荷アラーム信号を送信します。	В	
	外部出力設定 ※ 1	外部出力 1 ~ 4 に割当てる機能を変えられます。	В	
4 サービス・ メンテナンス	エアコンNo. 表示	リモコン 1 台に 16 台の室内ユニットを接続できます。 個別送風運転で確認できます。	В	0
	次回点検日	次回の点検日を登録することができます。点検日に連絡先の表示をします。	ΑB	0
サービスパスワード	運転データ表示	室内ユニット+室外ユニットの運転データをモニターすることができます。	В	0
	点検表示	三十二十二十二十八年報グーグとピーグーチのことがてきなり。		
		 過去の異常履歴(点検コード・発生時間)を表示します。		
	T T T T T T T T T T T T T T T T T T T	直前の異常発生時の運転データを表示します。		
			В	
		異常時運転データが消去されます。		
		定期点検タイマーをリセットします。		
		接続室内ユニット基板設定内容をリモコンへバックアップすることができます。	В	
	特殊操作	[室内アドレス消去][CPU リセット][初期化設定][タッチパネル調整] の操作ができます。	В	
	室内機容量表示 ※1	リモコンに接続されている室内アドレス番号とその容量を表示します。	В	
	お掃除パネル点検	お掃除パネルの詳細点検操作ができます。	В	0
3. 困ったときは・・・				
1 連絡先表示		登録した連絡先・TEL番号、サービスフロントセンターフリーコールを表示します。 QR コードでインターネット接続⇒点検コード内容を検索できます。	Α	
り サービフも仕与され	ス哉/こ○○ ^		Λ	<u> </u>
2 サービスを依頼され	る別に U & A	Q &Aが表示されます。 	A	
9. 点検表示				<u> </u>
点検表示確認		異常発生時の表示	Α	
0. パソコン接続				
USB 接続		ウィークリータイマー設定他、パソコンから一括設定ができます。	С	

[◆]組合せ室内・室外ユニットの仕様により、本内容が機能しない場合もあります。

(2) ビル空調システム・ガスヒートポンプ

電気配線工事は電気設備技術基準および内線規程に従い、電力会社の認定工事店で行ってください。

PSC012D139

0

Ò

0

安全上のご注意

- ●作業前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しく作業してください。 安全のため必ずお守りください。
- ●誤った作業、行為をしたときに生じる危害や損害を「**△警告**」と「**△注意**」に区分し、お守りいただく内容を「図記号」を使用 し説明していますので、必ずお守りください。
- ●「**△警告**」「**△注意**」の意味

★警告 守らないと、死亡または重大な障害にいたる危険性がある事項について説明しています。

<u>↑</u>、注意 │守らないと、傷害や物的損害ある事項について説明しています。

- ●下記のことを必ず守ってください。守らないときは、感電による火災、感電または過熱、ショートによる火災のおそれがあります。

⚠警告

- ●電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および電気配線工事説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。 電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災の原因になります。
- ●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。 接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災などの原因になります。
- ●室内外ユニット間の配線は、端子カバーが浮き上がらないように整形し、カバーを確実に取付ける。 カバーの取付が不完全な場合は、端子接続部の発熱、火災や感電の原因になります。
- ●別売品は、必ず当社指定の部品を使用する。また、取付は専門業者に依頼する。 ご自分で取付をされ、不備があると、水漏れや感電、火災などの原因になります。
- ●改修は絶対にしない。また、修理はお買い上げの販売店に相談する。 修理に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。
- ●室内外ユニットを移動再設置する場合は、販売店または専門業者に相談する。 据付に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。
- ●室内ユニットの修理・点検作業に際して「電源ブレーカ」を必ず OFF する。 ・点検・修理にあたって、電源ブレーカが O N のままだと、感電およびファン回転によるケガの原因になります。
- ●元電源を切った後に電気工事をする。 感電、故障や動作不良の原因になります。

注意

- ●アース(接地)を確実に行う。
 - アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アース(接地)が不完全な場合は、故障や漏電のとき感電や火災の原因になることがあります。
- ●電源には必ず漏電しゃ断器(高調波対応品)を取付ける。

漏電しゃ断器が取付けられていないと感電や火災の原因になることがあります。

- ●正しい容量の全極しゃ断するブレーカ(漏電しゃ断器・手元開閉器(開閉器+B種ヒューズ)・配線しゃ断器)を使用する。不適切な容量のブレーカを使用すると故障や火災の原因になることがあります。
- ●正しい容量のヒューズ以外は使用しない。 針金や銅線を使用すると故障や火災の原因になることがあります。
- ●電源配線は、電流容量に合った規格品の配線を使用する。 漏電や発熱・火災などの原因になることがあります。
- ●室内外接続用端子台および電源用端子台に単線とより線を併用しない。 また、異なったサイズの単線またはより線を併用しない。
- 端子台のねじゆるみや接触不良が生じ、発煙・発火の原因になることがあります。
- ●運転停止後、すぐに電源を切らない。
 - 必ず5分以上待ってください。水漏れや故障の原因になることがあります。
- ●電源ブレーカによるエアコンの運転や停止をしない。
- 火災や水漏れの原因になることがあります。ファンが突然回り、ケガの原因になることがあります。

制御の切換

スイッチNo.	制御内容					
SW1	室内ア	室内アドレス(10位)				
SW2	室内で	室内アドレス(1位)				
SW3	室外で	バレス(10位)				
SW4	室外アアドレス(1位)					
CWE_1	ON	旧SL通信仕様固定				
(注1)	OFF	新SL/旧SL通信仕様自動判別				
SW5-2	室内ア	ドレス(100位)				
SW6-1~4	機種容量					
SW7-1	ON	運転チェック・ドレンポンプ運転試				
3441	OEE	湿中温料				

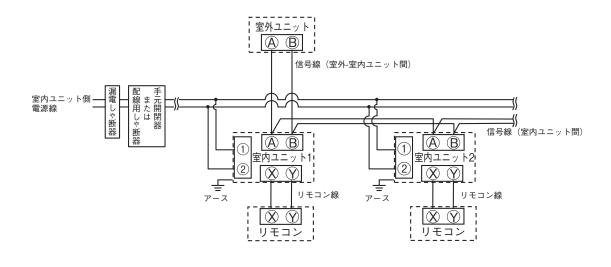
注1:通信方式であるスーパーリンクの仕様が選択できます。

旧 SL: ビル空調 2LX シリーズ, ガスヒートポンプ M7 シリーズ以前 新 SL: ビル空調 3LX シリーズ, ガスヒートポンプ M8 シリーズ以降 SW5-1 が OFF (工場出荷設定) の場合は, 通信仕様 (新 SL/旧 SL) を自動判別します。

旧SL通信仕様固定で使用する場合は、SW5-1 を ON にしてください。 各通信仕様の特徴、制限は室外ユニットに付属の据付説明書をご覧ください。

①電源・室内外配線の接続

- ●電気工事は電力会社の認定工事店で行ってください。本配線仕様は、下記に基づいて決定しています。
 - (1)配線は銅線以外のものを使用しないでください。
 - ②電源は、室外ユニット、室内ユニット各々別電源としてください。
 - ③電気ヒータ(別売品) はなしにて記載してあります。
 - 注:電気ヒータを組込む場合は、電源仕様・配線仕様および配線本数が異なりますので、ご注意ください。
 - ④同一系統内の室内ユニットの電源は、必ず全て同時 ON、同時 OFF になるようにしてください。
- ●アース線は室内外接続線および室内ユニット間配線の接続前に接続してください。また、アース線は室内外接続線より長くし、アース線に力がかからないようにしてください。
- ●電源は工事が完了するまで入れないでください。
- D種接地工事を必ず行ってください。
- ●端子台への接続は、丸型圧着端子を接続してください。
- ●専用の分岐回路を用い、他の機器と併用しないでください。併用した場合、電源ブレーカ落ちによる二次災害は生じる恐れがあります。
- ●機種毎に設定された過電流および漏洩しゃ断器を設置してください。
- ●室内外の信号線は途中接続しないでください。途中接続した場合に水が浸入すると、対地間絶縁不良や途中接続部の接触不良をまねき、通信異常の原因となります。(万一、途中接続する場合には、絶対に水が浸入しないような処置を行ってください。)
- ●天井裏内の配線(電源・リモコン・室内外接続線など) はネズミ等により、かじられ切断することもありますので、なるべく鉄管等の 保護管内に通してください。
- ●室内ユニットに接続する電源線は 3.5mm² まで使用可能です。5.5mm² 以上の配線を使用する場合は、専用のプルボックスを使用し、 室内ユニットへ分岐してください。
- ●信号線と電源線の接続を間違えますと全ての基板が焼損する場合がありますので、ご注意ください。
 - ① A-B 信号線に誤って、200V 電源を接続しても初めの 1 回は保護します。
 - ②電源投入 15 分経過後リモコンからユニット No.(アドレス)が確認できない場合は、全ての信号線を確認して誤接続を修復してください。
 - ③焼損基板のジャンパー線 J10SL1 を切り、コネクタ CnK(黄) CnK1(白) を CnK2(黒) に差し替える。
 - ④ A-B 端子台から基板までの配線に異常があれば交換してください。
- ●室内外ユニットの外部では、リモコン線と電源線が直接接触しないように施工してください。
- ●リモコン用端子台には、200V 電源を絶対に接続しないでください。故障の原因となります。
- ●ユニット間配線・アース線およびリモコン線の接続
 - ①ユニット間配線・アース線およびリモコン線の接続は、制御箱内の電源側端子台、信号側端子台に番号を合わせて接続してください。また、アース線は、電源側端子台アース線に接続してください。
 - ②電源には必ず漏洩しゃ断器を取付けて下さい。漏洩しゃ断器は、インバータ回路用しゃ断器(三菱電機製 NV-C シリーズまたは、その同等品)を選定してください。
 - ③漏電しゃ断器が地絡保護専用の場合には、漏洩しゃ断器と直列に手元しゃ断器 (開閉器+B種ヒューズ) または、配線用しゃ断器が必要となります。
 - ④手元開閉器はユニットの近傍に設置ください。
- ●配線の接続はねじの緩みのないように確実に行ってください。また、制御箱内のコネクタの抜けや端子外れがないことを確認してください。
- ●補助電気ヒータ組込の場合は、電気ヒータ組込時の説明書・または技術資料で確認してください。





①電源・室内外配線の接続(つづき)

電源仕様

●室内ユニットを個別に電源に接続する場合

①室内ユニット電源使用(②~③以外の機種)								
機種容量	漏電しゃ断器定格	開閉器容量	ヒューズ	電源線太さ	配線こう長	信号線	リモコン線	アース線
22-36形					298m			
45-56形	15A 30mA 0.1sec	30A	15A	2.0mm ² ×2	275m	0.75~1.25mm ²	0.3mm ² ×2/i>	2.0mm ²
71-90形	15A 30IIIA 0.13eC	JUA	IJA	2.011111 /2	179m	×2	0.511111 \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	2.011111
112-160形					123m			
②高静圧ダクト、	、給気処理ユニット、加	湿器付外気処	1理ユニット					
45-90形					149m	0.75 1.052		
112-160形	15A 30mA 0.1sec	30A	15A	2.0mm ² ×2	85m	0.75~1.25mm ² ×2	0.3mm ² ×2心	2.0mm ²
224,280形					28m	\Z		
③床置形システムパッケージ								
112形	15A 30mA 0.1sec	150	15A	2.0mm ² ×2	51m	0.75 - 1.052		
140,160形	TOA GOITIA O.TSEC	30A		2.0111111-^2	34m	0.75~1.25mm ² ×2	0.3mm ² ×2心	2.0mm ²
224,280形	20A 30mA 0.1sec		20A	3.5mm ² ×2	32m			

- 注 1. 配線こう長は、電圧降下2%とした場合を示します。上記の配線こう長を越える場合は、内線規程に従い、配線太さを見直してください。
- 注 2. リモコン線の延長距離が100mを越える場合は、 ③リモコンの取付 に従い、配線太さを見直してください。

●複数の室内ユニットを一つの電源に接続する場合

室内ユニット	配線太さ	配線こう長	配線用しゃ断器
合計電流	(mm²)	(m)	定格電流
7A以下	2	21	20A
11A以下	3.5	21	20A
12A以下	5.5	33	20A
16A以下	5.5	24	30A
19A以下	5.5	20	40A
22A以下	8	27	40A
28A以下	8	21	50A

- 注1. 表中のこう長は、室内ユニットを直列に接続した場合の値を示します。また、室内ユニット合計電流別に電圧降下を2%以内とした場合の配線太さとこう長を示しています。電流が左表の値を超える場合、内線規程に従い配線太さを見直してください。
- 注2. サービス時 (電源OFF時) のため、別の冷媒配管系統の室内ユニットを同一電源とすることは避けてください。

漏電しゃ断器の定格感度電流は、下記計算式と判定方法を参照ください。

注3. 下記に示す計算式は目安であり、現地設備、工事内容により異なる場合があります。漏電しゃ断器が頻繁に作動する場合は、現地設備、工事内容に適した漏電しゃ断器を選定してください。

<計算式> 必要感度電流 = (各室内ユニットの機種係数 ×台数)の合計値 + (配線係数×配線長[km])

<機種係数>

12 12 17 20	
機種	係数
FDT,FDTC	3.5
FDTW,FDTS,FDR,FDU,FDE,FDK,FDU-F	2.5
その他	1

<配線係数>

電源配線径	係数
2.0mm ²	50
3.5mm ²	60
5.5mm ²	60
8.0mm ²	60

<判定方法>

(i) 必要感度電流≤30

定格感度電流30mA (0.1s以下) 品をご使用ください。

(ii) 30<必要感度電流≤100

原則、必要感度電流が30mA以下となるよう漏電しゃ断器の系統分割をしてください。 系統分割が難しい場合は、接地抵抗値が内線規程に基づいた値以下となる様確実に 接地工事を行った場合に限り、定格感度電流100mA(0.1s以下)品の使用が可能 です。

(iii) 100<必要感度電流

漏電しゃ断器の系統分割(追加)が必要です。

冷暖フリーマルチの場合

分流コントローラの配線

●本ユニットを冷暖フリーマルチとして使用する場合は分流コントローラ(別売品)に付属の据付説明書をご覧ください。

②アドレス設定

アドレス設定は、(1) 手動アドレス設定、(2) 自動アドレス設定の2方法ができます。 自動アドレス設定の場合、アドレス設定後、ワイヤードリモコンからアドレスの変更が可能です。

設定方法は、室外ユニットに付属の説明書をご覧ください。

③リモコンの取付(別売部品)

- ●次の位置へ取付けないでください。
 - ○直射日光の当たる所
 - ○発熱器具に近い所
 - ○湿気の多い所、水が飛散する所
 - ○取付面が発熱・結露する所
 - ○油の飛沫や蒸気が直接触れる所
 - ○取付面の凹凸がある所

リモコン取付・配線

- ①リモコンの取付は、リモコン付属の説明書に従ってください。
- ②リモコン線は、 $0.3\,\mathrm{mm}^2 \times 2$ 心の電線またはケーブルを使用してください。配線の被覆は $1\,\mathrm{mm}$ 以上のものを使用してください。(現地手配)
- ③リモコン線の総延長は600mです。

延長距離が100mを超える場合は、下記サイズに変更してください。ただし、リモコンケース内を通る配線は最大0.5mm²以下とし、リモコン外部の近傍で配線接続により、サイズを変更してください。

100~200m以内・・・・0.5mm²×2心

300 m以内・・・・0.75 mm²×2心

400m以内・・・・1.25mm²×2心

600m以内・・・・2.0mm²×2心

- ④誤動作する場合がありますので、多心ケーブルの使用は避けてく ださい。
- ⑤リモコン線はアース (建物の鉄骨部分または金属など) からできるだけ離してください。
- ⑥リモコン線は確実にリモコンと室内ユニットの端子台に接続してください。(極性はありません)

1 リモコンによる複数台室内ユニット制御

①1つのリモコンで複数台のユニット(最大16台)をグループ制 御できます。

同一モード、同一室温設定で運転します。

- ②グループ制御用に各室内ユニット間を2心のリモコン線にて渡り 配線してください。
- ③室内・室外No. を手動アドレス設定にてセットしてください。
 - ○室内ユニット基板上のロータリースイッチSW1,SW2およびディップスイッチSW5-2により、室内No. を重複しないように設定してください。
- ④右図のように室外ユニットが複数台の場合でもリモコン複数台制御可能です。

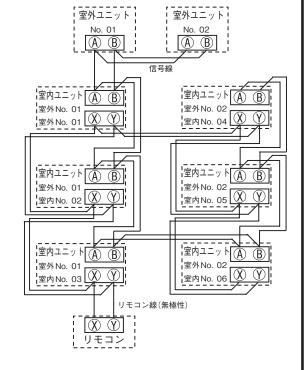
複数リモコン使用時の親子設定

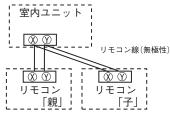
室内1台(または1グループ)に対して、最大2個までリモコンを接続できます。後操作優先で運転します。

ワイヤードリモコン2台、あるいはワイヤードリモコン + ワイヤレスキット、あるいはワイヤレスキット2台のいずれかの組合せができます。

1個を「親」に、残りを「子」に設定してください。

○ 注意 リモコンセンサ有効設定は親リモコンのみ可能です。親リモコンを室温検知させる位置に取付けてください。



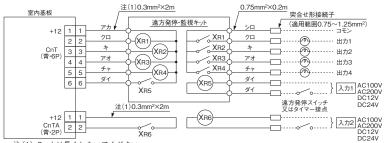


③リモコンからの操作・確認方法

No.	項目	eco タッチリモコンから操作(RC-DX シリーズ)	標準リモコンから操作(RC-D シリーズ)
-	リモコン系統内の 接続ユニットの接 続台数確認方法	[メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒	①エアコン No. を押してください。
2	リモコン系統内の 接続室内ユニット の接続確認方法	[メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [サービス・メンテナンス] ⇒ [サービスパスワード] ⇒ [エアコン No. 表示] ⇒ [個別送風運転]	①エアコン No. を押してください。②▲▼ボタンで室内ユニットのアドレスを選択してください。③ [運転切換]を押してください。送風運転します。
3	親子リモコン設定	[メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [リモコン設定] ⇒ [サービスパスワー ド] ⇒ [リモコン親子設定]	子リモコン切換スイッチ(SW1)を「子」に設定してください。
4	運転データの確認 方法	[メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [サービス・メンテナンス] ⇒ [サービスパスワード] ⇒ [運転データ表示]	[点検] ⇒運転データ表示▼⇒ [セット] ⇒ データ確認中⇒室内機選択⇒▲▼ボタンで接続されて いる室内アドレスを1台選択⇒ [セット] ⇒ データ確認中⇒▲▼データ選択
5	点検表示の確認 方法	[メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [サービス・メンテナンス] ⇒ [サービスパスワード] ⇒ [点検表示]	[点検] ⇒運転データ表示▼⇒ [▼] ⇒ エラーデータ表示▲⇒ [セット] ⇒ データ確認中⇒データ表示
6	リモコンからの 冷房試運転方法	[メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [据付設定] ⇒ [サービスパスワード] ⇒ [試運転] ⇒ [冷房試運転] ⇒ [開始]	① [運転 / 停止] を押し、運転させてください。 ② [運転切換] により、「冷房」を選択します。 ③ [試運転] を3秒以上押します。表示が、「冷房試運 転▼」となります。 ④ 「冷房試運転▼」の表示で、[セット] ボタンを押すと、 冷房試運転を開始します。表示は「冷房試運転」と なります。
7	リモコンから ドレンポンプ 試運転方法	[メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [据付設定] ⇒ [サービスパスワード] ⇒ [試運転] ⇒ [ドレンポンプ試運転] ⇒ [運転]	 ① [運転 / 停止] を押し、運転させてください。表示が 「冷房試運転▼」となります。 ② [▼]を一度押し、「ドレンポンプ運転」を表示させます。 ③ [セット]を押すと、ドレンポンプ運転を開始します。表示:「セットで停止」

リモコン形式の違いにより、メニュー構成が異なる場合があります。リモコン形式が異なる場合は、リモコン付属の据付 説明書をご覧ください。

④室内基板CnTコネクタの機能



- 注(1) 2mより長くしないでください。

- 注(1) 2mより長くしないでください。

 X R1~4 はD C 12 V リレー (オムロン製 L Y 2 F 相当品)

 X R1~4 はD C 12、24 V または100 V リレー (オムロン製 M Y 2 F 相当品)

 CnT コネクタ (現地側) メーカ、形式コネクタ:モレックス製 5 2 6 4 − 0 6 端子:モレックス製 5 2 6 4 − 0 6 端子:モレックス製 5 2 6 3 T 別売品 (PCZ006A043) を準備しておりますのでご利用ください。

 遠方発停・監視キットを別売品にて準備しておりますのでご利用ください。

 CnT Aコネクタは、F D T 他に搭載<仕様書で確認願います> (現地側)メーカ、形式コネクタ:日本圧着端子JST製 X A P O 2 V − 1 − E 端子:日本圧着端子JST製 S X A − 0 1 T − P 0.6 別売品 (PCZ006A053)を準備しておりますのでご利用ください。

- ●出力1~4,入力1・2を下記の項目より自由に選択・設 定することができます。
 - 工場出荷時は下記のように設定されています。

ЩЛ				
1	運転出力	П	8	ファン運転出力3
2	暖房出力	Ш	9	デフロスト,油戻し出力
3	圧縮機ON 出力	П	10	換気出力
4	点検(異常)出力	П	(1)	ヒータ出力
(5)	冷房出力	П	12	フリークーリング出力
6	ファン運転出力1	П	13	室内過負荷異常出力
7	ファン運転出力2	Ι.		

7 +

<u> </u>								
1	運転 / 停止	(5)	設定温度シフト					
2	運転許可禁止	6	強制サーモ OFF					
3	緊急停止	7	一時停止					
(4)	冷房 / 暖房	(8)	静音モード					

丁場出荷時の設定

CnT-2 出力 1 運転出力	CnT-5 出力 4 点検 (異常)出力
CnT-3 出力 2 暖房出力	CnT-6 入力 1 運転 / 停止
CnT-4 出力 3 コンプ ON 出力	CnTA 入力 2 運転 / 停止

●設定の方法は技術資料をご覧ください。

⑤リモコンからの操作・設定

〈ecoタッチリモコンの凡例〉 A:eco タッチリモコン付属の取扱説明書を参照ください。 B:eco タッチリモコン付属の据付工事説明書を参照ください。

C: インターネットよりユーティリティーソフトを配信中です。

〈標準リモコンの設定操作可否〉

○: eco タッチリモコンと、ほぼ同等の機能設定・操作が可能です。 ○: eco タッチリモコンと、類似の機能設定・操作が可能です。 空欄: 標準リモコンには、この機能はありません。

設定および表示項目	詳細内容	eco タッチ	標準リモコ
1 複数室内機制御	リモコン 1 台(リモコンネットワーク内)に最大 16 台室内ユニットを接続制御できます。室内ユニット側にアドレスを設定します。		0
2 親子リモコン設定	リモコンネットワーク内に 2 個のリモコン (含むワイヤレスリモコン) を接続できます。 片側を「親」 とし、片側を「子」 として設定します。		0
P.TOP 画面・SW 操作			
1 メニュー	制御・設定・詳細設定等の項目を追加します。		
2 運転モード	冷房・暖房・送風・自動・除湿を設定します。		
3 設定温度	室温を0.5℃単位で設定します。	Α	0
4 風向	風向を設定します。 おまかせ気流の有効 / 無効を設定します (FDK の場合)。 ※2	Α	
5 風量	風量を設定します。		С
6 タイマー設定	タイマー運転を設定します。	Α	
7 運転/停止 SW	運転を開始します。/停止します。	Α	
8 F1 スイッチ **	1 F1 スイッチの割付られた機能で運転、操作を行います。	Α	
9 F2スイッチ **	1 F2 スイッチの割付られた機能で運転、操作を行います。	Α	
10 言語切換	3 リモコンに表示する言語を選択します。 選択できる言語は下記です。 英語 / 日本語 ドイツ語 / フランス語 / スペイン語 / イタリア語 / オランダ語 / トルコ語 / ポルトガル語 / ロシア語 / ポーランド語 / 中国語	А	
1 フリーフロー設定	各ルーバの可動範囲(上限位置—下限位置)を設定します。 FDK の場合は左限位置 - 右限位置も設定します。 ※2	Α	
2 エアフレックス (風よけ) 設定※ 1 エアフレックスパネル組合せの場合※ 3	・詳細設定:各運転モード、各吹出口のエアフレックス(風よけ)機構動作の有効・無効を設定します。 ・ON/OFF 切換:詳細設定で、有効にされている各吹出口のエアフレックス ON/OFF (作動中/停止中)を切換えます。	А	
3 タイマー設定 時間入タイマー	停止後、運転させたい時間を設定します。 ・1 ~ 12 時間の範囲を 1 時間単位で設定可能です。 ・運転開始時の運転モード・設定温度・風量を設定できます。		
時間切タイマー	運転後、停止させたい時間を設定します。 ・1 ~ 12 時間の範囲を 1 時間単位で設定可能です。	Α	
時刻入タイマー	運転開始時刻を設定します。 ・設定時刻は5分単位で設定可能です。 ・1回のみ/毎日の切換が可能です。 ・運転開始時の運転モード・設定温度・風量を設定できます。	А	
時刻切タイマー	運転停止時刻を設定します。 ・設定時刻は5分単位で設定可能です。 ・1回のみ/毎日の切換が可能です。	А	
タイマー設定内容確	認 各タイマーの設定内容を一覧できます。	Α	
4 おこのみ設定 ※ 管理者パスワード	1 おこのみ設定運転で使用する運転モード、設定温度、風量、風向を設定します。おこのみ設定1、おこのみ設定2のそれぞれに設定が可能です。	Α	
5 ウィークリータイマー	1 週間の入タイマーまたは切タイマーを設定します。 ・1 日最大 8 パターンまで設定可能です。 ・設定時刻は 5 分単位で設定可能です。 ・祭日および臨時休業など、休日設定が可能です。 ・運転開始時の運転モード・設定温度・風量を設定できます。	А	
6 るす番運転 管理者パスワード	お部屋を留守にするとき、お部屋は著しく高温 / 低温にならないように温度を保ちます。 ・外温と制御温度により冷房 / 暖房を行います。 ・設定温度、風量の設定が可能です。	А	
7 換気機器組合せの場合	換気の ON/OFF 操作を行います。 [メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [リモコン設定] ⇒ [換気設定] の設定が必要です。 ・換気設定を「単独操作」に設定した場合、換気機器の運転 / 停止ができます。	А	С

※ 1:RC-DX2 以前のリモコンには、この機能はありません。 ※ 2:RC-DX3 以前のリモコンには、この機能はありません。 ※ 3:RC-DX3A 以前のリモコンには、この機能はありません。

※ 4: RC-DX3B 以前のリモコンには、この機能はありません。 ※ 5: 標準リモコンには、この機能はありません。

設定および	が表示項目	詳細内容	eco タッチ	標準 リモコ
8 言語切換設定		リモコンに表示する言語を選択します。 ・選択できる言語は下記です。 英語 / 日本語 ドイツ語 / フランス語 / スペイン語 / イタリア語 / オランダ語 / ※2 トルコ語 / ポルトガル語 / ロシア語 / ポーランド語 / 中国語		
9 室外静音設定	* 3	室外ユニットの静音性を優先して運転します。 ・室外静音運転の開始・停止を設定します。	Α	
0見てみて		室内温度、室外温度、運転時間、消費電力量を表示します。 ・室内ユニット一室外ユニットの組合せによっては表示できない場合があります。	Α	
1 消費電力量表示		今日、今週、今年の消費電力量をグラフで表示します。 昨日、先週、昨年と比較することができます。 ・室内ユニット一室外ユニットの組合せによっては表示できない場合があります。	А	
 . 省エネ設定		管理者パスワード		
1 切忘れ防止タイマ-	_	運転を開始してから停止するまでの時間を設定します。 ・設定時間は 30 ~ 240 分 (10 分単位) まで選択可能です。 ・設定「有効」の場合、毎回、タイマーが作動します。	А	Δ
ピークカットタイマー		能力を制限する運転の開始時刻と停止時刻、能力制限率を設定します。 ・1 日最大 4 パターンまで設定可能です。 ・設定時刻は 5 分単位で設定可能です。 ・能力制限率は 0,40 ~ 80% (20%単位) から選択可能です。 ・祭日および臨時休業など、休日設定が可能です。	А	
設定温度自動復帰		設定時刻後に設定した温度に戻ります。 ・暖房モード / 冷房モード他、各々設定可能です。 ・設定時間は 20 ~ 120 分(10 分単位)まで設定可能です。 ・設定時刻は 10 分単位で設定可能です。	А	
人感センサ制御 ※1		人感センサを使用の場合、パワーコントロールとオートオフの有効/無効を 設定します。	Α	
人感センサがある場	易合	パワーコントロールの冷房時 / 暖房時設定温度を設定します。	Α	
. お手入れ				
1 フィルターサイン		フィルターサインの解除を行います。	Α	
リセット		次回清掃日の設定を行います。	Α	
2 グリル昇降	ラクリーナパネル制御 ラクリーナパネル 組合せの場合	ラクリーナパネル グリルの昇降操作をします。 [メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [据付設定] ⇒ [グリル昇降操作]の 設定が必要です。	Α	C
	降下長設定 管理者パスワード	グリル昇降長さを設定します。 ・0.1 ~ 4.0 mの範囲で設定できます。 ・設定長さは 0.1 m単位で設定可能です。 ・接続室内ユニット毎に設定できます。	А	С
	ダスト回収リセット お掃除パネル組合 せの場合	ダスト回収後にダスト回収タイマーをリセットします。	А	
3 お掃除パネル設定	お掃除自動設定	自動清掃の有効 / 休止を設定します。	Α	
	/月1市中日1市中以上	自動清掃を開始する時間帯を設定します。	Α	
管理者パスワード	清掃間隔設定	自動清掃する最小の間隔を設定します。	Α	<u> </u>
	ダスト回収設定	ダストの回収時期を設定します。	Α	
		ブラシの清掃回数を設定します。	Α	
		ブラシ移動速さを設定します。	Α	
	ブラシ往復数 ※4	ブラシ往復数を設定します。	Α	

※ 1:RC-DX2 以前のリモコンには、この機能はありません。 ※ 2:RC-DX3 以前のリモコンには、この機能はありません。 ※ 3:RC-DX3A 以前のリモコンには、この機能はありません。

※ 4:RC-DX3B 以前のリモコンには、この機能はありません。※ 5:標準リモコンには、この機能はありません。

設定および表示項目		詳細内容		標準リモコン
L 6. ユーザ設定				
1 初期設定 時刻設定 現在・80		現在の日付・時刻を設定および修正を行います。 ・80 時間以内の停電の場合、内蔵バックアップ電源の働きにより時計 は動き続けます。		Δ
		時刻表示のあり/なし、12 H/24 H、AM/PM 位置、を設定します。	Α	
	サマータイム補正	現在時刻に対し、+1時間の補正を行います。	Α	
	コントラスト調整	液晶の濃度の調整を行います。	Α	
	バックライト	バックライトの有効/無効、点灯時間を設定します。	Α	
	ブザー音タッチパネル操作時のブザー音のあり/なしを設定します。		Α	
	運転ランプ輝度 ※1	運転ランプの輝度の調整を行います。	Α	
2 管理者設定 管理者パスワード	[運転 / 停止][設定温度切換][運転モード切換][風向切換]		А	Δ
	室外静音タイマー	室外ユニットの静音性を優先して運転する時間帯を設定します。 ・静音運転開始時刻と終了時刻を設定可能です。 ・設定時刻は5分単位で設定可能です。	А	\triangle
	設定温度範囲	設定温度範囲を制限します。 ・運転モードによる温度範囲の制限が可能です。	Α	
	温度設定刻み切換	設定温度の刻み (0.5℃ /1.0℃) を設定します。	Α	
	設定温度表示切換	設定温度の表示の仕方を切換えます。	Α	
	リモコン表示設定 ウモコン名称、室内ユニット名称を登録します。 室温表示のあり / なしを設定します。 点検コード、暖房準備、除霜運転中、自動冷暖の表示、リモコン・室温 外温表示のあり / なしを設定します。		А	
	管理者パスワード変更 管理者パスワードの変更を行います。		Α	
	管理者パスワードのリセットを行います。		В	
	スイッチ機能変更※ 1 F1、F2 スイッチの機能を設定します。 設定できる機能 [エアフレックス ON/OFF] ※ 3 [ハイパワー運転][省エネ運転][室外静音制御][るす番運転] [おこのみ設定運転1][おこのみ設定運転 2][フィルターサインリセット [グリル昇降][消費電力量表示]		А	
7. サービス設定	TD (T D 26 V3			\vdash
1 据付設定	据付日登録	据付日を登録した場合、点検表示を行います。	В	\vdash
サービスパスワードサービス情報入力		リモコンに連絡先を登録することができます。 ・連絡先を半角 26 文字相当以内で登録できます。 ・連絡先 TEL 番号を 13 文字以内で登録できます。	В	
	試運転 試運転の開始/停止を制御できます。 冷房試運転 設定 5℃ 30 分間運転します。 ドレンポンプ試運転 ドレンポンプのみを運転します。		В	
		フィルター清掃 ブラシ清掃運転します。 お掃除パネル組合せの場合	В	
	ダクト機静圧補正 機外静圧補正機能付ダクト形室内ユニット組合せの場合に操作できます。 ・接続室内ユニット毎に個別に設定できます。		В	
	自動アドレス変更 個別発停マルチシリーズ自動アドレス番号を変更することができます。		В	
	親室内機アドレス 個別発停マルチシリーズ 設定された親ユニットのみ運転モード変更を許可し、親を設定したユニットは親ユニットから送られた運転モードに従って運転します。 バックアップ制御 1 台のリモコンに室内ユニット2台(2グループ)は接続されている時にローテーション運転、キャパシティバックアップ運転、フォルトバックアップ運転の有効/無効が設定できます。 人感センサー設定 ※ 1 以モコンに接続された室内ユニットの人感センサー検知の有効/無効を設定します。 無効の場合は、省エネ設定の人感センサー制御を行うことができません。 グリル昇降操作 ラクリーナパネル操作を有効に設定します。 ラクリーナパネル組合せの場合		В	
			В	
			В	
			В	0

設定および表示項目		詳細内容		標準 リモコン
		リモコン親子設定の変更ができます。		0
サービスパスワード		1 台のリモコンに複数室内ユニットが接続されている場合、サーモ判定に 用いる吸込センサーを選択できます。 ・個別/親機/平均の選択が可能です。	В	
リモコ	ンセンサー	リモコンセンサーに切替えるモードを設定できます。 冷房/暖房で切替可能です。	В	\triangle
リモコ		リモコンセンサー検知温度を補正できます。 冷房/暖房 別々に補正可能です。	В	
運転-	Eード選択	各運転モード毎に有効/無効を設定できます。	В	Δ
設定法	温度単位	設定温度の単位を設定します。 ・°C / °Fの選択が可能です。	В	
ファン	 速度	ファン速度の選択が可能です。	В	0
外部之	入力設定	1 つのリモコンに複数室内ユニットが接続された場合、CnT 入力の適用 範囲が設定されます。	В	0
		上下ルーバの [4 位置停止] / [フリー停止] の切換ができます。	В	0
左右,	レーバ制御 ※ 2	左右ルーバの [固定位置停止] / [フリー停止] の切換ができます。	В	
換気調	没定	換気ユニット組合せ制御が設定できます。	В	0
停電袖	甫償	停電復帰した場合の制御内容を設定できます。	В	0
設定法	且度自動設定	設定温度自動の有効/無効を選択できます。	В	
風量自	自動設定	風量自動の有効/無効を選択できます。	В	
3 室内設定 風速	设定	室内ユニットの風量タップを設定します。	В	0
フィル	ターサイン	フィルターサイン点灯タイマーの設定が換えられます。	В	0
サービスパスワード外部に	入力 1 設定	外部入力 1 の制御内容を換えられます。	В	0
外部之	入力 1 方式切換	外部入力 1 の信号方式を換えられます。	В	0
外部之	入力 2 設定	外部入力2の制御内容を換えられます。	В	
外部之	入力2方式切換	外部入力2の信号方式を換えられます。	В	
暖房雪	室温補正	暖房サーモ判定値を0~+3℃の範囲で補正できます。	В	\triangle
吸込法	量度補正 品度補正	吸込センサー検知温度を±2℃の範囲で補正できます。	В	\triangle
冷房	ファン制御	冷房サーモ OFF 時のファン制御を変更できます。	В	0
暖房	ファン制御	暖房サーモ OFF 時のファン制御を変更できます。	В	0
フロス	ト防止温度	冷房中室内ユニットの凍結防止制御の判定温度を変更できます。	В	0
フロス	卜防止制御	冷房中室内ユニットの凍結防止制御作動後のファンタップアップを変更できます。	В	0
ドレン	ポンプ運転	冷房・除湿以外の運転モードでのドレンポンプ運転範囲を設定できます。	В	0
冷房	ファン残留運転	冷房停止・冷房サーモ OFF 後のファン残留運転を設定できます。	В	0
暖房	ファン残留運転	暖房停止・暖房サーモ OFF 後のファン残留運転を設定できます。	В	0
		暖房停止・暖房サーモ OFF ファン残留運転後のファン運転を設定できます。	В	0
送風士	ナーモ運転	送風時のサーキュレータ運転を設定できます。	В	
外調材	幾設定	マルチユニット外調機単独運転時の圧力制御を変更できます。	В	
運転	Eード自動設定	運転モード自動判定方法を3種類から選択できます。	В	
サーモ	判定切換	サーモ判定を室外温度で補正することができます。	В	
	自動切換	風量自動運転における自動切換範囲を設定できます。	В	
		運転開始 30 分後、設定温度と吸込温度の差が過負荷アラームで設定した温度差以上ある場合、外部出力(CnT-5) から過負荷アラーム信号を送信します。	В	
I		外部出力1~4に割当てる機能を換えられます。	В	

※ 1: RC-DX2 以前のリモコンには、この機能はありません。※ 2: RC-DX3 以前のリモコンには、この機能はありません。※ 3: RC-DX3A 以前のリモコンには、この機能はありません。

※ 4:RC-DX3B 以前のリモコンには、この機能はありません。※ 5:標準リモコンには、この機能はありません。

設定および表示項目		詳細内容		標準 リモコン
4 サービス・ メンテナンス	4 サービス・ エアコンNo. 表示 リモコン 1 台に 16 台の室内ユニットを接続 確認できます。		В	0
	次向占栓ローニングの方栓口を登録することができます。占栓口に連絡生の表示をします。		АВ	0
	軍転データ表示	室内ユニット+室外ユニットの運転データをモニターすることができます。	В	0
	点検表示			
	異常履歴表示	過去の異常履歴(点検コード・発生時間)を表示します。		
	異常時運転データ表示 直前の異常発生時の運転データを表示します。] B	
異常時運転データ消去		異常時運転データが消去されます。		
	定期点検リセット 定期点検タイマーをリセットします。 室内設定保存 接続室内ユニット基板設定内容をリモコンへバックアップすることができます。 特殊操作 [室内アドレス消去][CPU リセット][初期化設定][タッチパネル調整]の操作ができます。 室内機容量表示 ※ 1 リモコンに接続されている室内アドレス番号とその容量を表示します。 お掃除パネル点検 お掃除パネルの詳細点検操作ができます。			
			В	
\$			В	
			В	
4			В	0
8. 困ったときは・・・				
1 連絡先表示		登録した連絡先・TEL番号、サービスフロントセンターフリーコールを表示 します。 QR コードでインターネット接続⇒点検コード内容を検索できます。	А	
2 サービスを依頼される前に Q & A Q & Aが表示されます。		Α		
9. 点検表示				
点検表示確認 異常発生時の表示		Α	\triangle	
10. パソコン接続				
USB接続 ウィークリータイマー設定他、パソコンから一括語		ウィークリータイマー設定他、パソコンから一括設定ができます。	С	

[◆]組合せ室内・室外ユニットの仕様により、本内容が機能しない場合もあります。

(3) スーパーリンク配線工事

PSC012D136

・本説明書は、集中制御オプション等を使用するためのスーパーリンクネットワーク信号線(DC5V)接続方法を記載してあります。 他の説明書と合わせてご覧ください。

① 据付の前に

● ネットワークに接続される全ての機器が新スーパーリンク対応の場合にのみ新スーパーリンク仕様になります。 ネットワーク内に旧スーパーリンク対応機器が存在する場合は、旧スーパーリンク仕様になります。 旧スーパーリンクの場合にはディップスイッチ SW7-2 (ON) に切換えてください。

通信方式		新スーパーリンク(※1)	旧スーパーリンク(※2)
ネットワーク内の	室内ユニットの台数	最大 128 台 000 ~ 127	最大 48 台 00 ~ 47
接続台数	プルーラル機の台数	最大 16台 000~015	最大 16 台 00 ~ 15
スーパーリンク集	中制御からの距離	1000m 以内	1000m 以内
使用する	記線の仕様	MVVS(シー)	レド線)(※3)
ネットワーク全体の	0.75mm ²	1500m 以内	1000m 以内
信号線合計長さ	1.25mm ² (% 4)	1000m 以内	1000m 以内

(※1) ビル空調 3LX シリーズ,ガスヒートポンプ M8 シリーズ以降

(※2) ビル空調 2LX シリーズ, ガスヒートポンプ M7 シリーズ以前

(※3) 電線工業会 規格番号: JCS 4271: 2003

(※4) 線径 2.0mm² は使用しないでください。誤作動となる場合があります。

SW7-2 スーパーリンク 新旧

ON:旧固定

OFF: 自動判定

② 室内アドレスの設定

● 室内ユニットコントローラ基板のスイッチにて室内アドレス設定をしてください。 オートアドレス設定には対応していません。リモコンからのアドレス設定には対応していません。

スイッチ

SW7-3 ON 100の位 1 2 3 4

ON : 1 OFF : 0

1 SW1

SW2 1の位

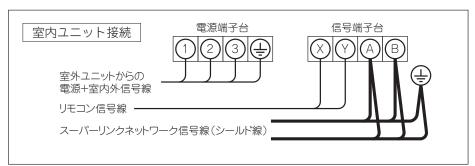
出荷時設定 "000"

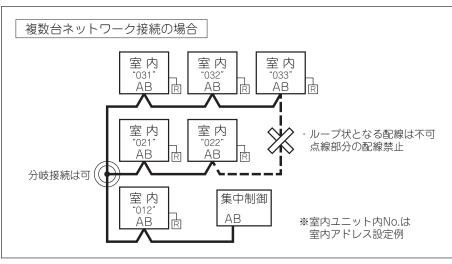
・プルーラルの親子設定は ディップスイッチ SW5 にて設定してください<電気配線工事説明書参照>。

10の位

- ・プルーラル機の室内アドレスは、"000"から"015"に設定してください。
- ・プルーラル子機は親機の室内アドレスに合わせて設定してください。

③ スーパーリンクネットワーク接続要領 <信号端子台 A B>





・信号端子台への接続は、M 3.5 用の圧着端子を使用してください。

7mm以下 [(o]

- ・配線はシールド線を使用して両端 をアースへ接続してください。
- ・AB 信号線には極性はありません。 AB 接続が反転しても通信します。

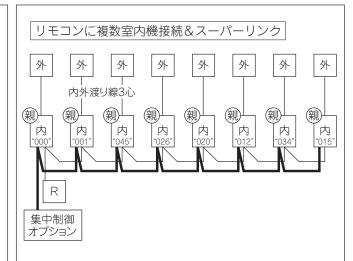




- ・電源 + 室内外信号線とリモコン線 の並走は避けてください。
- ・電源 + 室内外信号線とスーパーリンク線の並走は避けてください。

プルーラル制御 複数台の混在 室外 室外 内外渡り線 内外渡り線 3 (Z) (Z) (親) (3)k 1 (子) (親) 内 内 内 内 内 内 "000" ,000, R R R -方のみ"親"に 集中制御 オプション 設定してください。

- ・スーパーリンクは親機にのみ接続してください。
- ・プルーラル接続の場合室内アドレスは、"000" ~ "015"から設定してください。
- ・子機の室内アドレスは親機に合わせてください。
- ・リモコン 2 個接続の場合はどちらか一方のみ "親" に設定してください。
 くリモコン据付工事説明書参照>
 ※室内ユニット内 No. は室内アドレス設定例



- ・集中制御する全室内ユニットに信号線をつないでください。 集中制御から個別に室温設定・風量設定等が行えます。 リモコンには優先室内ユニットの情報が表示されます。 リモコンから操作した場合同一設定になります。
- ・室内アドレスは、"000" ~ "127" から設定してください。 ※室内ユニット内 No. は室内アドレス設定例

4 接続の確認要領

- AB信号線回路はDC5Vですので絶対にAC200Vの配線を接続しないでください。
 - ・電源投入前に信号線端子台 A-B 間の抵抗をご確認ください。
 - A-B 間の抵抗が100 Ω以下の場合は、電源線を信号線端子台へ接続している可能性があります。
 - 新スーパーリンク対応機だけが接続されている場合 抵抗値の目安=5100/接続台数
 - 旧スーパーリンク機が混在している場合 抵抗値の目安= 46000 / ((旧の接続台数 ×5) + (新の接続台数 ×9))
 - 台数が多い場合は、一時的に信号線を外し、分割後の回路毎に確認してください。

⑤ 予備回路の接続

- AB信号線回路(DC5V)と電源線の接続を間違えますと全ての基板が焼損する場合がありますので、ご注意ください。
 - 1. A-B 信号線に誤って 200V 電源を接続しても初めの 1 回は保護します。
 - 2. 電源投入 15 分経過後集中制御側から室内アドレス No. が確認できない場合は、全ての信号線を確認して誤接続を修復してください。
 - 3. 焼損(基板上の CNK1(白コネクタ)付近にあるヒューズ※が切れている)基板のジャンパ線 -JSL1- を切り、コネクタ CNK(白)を CNK1(白)から CNK2(黒)に差し替えてください。
 - ※ FDTW, FDTS, FDR, FDU, FDE の場合 F1, F2 ※FDT, FDTC, FDK の場合 F3, F4
 - 4. 端子台 AB から基板までの配線に異常があれば交換してください。

⑥ 点検表示

・ 室内ユニット 基板 LED・リモコン・集中制御オプション等を確認してください。

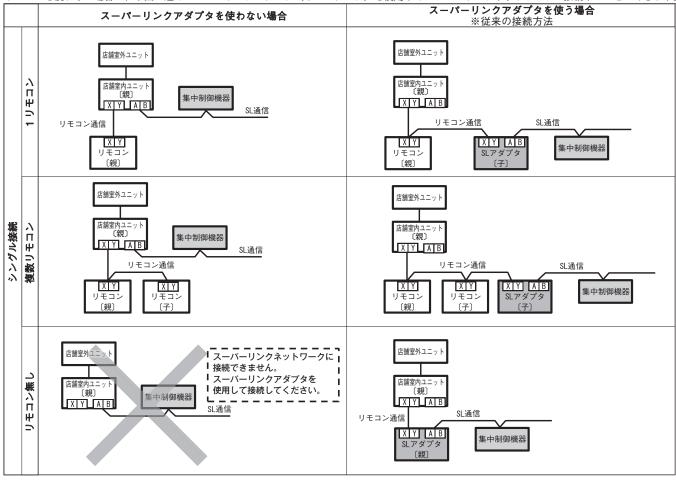
室内ユニッ	ト 基板 LED	△	T= ==
赤	緑	点検モード	エラー表示
消灯	連続点滅	正常	消灯
消灯	消灯	電源不良	消灯
/H/J	/月八	室内①②に電圧が無い	/月八
1 回点滅	連続点滅	室内アドレス No. 重複	F 2
	建柳炽燃	室内ユニット接続台数オーバー	[[2

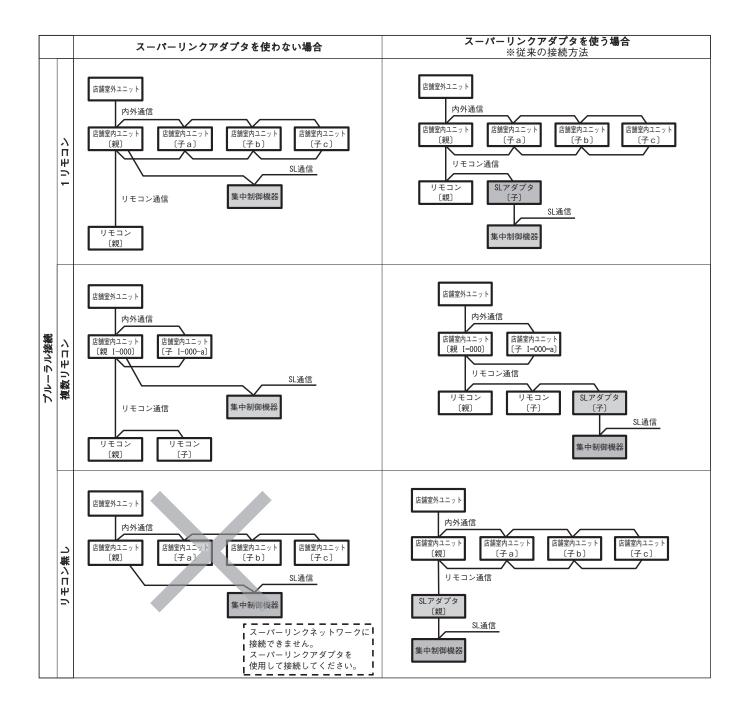
⑦注意事項

- 1. ①リモコン無(ワイヤードリモコンまたはワイヤレスリモコン無)では使用できません。 ②ブルーラル機の室内アドレスは、"000"から"015"以外では使用できません。
 - ●①②の仕様が必要な場合は、スーパーリンクアダプタ SC-ADNA の使用を検討してください。 スーパーリンクアダプタ(リモコン線接続)を使用の場合は、室内基板 CNK の接続を外してください。
- 2. 集中制御機器からプルーラル子機の機能設定はできません。親機のみ有効です。子機は設定可能なワイヤードリモコンより操作してください。
- 3. 集中制御へのフィルタサイン出力は、親機の出力のみ有効です。 子機の情報はワイヤードリモコンより確認してください。

店舗機系統が1台の場合のスーパーリンクネットワーク接続例

複数台系統の場合は、据付説明書の接続要領を確認して接続してください。 リモコンを使わない場合は、下図の通りスーパーリンクアダプタ(SLアダプタ)を使用してスーパーリンクネットワークに接続することができます。





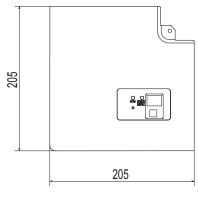
3.6 ワイヤレスキット

ワイヤレスリモコン(RCN-D5)・ワイヤレス受信部(LA-T-5BW1, LA-T-5SB1)

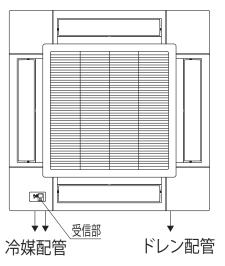
(1) 仕様

PJF000Z631

受信部



ワイヤレス受信部取付位置



注 図の位置にのみ受信部は取付可能です。

受信部基板上のスイッチ設定

SW1-1	複数台設置時の 混信誤動作防止	ON:通常	OFF:切換
SW1-2	受信部の親子切換	ON:親	OFF:子
SW1-3	ブザー音	ON:有り	OFF:無し
SW1-4	停電補償	ON:有効	OFF:無効

出荷時設定: で囲まれた設定

お願い oワイヤレスリモコンを正しくエアコンの受信部に向けて 操作してください。

- ○操作距離は受信部照明度、部屋壁面の反射状態に より変化します。
- ○受信部に直射日光・照明等の強い光が当たっている場合、 操作距離の縮小、また、受信不良が起こる場合があります。

ワイヤレス受信部の据付

ワイヤレス受信部を下記場所に設置しないでください。 ワイヤレス受信部の故障や変形の原因になることがあります。

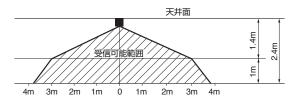
- (1)直射日光の当たる場所
- (2)発熱器具の近く
- (3)湿気の多い所・水の掛る所
- (4)取付面が発熱・結露する場所
- (5)油の飛沫や蒸気が直接触れる場所
- (6)取付面に凹凸がある所
- (7)室内ユニットの吹出し空気が当たる場所
- (8) 蛍光灯 (特にインバータタイプ) の近く あるいは、直接日光が受信部に当たる場所
- (9)他の赤外線通信機器の光線が受信部に当たる場所
- (10)ワイヤレスリモコンの操作場所から見て、障害物に 隠れてしまう場所

ワイヤレスリモコンの操作距離

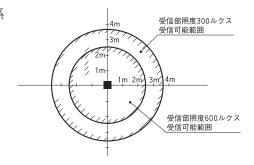
① 標準的な受信距離

[条件] 受信部照明度300ルクス

(一般事務所で受信部周辺1m以内の天井面に照明がない場合)



② 平面から見たときの受信部照度と受信距離の関係 [条件] 天井高さ2.4m、床面より1mの 高さより、ワイヤレスリモコンを操作した 場合の受信部照度と受信距離 との関係を右図に示します。 照度が2倍になると受信距離は 2/3となります。



③ 複数台近接設置時の注意

[条件] 受信部照明度300ルクス

(一般事務所で受信部周辺1m以内の天井面に照明がない場合) [複数台近接設置]ワイヤレスリモコン使用時の同一動作を防止できる 最少距離は5mです。 (2) 据付説明書 PJF012D034B

安全上のご注意

●工事の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく据付工事をしてください。 いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠ 警告 誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性が大きいもの。

⚠ 注意 誤った取り扱いをしたときに、傷害を負う可能性、または物的損害の可能性があるもの。

状況によっては重大な結果に結び付く可能性があるもの。

●本文中に使われる「絵表示」の意味は次の通りです。



絶対にしないでください。



必ず指示どおりに行ってください。

●お使いになる方は、この説明書をいつでも見られるところに大切に保管してください。移設・修理の場合、 工事される方にお渡しください。また、お使いになる方が代わる場合、新しくお使いになる方にお渡しく ださい。

警告



●据付は、お買上げの販売店または専門業者に依頼する。 ご自分で据付工事をされ不備があると、感電、火災、故障の原因になります。



●据付工事は、この据付説明書に従って確実に行う。 据付に不備があると感電、火災、故障の原因になります。



●据付工事部品は必ず付属品および指定部品を使用する。 当社指定の部品を使用しないと、落下、火災、感電の原因になります。



●据付は、重量に十分耐える所に確実に行う。 強度が不足している場合は、本機の落下などにより、ケガの原因になります。



●電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」 および据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。 電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災などの原因になります。



●据付工事は、必ず電源をしゃ断して行う。 感電、故障や動作不良の原因になります。



●改造は絶対にしない。

感電、火災、故障の原因になります。



●修理・点検に際して「電源ブレーカ」を必ず OFF にする。 修理・点検にあたって、電源ブレーカが ON のままだと、感電およびケガの原因になります。



●特殊環境、可燃性ガスの発生・流入・滞留・漏れのおそれがあるところへ設置しない。 油・蒸気・有機溶剤・腐食ガス(アンモニア・硫黄化合物・酸など)の多いところや、酸性や アルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところで使用すると、著しい性能の低下・ 腐食による感電、火災、故障の原因になります。



●大量の水蒸気が発生するところ・結露するところには設置しない。 感電、火災、故障の原因になります。



●洗濯室など水のかかる所では使用しない。 感電、火災、故障の原因になります。



●ぬれた手で操作しない。感電の原因になることがあります。

$\hat{\Lambda}$ 警告



●本機を水洗いしない。

感電、火災、故障の原因になります。



●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わ らないように固定する。

接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。

●病院・通信事業所などに据付ける場合、ノイズに対する備えを行うこと。



インバータ機器・自家発電機・高周波医療機器・無線通信機器などの影響により、誤動作や故 障の原因になります。

リモコン側から医療機器・通信機器への影響により、医療行為の妨げ・映像放送の乱れや雑音 の弊害が生じる原因になります。



●基板のケースを取外したまま放置しない。

水分・ホコリ・虫などが侵入すると、感電・火災・故障の原因になります。

Æ 注意

●ワイヤレスキットを下記場所に設置しない。

ワイヤレスキット故障や変形の原因になることがあります。

- (1) 直射日光の当たる場所
- (2) 発熱器具の近く
- (3) 湿気の多い所・水のかかる所
- (4) 取付面が発熱・結露する場所
- (5) 油の飛沫や蒸気が直接触れる場所
- (6) 取付面に凹凸がある所
- (7) 室内ユニットの吹出空気が当たる場所
- (8) 蛍光灯(特にインバータタイプ)の近く あるいは、直射日光が受光アダプタに当た る場所
- (9) 他の赤外線通信機器の光線が受光アダプタ に当たる場所
- (10) ワイヤレスリモコンの操作場所から見て、

障害物に隠れてしまう場所

① 付属品

次の付属品を確かめてください。

ワイヤレス受信部 LA-T-5BW1. LA-T-5SB1

① 受信部	1
② 据付説明書(本紙)	1

ワイヤレスリモコン (別売品) RCN-D5

① ワイヤレスリモコン		1
② リモコン用ホルダ		1
③ 同上用木ねじ	₫	2
④ リモコン用電池		2
⑤ 取扱説明書		1

② 取付前の準備

現地設定

受信部基板上のスイッチの設定は 右記の通りです。

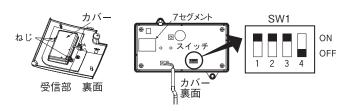
なお、出荷時の設定は _____で囲 まれた設定になっています。

SW1-1	複数台設置時の混信誤動作防止	ON:通常	OFF : 切換
SW1-2	受信部の親子切換	ON:親	OFF:子
SW1-3	ブザー音	ON: 有効	OFF: 無効
SW1-4	停電補償	ON:有効	OFF: 無効

② 取付前の準備の続き

現地設定の変更方法

- 1. 受信部裏面のねじ(2本)を外し、カバーを取外してください。
- 2. カバー裏面の基板上のスイッチを変更してください。



設定変更は、本説明書<mark>④ワイヤレスリモコン</mark>の <mark>混信防止設定</mark> をご覧ください。

※受信可能範囲は、本説明書 ⑤受信部 をご覧ください。

複数リモコン使用時の親子設定

1 つのグループに対して最大 2 個まで 受信部・ワイヤードリモコンを接続で きます。

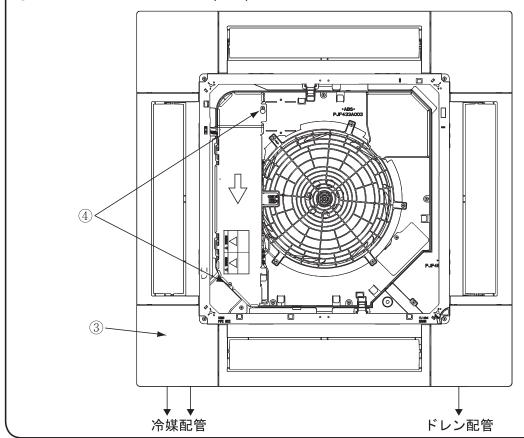
その際は2つの受信部・ワイヤードリモコンのうち、いずれか一方の基板上のスイッチを変更し、子機設定とする必要があります。

必要があります。 ワイヤードリモコンの設定変更は、ワ イヤードリモコン付属の説明書をご覧 ください。

③ 受信部の取付

取付前の準備

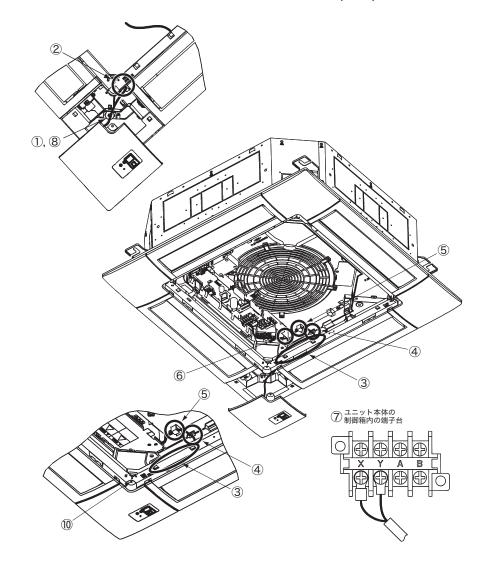
- ①パネルに付属の据付説明書に従って、パネルをユニット本体に取付けてください。
- ②吸込グリルを取外してください。
- ③冷媒配管部のコーナリッドを取外してください。
- ④ユニット本体の制御箱の蓋のねじ(2本)を緩め、図の矢印方向に蓋をスライドさせて取外してください。



③ 受信部の取付の続き

受信部の取付

- ①パネル固定用ボルトを緩めて、パネルとユニット本体との隙間を開けてください。
- ②受信部の配線を開口部に通してください。
- ③パネルのユニット側にあるフックに配線を引掛けてください。
- ④図の位置より配線を引出してください。
- ⑤配線をユニット本体のフックに引掛けてください。
- ⑥図の位置より配線を制御箱の中に通してください。
- ⑦配線の丸端子を制御箱内の端子台(X、Y)に接続してください。配線に極性はありません。
- ⑧パネル固定用ボルトを締付けてください。
- ⑨受信部をパネルに取付けてください。
- ⑩パネルに付属のねじで受信部を固定してください。
- ⑪配線を噛込まないように、ユニット本体の制御箱の蓋を取付け、ねじ(2本)を締付けてください。



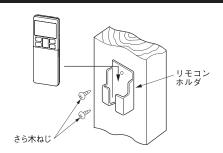
④ ワイヤレスリモコン

リモコンホルダの据付

リモコンホルダを付属のねじで固定してください。

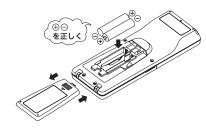
※ホルダ取付時の注意

- ・垂直になるよう調節してください。
- ・ねじ頭が出ないようにしてください。
- ・土壁等へは取付けないでください。



電池の入れ方

- 1. 裏蓋を外します。
- 2. 乾電池を入れます。(単四2本)
- 3. 裏蓋を取付けます。



混信防止設定

- 1. リモコンの裏蓋をはずし、乾電池を取外す。
- 2. 乾電池横の切換線をニッパー等で切断する。
- 3. 乾電池を入れて、裏蓋を取付ける。



リモコンの設定変更

自動運転の設定変更のしかた

ビル空調・ガスヒートポンプシリーズ (除く冷暖フリーマルチ) は自動運転ができません。

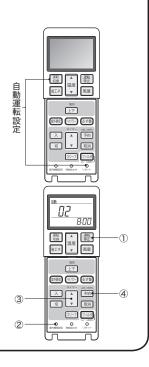
これらの機種に使用する場合は、リモコンを自動運転無効の設定にしてください。 <u>運転切換</u>ボタンを押しながら<u>リセット</u>スイッチを押すか、<u>運転切換</u>ボタンを押しながら電池を投入すると、自動運転が無効となります。

※注意:一度電池を取外すと初期設定(工場出荷時設定)へ戻ります。 電池を取外した時は、再度上記操作を行ってください。

室内機能設定

- 1.室内機能設定のしかた
 - ① 運転 / 停止を押し、停止状態にする。
 - ② 室内機能設定スイッチを押しながら、2 項に示すボタンを押す。
 - ③ 選択ボタン▲、▼で設定を変更する。
 - ④ 予約ボタンを押す。

リモコン信号受信部より、ピッピッと2回ブザーが鳴り、 LED は2秒毎に4回点滅します。



④ ワイヤレスリモコンの続き

2. 設定内容

機能設定が可能な項目は下記となります。

ボタン	番号表示部	機能設定
	00	風速設定:標準
風量	01	風速設定:設定1 ※
	02	風速設定:設定2 ※
	00	暖房室温補正:無効
V모 == Lm +4x	01	暖房室温補正:+1℃
運転切換	02	暖房室温補正:+2℃
	03	暖房室温補正:+3℃
	00	フィルターサイン表示:なし
	01	フィルターサイン表示:180時間
フィルター	02	フィルターサイン表示:600時間
	03	フィルターサイン表示:1000時間
	04	フィルターサイン表示:1000時間後運転停止
	00	ドラフト防止設定(エアフレックス設定):無効
上下	01	ドラフト防止設定(エアフレックス設定):有効
	00	赤外線センサー設定(人感センサー設定):無効
室外静音	01	赤外線センサー設定(人感センサー設定):有効
	00	赤外線センサー制御(人感センサー制御):無効
	01	赤外線センサー制御(人感センサー制御):パワーコントロールのみ
ハイパワー	02	赤外線センサー制御(人感センサー制御):オートオフのみ
	03	赤外線センサー制御(人感センサー制御):パワーコントロール+オートオフ
	00	冷房ファン残留運転:無効
	01	冷房ファン残留運転:0.5時間
入	02	冷房ファン残留運転: 2時間
	03	冷房ファン残留運転:6時間
	00	暖房ファン残留運転:無効
	01	暖房ファン残留運転:0.5時間
切	02	暖房ファン残留運転:2時間
	03	暖房ファン残留運転:6時間
	00	リモコン信号受信部LED:輝度明
るす番	01	リモコン信号受信部LED:輝度暗
0 / Щ	02	リモコン信号受信部LED:消灯
	0.1	グリル自動昇降降下長:0.1m
	0.2	グリル自動昇降降下長:0.2m
	•	プラル日勤升件件 I 及・U.ZIII
	•	
省エネ	2.0	グリル自動昇降降下長:2.0m
日二个	2.0	/ ///口刻/开門十 攻・4.0111
	3.9	
	4.0	グリル自動昇降降下長:4.0m
運転/停止	50	グリル自動昇降周波数:50Hz
	60	グリル自動昇降周波数:60Hz

[※] 詳細は技術資料を参照ください。

⑤ 受信部

1 リモコンによる複数台室内ユニット制御

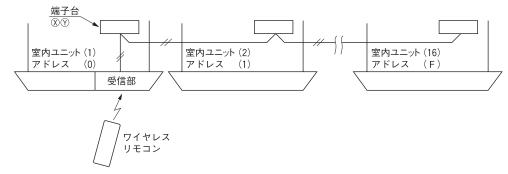
1. 1 つのリモコンで複数台のユニット (最大 16 台)を グループ制御できます。 同一モード、同一室温設定で運転します。

2. グループ制御用に各室内ユニット間を 2 心のリモコン線にて渡り配線してください。

渡り配線の太さと長さの制限(最大 600m) 標準 0.3 mm² × 100m 以内 0.5 mm² × 200m 以内 0.75mm² × 300m 以内 1.25mm² × 400m 以内 2.0 mm² × 600m 以内

店舗シリーズの場合

室内基板上のロータリスイッチSW 2 により、リモコン通信アドレスを重複しないよう [0] ~ [F] に設定してください。

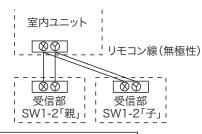


ビル空調・ガスヒートポンプシリーズの場合

室内・室外No. を手動アドレス設定にてセットしてください。 室内ユニット基板上のロータリスイッチSW1、SW2により、室内No. を重複しないように設定してください。

複数リモコン使用時の親子設定

室内ユニット1台(または1グループ)に対して最大2個までのリモコンを接続できます。



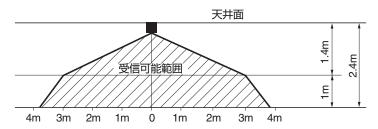
スイッチ	設定	機能内容		
SW1-2	ON	親リモコン		
3771-2	OFF	子リモコン		

ワイヤレスリモコンの操作距離

1. 標準的な受信距離

[条件] 受信部照明度300ルクス

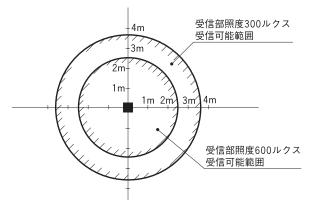
(一般事務所で受信部周辺 1m 以内の天井面に照明がない場合)



⑤ 受信部の続き

2. 平面から見たときの受信部照度と受信距離の関係

[条件] 天井高さ 2.4m、床面より 1.0m の高さ より、リモコン操作した場合の受信部照 度と受信距離との関係。照度が2倍になると受信距離は2/3となる。



3. 複数台近接設置の注意

受信部照明度300ルクス [条件]

(一般事務所で受信部周辺 1m 以内の天井面に照明がない場合)

「複数台近接設置」リモコン使用時の同一動作を防止できる最小距離は 5 mです。

バックアップスイッチ操作

受信部の表面にバックアップスイッチを装備して います。

ワイヤレスリモコンで操作ができない場合(電池 切れ、紛失、故障)に応急的に使用してください。 操作は手で直接してください。

- 1. 停止中に押すことにより自動モード(冷専は 冷房モード) で運転します。 風量「急」温度設定「23℃」ルーバ「水平」
- 2. 運転中に押すことにより「停止」します。
- 3.2 秒以上押し続けてから離した場合、 自動昇降パネル上昇となります。

バックアップスイッチ CHECK RUN 0

冷房試運転操作

- ▶ 受信部バックアップスイッチを押しながら、リモコンにて冷房運転を 送信してください。
- 試運転時に受信部バックアップスイッチを押すと試運転が解除されます。
- 試運転時、正常に動作しない場合は、室内・室外ユニットに貼付の 結線銘鈑の点検表示を参照し、点検してください。

2 桁表示の見方

受信部は2桁表示(7セグメント)を装備しています。

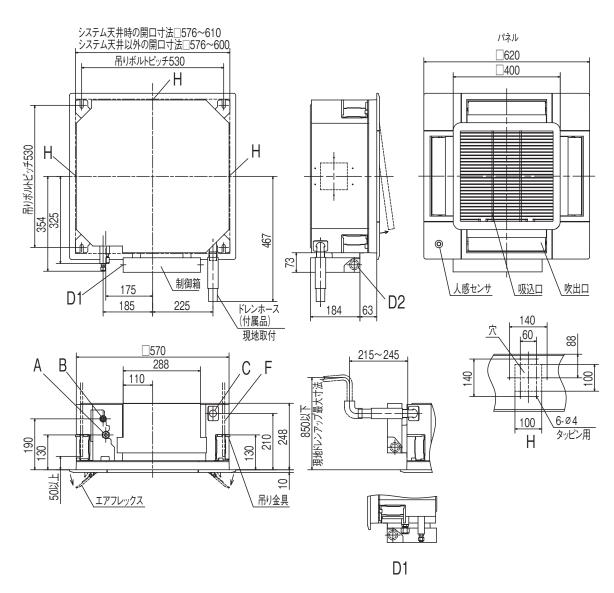
- 1. 表示は電源投入後1時間表示します。
- 2. リモコンから「停止」送信または、バックアップスイッチ「停止」操作後3分間表示します。
- 3. 上記の表示は、運転開始とともに消灯します。
- 4. 異常履歴がない場合は接続台数分のアドレスを表示します。
- 5. 異常履歴が残っている場合は、履歴の内容を表示します。
- 6. 異常履歴は、バックアップスイッチを押しながらリモコンから「停止」送信によりクリアされます。

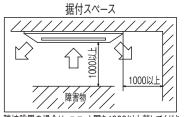
4. 天井埋込形 4 方向吹出し小容量(FDTC シリーズ)

4.1 外形図	86
(1) セゾン標準機	86
(2) ビル空調システム	87
4.2 電気配線図	88
(1) セゾン標準機	88
(2) ビル空調システム	89
4.3 エアコン本体据付説明書	90
4.4 パネル据付説明書	98
4.5 電気配線工事説明書	100
(1) セゾン標準機	100
(2) ビル空調システム	108
(3) スーパーリンク配線工事	118
4.6 ワイヤレスキット	120
(1) 仕様	120
(2) 据付説明書	122

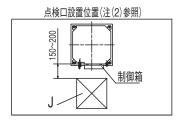
4.1 外 形 図

(1) セゾン標準機 FDTCZP565SA





隣接設置の場合は、ユニット間を4000以上離してください。

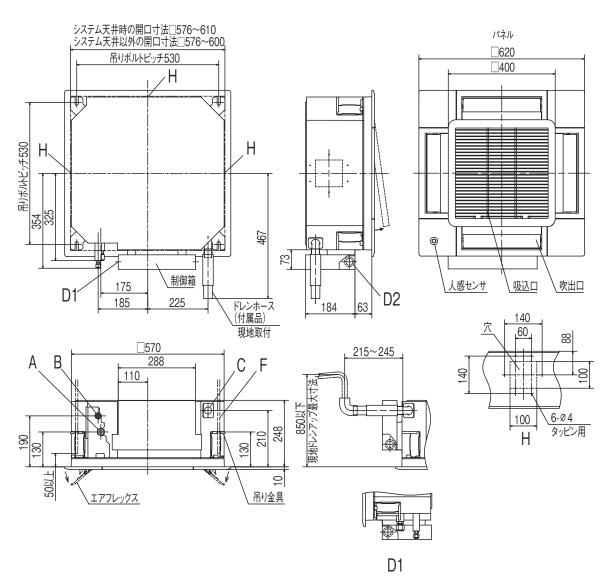


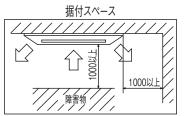
● 記号一覧

HO.7	兄	
記号	内	容
Α	冷媒ガス側配管	φ12.7(フレア)
В	冷媒液側配管	φ6.35(フレア)
С	ドレン配管	VP25 (I.D.25, O.D.32)
D1	電源線取入口	
D2	リモコン線・通信線取入口	
F	吊りボルト	M10sttM8
Н	吹出分岐ダクト接続口	φ125
J	点検口	450×450

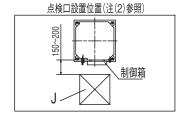
- 注(1)装置銘板は制御箱の蓋に付いてます。
 - (2) このユニットは、システム天井用に設計されています。 もし、システム天井以外に据付ける場合は、制御箱側に点検口を設置してください。

(2) ビル空調システム FDTCP225LXA, 285LXA, 365LXA, 455LXA, 565LXA





隣接設置の場合は、ユニット間を4000以上離してください。



● 記号一覧

記号	内	容				
	機種	P22,28	P36,45,56			
Α	冷媒ガス側配管	φ9.52 (フレア)	φ12.7(フレア)			
В	冷媒液側配管	φ6.35(フレア)				
C	ドレン配管	VP25(I.D.25, O.D.32)				
D1	電源線取入口					
D2	リモコン線・通信線取入口					
F	吊りボルト	M10	たはM8			
Ι	吹出分岐ダクト接続口	φ125				
J	点検口	450>	(450			

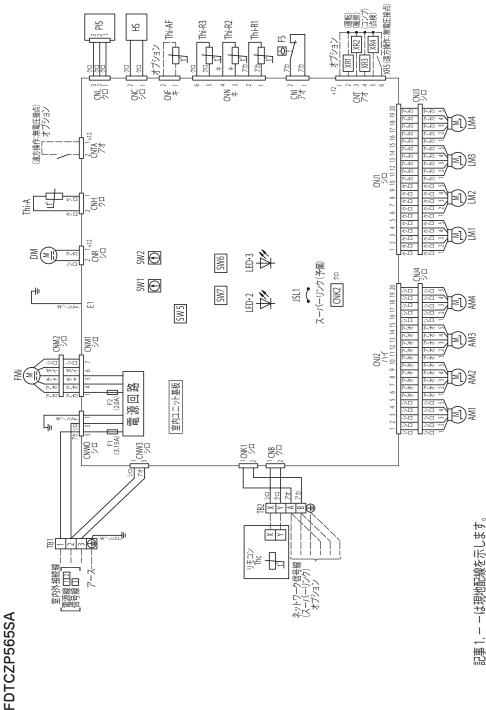
注(1)装置銘板は制御箱の蓋に付いてます。

(2) このユニットは、システム天井用に設計されています。 もし、システム天井以外に据付ける場合は、制御箱側に点検口を設置してください。

4.2 電気配線図

(1) セゾン標準機

	名称	エアフレックスモータ	コネクタ	ドレンポンプモータ	ヒューズ(室内ユニット基板)	ファンモータ	フロートスイッチ	湿度センサ	スーパーリンク(予備)切換	表示灯(緑-マイコン正常表示)	表示灯(赤-点検表示)	ルーバモータ	人感センサ	室内アドレスNo.10の位	室内アドレスNo.1の位	プルーラル機 親/子設定	機種容量切替	運転チェック・ドレン試運転	スーパーリンク自動判定/旧固定	室内アドレスNo.100の位	端子台(電源) (□印)	端子台(通信) (□印)	リモコン付属温度センサ	吸込空気温度センサ	欧出空気温度センサ	熱交温度センサ
●記号説明	발음	AM1~4	CNB~Z	DM	F1,2	FMi	FS	HS	JSL1	LED•2	LED•3	LM1~4	PIS	SW1	SW2	SW5	SW6	SW7-1	SW7-2	SW7-3	TB1	TB2	Thc	Thi-A	Thi-AF	Thi-R1,2,3



2.TB1は強電用端子台(室内外接続線)、TB2は弱電用端子台(リモコン線、ネットワーク信号線)3.室内外接続線は、室外ユニット配線図をご覧ください。

4.リモコンを別の場所に設置する場合、またはリモコンを複数(親・子)使用する場合。 ①リモコン配線は0.3mm²×2心を使用してください。 延長距離が100mを超える場合の仕様についてはリモコン<納入仕様書>をご覧ください。

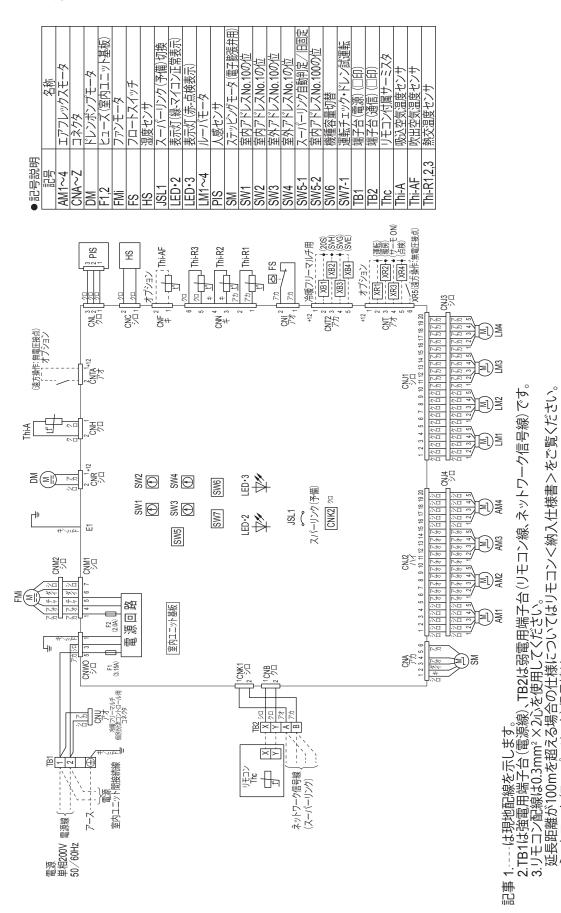
②リモコン配線は電源線や他の動力線と並行配列しないでください。 5.スーパーリンク集中制御から最も遠い室内ユニットまでの信号線長さは、1000m以内。 6.スーパーリンク信号線はシールド線を使用して両端アース接続してください。

スーパーリンクネットワーク全体の信号線の長さは、 ・シールド線太さ0.75mm²を使用する場合は1500m以内

・ソールト骸太さ0./5mm^を使用する場合は1900m以内・シールド線太さ1.25mm^を使用する場合は1000m以内

・ンールト隊入で、1.21mm・全定用する場合は1000m以内 7.リモコン配線、ネットワーク信号線は内外接続線や他の動力線と並行配列しないでください。

PJF000Z686



4.ネットワーク(スーパーリング)信号線は、 ・シールド線、太さ0.75mm²を使用する場合は1500mまで ・シールド線、太さ1.25mm²を使用する場合は1000mまで ・シールド線以外を使用する場合は、太さ2.0mm²とし、2000mまで ・シールド線以外を使用する場合は、太さ2.0mm²とし、2000mまで 5.リモコン配線、ネットワーク信号線は電源線や他の動力線と並行配列しないでください。

PJF000Z710

4.3 エアコン本体据付説明書

PJF012D508

本説明書は、室内ユニットの据付方法を記載しております。 電気配線(室内ユニット)は、電気配線工事説明書をご覧ください。ワイヤードリモコンの取付方法は、リモコン付属の説明書 をご覧ください。ワイヤレスキットの取付方法は、ワイヤレスキット付属の説明書をご覧ください。 室外ユニットの据付方法、電気配線(室外ユニット)および冷媒配管工事方法は、室外ユニットに付属の説明書をご覧ください。 また、故障診断は、室内ユニットの結線銘板をご覧ください。本室内ユニットは必ずパネルを取付けてご使用ください。

この室内ユニットは、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。また、海外においてはアフターサービスもできません。

安全上のご注意

- ●据付工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
- ●ここに示した注意事項は、<u>△警告</u>、<u>「△運奮</u>」、に区分していますが、誤った据付をした時に、死亡や重傷等の重大な結果に結びつく可能性が大きいものを特に <u>△</u><u>警告</u> の欄にまとめて記載しています。しかし、<u>△</u><u>注意</u> の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- ●ここで使われる"図記号"の意味は右のとおりです。 ◯ 絶対に行わない □ □ □ 必ず指示に従い行う
- ●据付工事完了後、試運転を行い、異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそって、「安全上のご注意」や正しい使用方法・お手入れの仕方(エアフィルタの清掃、運転操作の仕方、温度調節の方法など)をお客様に説明してください。この据付説明書は取扱説明書と共にお客様で保管いただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方に取扱説明書などをお渡しいただくよう依頼してください。

しくお使いになる方に取扱説明書などをお渡しいただくよう依頼してください。	
⚠警告	
●据付は、お買い上げの販売店または専門業者に依頼する。 ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災、室内ユニット落下によるケガの原因になります。	0
●据付工事は、この据付説明書に従って確実に行う。 据付に不備があると破裂・ケガの原因となり、また水漏れや感電・火災などの原因になります。	0
●小部屋に据付ける場合は万一冷媒が漏れても、限界濃度を超えない対策をする。(JRA GL-13) 限界濃度を超えない対策については、販売店と相談して据付ける。万一、冷媒が漏洩して限界濃度を超えると酸欠事故の原因になります。	0
●設置工事部品は必ず付属品および指定の部品を使用する。 当社指定の部品を使用しないと、室内ユニット落下、水漏れ、火災、感電などの原因になります。	0
	0
●据付は、重量に十分耐える所に確実に行う。 強度が不足している場合は、室内ユニットの落下などにより、ケガの原因になります。	0
	0
●室内ユニットの設置や移設の場合、冷凍サイクル内に指定冷媒以外の空気などを入れない。 空気などが混入すると冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂、ケガなどの原因になります。	S
●電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および据付説明書に従って施工し、必ず 専用回路を使用する。	0
電源回路容量不足や施工不偏があると感電、火災などの原因になります。 ●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。	9
	Ö
	Ö
	Ö
	Ö
	<u>S</u>
●据付作業では圧縮機を運転する前に確実に冷媒配管を取付ける。	9
●ポンプダウン作業では、サービスバルブを閉じた後配管を外す前に圧縮機を停止する。 圧縮機を運転したままサービスバルブ開放状態で冷媒配管を外すと空気などを吸引し、冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂、 ケガなどの原因になります。	9
●オプション部品は、必ず当社指定の部品を使用する。また取付は専門業者に依頼する。 ご自分で取付をされ、不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。	0
●改修は絶対にしない。また、修理はお買い上げの販売店に相談する。 修理に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。	0
●エアコンを移動再設置する場合は、販売店または専門業者に相談する。 据付に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。	0
	0
●パネルやガードを外した状態で運転しない。 機器の回転物、高温部、高電圧部に触れると、巻き込まれたり、やけどや感電によるケガの原因になります。	9
●元電源を切った後に電気工事を行う。 感電、故障や動作不良の原因になります。	0

⚠注意	\bigcap
●アース (接地) を確実に行う。 アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アース (接地) が不完全な場合は、故障や漏電のとき感電や火災の原因になることがあります。	•
●漏電しゃ断器は必ず取付ける。 漏電しゃ断器が取付けられていないと感電や火災の原因になることがあります。	0
●正しい容量の全極しゃ断するブレーカ(漏電しゃ断器・手元開閉器(開閉器+B種ヒューズ)・配線しゃ断器)を使用する。 不適切な容量のブレーカを使用すると故障や火災の原因になることがあります。	0
●正しい容量のヒューズ以外は使用しない。 針金や銅線を使用すると故障や火災の原因になることがあります。	\bigcirc
●可燃性ガスの漏れる恐れのある場所への設置は行わない。 万ーガスが室内ユニットの周囲に溜ると、発火の原因になることがあります。	\bigcirc
●腐食性ガス(亜硫酸ガスなど)、可燃性ガス(シンナー、ガソリンなど)の発生、滞留の可能性のある所、揮発性引火物を取扱う所での据付、使用は行わない。熱交の腐食、プラスチック部品の破損などの原因になることがあります。また可燃性ガスは発火の原因になることがあります。	\bigcirc
●工事、点検、メンテナンス作業のための規定のスペースを確保してください。 スペースが不足する場合は、設置場所からの転落によるケガの原因になることがあります。	0
●洗濯室など、水の掛かる所では使用しない。 室内ユニットは水の浸入に対する保護はしておりません。水が掛かると感電、火災などの原因になることがあります。	0
●食品・動植物・精密機器・美術品の保存など特殊用途には使用しない。 保存物の品質低下などの原因になることがあります。	Ŏ
●病院、通信事業所などの電磁波を発生する機器、高周波の発生する機器の近くでは据付、使用しない。 インバータ機器、自家発電機、高周波医療機器、無線通信機器の影響によるエアコンの誤作動や故障の原因になったり、エアコン側から 医療機器あるいは通信機器へ影響を与え人体の医療行為を妨げたり、映像放送の乱れや雑音など弊害の原因になることがあります。	0
●直射日光の当たる所にリモコンを設置しない。 リモコンの故障や変形の原因になることがあります。	\bigcirc
●次の場所への据付は避ける。 ・可燃性ガスの漏れる恐れがある所・・煙突の煙がかかる所・・煙突の煙がかかる所	
・硫黄系ガス・塩素系ガス・酸・アルカリ・アンモニアなど、・カーボン繊維や金属粉、パウダーなどが浮遊する所機器に影響する物質の発生する所・車両・船舶等移動するものへの設備といる。	0
・油の飛沫や蒸気が多い所(調理場、機械工場など) ・化粧品、特殊なスプレーを頻繁に使用する所 ・高周波を発生する機械を使用する所 ・積雪の多い所 ・海浜地区等塩分の多い所 ・標高1000m以上の所	
性能を著しく低下させたり、部品が腐食、破損したりする原因になることがあります。 ●次の場所への室内ユニットの据付は避ける。(機種により異なる制限があるので、その指示に従うこと)。	
・吸込口、吹出口に風の障害物がある所	
・ワイヤレス機の場合、受光部に直接太陽光や強い光が当たる所 ・長時間振動が加わる状態 ・高周波に影響される機器のある所 (TV およびラジオ等の近傍) ・静電気や強い電磁波のある場所	\bigcirc
・ドレンの排水がとれない所 ・性能や機能等に影響をおよぼす原因になります。 ・塵埃の多い場所、レンズ面に汚れおよび損傷を与える恐れのある。	 る場所
●室内ユニットの下部には、濡れて困るものは置かない。 湿度が 80% 以上の時や、ドレン排水が詰まった場合に、室内ユニットから露が滴下し損害が生じることがあります。	0
●長期使用で傷んだままの据付台を使用しない。 傷んだ状態で放置すると室内ユニットの落下につながり、ケガなどの原因になることがあります。	Ŏ
●室内ユニット近くで溶接作業を行う場合は十分注意し、室内ユニット内へのスパッタの進入を防止する。 溶接作業時などに発生するスパッタが室内ユニットにあたった場合、ドレンパンなどに損傷(ビンホール)をあたえ、水漏れなどの原因にな	0
ることがあります。室内ユニット内へのスパッタの進入を防ぐため梱包状態のままとしておくか、覆いなどにより必ずカバーをしてください。 ●ドレン工事は、据付説明書に従って確実に排水するように配管する。	
ーレーン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	9
室内に有毒ガスが流入し、中毒や酸素欠乏になることがあります。 ●冷媒配管工事終了後は窒素ガスによる気密試験を行い、漏れのないことを確認してください。	
万一、狭い部屋に冷媒ガスが漏洩して限界濃度を超えると酸欠事故の原因となることがあります。	0
●ドレン配管は下り勾配(1/100以上)とし、途中山越えやトラップを作らない。また、ドレン配管にエア抜きは、絶対に設けない。 試運転時にドレン排水が確実に行われていることを確認する。また、点検・メンテナンス作業のためのスペースを確保する。	\Diamond
■	0
●室外ユニットは、小動物のすみかになるような場所に設置しない。 ・小動物が侵入して、内部の電気部品に触れると、故障や発煙・発火の原因になることがあります。	0
・ また、お客様に周辺をきれいに保つことをお願いしてください。 ●製品の運搬は十分注意して行う。	
20kg 以上の製品は原則として2人以上で行ってください。PP バンドなど所定の位置以外をもって製品を動かさないでください。 素手でフィンなどに触れるとケガをする場合がありますので保護具をご使用ください。	0
●梱包材の処理は確実に行う。 梱包材にクギなどの金属あるいは、木片などを使用していますので放置状態にしますとケガをすることがあります。	0
●フィルタをはずしたまま運転しない。 内部に油・ゴミなどが詰まり、故障の原因になることがあります。	Q
●濡れた手でスイッチを操作しない。 感電の原因になることがあります。	0
●運転中の冷媒配管を素手で触れない。 運転中の冷媒配管は流れる冷媒の状態により低温と高温になります。素手で触れると凍傷や、やけどになることがあります。	Q
●エアコンを水洗いしない。 感電の原因になることがあります。	0
●運転停止後、すぐに電源を切らない。 必ず5分以上待ってください。水漏れや故障の原因になることがあります。	0
●電源ブレーカによるエアコンの運転や停止をしない。 火災や水漏れの原因になることがあります。ファンが突然回り、ケガの原因になることがあります。	

①据付前に

- ●据付はこの据付説明書に従って正しく行ってください。
- ●次の項目を確認してください。

○機種・電源仕様 ○配管・配線・小物部品 ○付属

室内ユニットを移動させるときは吊り金具(4か所)を持ち、 ○付属品 他の部分(特に冷媒配管、ドレン配管および樹脂部品)に は、力を加えないでください。

付属品

室内ユニッ				冷媒配管用				
平座金 (M10)	レベルゲージ および 平座金仮固定	パイプ カバー(大)	パイプ カバー(小)	バンド	パイプ カバー(大)	パイプ カバー(小)	ドレン ホース	ホース クランプ
0)		0	0			0		
8個	1個	1個	1個	4本	1個	1個	1個	1個
吊りボルト用	室内ユニットの 位置調整および吊り 込み時の補助用	ガス管 断熱用	液管 断熱用	パイプ カバー 固定用	ドレン ソケット 断熱用	ドレン ソケット 断熱用	ドレン配管 接続用	ドレン ホース 取付用

②室内ユニットの据付場所の選定

- ①据付場所は、下記条件に合う場所をお客様の承認を得て選んでください。
 - ・冷風または温風が十分に行きわたる所。
 - 据付高さが3mを超えると暖気が天井にこもりますので、サーキュレータの併設をご指導ください。据付高さは4m以内としてください。センサー感度が鈍くなり、検知しにくくなります。
 - ・据付・サービス時の作業スペースが確保できる所。
 - ・ドレン排水が確実にできる所。ドレン勾配のとれる所。
 - ・吸込口、吹出口に風の障害のない所。火災報知器の誤作動しない所。ショートサーキットしない所。
 - ・侵入外気の影響のない所。
 - ・直射日光の当たらない所。
 - ・周囲の露点温度が28℃以下、相対湿度80%以下の所。

・本室内ユニットは JIS 露付条件(室内:27℃ /78% RH)にて試験を行い、不具合のないことを確認しておりますが、室内ユニット周囲が 上記条件以上の高湿度雰囲気の状態で運転すると水滴が落下する恐れがあります。そのような条件下で使用する可能性がある場合は、 室内ユニットの全ておよび配管、ドレン配管にさらに10~20mmの断熱材を取付けてください。

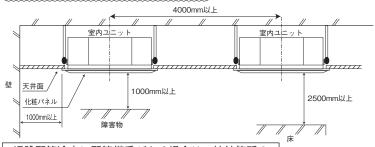
- ・テレビ、ラジオより1m以上離れた所。(映像の乱れや雑音が生じることがあります。)
- ・室内ユニット真下に食品・食器やパソコン・サーバー、医療機器など濡れて困るものを置かない所。
- ・調理器具が発する熱の影響を受けない所。
- ・フライヤーの真上など油・粉・蒸気などを直接吸込まない所。
- ・蛍光灯、白熱灯よりできるだけ離れた所。

ワイヤレス機種の場合、ワイヤレスリモコンでの正常な操作ができなくなることがあります。

- ②据付けようとする場所が室内ユニット重量に耐えられるかどうか検討し、危険と思われましたら板、桁等で補強して据付作業を行ってください。強度不足の場合は、室内ユニット落下によるケガの原因になります。
- ③ワイヤレス機種を2台以上据付ける場合は、混信による誤動作を防止するため室内ユニット間を6m以上離してください。
- ④室内ユニットを隣接して設置する場合は、室内ユニット間距離を4m以上離して設置してください。

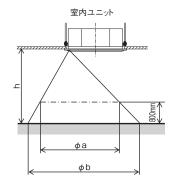
室内ユニット据付スペース

- ●室内ユニットー壁、室内ユニットー室内ユニット間など、間隔がとれない場合は、 そちら側の吹出口をしゃ風しショートサーキットしないことを確認してください。
- ●据付高さは2.5m以上としてください。



埋設配管途中に配管継手がある場合は、接続箇所の 点検が可能なように点検口などを設けてください。

|人感センサ検知範囲の目安



天井高さ	h [m]	2.7	3.5	4.0
検知範囲①	φa [m]	約 4.5	約 6.4	約 7.6
検知範囲②	φb [m]	約 6.4	約 8.3	約 9.5

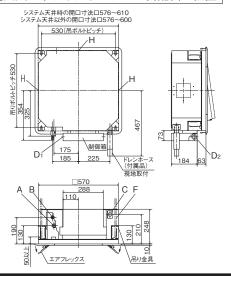
吹出パターンの設定

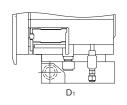
- ●部屋の形や据付位置に最適な吹出方向を4方向・3方向・2方向から選定してください。(1方向はできません。)
- ●吹出口数を変更する場合は、別売のしゃ風材を手配してください。
- ●2方向・3方向吹出の場合は風量「弱」での使用は避けてください。
- ●高温・多湿環境での2方向吹出は行わないでください。(結露・水漏れの原因になります。)
- ●吹出ルーバの上下位置の設定などによりさまざまな吹出パターンが設定できます。設定方法は取扱説明書をご覧ください。

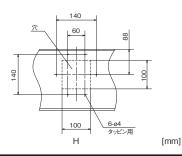
③据付準備

- ●吊りボルト長さが長くなる場合は耐震補強を実施してください。
 - ○システム天井(グリッド天井・ライン天井)の場合
 - 吊り長さ(吊りボルト長さ)500mm以上または天井ふところ高さ700mm以上の場合に耐震ブレースを設置してください。
 ○強度が上分にある王井西に設置され直接フラブから足り下げる場合
 - ○強度が十分にある天井面に設置され直接スラブから吊り下げる場合吊り長さ(吊りボルト長さ)1000mm以上の場合に耐震ブレースを設置してください。
- ●吊りボルト・ナット・バネ座金(M10 or M8)を4組現地にて手配してください。

天井開口穴・吊りボルトピッチ・各配管の位置







 記号
 内容

 A
 冷媒ガス側配管

 B
 冷媒液側配管

 C
 ドレン配管

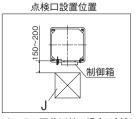
 D1
 電源線取入口

 D2
 リモコン線・通信線取入口

 F
 吊りボルト

 H
 吹出分岐ダクト接続口

 J
 点検口



※システム天井以外の場合は制御 箱側に点検口を設置してください。

吊りボルト

④室内ユニットの据付

作業手順

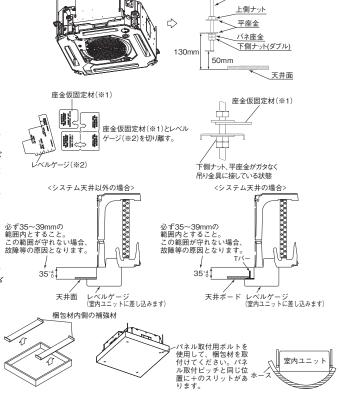
- このユニットは、システム天井用に設計されています。
 必要ならば、一時的にTバーを取り外して、ユニットを据付けてください。
 - もし、システム天井以外に据付ける場合は、制御箱側に点検口を設置してください。
- 2. 吊りボルト位置(530mm×530mm)を決めてください。
- 3. 吊りボルトは、4本使用し、1本当り500Nの引抜き荷重に耐えられるよう固定してください。
- 4. 吊りボルト長さは、天井面より 50mm 程度としてください。
- 5. 吊りボルトの下側ナット(4か所)は、天井面から130mm 程度に 仮けめしてください。
- 6. 吊りボルトの上側ナット(4か所)は、室内ユニット吊り込みおよび 高さ調整時に支障のないよう、下側ナットから十分距離を取った 位置に仮止めしてください。
- 7. 吊りボルトの上側ナットと上側座金(各4か所)を下側ナットから十分な距離をとった状態で、座金仮固定材(※1)を吊りボルトに挿しこんでください。上側座金が落下してきません。
- 8. 室内ユニットを吊り込んでください。
- 9. 室内ユニット吊り込み後、付属のレベルゲージ(※2)を室内ユニットの吹出口に取付、室内ユニットの吊り込み高さを調整してください。高さ調整は上側ナット(4か所)を緩めた状態で、下側ナット(4か所)で調整してください。室内ユニット吊り金具(4か所)が下側ナット、平座金にガタなく接していることを確認してください。
- 10. 座金仮固定材(4か所全て)を取外してください。
- 11. 室内ユニットの水平度を確認してください。水平度は水準器また は透明ホースに水を入れたものを使用して確認してください。 (室内ユニットの両端での高さ許容差は 3mm以内)
- 12. 吊りボルトの上側ナット(4か所)を締付けてください。

室内ユニットの養生

●パネルをしばらくの間取付けられない場合、または室内ユニットを据付後に天井材を貼る場合は、梱包材(天面ダンボール)を使用して、室内ユニットを養生してください。

室内ユニット据付時のお願い

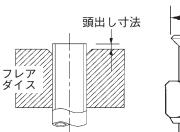
- ●上側ナットで高さ調整を行わないでください。室内ユニットに無理な力がかかり変形し、パネルが組付けできなかったり、ファン 干渉音が発生することがあります。
- ●室内ユニットは必ず水平に据付け、室内ユニット下面と天井面の高さを正しく設置してください。据付に不備があると風漏れ、 結露・水漏れ、騒音の原因になります。
- ●パネルと天井面、およびパネルと室内ユニットとの接触部は確実に密着させてください。隙間があると風漏れ、結露・水漏れの原因になります。

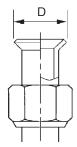


⑤冷媒配管

冷媒配管時の注意事項

- ●冷媒配管は、新規配管をご使用ください。フレアナットは、製品付属のものまたは JIS B 8607 2種適合品をご使用ください。 他のフレアナット(1種)を使用すると冷媒漏れの原因となります。
 - 既設配管再利用の可否および洗浄方法については、室外ユニットの据付説明書またはカタログ・技術資料で確認してください。
 - 1) 再利用する場合、フレアナットは流用せず室内ユニットに付属のものまたはJIS B 8607 2種適合品を使用してください。
- 2) 再利用する場合、部分的に交換した新しい配管に、R32 用または R410A 用のフレア加工をしてください。





ſ			フレア加工 頭	出し寸法 mm				
	配管径	配管の 最小肉厚	リジッド(クラッチ式)		フレア外径	フレアナット 締付トルク		
	mm	mm	R32 用 R410A 用	従来ツール	mm	N·m		
	6.35	0.8			8.9 ~ 9.1	14 ~ 18		
	9.52	0.8					12.8 ~ 13.2	34 ~ 42
	12.7	0.8	0 ~ 0.5	0.7 ~ 1.3	16.2 ~ 16.6	49 ~ 61		
	15.88	1			19.3 ~ 19.7	68 ~ 82		
	19.05	1.2			23.6 ~ 24.0	100 ~ 120		

●冷媒配管は、リン脱酸銅合金継目無銅管(C1220T、JISH3300)をご使用ください。 <断熱材厚さ10mmを使用する場合> また管の内外面は美麗であり、使用上有害な硫黄、酸化物、ゴミ、切粉等(コンタミ)の 付着がないことを確認してください。

冷媒配管の内部にコンタミの付着があると冷凍機油劣化などの原因になります。

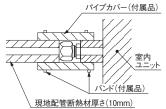
●指定冷媒以外は使用しないでください。

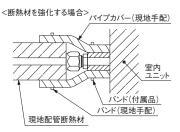
指定冷媒以外を使用すると、冷凍機油劣化などの原因になります。また空気などが混入 すると、異常高圧になり、破裂などの原因になります。指定冷媒は室外ユニットの形式ラ ベルをご覧ください。

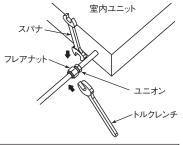
- ●据付に使用する配管は屋内に保管し、両端ともろう付する直前までシールしてください。 冷媒回路内に埃、ゴミ、水分が混入すると、油の劣化・圧縮機の故障の原因になります。
- ●工具はR32用またはR410A用の工具を使用してください。

作業手順

- 1. 室内ユニットのフレアナットおよびキャップを取外してください。
 - ※ 室内ユニットの配管端部のフレアナットは、必ずスパナで2丁掛けして外してください。 (このときガスが出ることがありますが、異常ではありません。)
- ●フレアナット飛びに注意してください。(内部に圧力がかかっている場合があります。)
- 2. 液管・ガス管をフレア加工し、右図に示すように冷媒配管を接続してください。
 - ※配管の曲げは4D以上の大きな半径で行い、曲げなおしを行わないでください。 また配管をねじったり、2/3D以下につぶしたりしないでください。
 - ※フレア接続は、以下のように行ってください。
 - ・フレアナット接続時は、フレア中心を合わせ、最初手回しで3~4回転ねじ込み、 2丁スパナ掛けで表の締付力で締めてください。
- 3.室内ユニットのフレア部は、ガス漏れチェック後、右図に示すように断熱材をかぶせ、 バンドでしっかりと締付けてください。
 - ●ガス側配管、液側配管とも断熱は完全に行ってください。 ※ 配管は断熱しないと結露し水漏れします。
 - ●ガス側配管の断熱材は耐熱 120℃以上のものを使用してください。
 - ●高湿度雰囲気で使用する場合は設置環境に合わせて、冷媒配 管の断熱を強化してください。強化しない場合は断熱材表面 に結露することがあります。
- 4. 冷媒は室外ユニットに充填されています。 室内ユニットおよび接続配管分の冷媒追加量については室外 ユニットに付属の据付説明書をご覧ください。







同一締付トルクでも、ユニオンのねじ部に冷凍機油を塗布した 場合は、ねじ部摺動摩擦力が下がることにより、軸方向分力が増 加してフレアの応力腐食割れの原因となることがあるため、ユニ オンねじ部、またはフレア外面への冷凍機油塗布は推奨しません。 冷凍機油を塗布する場合は、フレア内面へのみとしてください。

⑥ドレン配管

ドレン配管時の注意事項

- ●ドレン工事は、据付説明書に従って確実に排水するように配管してください。 不確実な場合、屋内に浸水し、家財等を濡らす原因になることがあります。
- ●ドレン配管はイオウ系ガスなど有害ガスおよび可燃性ガスが発生する排水溝には、入れないでください。 室内に有害ガスおよび可燃性ガスが流入し、中毒や酸素欠乏になることがあります。また熱交換器の腐食、異臭の原因になります。
- ●接続部から水漏れのないように確実に施工してください。
- ●水漏れが起こらないように、断熱工事を確実に行ってください。
- ●施工後、ドレンが排水されていることを、室内ユニットのドレン口およびドレン配管最終出口部で確認してください。
- ●ドレン配管は下り勾配(1/100 以上)とし、途中山越えやトラップを作らないでください。また、ドレン配管にエア抜きは、絶対に 設けないでください。

試運転時にドレン排水が確実に行われていることを確認してください。また、点検・メンテナンス作業のためのスペースを確保してください。

⑥ドレン配管

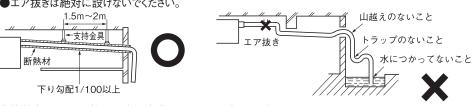
作業手順

- 1. 付属のドレンホースの軟質側にホースクランプを通し、ソケットの段差部まで確実に挿入してください。 その際、ホースクランプのねじが室内ユニットの外側になる位置にし、ボルトが鉛直方向になるようにしてください。
 - ●接着剤使用不可
- 2. ホースクランプはドレンホースの断熱材に接触する位置で、ねじを締付けてください。
- 3. ねじを数回回転させて締付が固くなる位置まで締付け、それ以上に締付けないでください。



4. VP25用継手やエルボー、配管(いずれも現地手配)を接続してください。 ※ドレン管は、市販の硬質塩ビパイプー般管VP25を使用してください。

- ●接着剤は付属のドレンホース内部に流れ込まないようにしてください。 乾燥後、フレキ部に力が加わった場合、フレキ部が破損することがあります。
- ●ドレンホースは、室内ユニットあるいはドレン配管の据付時の微小なズレを吸収するためのものです。 故意に曲げたり、引っ張って使用された場合は、破損し、水漏れに至ることがあります。 5. ドレン配管は下り勾配(1/100以上)としてください。不可能な場合はドレンアップしてください。
- 途中山越えやトラップを作らないように施工してください。
 - ●ドレン配管を接続する場合に室内ユニット側の配管に力が加わらないように注意して行い、できる限り 室内ユニット近傍で配管を固定してください。
 - ●エア抜きは絶対に設けないでください。



●複数台のドレン配管の場合、室内ユニットドレン出口より約100mm下に 集合配管がくるようにしてください。 また集合配管はVP30以上を使用してください。



エア溜ができると

音が発生します

VP25 (現地手配)

パイプカバー(大) 「断執田〕

(付属品)

ドレンホー (付属品)

ホースクランプ (付属品、接着剤使用不可)

パイプカバー(小)[断熱用](付属品)

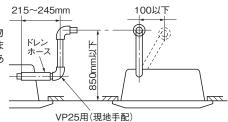
(現地手配) VP25 (現地手配) (現地手配)

(現地手配

- 6. ドレン配管の断熱施工を行ってください。
 - ●結露が発生し、水漏れをおこすおそれがありますので、ドレンソケット部および室内にある硬質塩ビバイプは確実に断熱してください。 ※ドレンソケット部は、排水テスト実施後、付属のパイプカバー(小)をドレンソケット部に装着した後、付属のパイプカバー(大)にてパイプ カバー(小)、クランプおよびドレンホースの一部を覆い、テープにより隙間のないように巻いてください。

ドレンアップする場合

●ドレン配管の出口高さは、天井面より850mmまで高くすることができます。天井内に障害物 などがある場合、エルボなどを用いて施工してください。この場合、ドレン配管を立ち上げるま での距離が長いと、運転停止時におけるドレン逆流量が多くなり、オーバーフローすることがあ りますので、右図寸法内で処理願います。



ドレン排水テスト

- ●ドレン配管工事の完了後に、排水が確実に行われていることを、接続部および室内ユニットのドレンパン部から水漏れのないことを確認してください。このとき、ドレンポンプのモータ音に異常がないことも確認してください。
- ●暖房期の据付の際にも必ず実施してください。 ●新築の場合には天井を張る前に実施してください。
- 室内ユニットドレンパンの中へ水を約1000cc 注水してください。注水時は、ドレンポンプなどの電機部品に水をかけないようにしてください。 注水は、吹出口から給水ポンプなどを使用するか、冷媒配管取出部から行ってください。
- 2. ドレン排水が確実に行われること、ドレン配管接続部か ら水漏れのないことを確認してください。
 - ドレンポンプの回転音を確認しながら排水するかどうかを テストしてください。ドレン排水の確認は、ドレンソケット部(透明)より確認できます。
- 3. 排水テスト後は、ゴム栓を外して水抜きを行ってください。 水抜き確認後は、ゴム栓を元通りにはめ込んでください。 ドレン配管の断熱を室内ユニット部まで完全に行ってく ださい。

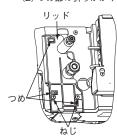
リッドを外して注水した場合は、リッドを装着しなおしてく ださい。

●吹出口から注水する場合 ●冷媒配管取出部から注水する場合

(1) ねじ2か所を外します

(2) つめ部の引っかかりを外して、リッドを外します。







⑥ドレン配管のつづき

ドレンポンプ運転方法

○電気配線工事が完了している場合

ドレンポンプの運転がリモコン (ワイヤード) 操作により可能です。運転操作方法は、電気配線工事説明書の ドレンポンプ運転操作 をご覧ください。

○電源が供給されている場合

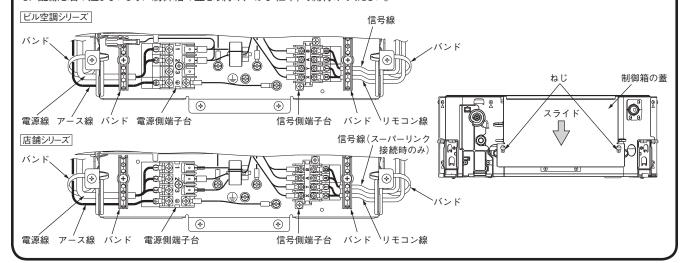
室内ユニット基板上のSW7ー1をONにし、かつ、基板上のコネクタCNBを抜いた後、電源ON(端子台①、②へAC200V)すると、ドレンジプのみ連続運転します。 ドレン排水確認後は、必ずSW7ー1を元の状態(OFF)に戻し、かつ、基板上のコネクタCnBを差し込んでください。 室内ユニット基板上のSW7-1をONにし、

○電源が供給されていない場合

ドレンポンプ試運転用チェッカー (別売) でドレンポンプを運転することが可能です。操作方法はドレンポンプ試運転チェッカに付属の取扱説明書をご覧ください。

⑦電気配線取出位置および電気配線接続

- ●電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」「内線規程」 および 電気配線工事説明書に従って施工し、 必ず専用回路を使用してください。
- ●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定してください。
- ●電源線と信号線は同一経路を通さないようにしてください。 誤動作や故障の原因になることがあります。
- ●D種接地工事を必ず行ってください。
- ●電気配線工事の詳細は、付属の電気配線工事説明書をご覧ください。
- 1. 室内ユニット本体の制御箱の蓋のねじ(2本)を緩めてください。
- 2. 制御箱の蓋を図の矢印方向にスライドさせて、取外してください。
- 配線を制御箱内に入れ、端子台に確実に接続してください。
 下図のように配線をバンドで固定してください。
- 5. 配線を噛み込まないように制御箱の蓋を取付け、ねじ(2本)で締付けてください。



⑧パネルの取付

- ●パネルは、電気配線工事完了後に、室内ユニットに取付けてください。
- ●パネルの取付方法は、パネル付属の据付説明書をご覧ください。

⑨室内ユニット据付工事完了後のチェック項目

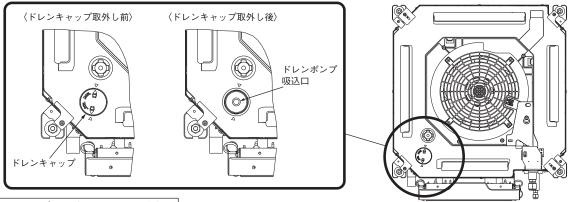
●室内ユニット・パネル据付工事、電気配線工事完了後、下記項目についてチェック願います。

チェック項目	不良の場合	チェック欄
室内外ユニットの取付はしっかりしていますか。	落下、振動、騒音	
ガス漏れ検査は行いましたか。	冷えない	
断熱は完全に行いましたか。	水漏れ	
ドレン排水はスムーズに流れていますか。	水漏れ	
電源電圧は室内ユニットの銘板と同じですか。	運転不能・焼損	
誤配線・誤配管はありませんか。	運転不能・焼損	
アース工事はされていますか。	漏電時危険	
配線の太さは仕様通りですか。	運転不能・焼損	
室内外ユニットの吸込・吹出口が障害物でふさがれていませんか。	冷えない	

⑩ドレンパン汚れ確認、ドレンポンプ吸込口清掃(メンテナンス)

ドレンパン汚れ確認方法

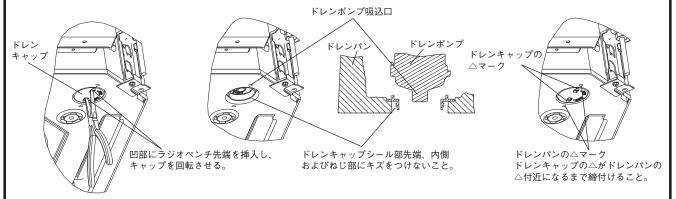
- 1. パネル据付説明書に従ってパネルを取外してください。
- 2. ドレンキャップからドレンパンの汚れやドレンポンプ吸込口を確認してください。汚れが多い場合はドレンパンを取外し、 清掃してください。



ドレンポンプ吸込口の清掃

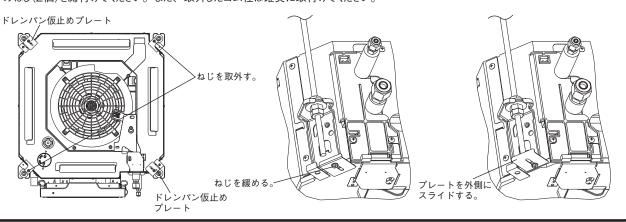
- ●ドレンパンを取外さず、ドレンキャップを取外すことでドレンポンプ吸込口およびその付近の清掃ができます。
- ●ドレンキャップを取外す前に、ゴム栓を取外してドレンパン内のドレンを排水してください。
- ドレンキャップの凹部(2か所)にラジオペンチの先を挿入し、反時計回りに約1回転するとドレンキャップを取外せます。 ドレンポンプ吸込口を清掃する場合はプラスチック製の道具を使用してください。金属製の道具を使用するとドレンキャップ 取付部をキズづけ、水漏れの原因になります。 ドレンキャップを取付ける前に、流水で水洗いし、**ドレンキャップ内側の異物を取除いてください。**異物が付着したままドレン

- 6. 取外したゴム栓は確実に装着してください。装着が不完全な場合、結露・水漏れの原因となります。



ドレンパン取外し時の注意事項

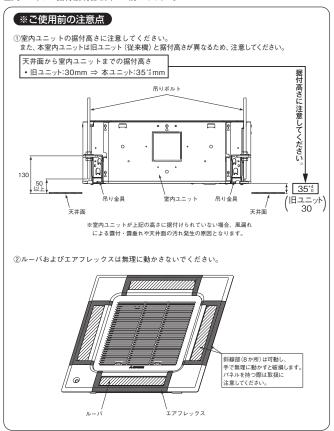
- ●ドレンパンを取外す前に、ドレンパン内のドレンを排水してください。ゴム栓を取外して排水してください。
- ●ドレンパンは仮止めプレートで仮止めされています。 ドレンパン取付ねじ(2個)を取外し、 仮止めプレートのねじ(2個)を緩めてください。
- 仮止めプレートをドレンパンの外側にスライドしてください。ドレンパンを取外せます。 ●ドレンパン取付け時は、仮止めプレートを内側にスライドし、ドレンパンを仮止めしてください。その後、ドレンパン取付ねじ(2個)と仮止めプレー トのねじ(2個)を締付けてください。また、取外したゴム栓は確実に取付けてください。



4.4 パネル据付説明書 PJF012D510

パネル形式:TC-PSAE-5BW

室内ユニットの据付説明書と共にお読みください。





●配線は、確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。 接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。



●元電源を切った後に電気工事をする。 威雷 均暗や動作不良の原因にかります



機能名称について

機能の名称の意味は下記のとおりです。

エアフレックス : ドラフト防止機能

① 据付の前に

・据付はこの説明書に従って正しく行ってください。 ・次の項目を確認してください。

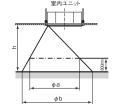


付属品

ボルト	9	4本	パネル取付用			
ストラップ		4本	コーナリッド落下防止用			
グリルフック	~	1個	グリル落下防止用			
ねじ	Q	4本	コーナリッド固定用			
注:付属品はコーナリッドを外した位置にあります。						



人感センサ検知範囲の目安



約4.5	約6.4	約7.6
約6.4	約8.3	約9.5

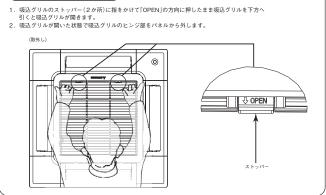
② 室内ユニットの据付高さの確認

- 室内ユニットの据付説明書と共にお読みください。
- ▲エコーノアン窓口36の7mにくたいの窓のハにでい。 室内ユーットに何属されているペルがージで室内ユニット高さおよび天井開口寸法が正しいことを確認してください。 室内ユニットと天井林との取付レベルを確認してください。 室内ユニット指動のレベルゲージを吹出口にセットし、室内ユニットの吊込み高さを調整してください。 レベルゲージはパネル取付前に取外してください。

ご注意~~~~

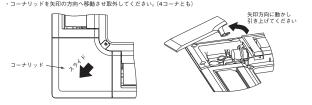
室内ユニットと天井材との高さは、パネル取付の際、パネルに無理な荷重がかからない高さにしてください。 パネルが変形し破損の恐れがあります。 <システム天井以外の場合> <システム天井の場合> 必ず35~39mmの範囲内 とすること。 この範囲が守れない場合、 故障等の原因となります。 必ず35~39mmの範囲内 とすること。 この範囲が守れない場合、 故障等の原因となります。 35*4 天井面 レベルゲージ (室内ユニットに差込みます)

③ 吸込グリルの取外し



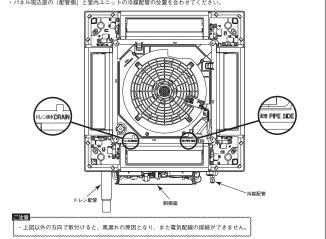
④ コーナリッドの取外し

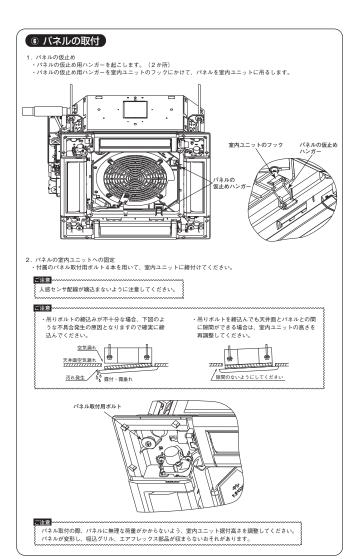
・コーナリッドを矢印の方向へ移動させ取外してください。(4コーナとも)



⑤ パネルの取付方向

- ・パネルの取付方向は室内ユニットに対し方向性があります。 ・パネルは、下図に示す方向で取付けてください。 ・パネル吸込部の「ドレン排水」と室内ユニットのドレン配管の位置を合わせてください。 ・パネル吸込部の「配管側」と室内ユニットの冷線配管の位置を合わせてください。



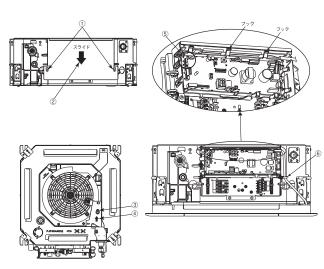


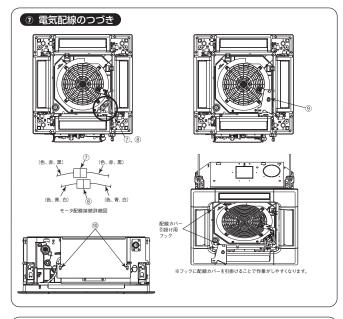


①ユニット本体の制御箱のねじ(2本)を綴めてください。
②制御箱の量を図の矢印方向にスライドさせて取外してください。
③配線カバーのねじを緩めてください。
④図の矢印方向に蓋をスライドさせて、配線カバーを取外してください。
⑤人感センサ配線のコネクタを制御箱向へあ板のCNL(3P, 黒)に接続してください。

⑥図のように人感センサ配線をバンドで固定してください。 ⑦パネル側のルーバモータ配線 (配線色:赤, 黒) のコネクタを、ユニット側のルーバモータ配線 (配線色:赤, 黒) のコネクタ

(①パネル側のルーパモータ配線 (配線色: 茶、黒) のコネクタを、ユニット側のルーパモータ配線 (配線色: 茶、黒) のコネクタ CNJ3 (20P) 白」 注意してください。 ⑧パネル側のエアフレックスモータ配線 (配線色: 青、白) のコネクタを、ユニット側のエアフレックスモータ配線 (配線色: 青、白) のコネクタCNJ4 (20P, 白) に接続してください。 ⑥配線が確認さないように配線が一を設付け、はして締付けてください。 ⑩配線が確認さないように割御箱の蓋を取付け、ねじ(2本)で締付けてください。







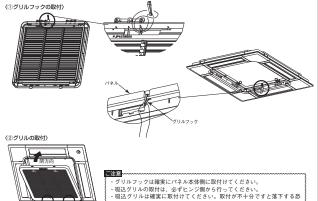
付属のコーナリッド落下防止用ストラップをコーナリッドのピンに折返して引掛けてください。
 コーナリッドに取付けたストラップの反対側をパネルのピンに引掛けてください。
 コーナリッドのつめ3か所をはめ、付属のねじで固定してください。



⑨ 吸込グリルの取付

パネルと吸込グリルには方向性がありません。(吸込グリルのヒンジは 4 辺どこでも取付け可能です。) 吸込グリルの取付け方法は ③ 図込グリルの取分 の手順を逆に作業してください。

のプリルフックルの取りい力が出 ②吸込グリルのヒンジを水オルのヒンジ挿入穴に取付けてください。 吸込グリルのヒンジを取付け後、ストッパー(2ヶ所)を押したまま、閉じてください。 両方のストッパーが確実にパネルに差込まれていることを確認してください。



水があります。 ・ストッパーが変形・破損した場合は、速やかに修理依頼し、交換してく ださい。吸込グリルが落下する恐れがあります。

⑩ パネルの設定

ベルーバの動作範囲設定(フリーフロー設定)> ワイヤードリモコンを使用することで、吹出ロのルーバの動作範囲を変更することができます。本モードで上頭位置と下頭位 置を設定すると、ルーバは設定された上版位置と「RRQ値の間で動作します。各ルーバ毎に個別の動作範囲の設定が可能です。

4.5 電気配線工事説明書

(1) セゾン標準機

PSC012D115 A

電気配線工事は電気設備技術基準および内線規程に従い、電力会社の認定工事店で行ってください。

安全上のご注意

- ●作業前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しく作業してください。
- 安全のため必ずお守りください。
- ●誤った作業、行為をしたときに生じる危害や損害を「**△警告**」と「**△注意**」に区分し、お守りいただく内容を「図記号」を使用し説明していますので、必ずお守りください。
- ●「**△警告**」「**△注意**」の意味

- ●ここで使われる"図記号"の意味は右のとおりです。 ◯ 絶対に行わない 💵 必ず指示に従い行う
- ●下記のことを必ず守ってください。守らないときは、感電による火災、感電または過熱、ショートによる火災のおそれがあります。

⚠警告

- ●電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および電気配線工事説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。 電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災の原因になります。
- ●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災などの原因になります。
- ●室内外ユニット間の配線は、端子カバーが浮き上がらないように整形し、カバーを確実に取付ける。
- カバーの取付が不完全な場合は、端子接続部の発熱、火災や感電の原因になります。 ●別売品は、必ず当社指定の部品を使用する。また、取付は専門業者に依頼する。
- ご自分で取付をされ、不備があると、水漏れや感電、火災などの原因になります。 ●改修は絶対にしない。また、修理はお買い上げの販売店に相談する。
- 修理に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。
- ●室内外ユニットを移動再設置する場合は、販売店または専門業者に相談する。 据付に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。
- ●室内外ユニットの修理・点検作業に際して「電源ブレーカ」を必ず OFF する。 点検・修理にあたって、電源ブレーカが O N のままだと、感電およびファン回転によるケガの原因になります。
- ●元電源を切った後に電気工事をする。 感電、故障や動作不良の原因になります。

注意

- ●アース(接地)を確実に行う。
 - アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アース (接地) が不完全な場合は、故障や漏電のとき感電や火災の原因になることがあります。
- ●電源には必ず漏電しゃ断器(高調波対応品)を取付ける。
- 漏電しゃ断器が取付けられていないと感電や火災の原因になることがあります。
- ●正しい容量の全極しゃ断するブレーカ(漏電しゃ断器・手元開閉器(開閉器+B種ヒューズ)・配線しゃ断器)を使用する。 不適切な容量のブレーカを使用すると故障や火災の原因になることがあります。
- ●正しい容量のヒューズ以外は使用しない。
 - 針金や銅線を使用すると故障や火災の原因になることがあります。
- ●電源配線は、電流容量に合った規格品の配線を使用する。 漏電や発熱・火災などの原因になることがあります。
- ●室内外接続用端子台および電源用端子台に単線とより線を併用しない。 また、異なったサイズの単線またはより線を併用しない。
- 端子台のねじゆるみや接触不良が生じ、発煙・発火の原因になることがあります。
- ●運転停止後、すぐに電源を切らない。
 - 必ず5分以上待ってください。水漏れや故障の原因になることがあります。
- ●電源ブレーカによるエアコンの運転や停止をしない。
- 火災や水漏れの原因になることがあります。ファンが突然回り、ケガの原因になることがあります。

制御の切換

●室内ユニットの制御内容を下記方法にて切換可能です。(_____ は工場出荷時の設定)

エアリユー グーン 一川 四アリ 日で 一					
スイッチNo.		制御内容			
SW1	室内フ	ドレス(10位)			
SW2	室内フ	ドレス(1位)			
SW5-1	親/子切換(プルーラル/子機設定)				
SW5-2	税/丁切換(ノルーノル/丁儀設定)				
SW6-1~4	機種容量				
SW7-1		運転チェック・ドレンポンプ試運転			
3W7-1	OFF	通常運転			
SW7-2 (注1)	ON	旧SL通信仕様固定			
SW/-2 (i±1)	OFF	新SL/旧SL通信仕様自動判別			
SW7-3	ON	室内アドレス(100の位) ON:1			
3441 3	OFF	室内アドレス(100の位) OFF:0			

※注1:集中制御機器接続時の場合

通信方式であるスーパーリンクの仕様が選択できます。

旧 SL: ビル空調 2LX シリーズ, ガスヒートポンプ M7 シリーズ以前 新 SL: ビル空調 3LX シリーズ, ガスヒートポンプ M8 シリーズ以降 SW7-2 が OFF (工場出荷設定) の場合は, 通信仕様(新 SL/ 旧 SL) を自動 判別します。

旧SL通信仕様固定で使用する場合は、SW7-2をONにしてください。 各通信仕様の特徴、制限は室内ユニット付属の説明書をご覧ください。

機種容量の設定

●本室内ユニットは、マルチV接続の場合のみ、それぞれの室内ユニット毎に機種容量設定が必要です。 機種容量設定は室内ユニットの制御箱内の基板上のスイッチ SW6 で設定してください。

シングル・ツイン・トリプル・Wツイン接続の場合

- [i]同機種/同容量の室内ユニットを接続する場合
- ①室外ユニットから電源投入すると自動で機種容量を認識しますので、スイッチ設定は不要です。
- ②エコタッチリモコンから、機種容量を確認できます。詳細は ③室内ユニットのアドレス機種容量確認方法 を参照してください。

マルチ V 接続の場合

- [i] 異機種/異容量、同機種/異容量の室内ユニットを接続する場合
- ①電源投入前に室内ユニットの制御箱内の基板上のスイッチ SW6 で機種容量を設定してください。形式により設定できる機種容量は下表の通りです。これ以外に設定しないでください。正常に運転できません。また破損の原因となります。
- [ii] 異機種 / 同容量の室内ユニットを接続する場合
 - ①自動で機種容量を認識するため、設定不要です。

形式	FDT	ZP635S		ZP715S	ZP805S	ZP16	305S	
カシエし	FDR	ZP5	65S	ZP635S	ZP8	05S	ZP1125S	ZP1605S
容	量	P50	P56	P63	P71	P80	P112	P140
SW	6-1	ON	OFF	ON	OFF	ON	ON	OFF
SW	6-2	OFF	ON	ON	OFF	OFF	ON	OFF
SW	6-3	ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF	ON
SW	6-4	OFF	OFF	OFF	ON	ON	ON	ON



注1: 工場出荷時の設定は自動認識(全て OFF)になっています。

注2: シングル・ツイン・トリプル・Wツイン接続の場合でもスイッチを自動認識以外の状態にすると、設定した機種容量として認識してしまいます。

②エコタッチリモコンから、機種容量を確認できます。詳細は ③室内ユニットのアドレス機種容量確認方法 を参照してください。

①電源・室内外配線の接続

- ●電気工事は電力会社の認定工事店で行ってください。本配線仕様は、下記に基づいて決定しています。
- ①配線は銅線以外のものを使用しないでください。
- ②電源は、室外ユニットへ接続してください。
- ③電気ヒータ(別売品)はなしにて記載してあります。注:電気ヒータの組込みは不可です。別置ヒータを連動させる場合は、ヒータ専用電源を設けること。
- ●アース線は室内外接続線および室内ユニット間配線の接続前に接続してください。また、アース線は室内外接続線より長くし、アース線に力が かからないようにしてください。

丸型圧着端子

電線

- ●電源は工事が完了するまで入れないでください。
- ●D種接地工事を必ず行ってください。
- ●端子台への接続は、丸型圧着端子を使用してください。
- ●専用の分岐回路を用い、他の機器と併用しないでください。併用した場合、電源ブレーカ落ちによる二次災害が生じる恐れがあります。
- ●室内外接続線は必ず3心ケーブルを使用してください。 詳細は室外ユニットに付属の据付説明書を参照ください。
- ●室内外接続線は途中接続しないでください。途中接続した場所に水が浸入すると、対地間絶縁不良や途中接続部の接触不良をまねき、通信異常の原因となります。(万一、途中接続する場合には、絶対に水が浸入しないような処置を行ってください。)
- ●天井裏内の配線(電源・リモコン・室内外接続線など)はネズミ等により、かじられ切断することもありますので、なるべく鉄管等の保護管内に通してください。
- ●室内外ユニットの外部では、リモコン線と電源線が直接接触しないように施工してください。
- ●リモコン用端子台には、200V電源を絶対に接続しないでください。 故障の原因となります。
- ●室内外接続線・室内ユニット間配線・アース線およびリモコン線の接続
 - ①室内外接続線・室内ユニット間配線・アース線およびリモコン線の接続は、制御箱内の電源側端子台、リモコン側端子台に接続してください。 室内外接続線の①②③は極性がありますので、必ず番号を合わせて接続してください。また、アース線は、電源側端子台アース端子に接続してください。
 - ②電源には必ず漏電しゃ断器を取付けてください。漏電しゃ断器は、インバータ回路用しゃ断器(三菱電機製NV-Cシリーズまたは、その同等 品)を選定してください。
- ③漏電しゃ断器が地絡保護専用の場合には、漏電しゃ断器と直列に手元開閉器 (開閉器+B種ヒューズ) または、配線用しゃ断器が必要となります。 ④手元開閉器は室外ユニットの近傍に設置してください。

介

(高調波対応品)

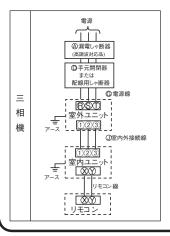
①手元開閉器 または 配線用しゃ断器

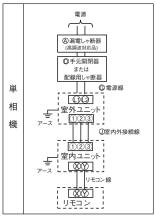
G電源線

- ●配線の接続はねじの緩みのないように確実に行ってください。また、制御箱内のコネクタの抜けや端子外れがないことを確認してください。
- ●補助電気ヒータ組込の場合は、電気ヒータ組込時の説明書・または技術資料で確認してください。

シングル接続の結線

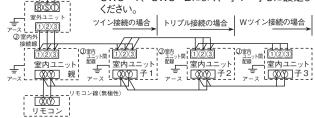
①室内電源取りおよび室内外別電源取りは原則できません。 ※ 例外的な接続方法の場合は技術資料を参照の上、 所轄の電力会社にご相談の上、指示に従ってください。





ツイン・トリプル・Wツイン接続の結線

- ①親・子室内ユニット間は端子台①②③および⊗♥ の同一番号間を接続してください。
- ②室内基板上のスイッチ SW7-3 (100 の位)、SW 1 (10 の位)、SW2 (1 の位)により、「000」~「015」に設定してください。 同一冷媒系統すべての室内ユニットは同一アドレスに設定してください。
- ③子室内ユニットは、室内基板上のアドレススイッチ SW5-1、SW5-2により、子1~子3に設定して ください。



室内ユニットの親・子設定方法(工場出荷時「親」設定)

室内二	ユニット	親	子1	子2	子3
室内基板	SW5-1	OFF	OFF	ON	ON
スイッチ	SW5-2	OFF	ON	OFF	ON

②リモコンの取付(別売部品)

- ●取付の詳細はリモコンの据付説明書を参照ください。
- ●次の位置へ取付けないでください。
 - ○直射日光の当たる所
- ○湿気の多い所、水が飛散する所
- ○油の飛沫や蒸気が直接触れる所

- ○発熱器具に近い所
- ○取付面が発熱・結露する所
- ○取付面の凹凸がある所

リモコン取付・配線

- ①リモコンの取付は、リモコン付属の説明書に従ってください。
- ②リモコン線は、0.3mm²×2心の電線またはケーブルを使用してください。配線の被覆は1mm以上のものを使用してください。(現地手配)
- ③リモコン線の総延長は600mです。

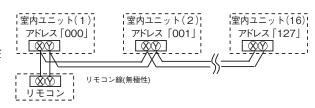
延長距離が100mを超える場合は、下記サイズに変更してください。 ただし、リモコンケース内を通る配線は最大0.5mm²以下とし、リモコン外部 の近傍で配線接続により、サイズを変更してください。

100~200m以内·····0.5mm²×2心 300m以内·····0.75mm²×2心 400m以内·····1.25mm²×2心 600m以内·····2.0mm²×2心

- ④誤動作する場合がありますので、多心ケーブルの使用は避けてください。
- ⑤リモコン線はアース(建物の鉄骨部分または金属など)からできるだけ離してください。
- ⑥リモコン線は確実にリモコンと室内ユニットの端子台に接続してください。(極性はありません)

1リモコンによる複数台室内ユニット制御

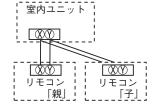
- ①1つのリモコンで複数台の室内ユニット(最大16台)をグループ制御できます。 同一モード、同一室温設定で運転します。
- ②グループ制御用に各室内ユニット間を2心のリモコン線にて渡り配線してください。
- ③室内ユニットの基板上のスイッチ SW7-3(100 の位)、SW1(10 の位)、SW2(1 の位)により、室内アドレスを重複しないよう「000」~「127」から設定してください。



複数リモコン使用時の親子設定

室内ユニット1台(または1グループ)に対して、最大2個までリモコンを接続できます。後操作優先で運転します。 ワイヤードリモコン2台、あるいはワイヤードリモコン + ワイヤレスキット、あるいはワイヤレスキット2台のいずれかの組合せができます。

- 1個を「親」に、残りを「子」に設定してください。
 - 注意 リモコンセンサ有効設定は親リモコンのみ可能です。親リモコンを室温検知させる位置に取付けてください。



③室内ユニットのアドレス機種容量確認方法

●電源投入後、接続されている室内ユニットの機種容量とアドレスがリモコンに表示されることを必ず確認してください。 (アドレス確認はシングル接続を除く)

eco タッチリモコン (RC-DX シリーズ) の場合



1.メニューをタッ チする。

メニュー画面に 切換わります。



4.サービスパスワ ードを入力する。

5.セットをタッチ する。 サービス・メンテ ナンスの画面に 切換わります。



8. 接続されている 室内ユニットのア ドレスNa. (室内 機Na.)と機種容 量(容量)が表示 されます。



2.サービス設定を タッチする。 サービス設定画

サービス設定で面に切換わります。



6.次ページをタッ チする。



3.サービス・メン テナンスをタッ チする。

ナする。 パスワード入力 画面に切換わり ます。

サービス・メンテナンス	
特殊操作	
室内機容量表示	
お掃除パネル点検	
前ページ	戻る
操作を選択してください。	

7.室内機容量表 示をタッチする。

③室内ユニットのアドレス機種容量確認方法(つづき)

標準リモコン (RC-D シリーズ) の場合 機種容量は確認できません。



- 1.エアコンNo.ボタンを押す。
 - 室内ユニットアドレスが表示されます。
- 2.▲▼ボタンを押す。

接続されている室内ユニットのアドレスが表示されます。

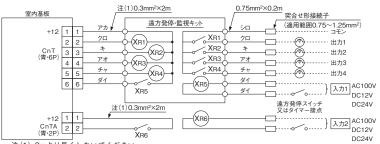
カバーを開けた状態です。また、液晶表示部は全表示してあります。

④リモコンからの操作・確認方法

N.L.	-5 D	5	無後リエコン いこ程/ケ /DO D こ リーボン
No.	項目	eco タッチリモコンから操作(RC-DX シリーズ)	標準リモコンから操作(RC-D シリーズ)
1	リモコン系統内の 接続室内ユニット の接続確認方法	[メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [サービス・ メンテナンス] ⇒ [サービスパスワード] ⇒ [エアコン No. 表示] ⇒ [個別送風運転]	①エアコン No. を押してください。②▲▼ボタンで室内ユニットのアドレスを選択してください。③ [運転切換] を押してください。送風運転します。
	親子リモコン 設定	[メニュー]⇒[サービス設定]⇒ [リモコン設定]⇒[サービスパスワード]⇒ [リモコン親子設定]	子リモコン切換スイッチ(SW1)を「子」に設定してください。
	運転データの 確認方法	[メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [サービス・メンテナンス] ⇒ [サービスパスワード] ⇒ [運転データ表示]	[点検]⇒運転データ表示▼⇒[セット]⇒データ確認中⇒ 室内機選択⇒▲▼ボタンで接続されている室内アドレスを 1台選択⇒[セット]⇒データ確認中⇒▲▼データ選択
	点検表示の 確認方法	[メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [サービス・メンテナンス] ⇒ [サービスパスワード] ⇒ [点検表示]	[点検] ⇒運転データ表示▼⇒ [▼] ⇒ エラーデータ表示▲⇒ [セット] ⇒データ確認中⇒ データ表示
5	リモコンからの 冷房試運転方法	[メニュー]⇒[サービス設定]⇒ [据付設定]⇒[サービスパスワード]⇒ [試運転]⇒[冷房試運転]⇒[開始]	① [運転 / 停止] を押し、運転させてください。 ② [運転切換] により、「冷房」を選択します。 ③ [試運転] を 3 秒以上押します。表示が、「冷房試運転▼」 となります。 ④ 「冷房試運転▼」の表示で、[セット] ボタンを押すと、 冷房試運転を開始します。表示は「冷房試運転」となり ます。
	リモコンから ドレンポンプ 試運転方法	「据付設定 ⇒ サービスパスワード ⇒	① [運転 / 停止] を押し、運転させてください。表示が「冷房試運転▼」となります。 ② [▼] を一度押し、「ドレンポンプ運転」を表示させます。 ③ [セット] を押すと、ドレンポンプ運転を開始します。 表示:「セットで停止」

リモコン形式の違いにより、メニュー構成が異なる場合があります。リモコン形式が異なる場合は、リモコン付属の据付説明書 をご覧ください。

⑤室内基板CnTコネクタの機能



- 注(1) 2mより長くしないでください。
- ★(1) 2mより長くしないでくたさい。

 ◆XR1~4はDC12Vリレー (オムロン製LY2F相当品)

 ◆XR5は、DC12、24Vまたは100Vリレー (オムロン製MY2F相当品)

 ◆CnTコネクタ (現地側) メーカ、形式
 コネクタ:モレックス製 5264-06

 端 子:モレックス製 5263T

- 端 子: モレックス製 52631
 別売品 (PCZ006A043) を準備しておりますのでご利用ください。
 ●遠方発停・監視キットを別売品にて準備しておりますのでご利用ください。
 C n T A コネクタは、F D T 他に搭載く仕様書で確認願います> (現地側)メーカ、形式コネクタ: 日本圧着端子JST製 X A P 0 2 V − 1 − E 端子: 日本圧着端子JST製 S X A − 0 1 T − P 0.6

別売品 (PCZ006A053) を準備しておりますのでご利用ください。

- ●出力1~4,入力1・2を下記の項目より自由に選択・設 定することができます。
 - 工場出荷時は下記のように設定されています。

щ//			
1	運転出力	8	ファン運転出力3
2	暖房出力	9	デフロスト,油戻し出力
3	圧縮機 ON 出力	10	換気出力
4	点検(異常)出力	11)	ヒータ出力
(5)	冷房出力	12	フリークーリング出力
6	ファン運転出力1	13	室内過負荷異常出力
(7)	ファン運転出力2		

1 +

人刀								
1	運転 / 停止] [(5)	設定温度シフト				
2	運転許可禁止	Ш	6	強制サーモ OFF				
3	緊急停止	П	7	一時停止				
4	冷房 / 暖房	П	8	静音モード				

工場出荷時の設定

CnT-2	出力 1	運転出力	CnT-5	出力4	点検(異常)出力
CnT-3	出力2	暖房出力	CnT-6	入力 1	運転 / 停止
CnT-4	出力3	コンプ ON 出力	CnTA	入力2	運転 / 停止

●設定の方法は技術資料をご覧ください。

⑥リモコンからの操作・設定

- A:RC-DX3Bリモコン付属の取扱説明書を参照ください。 B:RC-DX3Bリモコン付属の据付工事説明書を参照ください。 C:インターネットよりユーティリティーソフトを配信中です。

○: RC-DX3Bリモコンと、ほぼ同等の機能設定・操作が可能です。 △: RC-DX3Bリモコンと、類似の機能設定・操作が可能です。 ※1: RC-DX2 以前のリモコンには、この機能はありません。 ※2: RC-DX3 以前のリモコンには、この機能はありません。 ※3: RC-DX3A 以前のリモコンには、この機能はありません。

設定および表示項目	詳細内容	eco タッチ	標準 リモコン
1. リモコンネットワーク			
1 複数室内機制御	リモコン1台(リモコンネットワーク内)に最大16台室内ユニットを接続制御できます。 室内ユニット側にアドレスを設定します。		0
2 親子リモコン設定	リモコンネットワーク内に2個のリモコン(含むワイヤレスリモコン)を接続できます。片側を「親」とし、片側を「子」として設定します。	В	0
2.TOP 画面・SW 操作			
1 メニュー	制御・設定・詳細設定等の項目を追加します。	Α	
2 運転モード	冷房・暖房・送風・自動・除湿を設定します。	Α	0
3 設定温度	室温を 0.5℃単位で設定します。	Α	0
4 風向	風向を設定します。おまかせ気流の有効 / 無効を設定します(FDK の場合)。※2	Α	\triangle
5 風量	風量を設定します。	Α	0
6 タイマー設定	タイマー運転を設定します。	Α	0
7 運転/停止 SW	運転を開始します。/停止します。	Α	
	F1 スイッチの割付られた機能で運転、操作を行います。	Α	
	F2 スイッチの割付られた機能で運転、操作を行います。	A	
	リモコンに表示する言語を選択します。 選択できる言語は下記です。 英語 / 日本語 ドイツ語 / フランス語 / スペイン語 / イタリア語 / オランダ語 / トルコ語 / ポルトガル語 / ロシア語 / ポーランド語 / 中国語	А	
3. 便利機能			
1 フリーフロー設定	各ルーバの可動範囲(上限位置—下限位置)を設定します。 FDK の場合は左限位置 - 右限位置も設定します。 ※2	Α	Δ
2 エアフレックス(風よけ)設定 ※1 エアフレックスパネル組合せの場合	・詳細設定:各運転モード、各吹出口のエアフレックス(風よけ)機構動作の有効・無効を設定します。 ・ON/OFF 切換:詳細設定で、有効にされている各吹出口のエアフレッ ※3 クス ON/OFF (作動中 / 停止中) を切換えます。	А	
3 タイマー設定 時間入タイマー	停止後、運転させたい時間を設定します。 ・1 ~ 12 時間の範囲を 1 時間単位で設定可能です。 ・運転開始時の運転モード・設定温度・風量を設定できます。	А	Δ
時間切タイマー	運転後、停止させたい時間を設定します。 ・1 ~ 12 時間の範囲を 1 時間単位で設定可能です。	А	Δ
時刻入タイマー	運転開始時刻を設定します。 ・設定時刻は5分単位で設定可能です。 ・1回のみ/毎日の切換が可能です。 ・運転開始時の運転モード・設定温度・風量を設定できます。	А	Δ
時刻切タイマー	運転停止時刻を設定します。 ・設定時刻は5分単位で設定可能です。 ・1回のみ/毎日の切換が可能です。	А	\triangle
タイマー設定内容確認	各タイマーの設定内容を一覧できます。	Α	
4 おこのみ設定 ※1 管理者パスワード	おこのみ設定運転で使用する運転モード、設定温度、風量、風向を設定します。おこのみ設定1、おこのみ設定2のそれぞれに設定が可能です。	Α	
5 ウィークリータイマー	1 週間の入タイマーまたは切タイマーを設定します。 ・1 日最大 8 パターンまで設定可能です。 ・設定時刻は 5 分単位で設定可能です。 ・祭日および臨時休業など、休日設定が可能です。 ・運転開始時の運転モード・設定温度・風量を設定できます。	А	Δ
6 るす番運転 管理者パスワード	お部屋を留守にするとき、お部屋が著しく高温 / 低温にならないように温度を保ちます。 ・外温と制御温度により冷房 / 暖房を行います。 ・設定温度、風量の設定が可能です。	А	
7 換気 換気機器組合せの場合	換気の ON/OFF 操作を行います。 [メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [リモコン設定] ⇒ [換気設定] の設定が必要です。 ・換気設定を「単独操作」に設定した場合、換気機器の運転 / 停止ができます。	Α	0

⑥リモコンからの操作・設定(つづき)

設定および表示項目	詳細内容	eco タッチ	標準リモコン
8 言語切換設定	リモコンに表示する言語を選択します。 ・選択できる言語は下記です。 英語 / 日本語 ドイツ語 / フランス語 / スペイン語 / イタリア語 / オランダ語 / ※2トルコ語 / ポルトガル語 / ロシア語 / ポーランド語 / 中国語	Α	
9室外静音設計 ※	3 室外ユニットの静音性を優先して運転します。 ・室外静音運転の開始・停止を設定します。	Α	
10 見てみて	室内温度、室外温度、運転時間、消費電力量を表示します。 ・室内ユニット―室外ユニットの組合せによっては表示できない場合があります。	Α	
11 消費電力量表示	今日、今週、今年の消費電力量をグラフで表示します。 昨日、先週、昨年と比較することができます。 ・室内ユニット―室外ユニットの組合せによっては表示できない場合があります。	А	
4. 省エネ設定	管理者パスワード		
1 切忘れ防止タイマー	運転を開始してから停止するまでの時間を設定します。 ・設定時間は 30 ~ 240 分 (10 分単位)まで選択可能です。 ・設定「有効」の場合、毎回、タイマーが作動します。	А	Δ
2ピークカットタイマー	能力を制限する運転の開始時刻と停止時刻、能力制限率を設定します。 ・1 日最大 4 パターンまで設定可能です。 ・設定時刻は 5 分単位で設定可能です。 ・能力制限率は 0,40 ~ 80% (20%単位) から選択可能です。 ・祭日および臨時休業など、休日設定が可能です。	А	
3 設定温度自動復帰	設定時刻後に設定した温度に戻ります。 ・暖房モード / 冷房モード他、各々設定可能です。 ・設定時間は 20 ~ 120 分(10 分単位)まで設定可能です。 ・設定時刻は 10 分単位で設定可能です。	А	\triangle
人感センサー付パネル組合せの場合	1 人感センサーを使用の場合、パワーコントロールとオートオフの有効/無効 を設定します。	Α	
5. お手入れ			
	全 フィルターサインの解除を行います。	Α	
リセット 次回清掃日の設定	次回清掃日の設定を行います。	Α	
2 グリル昇降 ラクリーナパネル制 ヨクリーナパネル 組合せの場合	ラクリーナパネル グリルの昇降操作をします。[メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [据付設定] ⇒ [グリル昇降操作]の設定が必要です。	А	
降下長設定管理者パスワード	グリル昇降長さを設定します。 ・0.1 ~ 4.0 mの範囲で設定できます。 ・設定長さは 0.1 m単位で設定可能です。 ・接続室内ユニット毎に設定できます。	А	0
ダスト回収リセット お掃除バネル組合せの場	ダスト回収後にダスト回収タイマーをリセットします。	А	
3 お掃除パネル設定 お掃除自動設定	自動清掃の有効 / 休止を設定します。	Α	
3 の掃除ハイル設定 清掃時間帯設定	自動清掃を開始する時間帯を設定します。	Α	
管理者パスワード 清掃間隔設定	自動清掃する最小の間隔を設定します。	Α	
ダスト回収設定	ダストの回収時期を設定します。	Α	
ブラシ清掃回数設定		A	
6. ユーザ設定	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
1 初期設定 時刻設定	現在の日付・時刻を設定および修正を行います。 ・80 時間以内の停電の場合、内蔵バックアップ電源の働きにより時計は動き続けます。	Α	Δ
時刻表示設定	時刻表示のあり/なし、12 H/ 24 H、AM/PM 位置、を設定します。	Α	
サマータイム補正	現在時刻に対し、+1時間の補正を行います。	Α	
コントラスト調整	液晶の濃度の調整を行います。	Α	
バックライト	バックライトの有効/無効、点灯時間を設定します。	Α	
ブザー音	タッチパネル操作時のブザー音のあり/なしを設定します。	Α	
	1 運転ランプの輝度の調整を行います。	Α	
2 管理者設定 操作制限設定 管理者パスワード	・操作の許可 / 禁止を設定します。 [運転 / 停止][設定温度切換][運転モード切換][風向切換] [風量切換][ハイパワー運転][省エネ運転][見てみて][タイマー設定] [消費電力量表示] ※1 ・操作時の管理者パスワード要求を設定します。 [フリーフロー設定][グリル降下長設定][ウィークリータイマー設定] [言語切換設定][ドラフト防止設定] ※1	А	Δ

⑥リモコンからの操作・設定(つづき)

設定および	が表示項目	詳細内容		
2 管理者設定 管理者パスワード	室外静音タイマー	室外ユニットの静音性を優先して運転する時間帯を設定します。 ・静音運転開始時刻と終了時刻を設定可能です。 ・設定時刻は5分単位で設定可能です。	А	
	設定温度範囲	設定温度範囲を制限します。 ・運転モードによる温度範囲の制限が可能です。	Α	_
	温度設定刻み切換	設定温度の刻み (0.5℃ /1.0℃) を設定します。	Α	
	設定温度表示切換	設定温度の表示の仕方を切換えます。	Α	
	リモコン表示設定	リモコン名称、室内ユニット名称を登録します。 室温表示のあり / なしを設定します。 点検コード、暖房準備、除霜運転中、自動冷暖の表示、リモコン・室温・ 外温表示のあり / なしを設定します。	А	_
	管理者パスワード変更	管理者パスワードの変更を行います。	Α	
		管理者パスワードのリセットを行います。	В	
	スイッチ機能変更 ※1	F1、F2 スイッチの機能を設定します。 設定できる機能 [エアフレックス ON/OFF] ※3 [ハイパワー運転][省エネ運転][室外静音制御][るす番運転] [おこのみ設定運転1][おこのみ設定運転 2][フィルターサインリセット] [グリル昇降][消費電力量表示]	Α	
サービス設定				
1 据付設定	据付日登録	据付日を登録した場合、点検表示を行います。	В	
サービスパスワード	サービス情報入力	リモコンに連絡先を登録することができます。 ・連絡先を半角 26 文字相当以内で登録できます。 ・連絡先 TEL 番号を 13 文字以内で登録できます。	В	
	試運転	試運転の開始/停止を制御できます。		
	冷房試運転	設定 5℃ 30 分間運転します。	В	_
	ドレンポンプ試運転	ドレンポンプのみを運転します。		
	お掃除試運転	フィルター清掃 ブラシ清掃運転します。 お掃除パネル組合せの場合	В	
	ダクト機静圧補正	機外静圧補正機能付ダクト形室内ユニット組合せの場合に操作できます。 ・接続室内ユニット毎に個別に設定できます。	В	
	自動アドレス変更	個別発停マルチシリーズ自動アドレス番号を変更することができます。	В	
	親室内機アドレス設定	個別発停マルチシリーズ 設定された親ユニットのみ運転モード変更を許可し、親を設定したユニットは親ユニットから送られた運転モードに従って運転します。	В	_
	バックアップ制御	1 台のリモコンに室内ユニット2台(2グループ)は接続されている時にローテーション運転、キャパシティバックアップ運転、フォルトバックアップ運転の有効/無効が設定できます。	В	
	*1	リモコンに接続された室内ユニットの人感センサー検知の有効/無効を 設定します。 無効の場合は、省エネ設定の人感センサー制御を行うことができません。	В	
	グリル昇降操作	ラクリーナパネル操作を有効に設定します。 ラクリーナパネル組合せの場合	В	
2 リモコン設定	リモコン親子設定	リモコン親子設定の変更ができます。	В	
サービスパスワード	吸込センサー制御	1 台のリモコンに複数室内ユニットが接続されている場合、サーモ判定に 用いる吸込センサーを選択できます。 ・個別/親機/平均の選択が可能です。	В	
	リモコンセンサー	リモコンセンサーに切替えるモードを設定できます。 冷房/暖房で切替可能です。	В	_
		リモコンセンサー検知温度を補正できます。 冷房/暖房 別々に補正可能です。	В	_
	運転モード選択	各運転モード毎に有効/無効を設定できます。	В	
	設定温度単位	設定温度の単位を設定します。 ・℃/~Fの選択が可能です。	В	
	ファン速度	ファン速度の選択が可能です。	В	
	外部入力設定	1 つのリモコンに複数室内ユニットが接続された場合、CnT 入力の適用 範囲が設定されます。	В	
1	上下ルーバ制御	上下ルーバの [4 位置停止] / [フリー停止] の切換ができます。	В	

⑥リモコンからの操作・設定(つづき)

	 ^ヾ 表示項目	詳細内容	eco タッチ	- 標準 リモコン
2 リモコン設定	ナカルーバ制御 ※2	 左右ルーバの [固定位置停止] / [フリー停止] の切換ができます。	B	クモコン
2 リモコン設定	換気設定	換気ユニット組合せ制御が設定できます。	В	0
サービスパスワード	位電描僧	停電復帰した場合の制御内容を設定できます。	В	
	設定温度自動設定	設定温度自動の有効/無効を選択できます。	В	
	風量自動設定	風量自動の有効/無効を選択できます。	В	
3 室内設定	風速設定	本語 本語 本語 本語 本語 本語 本語 本語	В	0
	コ ハ カ エ ハ	フィルターサイン点灯タイマーの設定が換えられます。	В	0
サービスパスワード	以	外部入力1の制御内容を換えられます。	В	0
	<u> </u>	外部入力1の信号方式を換えられます。	В	
	外部入力 7 分式切换	外部入力1の信号力式を挟んられます。	В	
		外部入力2の信号方式を換えられます。	В	
			В	
	暖房室温補正			Δ
	吸込温度補正	吸込センサー検知温度を ±2℃の範囲で補正できます。	В	
	冷房ファン制御	冷房サーモ OFF 時のファン制御を変更できます。	В	0
	暖房ファン制御	暖房サーモ OFF 時のファン制御を変更できます。	B	0
	フロスト防止温度	冷房中室内ユニットの凍結防止制御の判定温度を変更できます。	В	0
	フロスト防止制御 	冷房中室内ユニットの凍結防止制御作動後のファンタップアップを変更で きます。	В	0
	ドレンポンプ運転	冷房・除湿以外の運転モードでのドレンポンプ運転範囲を設定できます。	В	0
	冷房ファン残留運転	冷房停止・冷房サーモ OFF 後のファン残留運転を設定できます。	В	0
	暖房ファン残留運転	暖房停止・暖房サーモ OFF 後のファン残留運転を設定できます。	В	0
	暖房ファン間欠	暖房停止・暖房サーモOFFファン残留運転後のファン運転を設定できます。	В	Ō
	送風サーモ運転	送風時のサーキュレータ運転を設定できます。	В	
	外調機設定	マルチユニット外調機単独運転時の圧力制御を変更できます。	В	
		運転モード自動判定方法を3種類から選択できます。	В	
	サーモ判定切換	サーモ判定を室外温度で補正することができます。	В	
	風量自動切換	風量自動運転における自動切換範囲を設定できます。	В	
		運転開始 30 分後、設定温度と吸込温度の差が過負荷アラームで設定した温度差以上ある場合、外部出力(CnT-5) から過負荷アラーム信号を送信します。	В	
	外部出力設定 ※1	外部出力 1 ~ 4 に割当てる機能を変えられます。	В	
4 サービス・ メンテナンス		リモコン 1 台に 16 台の室内ユニットを接続できます。 個別送風運転で確認できます。	В	0
	 次回点検日		A D	
サービスパスワード		次回の点検日を登録することができます。点検日に連絡先の表示をします。	A B	0
	点検表示	室内ユニット+室外ユニットの運転データをモニターすることができます。 	В	0
	異常履歴表示	19十の用党屋庭(上校) 1、36件は用)をまこします		
		過去の異常履歴(点検コード・発生時間)を表示します。 直前の異常発生時の運転データを表示します。		
	l		В	\triangle
		異常時運転データが消去されます。		
		定期点検タイマーをリセットします。		
	室内設定保存	接続室内ユニット基板設定内容をリモコンへバックアップすることができます。	В	
	特殊操作	[室内アドレス消去][CPU リセット][初期化設定][タッチパネル調整] の操作ができます。	В	\triangle
	室内機容量表示 ※1	リモコンに接続されている室内アドレス番号とその容量を表示します。	В	
	お掃除パネル点検	お掃除パネルの詳細点検操作ができます。	В	0
8. 困ったときは・・・				
1 連絡先表示		登録した連絡先・TEL番号、サービスフロントセンターフリーコールを表示します。 QRコードでインターネット接続⇒点検コード内容を検索できます。	А	
<u> </u>	ろ前に Ω & Δ	Q &Aが表示されます。	A	
9. 点検表示	SHIP WWA	X CATA DECINE Y O	_ ^	
	,	異党発生時の表示	^	^
点検表示確認		異常発生時の表示	A	
10. パソコン接続		스 / / / 시구 - 카수/뉴 / / / · 사 :		
USB 接続		ウィークリータイマー設定他、パソコンから一括設定ができます。 本内容が機能しない場合もあります。	С	

[◆]組合せ室内・室外ユニットの仕様により、本内容が機能しない場合もあります。

PSC012D116

電気配線工事は電気設備技術基準および内線規程に従い、電力会社の認定工事店で行ってください。

安全上のご注意

●作業前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しく作業してください。 安全のため必ずお守りください。

●誤った作業、行為をしたときに生じる危害や損害を「**△警告**」と「**△注意**」に区分し、お守りいただく内容を「図記号」を使用 し説明していますので、必ずお守りください。

●「**△警告**」「**△注意**」の意味

守らないと、死亡または重大な障害にいたる危険性がある事項に **魚警告** つ<u>いて説明しています。</u> 守らないと、傷害や物的損害ある事項について説明しています。 **/**|注意

●ここで使われる"図記号"の意味は右のとおりです。|◇| 絶対に行わない |♪♪ 必ず指示に従い行う

●下記のことを必ず守ってください。守らないときは、感電による火災、感電または過熱、ショートによる火災のおそれがあります。

⚠警告

- ●電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および電気配線工事説明書に従っ て施工し、必ず専用回路を使用する。 電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災の原因になります。
- ●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。 接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災などの原因になります。
- ●室内外ユニット間の配線は、端子カバーが浮き上がらないように整形し、カバーを確実に取付ける。 カバーの取付が不完全な場合は、端子接続部の発熱、火災や感電の原因になります。
- ●別売品は、必ず当社指定の部品を使用する。また、取付は専門業者に依頼する。 ご自分で取付をされ、不備があると、水漏れや感電、火災などの原因になります。 ●改修は絶対にしない。また、修理はお買い上げの販売店に相談する。
- 修理に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。 ●室内外ユニットを移動再設置する場合は、販売店または専門業者に相談する。 据付に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。
- ●室内ユニットの修理・点検作業に際して「電源ブレーカ」を必ず OFF する。 点検・修理にあたって、電源ブレーカがONのままだと、感電およびファン回転によるケガの原因になります。
- ●元電源を切った後に電気工事をする。

感電、故障や動作不良の原因になります。

⚠注意

●アース(接地)を確実に行う。

アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アース(接地)が不完全な場合は、 故障や漏電のとき感電や火災の原因になることがあります。

■電源には必ず漏電しゃ断器(高調波対応品)を取付ける。

漏電しゃ断器が取付けられていないと感電や火災の原因になることがあります。 ●正しい容量の全極しゃ断するブレーカ(漏電しゃ断器・手元開閉器(開閉器+B種ヒューズ)・配線しゃ断器)を使用する。

不適切な容量のブレーカを使用すると故障や火災の原因になることがあります。

●正しい容量のヒューズ以外は使用しない。 針金や銅線を使用すると故障や火災の原因になることがあります。 ●電源配線は、電流容量に合った規格品の配線を使用する。

漏電や発熱・火災などの原因になることがあります。

●室内外接続用端子台および電源用端子台に単線とより線を併用しない。 また、異なったサイズの単線またはより線を併用しない。 端子台のねじゆるみや接触不良が生じ、発煙・発火の原因になることがあります。

●運転停止後、すぐに電源を切らない。 必ず5分以上待ってください。水漏れや故障の原因になることがあります。

▶電源ブレーカによるエアコンの運転や停止をしない。 火災や水漏れの原因になることがあります。ファンが突然回り、ケガの原因になることがあります。

制御の切換

●室内ユニットの制御内容を下記方法にて切換可能です。(――は工場出荷時の設定)

スイッチNo.	制御内容				
SW1	室内ア	ドレス(10位)			
SW2		室内アドレス(1位)			
SW3	室外ア	バレス(10位)			
SW4	室外で	アドレス(1位)			
SW5-1	ON	旧SL通信仕様固定			
(注1)	OFF	新SL/旧SL通信仕様自動判別			
SW5-2	室内ア	・ ドレス(100位)			
SW6-1~4	機種容	7量			
SW7-1	ON	運転チェック・ドレンポンプ運転試			
5W7 1	OFF	通常運転			

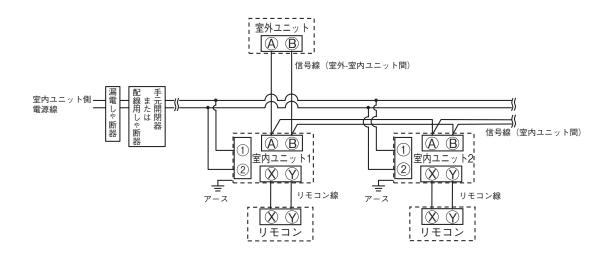
注1:通信方式であるスーパーリンクの仕様が選択できます。

旧 SL: ビル空調 2LX シリーズ, ガスヒートポンプ M7 シリーズ以前 新 SL: ビル空調 3LX シリーズ, ガスヒートポンプ M8 シリーズ以降 SW5-1 が OFF (工場出荷設定) の場合は, 通信仕様(新 SL/ 旧 SL) を自動判別します。

旧 SL 通信仕様固定で使用する場合は、SW5-1 を ON にしてください。 各通信仕様の特徴、制限は室外ユニットに付属の据付説明書をご覧くだ さい。

①電源・室内外配線の接続

- ●電気工事は電力会社の認定工事店で行ってください。本配線仕様は、下記に基づいて決定しています。
 - ①配線は銅線以外のものを使用しないでください。
 - ②電源は、室外ユニット、室内ユニット各々別電源としてください。
 - ③電気ヒータ(別売品) はなしにて記載してあります。
 - 注:電気ヒータを組込む場合は、電源仕様・配線仕様および配線本数が異なりますので、ご注意ください。
 - ④同一系統内の室内ユニットの電源は、必ず全て同時 ON、同時 OFF になるようにしてください。
- ●アース線は室内外接続線および室内ユニット間配線の接続前に接続してください。また、アース線は室内外接続線より長くし、アース線に力がかからないようにしてください。
- ●電源は工事が完了するまで入れないでください。
- ●D種接地工事を必ず行ってください。
- ●端子台への接続は、丸型圧着端子を接続してください。
- ●専用の分岐回路を用い、他の機器と併用しないでください。併用した場合、電源ブレーカ落ちによる二次災害は生じる恐れがあります。
- ●機種毎に設定された過電流および漏洩しゃ断器を設置してください。
- ●室内外の信号線は途中接続しないでください。途中接続した場合に水が浸入すると、対地間絶縁不良や途中接続部の接触不良をまねき、通信異常の原因となります。(万一、途中接続する場合には、絶対に水が浸入しないような処置を行ってください。)
- ●天井裏内の配線(電源・リモコン・室内外接続線など) はネズミ等により、かじられ切断することもありますので、なるべく鉄管等の保護管内に通してください。
- ●室内ユニットに接続する電源線は 3.5mm² まで使用可能です。5.5mm² 以上の配線を使用する場合は、専用のプルボックスを使用し、 室内ユニットへ分岐してください。
- ●信号線と電源線の接続を間違えますと全ての基板が焼損する場合がありますので、ご注意ください。
 - ① A-B 信号線に誤って、200V 電源を接続しても初めの 1 回は保護します。
 - ②電源投入 15 分経過後リモコンからユニット No.(アドレス)が確認できない場合は、全ての信号線を確認して誤接続を修復してください。
 - ③焼損基板のジャンパ線 J10SL1 を切り、コネクタ CnK(黄) CnK1(白) を CnK2(黒) に差替える。
 - ④ A-B 端子台から基板までの配線に異常があれば交換してください。
- ●室内外ユニットの外部では、リモコン線と電源線が直接接触しないように施工してください。
- ●リモコン用端子台には、200V 電源を絶対に接続しないでください。故障の原因となります。
- ●ユニット間配線・アース線およびリモコン線の接続
 - ①ユニット間配線・アース線およびリモコン線の接続は、制御箱内の電源側端子台、信号側端子台に番号を合わせて接続してください。また、アース線は、電源側端子台アース線に接続してください。
 - ②電源には必ず漏洩しゃ断器を取付けて下さい。漏洩しゃ断器は、インバータ回路用しゃ断器 (三菱電機製 NV-C シリーズまたは、その同等品)を選定してください。
 - ③漏電しゃ断器が地絡保護専用の場合には、漏洩しゃ断器と直列に手元しゃ断器 (開閉器 + B 種ヒューズ) または、配線用しゃ断器が必要となります。
 - ④手元開閉器はユニットの近傍に設置ください。
- ●配線の接続はねじの緩みのないように確実に行ってください。また、制御箱内のコネクタの抜けや端子外れがないことを確認してください。
- ●補助電気ヒータ組込の場合は、電気ヒータ組込時の説明書・または技術資料で確認してください。





①電源・室内外配線の接続(つづき)

電源仕様

●室内ユニットを個別に電源に接続する場合

①室内ユニット電源使用(②~③以外の機種)									
機種容量	漏電遮断器定格	開閉器容量	ヒューズ	電源線太さ	配線こう長	信号線	リモコン線	アース線	
22-36形					298m				
45-56形	15A 30mA 0.1sec	30A	15A	2.0mm ² ×2	275m	0.75~1.25mm ²	0.3mm ² ×2/i>	2.0mm ²	
71-90形		SUA	IJA	2.0111111-72	179m	×2	0.511111-7276	2.011111-	
112-160形					123m				
②高静圧ダクト	、給気処理ユニット、加	湿器付外気処	1理ユニット						
45-90形					149m	0.75 1.05			
112-160形	15A 30mA 0.1sec	30A	15A	2.0mm ² ×2	85m	0.75~1.25mm ² ×2	0.3mm²×2/ப்	2.0mm ²	
224,280形					28m	\Z			
③床置形システ	③床置形システムパッケージ								
112形	15A 30mA 0.1sec		15A	2.0mm ² ×2	51m	0.75 - 1.052			
140,160形	TOA JUINA U.TSEC	30A	IJA	2.01111111-^2	34m	0.75~1.25mm ² ×2	0.3mm ² ×2心	2.0mm ²	
224,280形	20A 30mA 0.1sec		20A	3.5mm ² ×2	32m				

- 注 1. 配線こう長は、電圧降下2%とした場合を示します。上記の配線こう長を越える場合は、内線規程に従い、配線太 さを見直してください。
- 注 2. リモコン線の延長距離が100mを越える場合は、(③リモコンの取付) に従い、配線太さを見直してください。

●複数の室内ユニットを一つの電源に接続する場合

室内ユニット	配線太さ	配線こう長	配線用しゃ断器
合計電流	(mm²)	(m)	定格電流
7A以下	2	21	20A
11A以下	3.5	21	20A
12A以下	5.5	33	20A
16A以下	5.5	24	30A
19A以下	5.5	20	40A
22A以下	8	27	40A
28A以下	8	21	50A

- 注1. 表中のこう長は、室内ユニットを直列に接続した場合の値を示します。また、室内ユニット合計電流別に電圧降下を2%以内とした場合の配線太さとこう長を示しています。電流が左表の値を超える場合、内線規程に従い配線太さを見直してください。
- 注2. サービス時 (電源OFF時) のため、別の冷媒配管系統の室内ユニットを同一電源とすることは避けてください。

漏電しゃ断器の定格感度電流は、下記計算式と判定方法を参照ください。

注3. 下記に示す計算式は目安であり、現地設備、工事内容により異なる場合があります。漏電しゃ断器が頻繁に作動する場合は、現地設備、工事内容に適した漏電しゃ断器を選定してください。

<計算式> 必要感度電流 = (各室内ユニットの機種係数 ×台数) の合計値 + (配線係数×配線長[km])

<機種係数>

機種	係数
FDT,FDTC	3.5
FDTW,FDTS,FDR,FDU,FDE,FDK,FDU-F	2.5

<配線係数>

HO WY IVI VOV					
電源配線径	係数				
2.0mm ²	50				
3.5mm ²	60				
5.5mm ²	60				
8.0mm ²	60				

<判定方法>

(i) 必要感度電流≤30 定格感度電流30mA (0.1s以下) 品をご使用ください。

(ii) 30<必要感度電流≦100 原則、必要感度電流が30mA以下となるよう漏電しゃ断器の系統分割をしてください。

系統分割が難しい場合は、接地抵抗値が内線規程に基づいた値以下となる様確実に接地工事を行った場合に限り、定格感度電流100mA (0.1s以下) 品の使用が可能

(iii) 100<必要感度電流 漏電しゃ断器の系統分割(追加)が必要です。

冷暖フリーマルチの場合

分流コントローラの配線

●本ユニットを冷暖フリーマルチとして使用する場合は分流コントローラ(別売品)に付属の据付説明書をご覧ください。

②アドレス設定

アドレス設定は、(1)手動アドレス設定、(2)自動アドレス設定の2方法ができます。

自動アドレス設定の場合、アドレス設定後、ワイヤードリモコンからアドレスの変更が可能です。

設定方法は、室外ユニットに付属の説明書をご覧ください。

③リモコンの取付(別売部品)

- ●次の位置へ取付けないでください。
 - ○直射日光の当たる所
 - ○発熱器具に近い所
 - ○湿気の多い所、水が飛散する所
 - ○取付面が発熱・結露する所
 - ○油の飛沫や蒸気が直接触れる所
 - ○取付面の凹凸がある所

リモコン取付・配線

- ①リモコンの取付は、リモコン付属の説明書に従ってください。
- ②リモコン線は、 $0.3\,\mathrm{mm}^2 \times 2$ 心の電線またはケーブルを使用してください。配線の被覆は $1\,\mathrm{mm}$ 以上のものを使用してください。(現地手配)
- ③リモコン線の総延長は600mです。

延長距離が100mを超える場合は、下記サイズに変更してください。ただし、リモコンケース内を通る配線は最大0.5mm²以下とし、リモコン外部の近傍で配線接続により、サイズを変更してください。

100~200m以内····0.5mm²×2心

300m以内・・・・0.75mm²×2心

400 m以内·····1.25 mm² × 2心

600m以内・・・・2.0mm²×2心

- ④誤動作する場合がありますので、多心ケーブルの使用は避けてく ださい。
- ⑤リモコン線はアース (建物の鉄骨部分または金属など) からできるだけ離してください。
- ⑥リモコン線は確実にリモコンと室内ユニットの端子台に接続してください。(極性はありません)

1 リモコンによる複数台室内ユニット制御

①1つのリモコンで複数台のユニット(最大16台)をグループ制御できます。

同一モード、同一室温設定で運転します。

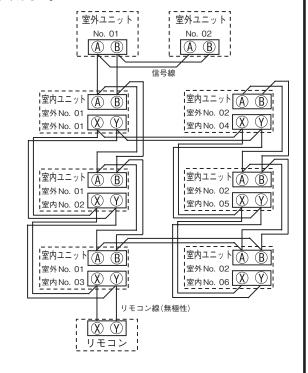
- ②グループ制御用に各室内ユニット間を2心のリモコン線にて渡り 配線してください。
- ③室内・室外No. を手動アドレス設定にてセットしてください。
 - ○室内ユニット基板上のロータリスイッチSW1,SW2および ディップスイッチSW5-2により、室内No. を重複しないよ うに設定してください。
- ④右図のように室外ユニットが複数台の場合でもリモコン複数台制御可能です。

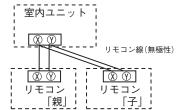
複数リモコン使用時の親子設定

室内1台(または1グループ)に対して、最大2個までリモコンを接続できます。後操作優先で運転します。

ワイヤードリモコン2台、あるいはワイヤードリモコン+ ワイヤレスキット、あるいはワイヤレスキット2台のいずれかの組合せができます。

- 1個を「親」に、残りを「子」に設定してください。
 - 注意 リモコンセンサ有効設定は親リモコンのみ可能です。親リモコンを室温検知させる位置に取付けてください。



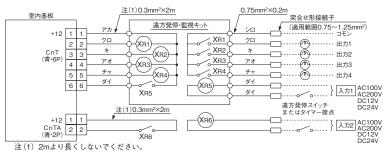


③リモコンからの操作・確認方法

		T	
No.	項目	eco タッチリモコンから操作(RC-DX シリーズ)	標準リモコンから操作(RC-D シリーズ)
1	リモコン系統内の 接続ユニットの接 続台数確認方法	[メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [サービス・メンテナンス] ⇒ [サービスパ スワード] ⇒ [エアコン No. 表示]	①エアコン No. を押してください。②▲▼ボタンで室内ユニットのアドレスを 1 台ずつ確認してください。
2	リモコン系統内の 接続室内ユニット の接続確認方法	[メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [サービス・メンテナンス] ⇒ [サービスパスワード] ⇒ [エアコン No. 表示] ⇒ [個別送風運転]	①エアコン No. を押してください。②▲▼ボタンで室内ユニットのアドレスを選択してください。③ [運転切換]を押してください。送風運転します。
3	親子リモコン設定	[メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [リモコン設定] ⇒ [サービスパスワー ド] ⇒ [リモコン親子設定]	子リモコン切換スイッチ(SW1)を「子」に設定してください。
4	運転データの確認 方法	[メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [サービス・メンテナンス] ⇒ [サービスパスワード] ⇒ [運転データ表示]	[点検] ⇒運転データ表示▼⇒ [セット] ⇒ データ確認中⇒室内機選択⇒▲▼ボタンで接続されて いる室内アドレスを1台選択⇒ [セット] ⇒ データ確認中⇒▲▼データ選択
5	点検表示の確認 方法	[メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [サービス・メンテナンス] ⇒ [サービスパスワード] ⇒ [点検表示]	[点検] ⇒運転データ表示▼⇒ [▼] ⇒ エラーデータ表示▲⇒ [セット] ⇒ データ確認中⇒データ表示
6	リモコンからの 冷房試運転方法	[メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [据付設定] ⇒ [サービスパスワード] ⇒ [試運転] ⇒ [冷房試運転] ⇒ [開始]	① [運転 / 停止]を押し、運転させてください。② [運転切換]により、「冷房」を選択します。③ [試運転]を3秒以上押します。表示が、「冷房試運転▼」となります。 ④ 「冷房試運転▼」の表示で、[セット]ボタンを押すと、冷房試運転を開始します。表示は「冷房試運転」となります。
7	リモコンから ドレンポンプ 試運転方法	[メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [据付設定] ⇒ [サービスパスワード] ⇒ [試運転] ⇒ [ドレンポンプ試運転] ⇒ [運転]	 ① [運転 / 停止]を押し、運転させてください。表示が 「冷房試運転▼」となります。 ② [▼]を一度押し、「ドレンポンプ運転」を表示させます。 ③ [セット]を押すと、ドレンポンプ運転を開始します。表示:「セットで停止」

リモコン形式の違いにより、メニュー構成が異なる場合があります。リモコン形式が異なる場合は、リモコン付属の据付 説明書をご覧ください。

④室内基板CnTコネクタの機能



- ●X R1~4はD C12 V リレー(オムロン製 LY2 F相当品)

- NRI~4はDC12 V リレー (オムロン製LY2 F 相当品)
 NRsは、DC 12、24 Vまたは100 V リレー (オムロン製MY 2 F 相当品)
 CnT コネクタ (現地側) メーカ、形式コネクタ: モレックス製 5 2 6 4 − 06端子: モレックス製 5 2 6 3 T別売品 (PCZ006A043)を準備しておりますのでご利用ください。
 遠方発停・監視キットを別売品にて準備しておりますのでご利用ください。
 CnT Aコネクタは、F DT 他に搭載<仕様書で確認願います> (現地側)メーカ、形式コネクタ: 日本圧着端子JST製 X AP 0 2 V 干 1 ー E端子: 日本圧着端子JST製 S X A − 0 1 T − P 0.6別売品 (PCZ006A053)を準備しておりますのでご利用ください。

●出力1~4,入力1・2を下記の項目より自由に選択・設 定することができます。

工場出荷時は下記のように設定されています。

ш,,			
1	運転出力	8	ファン運転出力3
2	暖房出力	9	デフロスト,油戻し出力
3	圧縮機ON出力	10	換気出力
4	点検(異常)出力	11	ヒータ出力
(5)	冷房出力	12	フリークーリング出力
6	ファン運転出力1	13	室内過負荷異常出力
7	ファン運転出力2		
		13	室内過負荷異常出力

入力

/ \ / J			
1	運転 / 停止	(5)	設定温度シフト
2	運転許可禁止	6	強制サーモ OFF
3	緊急停止	7	一時停止
4	冷房 / 暖房	8	静音モード

工場出荷時の設定

CnT-2 出力 1 運転出力 C		щ/, т	点検(異常)出力
			運転 / 停止
CnT-4 出力 3 圧縮機ON 出力 C	nTA	入力2	運転 / 停止

●設定の方法は技術資料をご覧ください。

⑤リモコンからの操作・設定

〈ecoタッチリモコンの凡例〉

A:eco タッチリモコン付属の取扱説明書を参照ください。 B:eco タッチリモコン付属の据付工事説明書を参照ください。 C:インターネットよりユーティリティーソフトを配信中です。

〈標準リモコンの設定操作可否〉

○: eco タッチリモコンと、ほぼ同等の機能設定・操作が可能です。 ○: eco タッチリモコンと、類似の機能設定・操作が可能です。 空欄:標準リモコンには、この機能はありません。

	び表示項目	詳細内容	eco タッチ	標準リモコ
. リモコンネットワーク				
1 複数室内機制御		リモコン 1 台(リモコンネットワーク内)に最大 16 台室内ユニットを接続制御できます。室内ユニット側にアドレスを設定します。		0
2 親子リモコン設定		リモコンネットワーク内に 2 個のリモコン (含むワイヤレスリモコン) を接続できます。 片側を「親」とし、片側を「子」として設定します。	В	0
TOP 画面・SW 操作	F			
1 メニュー		制御・設定・詳細設定等の項目を追加します。	Α	
2 運転モード		冷房・暖房・送風・自動・除湿を設定します。	Α	С
3 設定温度		室温を 0.5℃単位で設定します。	Α	С
4 風向		風向を設定します。 おまかせ気流の有効 / 無効を設定します(FDK の場合)。 ※2	Α	
5 風量		風量を設定します。	Α	
6 タイマー設定		タイマー運転を設定します。	Α	
7 運転/停止 SW		運転を開始します。/停止します。	A	
7 <u>建報/ 停止 3W</u> 8 F1 スイッチ	× 1	F1 スイッチの割付られた機能で運転、操作を行います。	A	
9 F2スイッチ		F2 スイッチの割付られた機能で運転、操作を行います。	Α	
0 言語切換	** 3	リモコンに表示する言語を選択します。 選択できる言語は下記です。 英語 / 日本語 ドイツ語 / フランス語 / スペイン語 / イタリア語 / オランダ語 / トルコ語 / ポルトガル語 / ロシア語 / ポーランド語 / 中国語	А	
 . 便利機能				
1 フリーフロー設定		各ルーバの可動範囲(上限位置—下限位置)を設定します。 FDK の場合は左限位置 - 右限位置も設定します。 ※2	А	_
2 エアフレックス (風。	よけ) 設定※ 1	・詳細設定:各運転モード、各吹出口のエアフレックス (風よけ) 機構動作の有効・無効を設定します。	Α	
	レ組合せの場合※ 3 	・ON/OFF 切換:詳細設定で、有効にされている各吹出口のエアフレック ス ON/OFF (作動中 / 停止中) を切換えます。		
3 タイマー設定	時間入タイマー	停止後、運転させたい時間を設定します。 ・1 ~ 12 時間の範囲を 1 時間単位で設定可能です。 ・運転開始時の運転モード・設定温度・風量を設定できます。	А	
	時間切タイマー	運転後、停止させたい時間を設定します。 ・1 ~ 12 時間の範囲を 1 時間単位で設定可能です。	Α	
	時刻入タイマー	運転開始時刻を設定します。 ・設定時刻は5分単位で設定可能です。 ・1回のみ/毎日の切換が可能です。 ・運転開始時の運転モード・設定温度・風量を設定できます。	А	_
	時刻切タイマー	運転停止時刻を設定します。 ・設定時刻は5分単位で設定可能です。 ・1回のみ/毎日の切換が可能です。	А	_
	タイマー設定内容確認	各タイマーの設定内容を一覧できます。	Α	
4 おこのみ設定 管理者パスワード	* 1	おこのみ設定運転で使用する運転モード、設定温度、風量、風向を設定します。おこのみ設定 1、おこのみ設定 2のそれぞれに設定が可能です。	Α	
5 ウィークリータイマー	-	1 週間の入タイマーまたは切タイマーを設定します。 ・1 日最大 8 パターンまで設定可能です。 ・設定時刻は 5 分単位で設定可能です。 ・祭日および臨時休業など、休日設定が可能です。 ・運転開始時の運転モード・設定温度・風量を設定できます。	А	
6るす番運転 管理者パスワード		お部屋を留守にするとき、お部屋は著しく高温 / 低温にならないように温度を保ちます。 ・外温と制御温度により冷房 / 暖房を行います。 ・設定温度、風量の設定が可能です。	А	
7 換気 換気機器組合せの)場合	換気の ON/OFF 操作を行います。 [メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [リモコン設定] ⇒ [換気設定] の設定が必要です。 ・換気設定を「単独操作」に設定した場合、換気機器の運転 / 停止ができます。	А	C

※3:RC-DX3A以前のリモコンには、この機能はありません。

※ 1: RC-DX2 以前のリモコンには、この機能はありません。※ 2: RC-DX3 以前のリモコンには、この機能はありません。 ※ 4:標準リモコンには、この機能はありません。

設定および	^で 表示項目	詳細内容	eco タッチ	標準 リモコン
8 言語切換設定		リモコンに表示する言語を選択します。 ・選択できる言語は下記です。 英語 / 日本語 ドイツ語 / フランス語 / スペイン語 / イタリア語 / オランダ語 / ※2トルコ語 / ポルトガル語 / ロシア語 / ポーランド語 / 中国語	А	
9室外静音設定	* 3	室外ユニットの静音性を優先して運転します。 ・室外静音運転の開始・停止を設定します。	Α	
10 見てみて		室内温度、室外温度、運転時間、消費電力量を表示します。 ・室内ユニット一室外ユニットの組合せによっては表示できない場合があります。	Α	
11 消費電力量表示		今日、今週、今年の消費電力量をグラフで表示します。 昨日、先週、昨年と比較することができます。 ・室内ユニット一室外ユニットの組合せによっては表示できない場合があります。	А	
4. 省エネ設定		管理者パスワード		
1 切忘れ防止タイマー	-	運転を開始してから停止するまでの時間を設定します。 ・設定時間は30~240分(10分単位)まで選択可能です。 ・設定「有効」の場合、毎回、タイマーが作動します。	А	Δ
2 ピークカットタイマー		能力を制限する運転の開始時刻と停止時刻、能力制限率を設定します。 ・1 日最大 4 パターンまで設定可能です。 ・設定時刻は 5 分単位で設定可能です。 ・能力制限率は 0,40 ~ 80% (20%単位) から選択可能です。 ・祭日および臨時休業など、休日設定が可能です。	Α	
3 設定温度自動復帰		設定時刻後に設定した温度に戻ります。 ・暖房モード / 冷房モード他、各々設定可能です。 ・設定時間は 20 ~ 120 分(10 分単位)まで設定可能です。 ・設定時刻は 10 分単位で設定可能です。	Α	Δ
4 人感センサー制御人感センサー付パ		人感センサーを使用の場合、パワーコントロールとオートオフの有効/無効を設定します。	А	
5. お手入れ				
1 フィルターサイン	フィルターサインの解除	フィルターサインの解除を行います。	Α	
リセット	次回清掃日の設定	次回清掃日の設定を行います。	Α	
2 グリル昇降	ラクリーナパネル制御 ラクリーナパネル 組合せの場合	ラクリーナパネル グリルの昇降操作をします。 [メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [据付設定] ⇒ [グリル昇降操作]の 設定が必要です。	А	0
	降下長設定 管理者パスワード	グリル昇降長さを設定します。 ・0.1 ~ 4.0 mの範囲で設定できます。 ・設定長さは 0.1 m単位で設定可能です。 ・接続室内ユニット毎に設定できます。	А	0
	ダスト回収リセット お掃除パネル組合 せの場合	ダスト回収後にダスト回収タイマーをリセットします。	А	
3お掃除パネル設定	お掃除自動設定	自動清掃の有効 / 休止を設定します。	Α	
3 の御跡ハイル政化	清掃時間帯設定	自動清掃を開始する時間帯を設定します。	Α	
管理者パスワード	清掃間隔設定	自動清掃する最小の間隔を設定します。	Α	
	ダスト回収設定	ダストの回収時期を設定します。	Α	
	ブラシ清掃回数設定	ブラシの清掃回数を設定します。	Α	
6. ユーザ設定	,			
1 初期設定	時刻設定	現在の日付・時刻を設定および修正を行います。 ・80 時間以内の停電の場合、内蔵バックアップ電源の働きにより時計 は動き続けます。	Α	Δ
	時刻表示設定	時刻表示のあり/なし、12 H/ 24 H、AM/PM 位置、を設定します。	Α	
	サマータイム補正	現在時刻に対し、+1時間の補正を行います。	Α	
	コントラスト調整	液晶の濃度の調整を行います。	Α	
	バックライト	バックライトの有効/無効、点灯時間を設定します。	Α	
	I as a s	E	^	
	ブザー音	タッチパネル操作時のブザー音のあり/なしを設定します。	Α	

※ 1: RC-DX2 以前のリモコンには、この機能はありません。※ 2: RC-DX3 以前のリモコンには、この機能はありません。※ 4: 標準リモコンには、この機能はありません。

設定才	および表示項目	詳細内容	eco タッチ	標準 リモコン
2 管理者設定管理者パスワー	操作制限設定	・操作の許可 / 禁止を設定します。 [運転 / 停止][設定温度切換][運転モード切換][風向切換] [風量切換][ハイパワー運転][省エネ運転][見てみて][タイマー設定] [消費電力量表示] ※ 1 ※ 4 ・操作時の管理者パスワード要求を設定します。 [フリーフロー設定][グリル降下長設定] [ウィークリータイマー設定] [言語切換設定] [ドラフト防止設定] ※ 1 ※ 4	А	Δ
	室外静音タイマー	室外ユニットの静音性を優先して運転する時間帯を設定します。 ・静音運転開始時刻と終了時刻を設定可能です。 ・設定時刻は5分単位で設定可能です。	А	\triangle
	設定温度範囲	設定温度範囲を制限します。 ・運転モードによる温度範囲の制限が可能です。	А	\triangle
	温度設定刻み切換	設定温度の刻み (0.5℃ /1.0℃) を設定します。	Α	
		設定温度の表示の仕方を切り換えます。	Α	
	リモコン表示設定	リモコン名称、室内ユニット名称を登録します。 室温表示のあり / なしを設定します。 点検コード、暖房準備、除霜運転中、自動冷暖の表示、リモコン・室温・ 外温表示のあり / なしを設定します。	А	Δ
	管理者パスワード変更	管理者パスワードの変更を行います。	Α	
		管理者パスワードのリセットを行います。	В	
	スイッテ(機能変更※ I	F1、F2 スイッチの機能を設定します。 設定できる機能 [エアフレックス ON/OFF] ※ 3 [ハイパワー運転][省エネ運転][室外静音制御][るす番運転] [おこのみ設定運転1][おこのみ設定運転 2][フィルタサインリセット] [グリル昇降][消費電力量表示]	А	
7. サービス設定				
1 据付設定	据付日登録	据付日を登録した場合、点検表示を行います。	В	
サービスパスワ-	サービス情報入力	リモコンに連絡先を登録することができます。 ・連絡先を半角 26 文字相当以内で登録できます。 ・連絡先 TEL 番号を 13 文字以内で登録できます。	В	
	試運転 冷房試運転 ドレンポンプ試運転	試運転の開始/停止を制御できます。 設定 5℃ 30 分間運転します。 ドレンポンプのみを運転します。	В	Δ
	お掃除試運転	フィルター清掃 ブラシ清掃運転します。 お掃除パネル組合せの場合	В	
	ダクト機静圧補正	機外静圧補正機能付ダクト形室内ユニット組合せの場合に操作できます。 ・接続室内ユニット毎に個別に設定できます。	В	
		個別発停マルチシリーズ自動アドレス番号を変更することができます。	В	\triangle
	親室内機アドレス設定	個別発停マルチシリーズ 設定された親ユニットのみ運転モード変更を許可し、親を設定したユニットは親ユニットから送られた運転モードに従って 運転します。	В	\triangle
	バックアップ制御	1 台のリモコンに室内ユニット2台(2グループ)は接続されている時にローテーション運転、キャパシティバックアップ運転、フォルトバックアップ運転の有効/無効が設定できます。	В	
		リモコンに接続された室内ユニットの人感センサー検知の有効/無効を設定します。 無効の場合は、省エネ設定の人感センサー制御を行うことができません。	В	
	グリル昇降操作	ラクリーナパネル操作を有効に設定します。 ラクリーナパネル組合せの場合	В	0

設定および	び表示項目	詳細内容	eco タッチ	標準 リモ=
2 リモコン設定	リモコン親子設定	リモコン親子設定の変更ができます。	В	0
サービスパスワード	吸込センサー制御	1 台のリモコンに複数室内ユニットが接続されている場合、サーモ判定に 用いる吸込センサーを選択できます。 ・個別/親機/平均の選択が可能です。	В	
	リモコンセンサー	リモコンセンサーに切り替えるモードを設定できます。 冷房/暖房で切替可能です。	В	
	リモコンセンサー補正	リモコンセンサー検知温度を補正できます。 冷房/暖房 別々に補正可能です。	В	
	運転モード選択	各運転モード毎に有効/無効を設定できます。	В	
	設定温度単位	設定温度の単位を設定します。 ・°C / °F の選択が可能です。	В	
		ファン速度の選択が可能です。	В	
	外部入力設定	1 つのリモコンに複数室内ユニットが接続された場合、CnT 入力の適用 範囲が設定されます。	В	
	上下ルーバ制御	上下ルーバの [4 位置停止] / [フリー停止] の切換ができます。	В	
		左右ルーバの [固定位置停止] / [フリー停止] の切換ができます。	В	
		換気ユニット組合せ制御が設定できます。	В	
	停電補償	停電復帰した場合の制御内容を設定できます。	В	
	設定温度自動設定	設定温度自動の有効/無効を選択できます。	В	
	風量自動設定	風量自動の有効/無効を選択できます。	В	
3 室内設定	風速設定	室内ユニットの風量タップを設定します。	В	
# 137 007 D 15	フィルターサイン	フィルターサイン点灯タイマーの設定が換えられます。	В	
サービスパスワード	外部入力 1 設定	外部入力 1 の制御内容を換えられます。	В	
		外部入力 1 の信号方式を換えられます。	В	
		外部入力2の制御内容を換えられます。	В	
	外部入力2方式切換	外部入力2の信号方式を換えられます。	В	
	暖房室温補正	暖房サーモ判定値を0~+3℃の範囲で補正できます。	В	Δ
	吸込温度補正	吸込センサー検知温度を± 2℃の範囲で補正できます。	В	
	冷房ファン制御	冷房サーモ OFF 時のファン制御を変更できます。	В	
	暖房ファン制御	暖房サーモ OFF 時のファン制御を変更できます。	В	
	フロスト防止温度	冷房中室内ユニットの凍結防止制御の判定温度を変更できます。	В	
	フロスト防止制御	冷房中室内ユニットの凍結防止制御作動後のファンタップアップを変更で きます。	В	
	ドレンポンプ運転	冷房・除湿以外の運転モードでのドレンポンプ運転範囲を設定できます。	В	
		冷房停止・冷房サーモ OFF 後のファン残留運転を設定できます。	В	
	暖房ファン残留運転	暖房停止・暖房サーモ OFF 後のファン残留運転を設定できます。	В	
	暖房ファン間欠	暖房停止・暖房サーモOFFファン残留運転後のファン運転を設定できます。	В	
	送風サーモ運転	送風時のサーキュレータ運転を設定できます。	В	
	外調機設定	マルチユニット外調機単独運転時の圧力制御を変更できます。	В	
	運転モード自動設定	運転モード自動判定方法を3種類から選択できます。	В	
	サーモ判定切換	サーモ判定を室外温度で補正することができます。	В	
		風量自動運転における自動切換範囲を設定できます。	В	
	室内過負荷アラーム	運転開始 30 分後、設定温度と吸込温度の差が過負荷アラームで設定した温度差以上ある場合、外部出力(CnT-5) から過負荷アラーム信号を送信します。	В	
	外部出力設定 ※ 1	外部出力 1 ~ 4 に割当てる機能を換えられます。	В	i –

※ 1: RC-DX2 以前のリモコンには、この機能はありません。※ 2: RC-DX3 以前のリモコンには、この機能はありません。※ 4: 標準リモコンには、この機能はありません。

設定および表示項目		詳細内容	eco	標準リモコン
4 サービス・ メンテナンス		リモコン 1 台に 16 台の室内ユニットを接続できます。 個別送風運転で確認できます。		0
サービスパスワード	欠回点検日	次回の点検日を登録することができます。点検日に連絡先の表示をします。	AΒ	0
	軍転データ表示	室内ユニット+室外ユニットの運転データをモニターすることができます。	В	0
ļ ļ	点検表示			
	異常履歴表示	過去の異常履歴(点検コード・発生時間)を表示します。		
	異常時運転データ表示	直前の異常発生時の運転データを表示します。	В	
	異常時運転データ消去	異常時運転データが消去されます。	Ь	
	定期点検リセット	定期点検タイマーをリセットします。]	
室内設定保存		接続室内ユニット基板設定内容をリモコンへバックアップすることができます。	В	
特殊操作		[室内アドレス消去][CPU リセット][初期化設定][タッチパネル調整] の操作ができます。		\triangle
室内機容量表示 ※1 リモコンに接続されている室内アドレス番号とその容量を表示します。 お掃除パネル点検 お掃除パネルの詳細点検操作ができます。		リモコンに接続されている室内アドレス番号とその容量を表示します。	В	
		В	0	
8. 困ったときは・・・				
1 連絡先表示		登録した連絡先・TEL番号、サービスフロントセンターフリーコールを表示 します。 QR コードでインターネット接続⇒点検コード内容を検索できます。	А	
2 サービスを依頼される前に Q & A		Q &Aが表示されます。	Α	
9. 点検表示				
点検表示確認		異常発生時の表示	Α	\triangle
10. パソコン接続				
USB 接続		ウィークリータイマー設定他、パソコンから一括設定ができます。	С	

[◆]組合せ室内・室外ユニットの仕様により、本内容が機能しない場合もあります。

(3) スーパーリンク配線工事

PSC012D125

・本説明書は、集中制御オプション等を使用するためのスーパーリンクネットワーク信号線(DC5V)接続方法を記載してあります。 他の説明書と合わせてご覧ください。

① 据付けの前に

● ネットワークに接続される全ての機器が新スーパーリンク対応の場合にのみ新スーパーリンク仕様になります。 ネットワーク内に旧スーパーリンク対応機器が存在する場合は、旧スーパーリンク仕様になります。 旧スーパーリンクの場合にはディップスイッチ SW7-2 (ON) に切換えてください。

通信方式		新スーパーリンク(※1)		旧スーパーリンク(※2)	
ネットワーク内の	室内ユニットの台数	最大 128 台 000 ~ 12	7	最大 48 台 00 ~ 47	
接続台数	プルーラル機の台数	最大 16台 000~015	5	最大 16 台 00 ~ 15	
使用する配線の仕様		MVVS(シールド線) (※3)		·線) (※3)	
ネットワーク全体の信号線	1000m 以内	1.25mm ² (* 4	.)	1.25mm ² (※ 4)	
合計長さ	1000 ~ 1500m	0.75mm ²		不可	
 (※1) ビル空調 3LX シリース	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ーズ以降	SW7-2	ON 旧周定	

(※2) ビル空調 2LX シリーズ, ガスヒートポンプ M7 シリーズ以前

(※3) 電線工業会 規格番号: JCS 4271: 2003

(※4) 線径 2.0mm² は使用しないでください。誤作動となる場合があります。

スーパーリンク

新旧

OFF: 自動判定

② 室内アドレスの設定

● 室内ユニットコントローラ基板のスイッチにて室内アドレス設定をしてください。 オートアドレス設定には対応していません。リモコンからのアドレス設定には対応していません。

スイッチ

SW7-3 100の位 ON : 1 OFF: 0

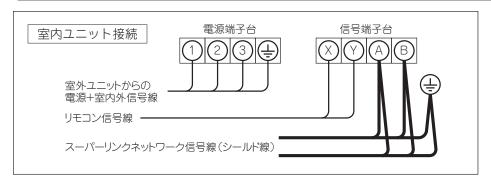
SW1 10の位 SW2 1の位

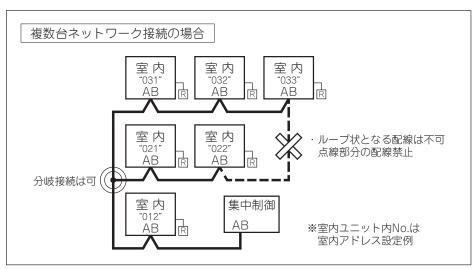
出荷時設定

"000"

- ・プルーラルの親子設定は ディップスイッチ SW5 にて設定してください<電気配線工事説明書参照>。
- ・プルーラル機の室内アドレスは、"000"から"015"に設定してください。
- ・プルーラル子機は親機の室内アドレスに合わせて設定してください。

③ スーパーリンクネットワーク接続要領 <信号端子台 A B>





・信号端子台への接続は、M 3.5 用 の圧着端子を使用してください。

7mm以下 (o)

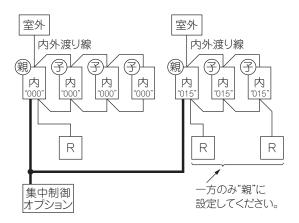
- ・配線はシールド線を使用して両端 をアースへ接続してください。
- · AB 信号線には極性はありません。 AB 接続が反転しても通信します。



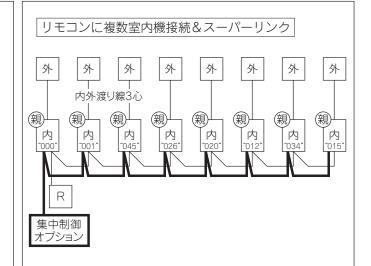


- ・電源 + 室内外信号線とリモコン線 の並走は避けてください。
- ・電源 + 室内外信号線とスーパーリ ンク線の並走は避けてください。

プルーラル制御 複数台の混在



- ・スーパーリンクは親機にのみ接続してください。
- ・プルーラル接続の場合室内アドレスは、"000" \sim "015" から設定してください。
- ・子機の室内アドレスは親機に合わせてください。
- ・リモコン 2 個接続の場合はどちらか一方のみ "親" に設定してください。<リモコン据付工事説明書参照> ※室内ユニット内 No. は室内アドレス設定例



- ・集中制御する全室内ユニットに信号線をつないでください。 集中制御から個別に室温設定・風量設定等が行えます。 リモコンには優先室内ユニットの情報が表示されます。 リモコンから操作した場合同一設定になります。
- ・室内アドレスは、"000" ~ "127" から設定してください。 ※室内ユニット内 No. は室内アドレス設定例

④接続の確認要領

- AB信号線回路はDC5Vですので絶対にAC200Vの配線を接続しないでください。
 - ・電源投入前に信号線端子台 A-B 間の抵抗をご確認ください。

A-B 間の抵抗が100 Ω以下の場合は、電源線を信号線端子台へ接続している可能性があります。

新スーパーリンク対応機だけが接続されている場合 抵抗値の目安=5100 /接続台数

旧スーパーリンク機が混在している場合 抵抗値の目安= 46000 / ((旧の接続台数×5) + (新の接続台数×9))

台数が多い場合は、一時的に信号線を外し、分割後の回路毎に確認してください。

⑤ 予備回路の接続

- AB信号線回路(DC5V)と電源線の接続を間違えますと全ての基板が焼損する場合がありますので、ご注意ください。
 - 1. A-B 信号線に誤って 200V 電源を接続しても初めの 1 回は保護します。
 - 2. 電源投入 15 分経過後集中制御側から室内アドレス No. が確認できない場合は、全ての信号線を確認して誤接続を修復してください。
 - 3. 焼損(ヒューズ F3,F4 が切れている)基板のジャンパ線 -JSL1- を切り、コネクタ CNK(白)を CNK1(白)から CNK2(黒)に差し替えてください。
 - 4. 端子台 AB から基板までの配線に異常があれば交換してください。

⑥ 点検表示

・ 室内ユニット 基板 LED・リモコン・集中制御オプション等を確認してください。

室内ユニット 基板 LED		 点検モード	 エラー表示	
赤	緑	無機 C─ F	エノー衣小	
消灯	連続点滅	正常	消灯	
消灯	消灯	電源不良 室内①②に電圧が無い	消灯	
1 回点滅	連続点滅	室内アドレス No. 重複 室内ユニット接続台数オーバー	E 2	

⑦注意事項

- 1. ①リモコン無 (ワイヤードリモコンまたはワイヤレスリモコン無) では使用できません。 ②ブルーラル機の室内アドレスは、"000" から"015"以外では使用できません。
 - ●①②の仕様が必要な場合は、スーパーリンクアダプタ SC-ADNA の使用を検討してください。 スーパーリンクアダプタ(リモコン線接続)を使用の場合は、室内基板 CNK の接続を外してください。
- 2. 集中制御機器からプルーラル子機の機能設定はできません。親機のみ有効です。 子機は設定可能なワイヤードリモコンより操作してください。
- 3. 集中制御へのフィルターサイン出力は、親機の出力のみ有効です。 子機の情報はワイヤードリモコンより確認してください。

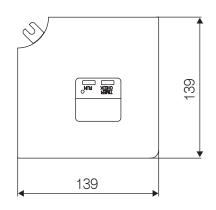
4.6 ワイヤレスキット

ワイヤレスリモコン(RCN-D5)・ワイヤレス受信部(LA-TC-5W1)

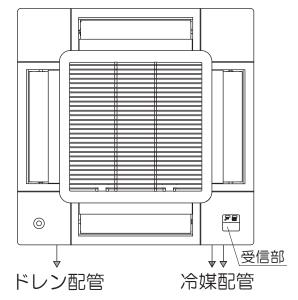
(1) 仕様

PJF000Z633

ワイヤレス受信部



ワイヤレス受信部取付位置



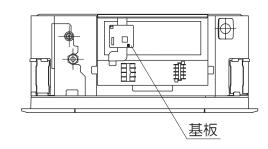
注 図の位置にのみ受信部は取付可能です。

基板上のスイッチ設定

SW1-1	複数台設置時の 混信誤動作防止	ON:通常	OFF:切換
SW1-2	受信部の親子切換	ON:親	OFF:子
SW1-3	ブザー音	ON:有効	OFF:無効
SW1-4	停電補償	ON:有効	OFF:無効

出荷時設定: 二二 で囲まれた設定

基板取付位置



- お願い
 〇ワイヤレスリモコンを正しくエアコンの受信部に向けて操作してください。
 - 〇操作距離は受信部照明度、部屋壁面の反射状態により変化します。
 - ○受信部に直射日光・照明等の強い光が当たっている場合、操作距離の縮小、 また、受信不良が起こる場合があります。

ワイヤレス受信部の据付

ワイヤレス受信部を下記場所に設置しないでください。

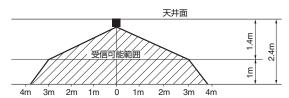
- ワイヤレス受信部の故障や変形の原因になることがあります。
- (1)直射日光の当たる場所
- (2)発熱器具の近く
- (3)湿気の多い所・水の掛る所
- (4)取付面が発熱・結露する場所
- (5)油の飛沫や蒸気が直接触れる場所
- (6)取付面に凹凸がある所
- (7)室内ユニットの吹出し空気が当たる場所
- (8) 蛍光灯 (特にインバータタイプ) の近く あるいは、直接日光が受信部に当たる場所
- (9)他の赤外線通信機器の光線が受信部に当たる場所
- (10)ワイヤレスリモコンの操作場所から見て、障害物に 隠れてしまう場所

ワイヤレスリモコンの操作距離

① 標準的な受信距離

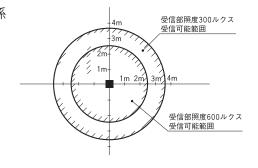
[条件] 受信部照明度300ルクス

(一般事務所で受信部周辺1m以内の天井面に照明がない場合)



② 平面から見たときの受信部照度と受信距離の関係 [条件] 天井高さ2.4m、床面より1mの 高さより、ワイヤレスリモコンを操作した 場合の受信部照度と受信距離 との関係を右対に示します。

との関係を右図に示します。 照度が2倍になると受信距離は 2/3となります。



③ 複数台近接設置時の注意

[条件] 受信部照明度300ルクス

(一般事務所で受信部周辺1m以内の天井面に照明がない場合) [複数台近接設置]ワイヤレスリモコン使用時の同一動作を防止できる 最少距離は5mです。 ワイヤレスリモコン(RCN-D5)・ワイヤレス受信部(LA-TC-5W1)

PJF012D505A

安全上のご注意

●工事の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく据付工事をしてください。 いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

●本文中に使われる「絵表示」の意味は次の通りです。



絶対にしないでください。



必ず指示どおりに行ってください。

●お使いになる方は、この説明書をいつでも見られるところに大切に保管してください。移設・修理の場合、工事される方にお渡しください。また、お使いになる方が代わる場合、新しくお使いになる方にお渡しください。

魚 警告

- ●据付は、お買上げの販売店または専門業者に依頼する。 ご自分で据付工事をされ不備があると、感電、火災、故障の原因になります。
- ●据付工事は、この据付説明書に従って確実に行う。 据付に不備があると感電、火災、故障の原因になります。
- ●据付工事部品は必ず付属品および指定部品を使用する。 当社指定の部品を使用しないと、落下、火災、感電の原因になります。
- ●据付は、重量に十分耐える所に確実に行う。 強度が不足している場合は、本機の落下などにより、ケガの原因になります。
- ●電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」 および据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。 電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災などの原因になります。
- ●据付工事は、必ず電源をしゃ断して行う。 感電、故障や動作不良の原因になります。
- ●改造は絶対にしない。 感電、火災、故障の原因になります。
- ●修理・点検に際して「電源ブレーカ」を必ず OFF にする。 修理・点検にあたって、電源ブレーカが ON のままだと、感電およびケガの原因になります。
- ●特殊環境、可燃性ガスの発生・流入・滞留・漏れのおそれがあるところへ設置しない。 油・蒸気・有機溶剤・腐食ガス(アンモニア・硫黄化合物・酸など)の多いところや、酸性や アルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところで使用すると、著しい性能の低下・ 腐食による感電、火災、故障の原因になります。
- ●大量の水蒸気が発生するところ・結露するところには設置しない。 感電、火災、故障の原因になります。
- ●洗濯室など水のかかる所では使用しない。 感電、火災、故障の原因になります。
- ●ぬれた手で操作しない。 感電の原因になることがあります。

♠ 警告



●本機を水洗いしない。

感電、火災、故障の原因になります。



●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。

接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。

●病院・通信事業所などに据付ける場合、ノイズに対する備えを行うこと。



インバータ機器・自家発電機・高周波医療機器・無線通信機器などの影響により、誤動作や故障の原因になります。

リモコン側から医療機器・通信機器への影響により、医療行為の妨げ・映像放送の乱れや雑音の弊害が生じる原因になります。



●基板のケースを取外したまま放置しない。

水分・ホコリ・虫などが浸入すると、感電・火災・故障の原因になります。

注意

●ワイヤレスキットを下記場所に設置しない。

ワイヤレスキット故障や変形の原因になることがあります。

- (1) 直射日光の当たる場所
- (2) 発熱器具の近く
- (3) 湿気の多い所・水のかかる所
- (4) 取付面が発熱・結露する場所
- (5) 油の飛沫や蒸気が直接触れる場所
- (6) 取付面に凹凸がある所
- (7) 室内ユニットの吹出空気が当たる場所
- (8) 蛍光灯(特にインバータタイプ)の近く あるいは、直射日光が受光アダプタに当たる場所
- (9) 他の赤外線通信機器の光線が受光アダプタ に当たる場所
- (10) ワイヤレスリモコンの操作場所から見て、 障害物に隠れてしまう場所

1

1

1

1

① 付属品

次の付属品を確かめてください。

ワイヤレス受信部 LA-TC-5W1

① 受信部	1	⑤ ブラケット取付用ねじ
② 基板	1	⑥ 配線(通信用)
③ 基板取付用サポート	2	⑦ 配線(受信用)
④ ブラケット(板金)	1	⑧ 据付説明書

ワイヤレスリモコン (別売品) RCN-D5

① ワイヤレスリモコン		1
② リモコン用ホルダ		1
③ 同上用木ねじ	4	2
④ リモコン用電池		2
⑤ 取扱説明書		1

② 取付前の準備

基板の設定

付属品の基板上のスイッチの設定は 右記の通りです。 ____

なお、出荷時の設定はして囲まれた

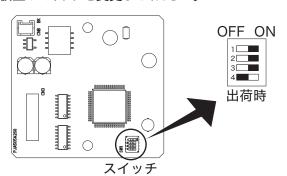
設定になっています。

SW1-1	複数台設置時の混信誤動作防止	ON:通常 OFF:切換
SW1-2	受信部の親子切換	ON:親 OFF:子
SW1-3	ブザー音	ON:有効 OFF:無効
SW1-4	停電補償	ON:有効 OFF:無効

② 取付前の準備の続き

現地設定の変更方法

1. 付属品の基板上のスイッチを変更してください。



複数リモコン使用時の親子設定

1 つのグループに対して最大 2 個までワイヤレスリモコン (受信部)・ワイヤードリモコンを接続できます。

その際は、いずれか一方を、子機設定とする必要があります。

ワイヤードリモコンの設定変更は、ワイヤードリモコン付属の説明書をご覧ください。

2. SW1 を OFF にする場合はワイヤレスリモコン側も設定変更 してください。 設定変更は、本説明書 **④ワイヤレスリモコン** の 混信防止設定 をご覧ください。

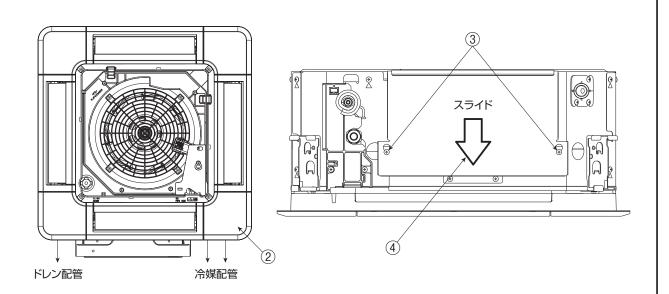
※受信可能範囲は、本説明書 ⑤受信部 をご覧ください。

③ 受信部の取付

本ワイヤレスキットの受信部は、対応パネルのコーナリッドと交換することにより取付可能です。

取付前の準備

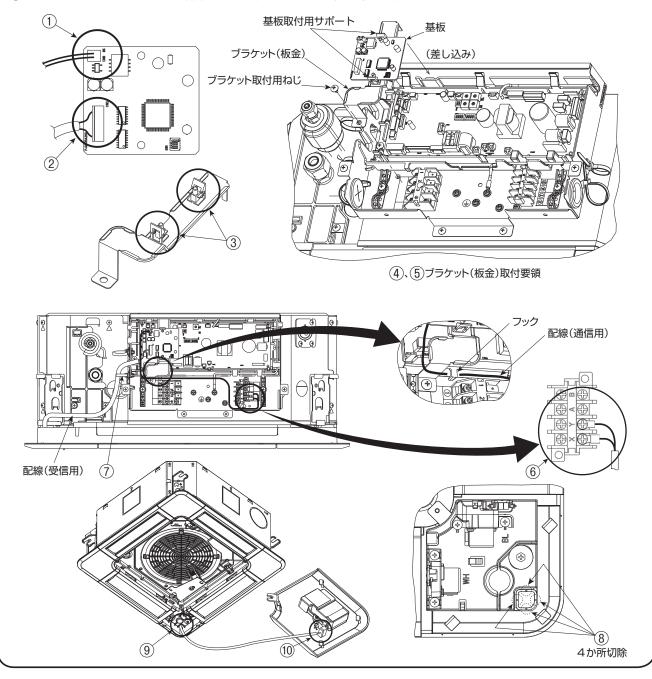
- ① パネル据付説明書に従って、吸込グリルを取外してください。
- ② 冷媒配管側のコーナリッドを取外してください。
- ③ ユニット本体の制御箱の蓋のねじ(2本)を緩めてください。
- ④ 制御箱の蓋を図の矢印方向にスライドさせて、取外してください。



③ 受信部の取付の続き

受信部の取付

- ① 配線(通信用) のコネクタを基板の CnB に接続してください。
- ② 配線 (受信用) のコネクタを基板の Cn3 に接続してください。
- ③ ブラケット(板金)に基板取付用サポートを取付けてください。
- ④ 基板取付用サポートに基板を取付けてください。
- ⑤ 図のようにブラケット(板金)を制御箱片側に差込み、もう片側をねじで締付けてください。
- ⑥ 配線(通信用)の丸端子を制御箱内の端子台(X、Y)に接続してください。配線に極性はありません。
- ⑦ 図のように配線をバンドで固定してください。
- ⑧ 図に示すパネルのハーフブランク(4か所)を切除してください。
- ⑨ 配線(受信用)をパネル開口部に通してください。
- ⑩ 配線(受信用)と受信部のコネクタを接続してください。
- ① 受信部をパネル据付説明書に従って、パネルに取付けてください。
- ② 配線を噛込まないように制御箱の蓋を取付け、ねじ(2本)で締付けてください。



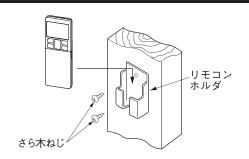
④ ワイヤレスリモコン

リモコンホルダの据付

リモコンホルダを付属のねじで固定してください。

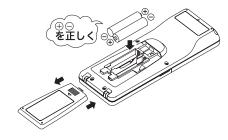
※ホルダ取付時の注意

- ・垂直になるよう調節してください。
- ・ねじ頭が出ないようにしてください。
- ・土壁等へは取付けないでください。



電池の入れ方

- 1. 裏蓋を外します。
- 2. 乾電池を入れます。(単四2本)
- 3. 裏蓋を取付けます。



混信防止設定

- 1. リモコンの裏蓋をはずし、乾電池を取外す。
- 2. 乾電池横の切換線をニッパー等で切断する。
- 3. 乾電池を入れて、裏蓋を取付ける。



リモコンの設定変更

自動運転の設定変更のしかた

ビル空調・ガスヒートポンプシリーズ (除く冷暖フリーマルチ) は自動運転が できません。

これらの機種に使用する場合は、リモコンを自動運転無効の設定にしてください。 運転切換ボタンを押しながらリセットスイッチを押すか、運転切換ボタンを 押しながら電池を投入すると、自動運転が無効となります。

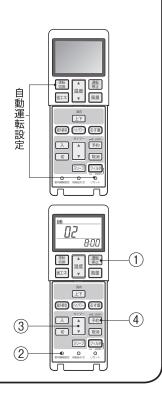
※注意:一度電池を取外すと初期設定(工場出荷時設定)へ戻ります。 電池を取外した時は、再度上記操作を行ってください。

室内機能設定

- 1.室内機能設定のしかた
 - ① 運転 / 停止を押し、停止状態にする。
 - ② 室内機能設定スイッチを押しながら、2項に示すボタンを押す。

 - ④ 予約ボタンを押す。

③ 選択ボタン▲、▼で設定を変更する。 リモコン信号受信部より、ピッピッと2回ブザーが鳴り、 LED は 2 秒毎に 4 回点滅します。



④ ワイヤレスリモコンの続き

2. 設定内容

機能設定が可能な項目は下記となります。

ボタン	番号表示部	機能設定
	00	風速設定:標準
風量	01	風速設定:設定1 ※
	02	風速設定:設定2 ※
	00	暖房室温補正:無効
運転切換	01	暖房室温補正:+ 1℃
建虹切换	02	暖房室温補正:+ 2°C
	03	暖房室温補正:+3℃
	00	フィルターサイン表示: なし
	01	フィルターサイン表示:180 時間
フィルター	02	フィルターサイン表示: 600 時間
	03	フィルターサイン表示: 1000 時間
	04	フィルターサイン表示:1000 時間後運転停止
1	00	ドラフト防止設定 (エアフレックス設定):無効
上下	01	ドラフト防止設定 (エアフレックス設定):有効
c d 数立	00	赤外線センサー設定(人感センサー設定):無効
室外静音	01	赤外線センサー設定(人感センサー設定):有効
	00	赤外線センサー制御(人感センサー制御):無効
U 4100 -	01	赤外線センサー制御(人感センサー制御):パワーコントロールのみ
ハイパワー	02	赤外線センサー制御(人感センサー制御):オートオフのみ
	03	赤外線センサー制御(人感センサー制御):パワーコントロール+オートオフ
	00	冷房ファン残留運転:無効
-	01	冷房ファン残留運転:0.5 時間
入	02	冷房ファン残留運転:2 時間
	03	冷房ファン残留運転:6 時間
	00	暖房ファン残留運転:無効
	01	暖房ファン残留運転: 0.5 時間
切	02	暖房ファン残留運転:2時間
	03	暖房ファン残留運転:6 時間
	00	リモコン信号受信部 LED:輝度明
るす番	01	リモコン信号受信部 LED:輝度暗
	02	リモコン信号受信部 LED:消灯
	0.1	グリル自動昇降降下長: 0.1 m
	0.2	グリル自動昇降降下長: 0.2 m
	•	•
	•	
省エネ	2.0	グリル自動昇降降下長: 2.0 m
• • •	•	•
	•	
	3.9	グリル自動昇降降下長:3.9 m
	4.0	グリル自動昇降降下長: 4.0 m
	50	グリル自動昇降周波数:50Hz
運転 / 停止	60	グリル自動昇降周波数:60Hz

[※] 詳細は技術資料を参照ください。

⑤ 受信部

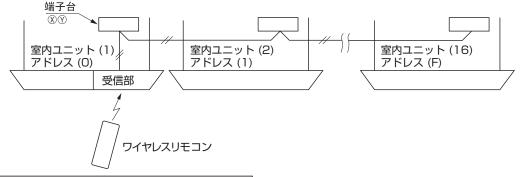
1 リモコンによる複数台室内ユニット制御

- 1. 1 つのリモコンで複数台のユニット (最大 16 台)を グループ制御できます。 同一モード、同一室温設定で運転します。
- 2. グループ制御用に各室内ユニット間を 2 心のリモコン線にて渡り配線してください。

渡り配線の太さと長さの制限(最大 600m) 標準 0.3 mm² × 100m 以内 0.5 mm² × 200m 以内 0.75mm² × 300m 以内 1.25mm² × 400m 以内 2.0 mm² × 600m 以内

店舗シリーズの場合

室内基板上のロータリスイッチSW2により、リモコン通信アドレスを重複しないよう「O」~「F」に設定してください。

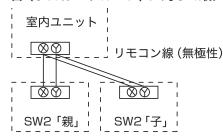


ビル空調・ガスヒートポンプシリーズの場合

室内・室外No. を手動アドレス設定にてセットしてください。 室内ユニット基板上のロータリスイッチSW1、SW2により、室内No. を重複しないように設定してください。

複数リモコン使用時の親子設定

室内ユニット1台(または1グループ)に対して最大2個までのリモコンを接続できます。



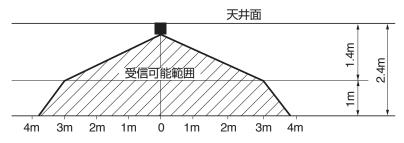
スイッチ	設定	機能内容
SW2	ON	親リモコン
3002	OFF	子リモコン

ワイヤレスリモコンの操作距離

1. 標準的な受信距離

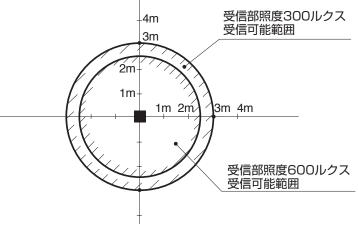
[条件] 受信部照明度 300 ルクス

(一般事務所で受信部周辺 1m 以内の天井面に照明がない場合)



⑤ 受信部の続き

2. 平面から見たときの受信部照度と受信距離の関係 [条件] 天井高さ 2.4m、床面より 1m の高さより、 リモコン操作した場合の受信部照度と受信 距離との関係を右図に示します。 照度が 2倍になると受信距離は 2 / 3 となりま す。



3. 複数台近接設置の注意 [条件] 受信部照明度 300 ルクス (一般事務所で受信部周辺 1m 以内の天井面に照明がない場合)

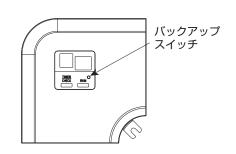
[複数台近接設置] リモコン使用時の同一動作を防止できる最小距離は 5m です。

バックアップスイッチ操作

表面受信部にバックアップスイッチを装備しています。 ワイヤレスリモコン操作ができない場合 (電池切れ、紛失、 故障)に応急的に使用してください。 操作は手で直接操作してください。

停止中に押すことにより自動モード(冷専は冷房モード)で運転します。
 風量「急」 温度設定「23℃」 ルーバ「水平」

2. 運転中にバックアップスイッチを押すことにより「停止」します。



冷房試運転操作

- 受信部バックアップスイッチを押しながら、リモコンにて冷房運転を送信してください。
- 試運転時に受信部バックアップスイッチを押すと試運転が解除されます。
- 試運転時、正常に動作しない場合は、室内・室外ユニットに貼付の結線銘鈑の点検表示を参照し、点 検してください。

2 桁表示の見方

受信部は2桁表示(7セグメント)を装備しています。

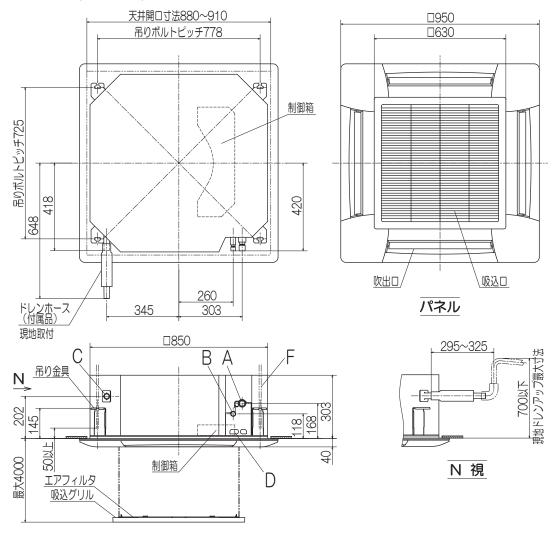
- 1. 表示は電源投入後 1 時間表示します。
- 2. リモコンから「停止」送信または、バックアップスイッチ「停止」操作後3.5 秒間表示します。
- 3. 上記の表示は、運転開始とともに消灯します。
- 4. 異常履歴がない場合は接続台数分のアドレスを表示します。
- 5. 異常履歴が残っている場合は、履歴の内容を表示します。
- 6. 異常履歴は、バックアップスイッチを押しながらリモコンから「停止」送信によりクリアされます。

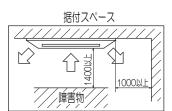
5. 中温パッケージエアコン(FDT)

5.1 外形図	131
5.2 電気配線図	132
5.3 エアコン本体据付説明書	133
5.4 パネル据付説明書	141
55 雷気配線工事説明書	143

5.1 外 形 図

標準パネル・ラクリーナパネル仕様 FDTP803M, 1123M, 1403M





隣接設置の場合は、ユニット間を5000以上離してください。

●記号説明

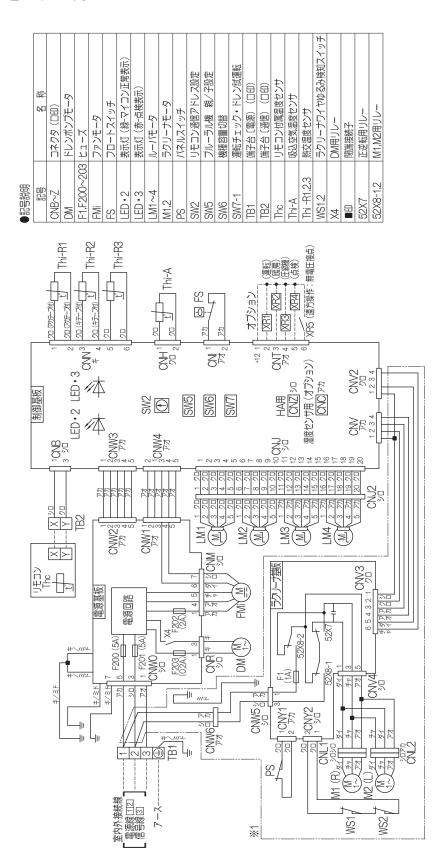
記号		内	容
Α	冷	煤ガス側配管	φ15.88 (フレア)
В	冷	媒液側配管	φ9.52 (フレア)
С	1	レン配管	VP20注(2)
D	電	原取入口	
F	吊	クボルト	(M10またはM8)

- 注(1)装置銘板は吸込グリル内に付いてます。
 - (2) VP20用接続ソケットを現地手配してください。
 - (3) 据付高さは2.5m以上としてください。

PJF000Z726

PJF000Z728

5.2 電気配線図



----- は現地配線を示します。 記事 1.

- 延長距離が100mを超える場合の仕様についてはリモコン<納入仕様書>をご覧ください 2. TB1は強電用端子台(室内外接続線)、TB2は弱電用端子台(リモコン線)です。 3. 室内外接続線は,室外ユニット配線図をご覧ください。 4. リモコン配線はO3mm²×2心を使用してください。
 - 5.リモコン配線は電源線や他の動力線と並行配列しないでください。6.標準パネルの場合は,※1のラクリーナ基板および配線等はありません。

PJF000Z727

PJF000Z729

5.3 エアコン本体据付説明書

PJF012D004B/D

本説明書は、室内ユニットの据付方法を記載してあります。 電気配線(室内)は、電気配線工事説明書をご覧ください。リモコンの取付方法は、リモコン付属の説明書をご覧ください。 室外ユニットの据付方法、電気配線(室外)および冷媒配管工事方法は、室外ユニットに付属の説明書をご覧ください。 また、故障診断は、室内ユニットの結線銘板をご覧ください。 本ユニットは必ずパネルを取付けてご使用ください。

安全上のご注意

- ●据付工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
- ●ここに示した注意事項は、<u>「△蓍香</u>」、<u>「△蓬奮</u>」、に区分していますが、誤った据付をした時に、死亡や重傷等の重大な結果に結びつく可能性が大きいものを特に「<u>△蓍香</u>」の欄にまとめて記載しています。しかし、「<u>△達意</u>」の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- ●据付工事完了後、試運転を行い、異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそって、「安全上のご注意」や正しい使用方法・お手入れの仕方(エアフィルタの清掃、運転操作の仕方、温度調節の方法など)をお客様に説明してください。この据付説明書は取扱説明書と共にお客様で保管いただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方に取扱説明書などをお渡しいただくよう体頼してください。

この据付説明書は取扱説明書と共にお客様で保管いただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新 しくお使いになる方に取扱説明書などをお渡しいただくよう依頼してください。
⚠警告
●据付は、お買い上げの販売店または専門業者に依頼する。 ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災、ユニット落下によるケガの原因になります。
●据付工事は、この据付説明書に従って確実に行う。 据付に不備があると破裂・ケガの原因となり、また水漏れや感電・火災などの原因になります。
●小部屋に据付ける場合は万一冷媒が漏れても、限界濃度を超えない対策をする。(JRA GL-13) 限界濃度を超えない対策については、販売店と相談して据付ける。万一、冷媒が漏洩して限界濃度を超えると酸欠事故の原因になります。
●設置工事部品は必ず付属品および指定の部品を使用する。 当社指定の部品を使用しないと、ユニット落下、水漏れ、火災、感電などの原因になります。
●作業中に冷媒が漏れた場合は換気をする。 冷媒が火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。
●据付は、重量に十分耐える所に確実に行う。 強度が不足している場合は、ユニットの落下などにより、ケガの原因になります。
●台風などの強風、地震に備え、所定の据付工事を行う。 据付工事に不備があると、転倒などによる事故の原因になります。
●エアコンの設置や移設の場合、冷凍サイクル内に指定冷媒(R410A)以外の空気などを入れない。 空気などが混入すると冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂、ケガなどの原因になります。
●電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。 電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災などの原因になります。
●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。 接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災などの原因になります。
●室内外ユニット間の配線は、端子カバーが浮き上がらないように整形し、カバーを確実に取付ける。 カバーの取付が不完全な場合は、端子接続部の発熱、火災、感電などの原因になります。
●据付工事完了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認する。 冷媒が室内に漏れ、ファンヒータ、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。
●配管、フレアナット、工具は R410A 専用のものを使用する。 既存(R22)の部材を使用すると、機器の故障と同時に冷凍サイクルの破裂などの重大な事故の原因になります。
●フレアナットは、トルクレンチで指定の方法で締付ける。 フレアナットの締付過ぎがあると、長期経過後フレアナットが割れ冷媒漏れの原因になります。
●ドレン配管はイオウ系ガス等有毒ガスの発生する排水溝に直接入れない。 室内に有毒ガスが侵入し、中毒や酸素欠乏になる恐れがあります。また、室内ユニットを腐食させ、故障や冷媒漏れの原因になります。
●据付作業では圧縮機を運転する前に確実に冷媒配管を取付ける。 冷媒配管を取付けておらず、サービスバルブ開放状態で圧縮機を運転すると、空気などを吸引し、冷凍サイクル内が異常高圧に なり、破裂、ケガなどの原因になります。
●ポンプダウン作業では、サービスバルブを閉じた後配管を外す前に圧縮機を停止する。 圧縮機を運転したままサービスバルブ開放状態で冷媒配管をはずすと空気などを吸引し、冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂、 ケガなどの原因になります。
●オプション部品は、必ず当社指定の部品を使用する。また取付は専門業者に依頼する。 ご自分で取付をされ、不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。
●改修は絶対にしない。また、修理はお買い上げの販売店に相談する。 修理に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。
●エアコンを移動再設置する場合は、販売店または専門業者に相談する。 据付に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。
●室内ユニットの修理・点検作業に際して「電源ブレーカ」を必ず OFF する。 点検・修理にあたって、電源ブレーカが O N のままだと、感電およびファン回転によるケガの原因になります。
●パネルやガードを外した状態で運転しない。 機器の回転物、高温部、高電圧部に触れると、巻き込まれたり、やけどや感電によるケガの原因になります。
●元電源を切った後に電気工事を行う。 感電、故障や動作不良の原因になります。

⚠注意	
●アース(接地)を確実に行う。 アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アース(接地)が不完全な場合は、故電のとき感電や火災の原因になることがあります。	対障や漏
●漏電しや断器は必ず取付ける。 漏電しや断器が取付けられていないと感電や火災の原因になることがあります。	0
●正しい容量の全極しゃ断するブレーカ(漏電しゃ断器・手元開閉器(開閉器+B種ヒューズ)・配線しゃ断器)を使用する 不適切な容量のブレーカを使用すると故障や火災の原因になることがあります。	3. Q
●正しい容量のヒューズ以外は使用しない。 針金や銅線を使用すると故障や火災の原因になることがあります。	\bigcirc
●可燃性ガスの漏れる恐れのある場所への設置は行わない。 万一ガスがユニットの周囲に溜ると、発火の原因になることがあります。	\bigcirc
●腐食性ガス(亜硫酸ガスなど)、可燃性ガス(シンナー、ガソリンなど)の発生、滞留の可能性のある所、揮発性引火物を 所での据付、使用は行わない。 熱交の腐食、プラスチック部品の破損などの原因になることがあります。また可燃性ガスは発火の原因になることがあります。	空取扱う 🛇
●工事、点検、メンテナンス作業のための規定のスペースを確保してください。 スペースが不足する場合は、設置場所からの転落によるケガの原因になることがあります。	Ω
●洗濯室など、水の掛かる所では使用しない。 室内ユニットは水の浸入に対する保護はしておりません。水が掛かると感電、火災などの原因になることがあります。	Ŏ
●食品・動植物・精密機器・美術品の保存など特殊用途には使用しない。 保存物の品質低下などの原因になることがあります。	\bigcirc
●病院、通信事業所などの電磁波を発生する機器、高周波の発生する機器の近くでは据付、使用しない。 インバータ機器、自家発電機、高周波医療機器、無線通信機器の影響によるエアコンの誤作動や故障の原因になったり、エアコ ら医療機器あるいは通信機器へ影響を与え人体の医療行為を妨げたり、映像放送の乱れや雑音など弊害の原因になることがあり、	
●直射日光の当たる所にリモコンを設置しない。 リモコンの故障や変形の原因になることがあります。	\bigcirc
●次の場所への据付は避ける。 ・可燃性ガスの漏れる恐れがある所 ・硫黄系ガス・塩素系ガス・酸・アルカリ・アンモニアなど、・カーボン繊維や金属粉、パウダーなどが浮遊する所 機器に影響する物質の発生する所 ・油の飛沫や蒸気が多い所(調理場、機械工場など) ・高周波を発生する機械を使用する所 ・海浜地区等塩分の多い所 ・海浜地区等塩分の多い所 性能を著しく低下させたり、部品が腐食、破損したりする原因になることがあります。	0
●次の場所への室内ユニットの据付は避ける。(機種により異なる制限があるので、その指示に従うこと)。 ・吸込口、吹出口に風の障害物がある所 ・強度が不十分で振動が発生する所 ・ワイヤレス機の場合、受光部に直接太陽光や強い光が当たる所 ・高周波に影響される機器のある所(TV およびラジオ等の近傍) ・ドレンの排水がとれない所 性能や機能等に影響をおよばす原因になります。	\Diamond
●エアコンの下部には、濡れて困るものは置かない。 湿度が 80% 以上の時や、ドレン排水が詰まった場合に、室内ユニットから露が滴下し損害が生じることがあります。	\bigcirc
●長期使用で傷んだままの据付台を使用しない。 傷んだ状態で放置するとユニットの落下につながり、ケガなどの原因になることがあります。	\bigcirc
●ユニット近くで溶接作業を行う場合は十分注意し、ユニット内へのスパッタの進入を防止する。 溶接作業時などに発生するスパッタがユニットにあたった場合、ドレンパンなどに損傷(ピンホール)をあたえ、水漏れなどの原ることがあります。ユニット内へのスパッタの進入を防ぐため梱包状態のままとしておくか、覆いなどにより必ずカバーをしてく	
●ドレン工事は、据付説明書に従って確実に排水するように配管する。 不確実な場合、屋内に浸水し、家財などを濡らす原因になることがあります。	0
●GHP〔ガスヒートポンプ〕の場合、室外ユニットの排気ドレン管と室内ユニットの排水ドレン管は共用しない。 室内に有毒ガスが流入し、中毒や酸素欠乏になることがあります。	\bigcirc
●冷媒配管工事終了後は窒素ガスによる気密試験を行い、漏れのないことを確認してください。 方一、狭い部屋に冷媒ガスが漏洩して限界濃度を超えると酸欠事故の原因となることがあります。	•
●ドレン配管は下り勾配(1/100以上)とし、途中山越えやトラップを作らない。また、ドレン配管にエア抜きは、絶対ない。 試運転時にドレン排水が確実に行われていることを確認する。また、点検・メンテナンス作業のためのスペースを確保する。	
● 冷媒配管の断熱は結露しないように確実に行う。 不完全な断熱施工を行うと配管など表面が結露して、露たれなどを発生し、天井・床その他、大切なものを濡らす原因になることがあ	0 ± t. 0
●室外ユニットは、小動物のすみかになるような場所に設置しない。 小動物が侵入して、内部の電気部品に触れると、故障や発煙・発火の原因になることがあります。 また、お客様に周辺をきれいに保つことをお願いしてください。	<u> </u>
●製品の運搬は十分注意して行う。 20kg 以上の製品は原則として2人以上で行ってください。PP バンドなど所定の位置以外をもって製品を動かさないでください。素手でフィンなどに触れるとケガをする場合がありますので保護具をご使用ください。	0
●梱包材の処理は確実に行う。 梱包材にクギなどの金属あるいは、木片などを使用していますので放置状態にしますとケガをすることがあります。	0
●エアフィルタを必ず取付ける。 内部に油・ゴミなどが詰まり、故障の原因になることがあります。	\bigcirc
●濡れた手でスイッチを操作しない。 感電の原因になることがあります。	
●運転中の冷媒配管を素手で触れない。 運転中の冷媒配管は流れる冷媒の状態により低温と高温になります。素手で触れると凍傷や、やけどになることがあります。	\Diamond
●エアコンを水洗いしない。 感電の原因になることがあります。	\bigcirc
●運転停止後、すぐに電源を切らない。 必ず 5 分以上待ってください。水漏れや故障の原因になることがあります。	\bigcirc
●電源ブレーカによるエアコンの運転や停止をしない。 ・ 水災や水漏れの原因になることがあります。ファンが空然回り、ケガの原因になることがあります。	\bigcirc

①据付のまえに

- ●据付はこの据付説明書に従って正しく行ってください。
- ●次の項目を確認してください。
 - ○機種・電源仕様 ○配管・配線・小物部品 ○付属品

付属品

本体吊 4	本体吊り込み用冷媒配管用					ドレン配管用					
平座金 (M10)	レベルゲージ	パイプカバー (大)	パイプカバー (小)	バンド	パイプカバー (大)	パイプカバー (小)	ドレンホース	ホース クランプ			
	12 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	6	6			0	Ø))	(0)			
8個	1個	1個	1個	4本	1個	1個	1個	1個			
ユニット 吊り下げ用	ユニット 吊り込み調整用	ガス管断熱用	液管断熱用	パイプカバー 固定用	ドレンソケッ ト断熱用	ドレンソケッ ト断熱用	ドレン配管 接続用	ドレンホース 取付用			

②室内ユニットの据付場所の選定

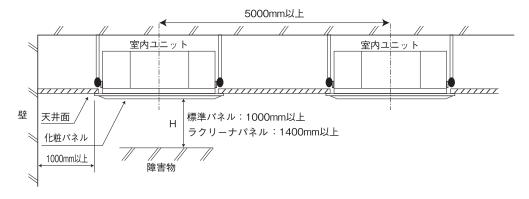
- ①据付場所は、下記条件に合う場所をお客様の承認を得て選んでください。
 - ・冷風または温風が十分に行きわたる所。据付高さが3mを超えると暖気が天井にこもりますので、サーキュレータの併設をご 指導ください。
 - ・据付・サービス時の作業スペースが確保できる所。
 - ・ドレン排水が確実にできる所。ドレン勾配のとれる所。
 - ・吸込口、吹出口に風の障害のない所。火災報知器の誤作動しない所。ショートサーキットしない所。
 - ・侵入外気の影響のない所。
 - ・直射日光の当たらない所。
 - ・周囲の露点温度が28℃以下、相対湿度80%以下の所。

ユニット周囲が上記条件以上の高湿度雰囲気の状態で運転すると水滴が落下する恐れがあります。そのような条件下で使用する可能性がある場合は、ユニット本体の全ておよび配管、ドレン配管にさらに10~20mmの断熱材を取付けてください。

- ・テレビ、ラジオより1m以上離れた所。(映像の乱れや雑音が生じることがあります。)
- ・ユニット真下に食品・食器やパソコン・サーバ、医療機器など濡れて困るものを置かない所。
- ・調理器具が発する熱の影響を受けない所。
- ・フライヤの真上など油・粉・蒸気などを直接吸込まない所。
- ②据付けようとする場所がユニット重量に耐えられるかどうか検討し、危険と思われましたら板、桁等で補強して据付作業を行ってください。強度不足の場合は、ユニット落下によるケガの原因になります。
- ③室内ユニットを隣接して設置する場合は、ユニット間距離を5m以上離して設置してください。

室内ユニット据付スペース

- ●ユニットー壁、ユニットーユニット間等、間隔がとれない場合は、ショートサーキットしないことを確認してください。
- ●据付高さは2.5m以上としてください。



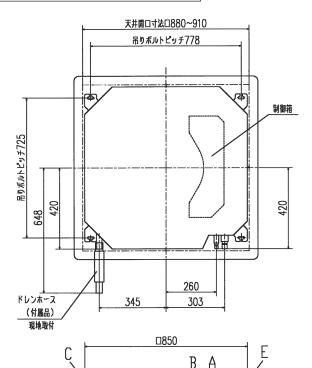
吹出パターンの設定

●吹出ルーバの上下位置の設定などによりさまざまな吹出パターンが設定できます。設定方法は取扱説明書をご覧ください。

③据付前の準備

- ●吊りボルト長さが長くなる場合は耐震補強を実施してください。
 - ○システム天井(グリッド天井・ライン天井)の場合
 - 吊り長さ(吊りボルト長さ)500mm以上または天井ふところ高さ700mm以上の場合に耐震ブレースを設置する。
 - ○強度が十分にある天井面に設置され直接スラブから吊り下げる場合
- 吊り長さ(吊りボルト長さ)1000mm以上の場合に耐震ブレースを設置する。
- ●吊りボルト・ナット・バネ座金(M10 or M8)を4組現地にて手配してください。

天井開口穴・吊りボルトピッチ・各配管の位置 | 単位:mm



Α	冷媒ガス側配管
В	冷媒液側配管
С	ドレン配管接続口
Е	吊りボルト

④室内ユニットの据付

作業手順

 1. 天井に□880~□910をあけてください。 梱包用ダンボールケースの外周を参考に天井を開口してください。

吊り金具

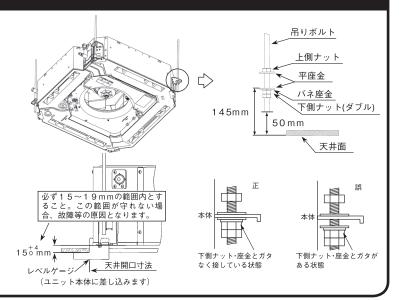
145

50以.

エアフィルタ

吸込グリル

- 2. 吊りボルト位置(725×778)を決めてください。
- 3. 吊りボルトは、4本使用し、1本当り500Nの 引抜き荷重に耐えられるよう固定してください。
- 4. 吊りボルト長さは、天井面より50mm程度上としてください。吊りボルトの下側ナット4か所は天井面から145mm程度に仮止めし、上側ナット4か所はユニット吊り込みおよび高さ調整時に支障ないよう、下側ナットから十分距離をとった位置に仮止めし、ユニット本体を吊り込んでください。
- 5. ユニット吊り込み後、付属のレベルゲージを吹出口にセットし、ユニット吊り込み高さを調整してください。高さ調整は、上側ナット4か所を緩めた状態で、下側ナット4か所で調整してください。ユニット吊り金具4か所が下側ナット・座金にガタなく接していることを確認してください。



168

40

制御箱

④ユニット据付のつづき

- 6. ユニット本体の水平度を確認してください。水平度は、水準器または透明ホースに水を入れた ものを使用して確認してください。(ユニット両端での高さ許容差は3mm以内)
- 7. 高さ調整・水平度調整後、上側ナット4か所を締付けてユニットを固定してください。



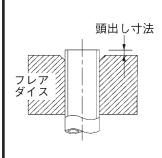
ユニット据付時のお願い

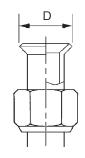
- ●上側ナットで高さ調整を行わないでください。ユニット本体に無理な力がかかり変形し、パネルが組付できなかったり、ファン 干渉音が発生するおそれがあります。
- ●ユニットは必ず水平に据付け、ユニット下面と天井面の高さを正しく設置してください。据付に不備があると風漏れ、結露・水漏れ、騒音の原因になります。
- ●化粧パネルを据付後、ユニット高さの微調整ができます。詳細は化粧パネルの据付説明書をご覧ください。
- ●化粧パネルと天井面、および化粧パネルとユニットとの接触部は確実に密着させてください。隙間があると風漏れ、結露・水漏れの原因になります。
- ●化粧パネルをしばらくの間取付けられない場合、またはユニットを据付後に天井材を貼る場合は、据付用型紙(梱包材天面ダンボール)を使用して、ユニット内へ埃を入れないための保護シートとしてください。

⑤冷媒配管

冷媒配管時の注意事項

- ●冷媒配管は、新規配管をご使用ください。フレアナットは、製品付属のものまたはJIS B 8607 2種適合品をご使用ください。 既設配管再利用の可否及び洗浄方法については、室外ユニットの説明書またはカタログ・技術資料で確認すること。
 - 1) 再利用する場合、フレアナットは流用せずユニットに付属のものまたはJIS B 8607 2種適合品を使用すること。
 - 2) 再利用する場合、部分的に交換した新しい配管に、R410A用のフレア加工をしてください。





配管径	配管の	フレア加工 頭	出し寸法 mm		フレアナット	
的 d	最小肉厚	リジッド(・	クラッチ式)	D D D D	締付トルク	
mm	mm	mm R410A 用		mm	N·m	
6.35	0.8			8.9 ~ 9.1	14 ~ 18	
9.52	0.8			12.8 ~ 13.2	34 ~ 42	
12.7	0.8	0 ~ 0.5	0.7 ~ 1.3	16.2 ~ 16.6	49 ~ 61	
15.88	1			19.3 ~ 19.7	68 ~ 82	
19.05	1.2			23.6 ~ 24.0	100 ~ 120	

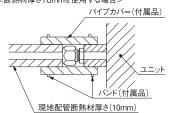
- ●冷媒配管は、リン脱酸銅合金継目無銅管(C1220T、JIS H 3300)をご使用ください。 また管の内外面は美麗であり、使用上有害な硫黄、酸化物、ゴミ、切粉等(コンタミ)の付着がないことを確認してください。 冷媒配管の内部にコンタミの付着があると冷凍機油劣化などの原因になります。
- ●R410A以外の冷媒は使用しないでください。 R410A以外(R22など)の冷媒を使用すると、冷凍機油劣化などの原因になります。 また空気などが混入すると、異常高圧になり、破裂などの原因になります。
- ●据付に使用する配管は屋内に保管し、両端ともろう付する直前までシールしてください。 冷媒回路内に埃、ゴミ、水分が混入すると、油の劣化・圧縮機の故障の原因になります。
- ●工具はR410A専用ツールを使用してください。

作業手順

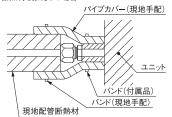
- 1. 室内ユニットのフレアナットおよびキャップを取外す。
 - ※ユニットの配管端部のフレアナットは、必ずスパナで2丁掛けして外してください。 (このときガスが出ることがありますが、異常ではありません。)
- ●フレアナット飛びに注意してください。(内部に圧力がかかっている場合があります。)
- 2. 液管・ガス管をフレア加工し、冷媒配管を接続する。
 - ※配管の曲げは4D以上の大きな半径で行い、曲げなおしを行わないでください。 また配管をねじったり、2/3D以下につぶしたりしないでください。
 - ※フレア接続は、以下のように行ってください。
 - ・フレアナット接続時は、フレア中心を合わせ、最初手回しで3~4回転ねじ込み、 2丁スパナ掛けで表の締付力で締めてください。
- 3. 室内ユニットのフレア部は、ガス漏れチェック後、右図に示すように断熱材をかぶせ、 バンドでしっかりと締付けてください。
 - ●ガス側配管、液側配管とも断熱は完全に行ってください。 ※ 配管は断熱しないと結露し水漏れします。

 - ●高温度雰囲気で使用する場合は設置環境に合わせて、冷媒配管の断熱を強化してください。強化しない場合は断熱材表面に結露することがあります。
- 4. 冷媒は室外ユニットに充填されています。 室内および接続配管分の冷媒追加量については室外ユニットに付属の説明書をご覧く ださい。

<断熱材厚さ10mmを使用する場合>



<断熱材を強化する場合>



注意

た思 同一締付トルクでも、ユニオンのねじ 部に冷凍機油を塗布した場合は、ねじ 部摺動摩擦力が下がることにより、軸 方向分力が増加してフレアの応力腐食 割れの原因となることがあるため、ユ ニオンねじ部、またはフレア外面への 冷凍機油塗布は推奨しない。 冷凍機油を塗布する場合は、フレア内

面へのみとすること。

⑥ドレン配管

ドレン配管時の注意事項

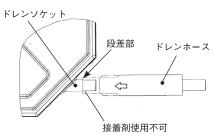
- ●ドレン工事は、据付説明書に従って確実に排水するように配管してください。 不確実な場合、屋内に浸水し、家財等を濡らす原因になることがあります。
- ●ドレン配管はイオウ系ガス等有害ガスおよび可燃性ガスが発生する排水溝には、入れないでください。 室内に有害ガスおよび可燃性ガスが流入し、中毒や酸素欠乏になる恐れがあります。また熱交換器の腐食、異臭の原因になります。
- ●接続部から水漏れのないように確実に施工してください。
- ●水漏れが起こらないように、断熱工事を確実に行ってください。
- ●施工後、ドレンが排水されていることを、ユニットドレン口およびドレン配管最終出口部で確認してください。
- ●ドレン配管は下り勾配(1/100以上)とし、途中山越えやトラップを作らないでください。また、ドレン配管にエア抜きは、 絶対設けないでください。

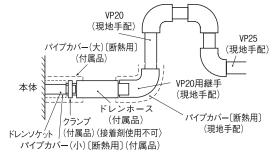
試運転時にドレン排水が確実に行われていることを確認してください。また、点検・メンテナンス作業のためのスペースを確保 してください。

作業手順

1. 付属のドレンホース(軟質塩ビ管)を本体ドレンソケットの段差部まで装着し、付属のクランプで確実に締付けてください。







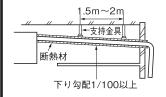
2. ドレンホース(硬質塩ビ管)に、VP20用継手(現地手配)を接着・接続し、この継手に、VP20(現地手配)を接着・接続してください。

※ ドレン管は、市販の硬質塩ビパイプ一般管VP20を使用してください。

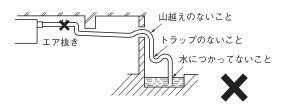
- ●本体直近で立上げる部分はVP2〇、横引き部分以降はVP25以上を使用してください。
- ●接着剤は付属のドレンホース内部に流れ込まないようにしてください。 乾燥後、フレキ部に力が加わった場合、フレキ部が破損するおそれがあります。 ●ドレンホースは、ユニットあるいはドレン配管の据付時の微小なズレを吸収する
- ●ドレンホースは、ユニットあるいはドレン配管の据付時の微小なズレを吸収する ためのものです。故意に曲げたり、引っ張って使用された場合は、破損し、水漏 れに至るおそれがあります。

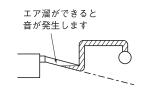


- ●ドレン配管を接続する場合にユニット側の配管に力が加わらないように注意して行い、できる限りユニット近傍で配管を固定 してください。
- ●エア抜きは絶対に設けないでください。









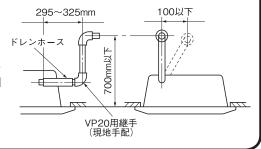
●複数台のドレン配管の場合、本体ドレン出口より約100mm下に集合配管がくるようにしてください。また集合配管はVP30以上を使用してください。



- 4. ドレン配管の断熱施工を行ってください。
- ●結露が発生し、水漏れをおこすおそれがありますので、ドレンソケット部および室内にある硬質塩ビパイプは確実に断熱してください。
 - ※ ドレンソケット部は、排水テスト実施後、付属のパイプカバー(小)をドレンソケット部に装着した後、付属のパイプカバー(大)にてパイプカバー(小)、クランプおよびドレンホースの一部を覆い、テープにより隙間のないように巻いてください。

ドレンアップする場合

●ドレン配管の出口高さは、天井面より700mmまで高くすることができま ドレンホースす。天井内に障害物などがある場合、エルボなどを用いて施工してください。この場合、ドレン配管を立ち上げるまでの距離が長いと、運転停止時におけるドレン逆流量が多くなり、オーバーフローのおそれがありますので、右図寸法内で処理願います。



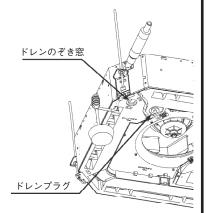
⑥ドレン配管のつづき

ドレン排水テスト

- ●ドレン配管工事の完了後に、排水が確実に行われていることを、接続部およびユニットのドレンパン部から水漏れのないことを確認してください。このとき、ドレンポンプのモータ音に異常がないことも確認してください。
- ●暖房期の据付けの際にも必ず実施してください。
- ●新築の場合には天井を張る前に実施してください。
- 1. 本体吹出部より給水ポンプなどを使用して、ドレンポンプなどの電気部品に水をかけないように、本体ドレンパンの中へ約1000cc注入してください。
- 2. ドレン排水が確実に行われること、ドレン配管接続部から水漏れのないことを確認してください。

ドレンポンプの回転音を確認しながら排水するかどうかをテストしてください。 ドレン排水の確認は、ドレンソケット部(透明)より確認できます。

3. 排水テスト後は、ドレンプラグを外して水抜きを行ってください。 水抜き確認後は、ドレンプラグを元通りにはめ込んでください。 ドレン配管の断熱を本体部まで完全に行ってください。



ドレンポンプ運転方法

○電気配線工事が完了している場合

運転操作方法は、電気配線工事説明書の「ドレンポンプ運転操作」をご覧ください。

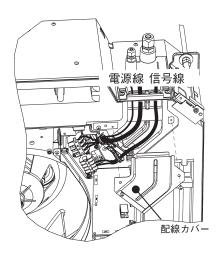
○電気配線工事が完了していない場合

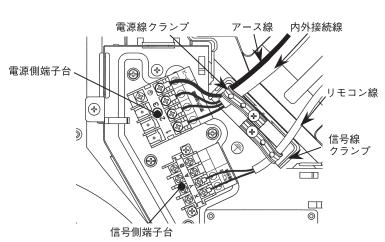
室内ユニット基板上のSW7-1をONにし、かつ、基板上のコネクタCnBを抜いた後、電源ON(端子台①、②へAC200V)すると、ドレンポンプのみ連続運転します。

排水確認後は、必ずSW7一1を元の状態(OFF)に戻し、かつ、基板上のコネクタCNBを差し込んでください。

⑦電気配線取出位置および電気配線接続

- ●電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」「内線規程」および電気配線工事説明書に従って施工し、 必ず専用回路を使用してください。
- ●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定してください。
- ●電源線と信号線は同一経路を通さないようにしてください。誤動作や故障の原因になることがあります。
- ●D種接地工事を必ず行ってください。
- ●電気配線工事の詳細は、付属の電気配線工事説明書をご覧ください。
- 1. 制御箱の蓋(ねじ3個)を取外し、配線カバー(ねじ2個)を取外してください。
- 2. 各配線をユニット内に入れ、端子台に確実に接続してください。
- 3. 各配線をクランプで固定してください。
- 4. 取外した部品を元通りに取付けてください。





⑧パネルの取付

- ●パネルは、電気配線工事完了後に、ユニット本体に取付けてください。
- ●パネルの取付方法は、パネル付属の説明書をご覧ください。

⑨ユニット据付工事完了後のチェック項目

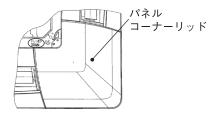
●ユニット・パネル据付工事、電気配線工事完了後、下記項目についてチェック願います。

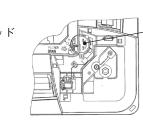
チェック項目	不良の場合	チェック欄
室内外ユニットの取付はしっかりしていますか。	落下、振動、騒音	
ガス漏れ検査は行いましたか。	冷えない	
断熱は完全に行いましたか。	水漏れ	
ドレン排水はスムーズに流れていますか。	水漏れ	
電源電圧は本体の銘板と同じですか。	運転不能・焼損	
誤配線・誤配管はありませんか。	運転不能・焼損	
アース工事はされていますか。	漏電時危険	
配線の太さは仕様通りですか。	運転不能・焼損	
室内外ユニットの吸込・吹出口が障害物でふさがれていませんか。	冷えない	

⑩ドレンパン汚れ確認(メンテナンス)

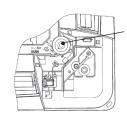
ドレンパン汚れ確認方法

- ●パネルを取外さずに、ドレンポンプ吸込口部のドレンパンの汚れが確認できます。 (高性能フィルタなどオプションスペーサ取付時は確認できません。)
- 1. パネル吸込グリルを開け、ドレンポンプ側のパネルコーナーリッドを取外してください。
- 2. パネルコーナーにあるのぞき窓カバー (ねじ1か所) を取外してください。
- 3. のぞき窓からドレンパンの汚れを確認してください。 汚れが多い場合は、ドレンパンを取外し、ドレンパンを清掃してください。
- 4. 汚れ確認後、のぞき窓カバーを確実に装着してください。装着が不完全な場合、結露・水漏れの原因となります。





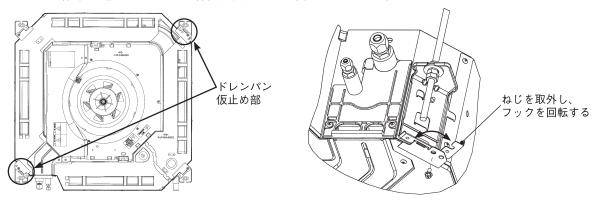
- のぞき窓カバー



·ドレンポンプ吸込 口部が確認できる

ドレンパン取外し時の注意事項

●ドレンパンには仮止機構がついています。ドレンパン取外し時、および取付時には注意願います。ドレンパン取付ねじ(4個)取外し後、仮止めフックを外してください。 ドレンパン取付時は、仮止めフックを取付後、確実にねじで固定してください。

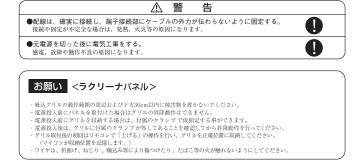


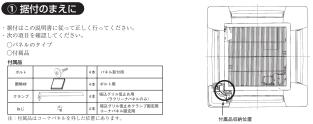
5.4 パネル据付説明書 (中温パッケージエアコン用)

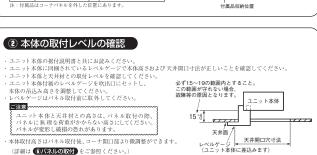
パネル形式:標準パネル;T-PSAM-36WA ラリクーナパネル:T-PSCLM-36WA

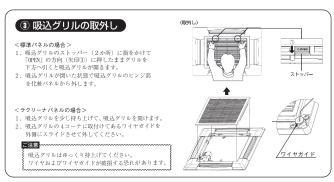
PJF012D012 /B

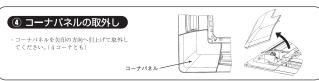
ユニット本体の据付説明書と共にお読みください。

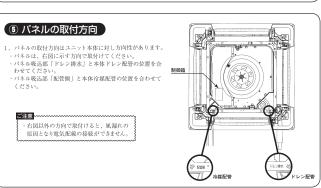


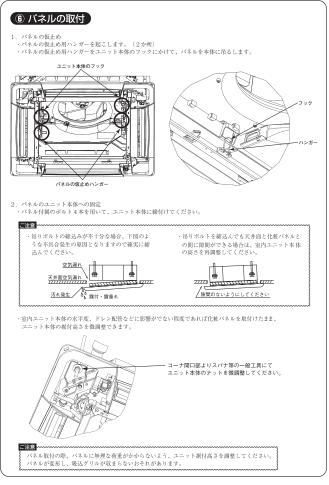


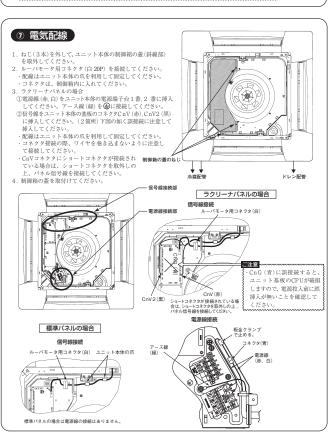






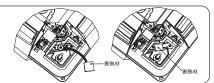






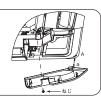
⑧ 断熱材の貼付

パネル取付後 付属の断熱材をボルト



⑨ コーナパネルの取付

- 1. コーナパネルの a 部をパネルの A 部に挿入してか ら、コーナパネルのつめ4か所をはめてください。 2. 付属のねじで固定してください。



B-/YNo.1

1.3.5.7.9

(水平) ①

ルーパ位置

D#6/#*

No.2

10

⑩ 風向設定のしかた

ワイヤードリモコンを使用することで、吹出口のルーパの動作範囲を、変更することができます。本モードで上限位置と下限位 置を設定すると、ルーパは、設定された上限位置と下限位置の間で動作します。各ルーパ毎に個別の動作範囲の設定が可能です

① エアコンを停止させて セット ボタンと 風向調整 ボタンを同時に3秒以上押す

② ▲ または ▼ ボタンを押す

風向設定する室内ユニットを選択してください。 【**例**】「内 000 ▲」⇔「内 001 ◆ 」⇔「内 002 ◆ 」⇔「内 003 ◆ 」

③ セット ボタンを押す お知らせ

選択した室内ユニットが確定します。 【例】「内 001」→「データ確認中」→「ルーバNo.1 ▲」 ④ ▲または▼ボタンを押す

⑤ セット ボタンを押す

ルーバ作動範囲の上限位置を選択します。 【例】「No.1 上位置2 ◆ 」←現在の上限位置を表示します。

⑥ ▲または▼ボタンを押す

⑦ セット ボタンを押す

上別に西が事権とし、設定位置を2秒間表示します。その後、下限位置選択表示となります。 [99] 「No.1 上2」→確定内容を2秒間表示 「No.1 下位置5 ◆」→現在の下限位置を表示します。

⑧ ▲または▼ボタンを押す

▲| または|▼| オタシを押す
ルーパの下限位置を選択します。
「位置」が最も水平で、「位置ら」が最も下向きとなります。
「位置ー」は、出商時の位置に減すための番号です。
出商時状態に戻す場合は、「位置・」を選択してください。
「例]「No.1 下位置 ▼ | ⇒○ No.1 下位置金◆ | ⇒○ No.1 下位置金◆ | ⇒○ No.1 下位置 − →▲ |

⑨ セット ボタンを押す

上限位置、下限位置が確定し、設定位置を2秒間点灯し、設定完了となります。 設定完了後、設定したルーバ版のルーバが、停止位置から下限位置まで移動し、その後停止位置に戻ります。 (ただし、リモンカ学師上モドであっても、ファン残留運転等で、室内ユニットが運転している場合は、本動作はしません。) 【例】「No.1 上2下6】→確定内容を2秒間表示

「設定完了」

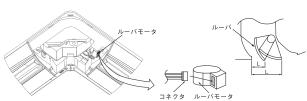
↓ 「ルーバNo.1 ▲」←選択したルーバNo.表示へ戻る。

⑩ 運転/停止 ボタンを押す

風向設定モードを終了し、元の表示に戻ります。

上開館と下限館を同じ位置に設定すると、ルーバはその位置で固定され、オートスイングをしても動きません。 ・設定の途中で、「<u>Dtorb ス</u>イッチを押すと、1回前の表示に戻ります。また、設定の途中で、「<u>国転ご停止</u>スイッチを押すと、 本モードを終了し元の表示に戻ります。但し、設定が完了していない内容は無効となりますのでこ注意ください。 ・リモコンが親子接接されている場合、子リモコンでは、風向設定操作はできません。

ルーパの風向を手動で間定する場合は、下記に従って実施してください。 1. 元電源を切ります。 2. 固定したい吹出口のルーパモータのコネクタを外します。外したコネタタ部はビニールテープで電気絶縁してください。 3. 固定したい吹出口の上下風向ルーパを手でゆっくり動かし、下表の範囲内で上下風向を設定します。



■ ※26~43mmの間は任意で設定されてもかまいません。

ご注意

・固定した上下風向はリモコンによる操作およびすべての自動コントロールが無効になります。
 ・範囲外の設定はしないでください。
 ・露たれ、
 ・第付、天井面の汚れ等の発生またはユニットが正常に運転とない原因になります。

⑪ 吸込グリルの取付

パネルと吸込グリルには方向性がありません。

〈標準パネルの場合〉 吸込グリルの取付方法は (1・吸込グリルの取付。) の手順を連に作業してください。 1. 吸込グリルのレンジをパネル本体とンジ挿/次に取付けてください。(グリルのヒンジは4辺どこでも取付可能です。) 2. 吸込グリルのヒンジを取付け後、グリルのトッパ・(2)か研)を「DPEN」の方向へ押したまま、閉じてください。両方のストッパーから「カチッ」と音がしたことを確認してください。

〈取付〉 閉方向 -ヒンジ引っ掛け部

・グリルの取付は、必ずヒンジ制から行ってください。 ・グリルは確実に取付けてください。取付が不十分ですと 落下する恋れがあります。 ・ストッパーが変形・破損した場合は、速やかに修理依頼 し、交換してください。グリルが落下する恋れがあり ます。

1111111

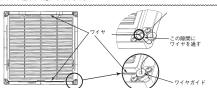
電源周波数設定

昇降無効

<ラクリーナパネルの場合>

- 1. 吸込グリルの方向を決定してください。2. ワイヤを通してあるワイヤガイドを吸込グリルの4コーナの取付部に固定して装着します。
- 2. フィーな一との成プリルに外観から内間にスタイとなったのます。 3. ワイヤガイとを吸込グリルに外観から内間にスタイドさせるがら装着してください。 装着の際、取付部の隙間をワイヤが通過する様にワイヤの向きに注意して確実に取付けてください。 4. ワイヤガイド装着後、ワイヤの曲がり・ねじり・晴込みがないことを確認してください。

ご注意~ ワイヤガイドは確実に装着してください。確実に装着されていないと、グリルの自動昇降できなく なったり、グリルが落下する恐れがあります。



(12) ラクリーナパネルの設定

< グリル自動星降の設定>

○ワイヤードリモコンの場合

ご注意 ~~ ワイヤードリモコンでラクリーナバネル使用時は、取付時必ずグリル 昇降有効定性を行ってください。工場出海時はグリル昇降 無効」にな っていますので、グリル昇降ができません。据付地域の電源接数に 合わせ、50Hz地区または60Hz地区のどちらかを選んで設定してください

① エアコン停止状態で、**セット** ボタンと **グリル昇降** ボタンを同時に長押

ししてください。
② **▼**または **▲**ボタンにより設定を選択してください。
表示:「昇降無効」⇔「有効50Hz」⇔「有効60Hz」
③ **セット**ボタンを押す。

表示が「設定完了」となります。その後リモコンは停止状態になります。

<グリル降下長さの設定> ワイヤードリモコンを用いて10cm刻みに4mまで昇降長さを設定することができます。 ラクリーナバネル取付時、昇降長さを下記方法で設定してください。 (工場出荷時は2.0m設定)

① <u>プリル昇剛</u> ボタンを押す。
リモコンに接続されている室内ユニットが一台の場合、表示が「◆で昇降する」となります。③香へお進みください。
② リモコンに接続されている室内ユニットが複数台の場合、接続されている室内ユニットの中で、最も小さい室内アドレスが表示されます。 [例] 「室内機選択・◆」→「内 000 ▲」 (点減)
③ ▲ ▼ ボタンで、表示したい室内アドレスを選びます。
④ ▼ ▼ ボタンで、お示したい室内アドレスを選びます。
② ▼ ▼ ▼ ボタンにより確定します。 (室内アドレスが点減から点灯に変わります。)
「全 ▼ ▼ ● 選択すると、接続されている室内ユニット全台が、同一の設定となります。
「内 001」 (選択した室内アドレスを2秒間点灯)

「◆ で昇降する」表示の時に、セット ボタンを押すと、「データ確認中」と表示されます。
「データ確認中」(データを読み込む間、点減表示)

・ 「降下2.0m ◆」 (現在の設定値を表示)

● ▲ 「 ボタンにより降下長を選びます。
② 極少計 ボタンにより降下長を選びます。
② 極少計 ボタンにより降応します。
選択した降下長を強内ユニットへ送信する間点灯し、「 ◆ で昇降する」表示に戻ります。
「剛」「降下15m」(盗内ユニットへ送信する間点灯)

「◆ で昇降する」

⑧ 運転/停止 ボタンを押すと、降下長設定モードを終了します。 (設定の途中で、運転/停止 ボタンを押しても終了します。 ただし、設定が完了していない内容は無効となりますので、ご注意ください。)

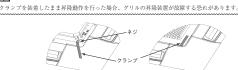
設定の途中で、「ワセット」ボタンを押すと、一回前の設定画面に戻ります。ただし、設定が完了していない内容は無効 設定の途中で、[リセット] ボタンを押すと、一回用の双疋画画に戻ります。んんし、8×元ル元』とい、ネ・「ヨエルールとなりますので、ご注意ください。 設定内容は、コントローラに記憶されていますので、停電しても保存されます。 ◎リモコン1台で2台以上の室内ユニットを運転する場合は、室内ユニット毎に設定が必要です。 ◎リモコン2台で室内ユニットを運転する場合は、親リモコンのみ操作可能です。 (子リモコンからの操作はできま・・・・)

🔞 電源投入前の吸込グリルの仮固定 <ラクリーナパネルのみ>

電源投入前は吸込グリルの自動昇降はできません。

電源収入側は吸込タソルのションサートとまといる。 1、電源投入前に「グリルを収削したり場合は、日橋図のクランプでグリルを仮止めすることができます。 2、パネルの4コーナに付属のクランプを図のようにおじ止めしてください。(4か所とも) 3、ワイヤを折曲げたり、かみ込んだりしないように注意したがら、持ち上げパネルに収納してください。 4、取付けたクランプを図のようにグリル側に折曲げ、グリルを固定してください。

ご注意~



5.5 電気配線工事説明書

電気配線工事は電気設備技術基準および内線規程に従い、電力会社の認定工事店で行ってください。

PSB012D928 A

安全上のご注意

●下記のことを必ず守ってください。守らないときは、感電による火災、感電または過熱、ショートによる火災のおそれがあります。 ⚠警告 ●電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および電気配線工事説明書に従っ 0 て施工し、必ず専用回路を使用する。 電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災の原因になります。 ●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。 接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災などの原因になります。 ●室内外ユニット間の配線は、端子カバーが浮き上がらないように整形し、カバーを確実に取付ける。 - の取付が不完全な場合は、端子接続部の発熱、火災や感電の原因になります。 ●電源プラグを差し込む際は、電源プラグ側だけでなく、コンセント側にもホコリの付着、詰まり、がたつきがないこ とを確認し、刃の根元まで確実に差し込む。 ホコリの付着、詰まり、がたつきがあると、感電、火災の原因になります。コンセントにがたつきがある場合は、交換してください。 ●別売品は、必ず当社指定の部品を使用する。また、取付は専門業者に依頼する。 ご自分で取付をされ、不備があると、水漏れや感電、火災などの原因になります。 ●改修は絶対にしない。また、修理はお買い上げの販売店に相談する。 修理に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。 ●エアコンを移動再設置する場合は、販売店または専門業者に相談する。 据付に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。 ●室内ユニットの修理・点検作業に際して「電源ブレーカ」を必ず OFF する。 点検・修理にあたって、電源ブレーカがONのままだと、感電およびファン回転によるケガの原因になります。 ●元電源を切った後に電気工事をする。 感電、故障や動作不良の原因になります。

⚠冱意	
●アース(接地)を確実に行う。	
アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アース(接地)が不完全な場合は、 故障や漏電のとき感電の原因になることがあります。	
●電源には必ず漏電しゃ断器(高調波対応品)を取付ける。	
漏電しゃ断器が取付けられていないと感電の原因になることがあります。	U
●正しい容量のブレーカ(漏電しゃ断器・手元開閉器(開閉器 + B 種ヒューズ)・配線しゃ断器)を使用する。	
大きな容量のブレーカを使用すると故障や火災の原因になることがあります。	•
●正しい容量のヒューズ以外は使用しない。 	
針金や銅線を使用すると故障や火災の原因になることがあります。	V
●電源配線は、電流容量に合った規格品の配線を使用する。	
漏電や発熱・火災などの原因になることがあります。	U
●室内外接続用端子台および電源用端子台に単線とより線を併用しない。	
また、異なったサイズの単線またはより線を併用しない。	
端子台のねじゆるみや接触不良が生じ、発煙・発火の原因になることがあります。	
●運転停止後、すぐに電源を切らない。	
必ず5分以上待ってください。水漏れや故障の原因になることがあります。	V
●電源ブレーカによるエアコンの運転や停止をしない。	0

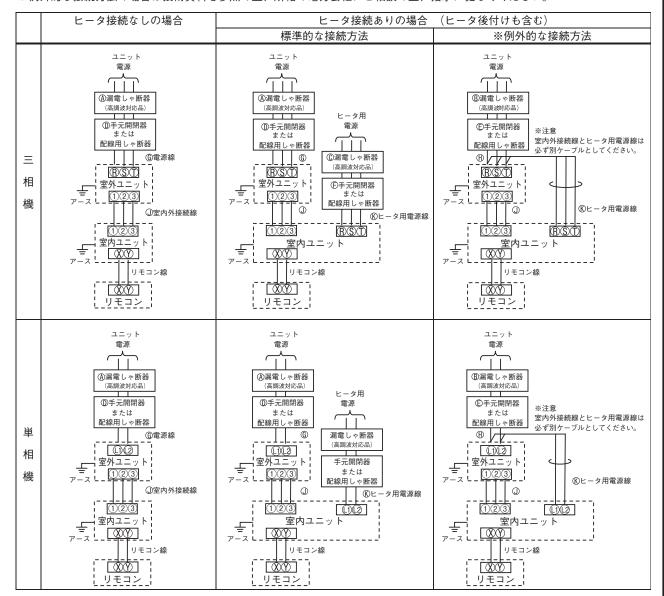
火災や水漏れの原因になることがあります。ファンが突然回り、ケガの原因になることがあります。

①電源・室内外配線の接続

- ●室内外接続線は必ず3心ケーブルを使用してください。詳細は室外ユニットに付属の据付説明書を参照ください。
- D種接地工事を必ず行ってください。
- ●ユニットの外部では、リモコン線と電源線が直接接触しないように施工してください。
- ●天井裏内の配線(電源・リモコン・室内外接続線)はネズミ等により、かじられ切断することもありますので、なるべく鉄管等の保護管内に通してください。
- ●室内外接続線は途中接続しないでください。途中接続した場所に水が浸入すると、対地間絶縁不良や途中接続部の接触不良をまねき、通信異常の原因となります。(万一、途中接続する場合には、絶対に水が浸入しないような処置を行ってください。)
- ●信号側端子台には、200V電源を絶対に接続しないでください。故障の原因となります。
- ●配線の接続はねじの緩みのないように確実に行ってください。
- ●電源は工事が完了するまで入れないでください。
- ●ユニット間配線・アース線およびリモコン線の接続
 - ①ユニット間配線・アース線およびリモコン線の接続は、制御箱の蓋を取外し、電源側端子台、信号側端子台に番号を合わせて接続してください。室内外接続線は極性がありますので、必ず同一端子番号に接続してください。また、アース線は、電源側端子台アース端子に接続してください。
 - ②電源には必ず漏電しゃ断器を取付けてください。漏電しゃ断器は、インバータ回路用しゃ断器(三菱電機製NV-Cシリーズまたは、その同等品)を選定してください。
 - ③漏電しゃ断器が地絡保護専用の場合には、漏電しゃ断器と直列に手元開閉器 (開閉器+B種ヒューズ) または、配線用しゃ 断器が必要となります。

シングル機の結線

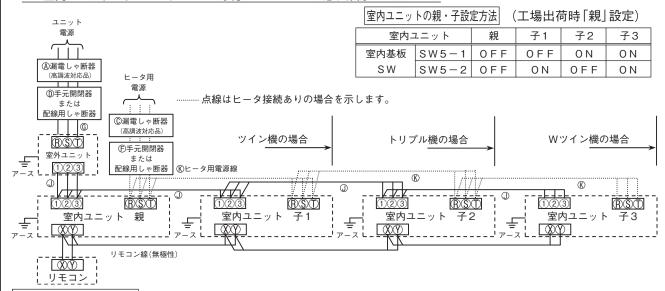
①電源の取り方は下表の接続パターンから選定し、行ってください。室内電源取りおよび室内外別電源取りは原則できません。 ※例外的な接続方法の場合は技術資料を参照の上、所轄の電力会社にご相談の上、指示に従ってください。



①電源・室内外配線の接続(つづき)

ツイン・トリプル・Wツイン機の結線

- ①親・子室内ユニット間は端子台①②③および②②の同一番号間を接続してください。
- ②室内基板上のロータリスイッチSW2により、同一冷媒系統すべての室内ユニットを同一アドレスに設定してください。
- ③子室内ユニットは、室内基板上のアドレススイッチSW5-1、SW5-2により、子1~子3に設定してください。
- ④電源投入後、リモコンの エアコンN o ボタンを押すと室内ユニットアドレスが表示されますので、 ▲ ▼ ボタンで接続されている室内ユニットアドレスがリモコンに表示されることを、必ず確認してください。



開閉器・配線仕様

- ①ヒータ接続なしの場合は、室外ユニットに付属の据付説明書に従って行ってください。
- ②ヒータ接続ありの場合は下表に従って行ってください。
 - ただし、A漏電しゃ断器容量、①手元開閉器または配線用しゃ断器容量、⑥電源線サイズ、①内外接続線サイズは、ヒータ接続なしの場合と同一です。室外ユニットに付属の据付説明書に従って行ってください。
- ③旧電源線、⑥ヒータ用電源線の配線こう長は、電圧降下2%とした場合を示します。表示の配線こう長を越える場合は、内線規程により配線太さを見直してください。
- ④①内外接続線と※ヒータ用電源線は、必ず別ケーブルとしてください。
- |ヒータ接続ありのシングル、Vマルチ(システム)の場合(FDTW、FDE)|

⟨FDTW⟩

			ヒータ電源仕様 例外的な接続方法の場合													
İ		漏電しゃ断器	手元阴	閉器	配線用	ヒータ用電	源線		漏電しゃ断器	7 - 0000 00		配線用	配線用 ヒータ用電源		アース	緑
1	室内ユニット	定格電流	開閉器容量	B種ヒューズ	しゃ断器	太さ×本数	こう長	室内ユニット	定格電流	開閉器容量	B種ヒューズ	しゃ断器	太さ×本数	こう長	太さ	ねじ
		©		Ē		K			B		E		H			
三相	TWVP50,56							CVP50,56								
1	TWP63							CXP63								
1	TWVP63							CVP63	30A 30mA 0.1sec以下	30A	30A	30A	5.5mm ² × 3	23m	2.0mm ²	M5
1	TWP80							CXP80	JOUA JUINA U.TSECIAT	JUA	JUA	JUA	0.5111111 ^ 3	23111		
1	TWVP80	15A 30mA 0.1sec以下	15A	15A	15A	2.0mm ² × 2	24m	CVP80								
1	TWP112							CXP112								
1	TWVP112							CVP112							3.5mm ²	M5
	TWP140,160							CXP140,160	50A 30mA 0.1sec以下	60A	50A	50A	$8\text{mm}^2 \times 3$	25m	3.511111	IVIO
ı	TWVP140,160							CVP140,160								

⟨FDE⟩

1			ヒータ	電源仕様	Ę					例外的な	接続方法	の場合				アース	始															
	室内ユニット	漏電しゃ断器	手元阴	手元開閉器 配		ヒータ用電			漏電	しゃ断器	手元	開閉器	配線用	電源約	泉	, , _ ^	砂															
	重内ユーット	定格電流	開閉器容量	B種ヒューズ	しゃ断器	太さ×本数	こう長	室内ユニット	定	格電流	開閉器容量	B種ヒューズ	しゃ断器	太さ×本数	こう長	太さ	ねじ															
		©		Ē		K				B		E		H																		
単相	EVXP40,45	15A 30mA 0.1sec以下	15A	15A	15A	2.0mm ² × 2	24m	CXP40,45 CVP40,45	30A 30n	A 0.1sec以下	30A	30A	30A	5.5mm ² × 2	22m																	
	EP50,56							CXP50,56																								
三相	EVXP40,45							CXP40,45 CVP40,45						3.5mm ² × 3	19m	2.0mm ²																
1	EP50 ~ 63								CXP50 ~ 63]					0.0111111 ^ 0	19111																
	EVP50 ~ 63						CVP50 ~ 63	30A 30mA 0.1sec以下	0mA 0.1sec 以下 30A	30A 30A	30A]]	.																	
	EVXP80	454 0004 0400 NT	454	454	454		A 2.0mm ² × 3	5A 2.0mm ² × 3	5A 2.0mm ² × 3	00	CXP80 CVP80						5.5mm ² × 3	29m		M5												
ı	E) 0/D440	15A 30mA 0.1sec以下	15A	15A	15A					2.0mm* × 3	2.umm* x 3	2.0mm × 3	2.Umm ⁻ × 3	2.Umm* × 3	2.UIIIII × 3	2.UIIIII × 3	2.UIIIII × 3	2.UIIIII × 3	2.UIIIII × 3	2.UIIIII × 3	2.UIIIII × 3	39m	CXP112	1						25m		1
İ	EVXP112												. [CVP112								1										
	EVXP140												CXP140 CVP140	40A 30m	nA 0.1sec以下	60A	40A	40A	8mm² × 3	26m	3.5mm ²											
	EP160 EVP160							CXP160 CVP160																								
	EP224 EVP224	30A 30mA 0.1sec以下	30A	30A	30A	5.5mm ² × 3	36m	CXP224 CVP224		-	-	_	_	_	1	5.5mm ²	Me															
	EVXP280	JOUA JUINA U.TSECUL	SUA	SUA	SUA	J.J.IIIII X J	26m	CXP280 CVP280		-	-	_	_	-	_	o.omm	IVIO															

①電源・室内外配線の接続(つづき)

ヒータ接続ありのツイン・トリプル・Wツインの場合

- ⑤派ヒータ用電源線太さは、20mまでの電圧降下2%を見込んだ場合を示します。現地の配線が20mを越える場合は、内線規 程により配線太さを見直してください。
- ⑥室内ユニットにヒータを装着した場合、室外ユニットアース線太さを見直してください。

	漏電しゃ断器 定格電流	手元開閉器			ヒータ用電源線
ヒータ容量	病電しや倒砕 足俗電派	開閉器容量	B種ヒューズ	しゃ断器	太さ×本数
	©	(F)			(K)
3.4kW 以下	15A 30mA 0.1sec以下	15A	15A	15A	2.0mm ² × 3
5.3kW 以下	30A 30mA 0.1sec 以下	30A	30A	30A	3.5mm ² × 3
8.7kW 以下	40A 30mA 0.1sec 以下	60A	40A	40A	5.5mm ² × 3
11.0kW 以下	50A 30mA 0.1sec 以下	60A	50A	50A	8.0mm ² × 3

②リモコンの取付(別売部品)

- ●次の位置へ取付けないでください。
 - ○直射日光の当たる所
 - ○発熱器具に近い所
 - ○湿気の多い所、水が飛散する所
 - ○取付面が発熱・結露する所
 - ○油の飛沫や蒸気が直接触れる所
 - ○取付面の凹凸がある所

リモコン取付・配線

- ①リモコンの取付は、リモコン付属の説明書に従ってください。
- ②リモコン線は、0.3mm²×2心の電線またはケーブルを使用してください。(現地手配)
- ③リモコン線の総延長は600mです。

延長距離が100mを超える場合は、下記サイズに変更してください。ただし、リモコンケース内を通る配線は最大0.5mm² 以下とし、リモコン外部の近傍で配線接続により、サイズを変更してください。

100~200m以内・・・・0.5mm²×2心 300m以内····0.75mm²×2心 400m以内····1.25mm²×2心

600m以内・・・・2.0mm²×2心

- ④誤動作する場合がありますので、多心ケーブルの使用は避けてください。
- ⑤リモコン線はアース(建物の鉄骨部分または金属など)からできるだけ離してください。
- ⑥リモコン線は確実にリモコンと室内ユニットの端子台に接続してください。(極性はありません。)

1 リモコンによる複数台室内ユニット制御

①1つのリモコンで複数台のユニット(最大16台)を制御 できます。

同一モード、同一室温設定で運転します。

- ②各室内ユニット間を2心のリモコン線にて渡り配線してく ださい。
- ③室内基板上のロータリスイッチSW2により、リモコン通 信アドレスを重複しないよう「O」~「F」に設定してく ださい。

電源投入後、リモコンの エアコンNoボタンを押すと室 内アドレスが表示されますので、▲ ▼ ボタンで接続され ている室内アドレスがリモコンに表示されることを、必ず 確認してください。

|室内ユニット確認方法|

エアコンNoが表示されている時に運転切換ボタンを押すと そのNoの室内ユニットが送風運転します。(表示例:「内 000 送風 1)

再度運転切換ボタンを押すと、送風運転を停止します。 ただし、エアコンが運転中の場合は無効です。

複数リモコン使用時の親子設定

室内1台(または1グループ)に対して、最大2個までリモ コンを接続できます。後操作優先で運転します。

ワイヤードリモコン2台、あるいはワイヤードリモコン+ワイ ヤレスキット、あるいはワイヤレスキット2台のいずれかの組 合せができます。

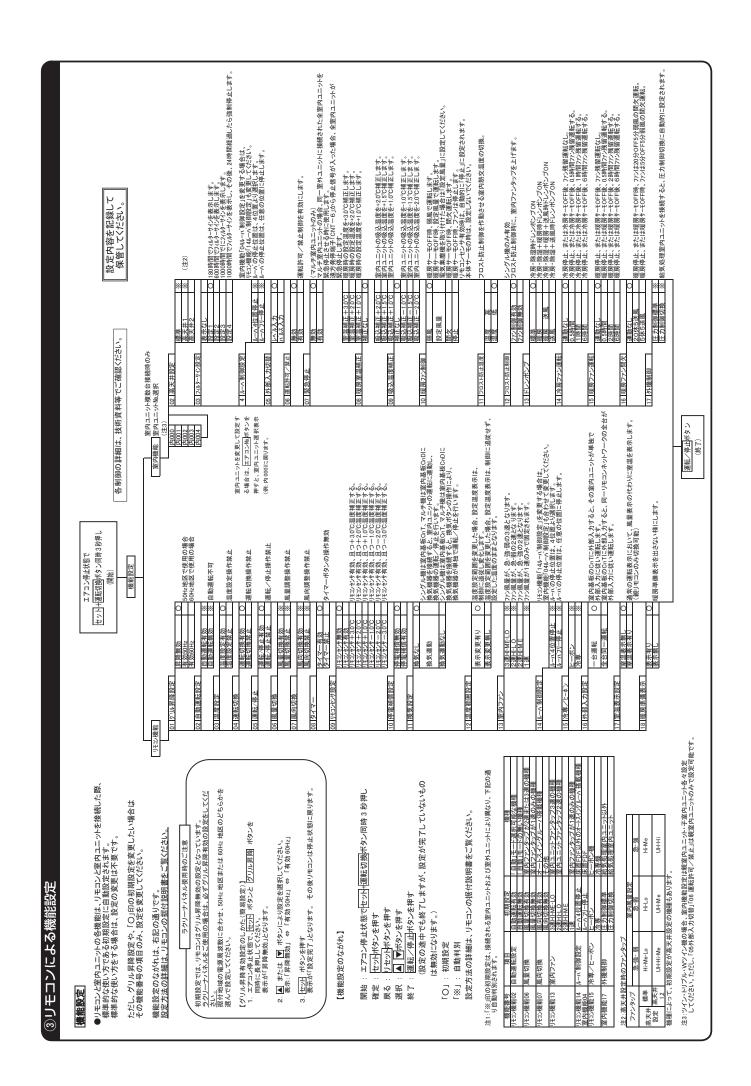
①子リモコンの切換えスイッチ(ワイヤードリモコン: SW1、 ワイヤレスキット: SW1-2) を「子」に設定してくだ さい。初期設定は「親」設定です。

○注意 リモコンセンサ有効設定は親リモコンのみ可能です。親リモコンを室温検知させる位置に取付けてください。

室内ユニット(2) 室内ユニット(16) 「室内ユニット(1)」 アドレス「1」 アドレス「F丨 アドレス「0」 \bigcirc リモコン線(無極性) | リモコン |

	スイッチ	設定	機能内容
室内ユニット	ワイヤードリモコンSW1	親	親リモコン
	ワイヤレスキットSW1-2	子	子リモコン
	リモコン線(無極性)		

(X) \bigcirc \bigcirc リモコン リモコン __SW1_「親」 SW1「子」



4 試運転

冷房試運転方法

リモコンを次の手順で操作してください。

- 1. 冷房試運転の開始
 - ①運転/停止ボタンを押して、運転します。
 - ②運転切換ボタンにより、「冷房」を選択します。
 - ③<u>試運転</u>ボタンを3秒以上押します。 表示が、「冷房試運転▼」となります。
 - ④ 「冷房試運転▼」の表示で、セットボタンを押すと、冷房試運転を開始します。 表示は、「冷房試運転」となります。
- 2. 冷房試運転の解除

下記のいずれかの操作が行われた時、冷房試運転は解除され、「冷房試運転」表示は消灯します。

- ①運転/停止ボタンが押された時。
- ②温度設定 / ボタンが押された時。
- ③ 運転切換ボタンにより冷房以外のモードに変えた時。
- ④冷房試運転開始より、30分経過した時。

|運転データの確認方法

リモコン操作により、運転データの確認ができます。 [操作手順]

- 1. <u>点検</u>ボタンを押します。
 表示が「運転データ表示▼」となります。
- 2. 「運転データ表示▼」の表示で、セットボタンを押します。
- 3. リモコンに接続されている室内ユニットが1台の場合、 「データ確認中」表示となり、(データを読み込む間点滅表示) その後、運転データ項目01 (右表)が表示されます。 7. へお進みください。
- 4. リモコンに接続されている室内ユニットが複数台の場合、 接続されている室内ユニットの中で、最も小さい室内アドレス が表示されます。

[例]「室内機選択」(1秒間点灯)「内000▲」(点滅)

- 5. ▲▼ボタンで、表示したい室内アドレスを選びます。
- 6. <u>セット</u>により確定します。(室内アドレスが点滅から点灯に変わります。)

「内001」(選択した室内アドレスを2秒間点灯)

「データ確認中」(データを読込む間点滅表示) その後、運転データ項目 0 1 が表示されます。

- 7. ▲▼ ボタンにより、現在の運転データを確認できます。 表示される項目は右記の通りです。
 - ※機種により該当するデータがないものは、その項目は表示されません。
- 8. 室内ユニットを変更する場合は、エアコンNo. ボタンを押す ことにより、室内ユニット選択表示に戻ります。
- 9. 運転/停止ボタンを押すと、終了します。

設定の途中で、<u>リセット</u>ボタンを押すと、一回前の設定画面に戻り ます。

◎運転データの確認は、リモコン2台で室内ユニットを運転する場合、親リモコンのみ操作可能です。(子リモコンからの操作はできません。)

₩ 🗆	-: 4· -
番号	データ項目
	冷房(運転モード)
02	設定℃(設定温度)
	吸込℃(吸込温度)
	リモコンセンサ_℃(リモコンセンサ温度)
	T H I - R 1 _ C (室内熱交センサ/Uベンド)
0 6	THI-R2_℃(室内熱交センサ/キャピラリ)
0 7	THI-R3_℃(室内熱交センサ/ガスヘッダ)
8 0	内ファン速(室内ファン速調)
	要求H z (要求周波数)
	アンサー_Hz(アンサー周波数)
	内EEV_P(室内膨張弁開度)
12	内運転H(室内運転積算時間)
2 1	外気℃(外気温度)
22	THO-R1_℃(室外熱交センサ)
23	THO-R2℃(室外熱交センサ)
2 4	圧縮機Hz(圧縮機周波数)
2 5	HP_MPa(高圧)
26	LP_MPa(低圧)
27	T d℃ (吐出管温度)
28	ドーム下℃(ドーム下温度)
29	C T A (CT電流)
3 0	S H制御℃ (S H制御値)
3 1	SH℃ (実SH)
3 2	TDSH_℃(実TDSH)
3 3	保護制御No (圧縮機保護ステータスNo.)
3 4	外ファン_速(室外ファン速調)
3 5	63H163 (H10N/0FF)
3 6	デフロスト (デフロストON/OFF)
3 7	圧縮機H(圧縮機運転積算時間)
38	外EEV1_P(室外膨張弁開度EEVC)
3 9	外EEV2_P(室外膨張弁開度EEVH)

ドレンポンプ試運転方法

ドレンポンプ運転がリモコン操作により可能です。

リモコンを次の手順で操作してください。

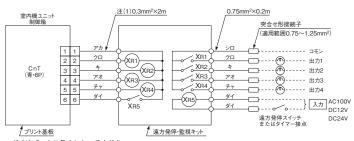
- 1. ドレンポンプ強制運転の開始
 - ①試運転ボタンを3秒以上押します。表示が「冷房試運転▼」となります。
 - ②▼ボタンを一度押し、「ドレンポンプ運転◆」を表示させます。
 - ③セットボタンを押すと、ドレンポンプ運転を開始します。表示:「セットで停止」
- 2. ドレンポンプ運転の解除
 - ①セットボタンまたは、運転/停止ボタンを押すと、ドレンポンプ強制運転を解除します。エアコンは停止状態となります。
- ◎リモコン2台で室内ユニットを運転する場合、親リモコンのみ操作可能です。(子リモコンからの操作はできません。)

⑤制御の切換

●室内ユニットの制御内容を下記方法にて切換可能です。(」は工場出荷時の設定)

スイッチNo.	制御内容		
SW2	室内アドレス(0-Fh)		
SW5-1	- 親/子切換(プルーラル/子機設定)		
SW5-2			
SW6-1~4	機種容量		
SW7-1	ON	運転チェック・ドレンポンプ試運転	
SVV/ I	OFF	通常運転	

⑥室内基板CnTコネクタの機能



注(1) 2mより長くしないでください。

- ■XR1~4はDC12Vリレー(オムロン製LY2F相当品)
- ■XR5は、DC12,24Vまたは100Vリレー(オム ロン製MY2F相当品)
- ●CnTコネクタ(現地側)メーカ、形式 コネクタ: モレックス製 5264-06 : モレックス製 5263T 端子

●機能

出力1	エアコン運転出力(エアコンON時X _{R1} =ON)						
出力2	暖房出力						
出力3	圧縮機ON出力(圧縮機ON時XR3=ON)						
出力4	エアコン点検出力(エアコン点検時X _{R4} =ON)						
入力5	出荷時	X _{R5} OFF⇒ON エアコンON					
		X _{R5} ON⇒OFF エアコンOFF					
	現地切換	XR5 OFF⇒ONのパルス信号					
	(リモコン機能設定)	によりON/OFF反転					

●遠方発停・監視キットを別売品にて準備しておりますので ご利用ください。

⑦故障診断方法

異常発生時の運転データを記憶し、リモコンから異常運転データの確認ができます。

データ項目は 4試運転 の項目を表示します。

※機種により該当するデータがないものは、その項目は表示されません。 [操作手順]

- 1. <u>点検</u>ボタンを押します。表示が「運転データ表示▼」となります。
- 2. ▼ボタンを一度押して、「エラーデータ表示▲」に切換えます。3. セットボタンを押すと、異常運転データ表示モードに入ります。
- 4. リモコンに接続されている室内ユニットが1台の場合は、以下の表 示となります。
 - ①異常履歴がある場合:エラーコードと「データ確認中」を表示し ます。

[例] [E8] (エラーコード)

「データ確認中」(データを読み込む間点滅表示)

続いて、データが表示されます。8.へお進みください。

- ②異常履歴がない場合:「異常なし」を3秒間表示し、本モードを 終了します。
- 5. リモコンに接続されている室内ユニットが複数台の場合は、以下の 表示となります。
 - ①異常履歴がある場合:接続されている室内ユニットの中で、最も 小さい室内アドレス番号とその室内ユニットのエラーコードを表 示します。

[例]「E8」「内000▲」(点滅)

- ②異常履歴がない場合:アドレス番号表示のみとなります。
- 6. ▲ ▼ ボタンで、表示したい室内アドレスを選びます。
- 7. セットにより確定します。(室内アドレスが点滅から点灯に変わります。) [例] [E8]

「内000」(選択した室内アドレスを2秒間点灯)→「E8」

「データ確認中」(データを読込む間点滅表示) 続いて、データが表示されます。

異常履歴がない室内ユニットを選択した場合は、「異常なし」を3秒間表示し、室内アドレス表示に戻ります。

- 8. ▲▼ ボタンにより、異常運転データを確認できます。
- 9. 室内ユニットを変更する場合は、エアコンNOボタンを押すことにより、室内ユニット選択表示に戻ります。
- 10. 運転/停止ボタンを押すと、終了します。

設定の途中で、<u>リセット</u>ボタンを押すと、一回前の設定画面に戻ります。

◎異常運転データの確認は、リモコン2台で室内ユニットを運転する場合、親リモコンのみ操作可能です。(子リモコンからの操 作はできません。)

室内ユニットエラーコード

リモコン	室内基板LED		内 容		
表示	赤(点検)	緑(正常)	F1 TF		
消灯	消灯	連続点滅	正常		
HVI	消灯	消灯	電源部不良、室内電源OFFまたは欠相		
E1	消灯	連続点滅	リモコン→室内基板伝送不良		
LI	不定	不定	室内マイコン暴走		
E5	2回点滅	連続点滅	室内外伝送不良		
E6	1回点滅	連続点滅	室内熱交センサー断線・短絡		
E7	1回点滅	連続点滅	室内吸込空気センサー断線・短絡		
E8	1回点滅	連続点滅	暖房熱交温度異常		
E9	1回点滅	連続点滅	フロートスイッチ作動(FS付のみ)		
E10	消灯	連続点滅	リモコン複数台制御接続台数オーバー		
E14	3回点滅	連続点滅	親子室内ユニット間通信異常		
E16	1回点滅	連続点滅	ファンモータ異常		
E19	1回点滅	連続点滅	運転チェックモード設定不良		
E28	消灯	連続点滅	リモコンセンサー断線		
E30以上	消灯	連続点滅	室外ユニット点検(室外基板LED点検)		